

武蔵国分寺跡出土瓦集成

— 鐙瓦・宇瓦 —



2019年3月

国分寺市遺跡調査会

序

武蔵国分寺跡出土の古瓦は、『新編武蔵風土記稿』や『江戸名所図会』等の近世地誌類に紹介されたことを嚆矢として、文人墨客・好事家らの目に留まって骨董趣味的な蒐集対象物となりましたが、明治時代以降には次第に学術資料としての認識が高まり、大正11年に武蔵国分寺跡は国の史跡として指定を受けました。

その後も、伽藍の復元研究とともに造瓦体制を解明すべく瓦は貴重な考古資料として住田正一（および御子の正二氏）・平塚運一・太田静六・原田良雄・織戸市郎・内藤政恒・石村喜英・宇野信四郎・本多章吉・星野亮勝（宗教法人国分寺）らをはじめとする数多くの研究者たちの手によって蒐集され、これらの資料をもとに調査研究が続き、研究書・学会誌や博物館展示図録等を通じて折に触れて報告されてきたところです。

このようななか武蔵国分寺では、昭和31年に石田茂作を代表者とする日本考古学協会仏教遺跡調査特別委員会がはじめての発掘調査を行い、地中に良好な状態で寺院関連遺構が残っていることを確認しました。武蔵国分寺に関連する遺跡は国分寺市域南部から隣接する府中市の北部に跨り、昭和49・50年に国分寺と府中両市で遺跡調査会が設立されて以降は、開発に伴う発掘調査を毎年継続的に実施し、この45年間で区域内で調査した地点は約750箇所にも及んでいます。調査成果の一端は、既刊の発掘調査報告書に記載されていますが、出土古代瓦の全体像を掴むには膨大な報告書データを逐一渉猟しなければならないのが現状です。

そのため、これまでに報告書や採集瓦の資料集等で紹介された瓦のうち、武蔵国分寺のなかで出土・採集場所が特定出来るものを中心として、鎧瓦と宇瓦を集成致しました。本冊子が、国分寺の瓦研究の一助となりましたら望外の喜びです。制作にあたって御協力を賜りました関係者・機関の皆様に御礼を申し上げます。

平成31（2019）年3月

国分寺市遺跡調査会

例言

1. 本書は、武蔵国分寺跡出土遺物の基礎資料集成を目的として刊行する第1冊目の資料集で、鑑瓦・宇瓦を対象として収録した。また、『国指定史跡 武蔵国分僧寺跡発掘調査報告書Ⅱ－史跡保存整備事業に伴う事前遺構確認調査－〔遺物編〕』（平成29年度刊行、以下「Ⅱ遺物編報告書」と略）を補完する資料集でもある。

「Ⅱ遺物編報告書」は、国分寺市教育委員会が史跡保存整備工事を行うにあたり、平成15～24年度の10ヶ年間にわたり僧寺地区の伽藍域（金堂・講堂・鐘楼・中門・七重塔・南門および周辺一帯）を対象として実施した発掘調査報告書であるが、僧寺伽藍域では昭和31・33年に日本考古学協会仏教遺跡調査特別委員会（代表：石田茂作）が金堂・講堂・中門・南門等を、昭和39～44年には国分寺市教育委員会（代表：滝口 宏）が金堂・講堂・鐘楼・七重塔等をそれぞれ発掘調査しており、これらの調査で出土した鑑瓦・宇瓦は「Ⅱ遺物編報告書」に一括して再録しているため、本資料集からは除外した。

そのため、僧寺地区出土の主要堂塔資料については、以下の文献も合わせて参照されたい。

① 日本考古学協会仏教遺跡調査特別委員会編 1985『武蔵国分寺跡遺物整理報告書－昭和31・33年度－』

② 国分寺市教育委員会 1987『武蔵国分寺跡調査報告－昭和39年～44年度－』

③ 国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会 2018

『国指定史跡 武蔵国分僧寺跡発掘調査報告書Ⅱ－史跡保存整備事業に伴う事前遺構確認調査－〔遺物編〕』

④ 国分寺市 1986『国分寺市史 上巻』（有吉重蔵「遺瓦からみた武蔵国分寺」など）

※星野亮勝（宗教学者国分寺）・本田章吉コレクション瓦の一部について紹介

⑤ 奈良国立博物館 1978『特別陳列 東国の古瓦－原田良雄氏コレクション－』

⑥ 奈良国立博物館 1979『特別陳列 奥州の古瓦』

※⑤・⑥は原田良雄・内藤政恒コレクション瓦の一部について紹介

⑦ 宮崎 紘 1938「武蔵国分寺」角田文衛編『国分寺の研究』京都考古学研究会刊

⑧ 大川 清 1958『武蔵国分寺古瓦博文字考』早稲田大学考古学研究室報告第五冊 小宮山書店

2. 資料の集成にあたっては、国分寺市域のNo.10遺跡〔武蔵国分寺跡（僧尼寺）〕、No.12遺跡〔伝祥応寺跡〕、No.19遺跡〔武蔵国分寺跡〕、No.22遺跡〔恋ヶ窪庵寺跡〕、および府中市域のNo.1遺跡〔武蔵国分寺関連遺跡〕における発掘調査出土資料、および出土地点が大よそ特定できる個人採集資料を対象とした。

したがって、瓦当文様の全体像が掴める瓦であっても、出土地点が漠然と「武蔵国分寺跡周辺」としか判明していない個人採集資料については、本集成からは除外している。なお、既刊の発掘調査報告書は、平成28(2017)年12月末現在までに公表されているものを対象とした。

3. 挿図の縮尺は、全て1/5に統一した。

4. 瓦の観察表は、基本的には巻末の文献（報告書）に記載された内容を転記し、さらに次項の凡例に従い、文様・型式・時期・産地・技法等の情報を可能な限り付加した。

5. 本書の作成は、坂詰秀一（国分寺市遺跡調査会調査団長（立正大学名誉教授）の指導のもと、依田亮一（国分寺市教育委員会ふるさと文化財課史跡係）が担当し、矢内雅之・笹津備当・富澤 好・岩田尋湖（国分寺市遺跡調査会）が作業を補佐した。

6. 本書を作成するにあたり、次の方々より御指導ならびに御協力を賜わった（順不同・敬称略）。

赤熊浩一・有吉重蔵・押方みはる・及川良彦・亀田修一・河野一也・高橋 香・長佐古真也・中三川 昇・林 正憲・坂野千登勢・昼間孝志・深澤靖幸・藤木 海・奈良国立博物館・東京都埋蔵文化財センター・府中市郷土の森博物館

凡例

1. 軒先瓦の文様・型式の表記について

武蔵国分寺跡出土の軒先瓦については、鑑瓦・宇瓦ともに瓦範種の多さが夙に知られており、国分寺市遺跡調査会では、昭和31年以降の発掘調査出土遺物の整理にあたって、元職員の有吉重蔵氏を中心に分類・台帳化が試みられてきた。現在、この台帳は遺跡調査会の内部資料として基本的には公にしていけないものの、既刊の発掘調査報告書の一部や他機関発行の博物館展示図録・個人論文等で部分的に活用されている現状がある。

その一方で、本台帳は諸般の事情により、過去のとある時期以降データの更新作業が進んでいない状況にあるが、武蔵国分寺跡や各生産地瓦窯における近年の調査の進展を鑑みると、古代瓦の研究素材として広く活用するためには、いずれ整理して公表する必要がある。本書では、さしあたって今後の利用便宜を図るため、挿表（第1～23表）中に、この台帳に基づく文様・型式表記を用いることとした。

(1) 文様

①鑑瓦

島根県古代文化センターが刊行している『平塚運一古代瓦コレクション資料集(1)・(2)』(2008・2011年)では、内区文様(中房形状、弁形状)・外区文様に基づく国分寺市遺跡調査会の分類基準を参考として、数字とアルファベットからなる4桁の分類番号で文様の特徴を表記しており、本書でもこれを基本的には踏襲する。

第4桁(一番左側)・・・アラビア数字で弁数を示す。弁数は残存数ではなく、推定復元数である。

第3桁(左側2列め)・・・中房形状をA～Cのアルファベットで表記する。

A: 中房が凸型のもの

B: 中房の輪郭線を凸線で表すもの

C: 中房の盛り上がりや凸線がないもの(蓮子のみのもの)

中房の形状



第2桁(左側3列め)・・・弁の形状を表すA～D・Tのアルファベット。

A: 弁の輪郭線がなく、全体が盛り上がるもの

B: 弁が輪郭線のみで表されるもの

C: 弁の輪郭線があり、内部全体が盛り上がるもの

D: 弁の輪郭線があり、内部全体が盛り上がるものの中房側が凹むもの

T: 単弁

弁の形状



第1桁(一番右側)・・・外区文様をa～c・Bのアルファベットで表記する。

a: 素文、b: 珠文、c: その他、B: 外区内縁外縁が不明瞭なもの

②宇瓦

宇瓦瓦当文様は国分寺市遺跡調査会の分類基準に基づき、内区文様を以下のように表記した。

G: 重弧文、KK: 均整唐草文、HK: 偏行唐草文、H: ヘラ書文、J: 縄文、M: 無文、O: その他

このうち、重弧文については瓦当断面の凸部を弧として数え、その弧数をGの左に記した。

(2) 型式

平成31年3月現在で正式には公表していないが、国分寺市遺跡調査会の瓦台帳で型式番号が認定されているものは、その番号を本書にも反映した。

(3) 時期

武蔵国分寺では、これまでの調査から創建期・整備拡充期(塔再建期)・衰退期の大きく3つの時期区分によって伽藍の変遷を把握している。このうち創建期(I期)は8世紀半ばから末頃までの時期にあたり、天平13年の国分寺建立詔發布直後に七重塔を中心とした伽藍造営に着手した「I a期」と、天平19年に国分寺造営にかかる郡司層への協力要請があり、金堂・講堂を中心とした伽藍に計画を変更し、天平宝字二年以前に造営が完了をみた「I b期」、以降8世紀末までの「I c期」とに細分している。整備拡充期(II期)は、承和12年の七重塔再建と僧尼寺の改修が行われた9世紀を中心とする時期にあたる。そして衰退期(III期)は寺院地・伽藍地の区画内側に多くの堅穴住居が出現し、寺の存在意義が失われる時期で、10～11世紀頃に相当する。武蔵国分寺や生産地における出土状況等から、上記いずれかの時期に帰属が判明する瓦については、表中に明記した。なお、堅穴住居から出土した瓦で、住居の廃絶年代が判明するものについては、備考欄に遺構の年代も併記した。

(4) 産地

武蔵国分寺の所要瓦を生産した窯跡も、発掘調査の進展によって、その様相が明らかとなりつつある。東京都稲城市・町田市・八王子市などに所在する「南多摩窯跡群」、埼玉県入間市・狭山市などに所在する「東金子窯跡群」、埼玉県比企郡鳩山町・ときがわ町・嵐山町等に所在する「南比企窯跡群」、埼玉県大里郡寄居町に所在する「末野

窯跡群」などである。窯跡の調査で生産窯が判明している瓦は、その産地を明記したが、あくまで瓦当文様から判断した目安に過ぎず、遺物の実見比較を通じて、胎土・製作技法等も鑑みた総合的な検証作業が必要である。なお、南多摩窯跡群は操業時期の異なる支群が複数存在するため、生産地の表記を便宜上、大丸支群（稲城市、I a・b期）、瓦尾根支群（町田市、I b期）、御殿山支群（八王子市、II～III期）としたものもある。また、発掘調査報告書で明確な産地の表記が無い場合でも、胎土中に白色針状物質（海綿骨針）が含まれているものは、窯跡で同範瓦が未確認でも南比企窯跡群産と推定した。

(5) 特徴等

生産地が判明している型式の瓦は、各窯跡の発掘調査報告書における分類を併記したほか、牛角状中心飾り唐草文字瓦については酒井清治氏の分類案（酒井 1990・2015）も合わせて提示した。また、押印文字をとまなうものについては、一部有吉重蔵氏の文字瓦分類（有吉 2001）を参照した。以上の点に加えて、既刊の報告書等における遺物観察内容や遺跡調査会の瓦台帳の記述等を適宜掲載した。

2. 製作技法の表記について

国分寺市遺跡調査会で運用している、以下の分類基準に従った（鑑瓦・宇瓦の製作技法、顎の形態部分のみ抜粋）。

(1) 鑑瓦

①製作技法

A. 接着技法

B. さしこみ技法 I：一般的なもの II：瓦当部が二段重ねで分厚く作られるもの

C. 一本作り技法 I：瓦当裏面の布目にしぼりがあるもの II：瓦当裏面にしぼりがないもの

D. はめこみ技法 I：半裁後の男瓦広端側にはめこむもの
II：半裁前の円筒の広端側にはめこみ、不要部分を切り落とすもの

(2) 宇瓦

①製作技法

A. 接着技法

B. さしこみ技法

C. 折り曲げ技法

D. 貼り付け技法（女瓦凸面に粘土を貼り付け瓦当部を作るもの）

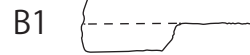
②顎の形態

A. 直線顎 a. 瓦当凸面を調整するもの b. 瓦当部と女瓦部の境部分のみ調整するもの
c. 不調整のもの

B. 段顎

- B1. 瓦当凸面と凹面が平行するもの
 - a. 瓦当凸面及び瓦当裏面を調整するもの
 - b. 瓦当凸面のみ調整するもの
 - c. 瓦当裏面のみ調整するもの
 - d. 不調整のもの
- B2. B1・B3 以外のもの
- B3. 瓦当凸面が丸味をもつもの

段顎



C. 曲線顎

- C1. 一般的なもの
 - a. 瓦当凸面を調整するもの
 - b. 瓦当部と女瓦部の境部分を調整するもの
 - c. 瓦当凸面及び女瓦部の境部分を調整するもの
 - d. 不調整のもの
- C2. やや直線的なもの

曲線顎



[参考文献]

酒井清治 1990 「剣菱文軒丸瓦から見た武蔵国京所廃寺の性格—国府付属寺院の可能性について—」『研究紀要』第 12 号 埼玉県立歴史資料館
 酒井清治 2015 「南多摩に分布する剣菱文軒丸瓦と牛角状中心飾り唐草文軒平瓦小考」『駒澤考古』第 40 号 駒澤大学考古学研究室創立 50 周年記念号 駒澤大学考古学研究室
 有吉重蔵 2001 「軒先瓦、文字瓦から探る武蔵国分寺」『多摩のあゆみ』第 103 号 財団法人たましん地域文化財団

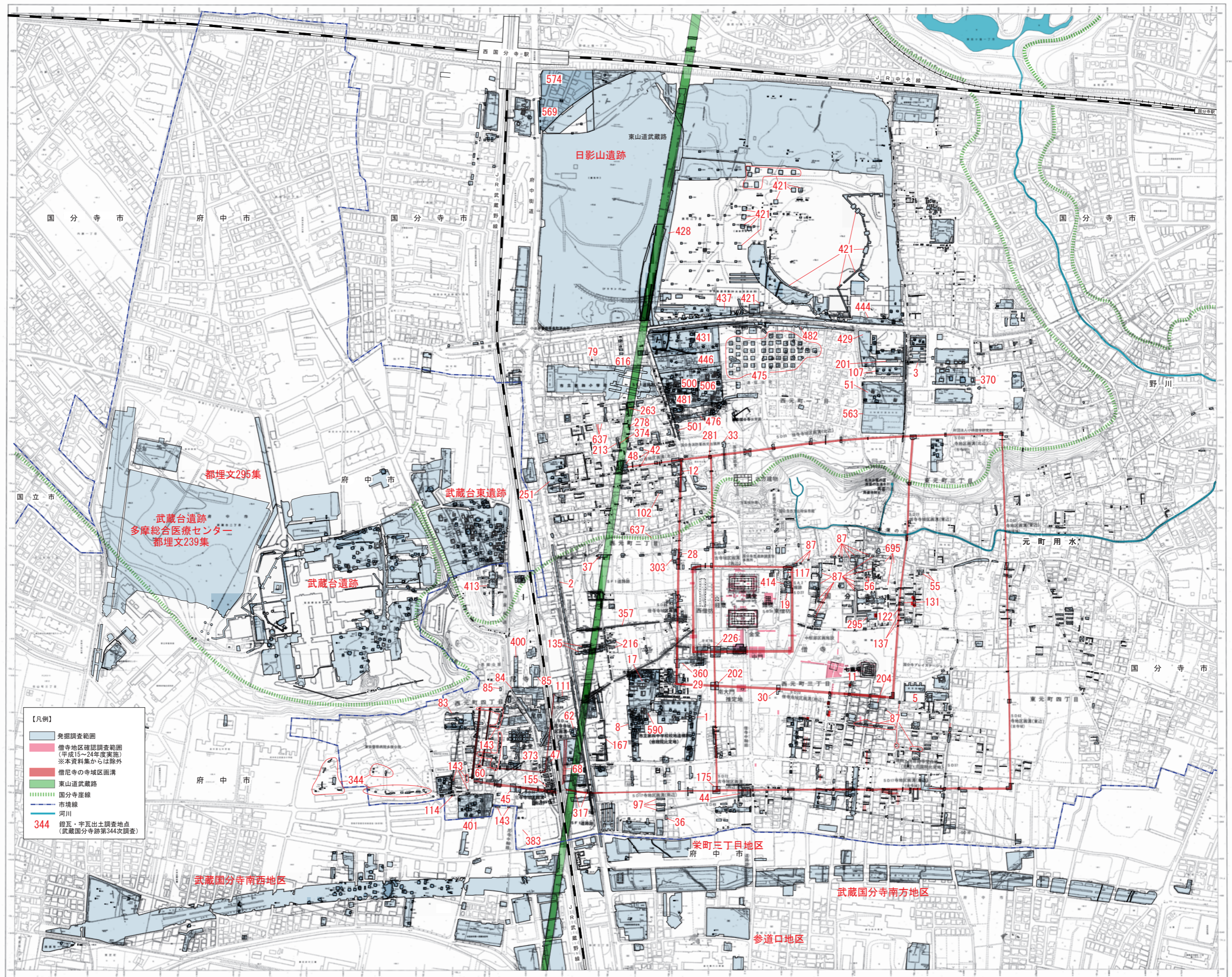
挿図目次

第1図 武蔵国分寺跡（武蔵国分寺関連遺跡）における 鑑瓦・瓦の出土調査地点位置図 ……………	7	第37図 僧寺塔跡採集字瓦) ……………	46
第2図 尼寺周辺地区における鑑瓦・宇瓦出土調査地点 ……………	11	第38図 僧寺僧坊跡・鐘楼跡・中門跡・ 南門跡採集字瓦 ……………	47
第3図 僧寺金堂跡採集鑑瓦 ……………	12	第39図 僧寺北方建物付近（薬師堂・北院・中院等）採集 鑑瓦、恋ヶ窪廃寺跡出土鑑瓦 ……………	48
第4図 僧寺講堂跡採集鑑瓦（1）……………	13	第40図 尼寺跡採集・出土字瓦（1）……………	49
第5図 僧寺講堂跡採集鑑瓦（2）……………	14	第41図 尼寺跡出土字瓦（2）……………	50
第6図 僧寺講堂跡採集鑑瓦（3）・僧寺塔跡 採集鑑瓦（1）……………	15	第42図 尼寺跡出土字瓦（3）……………	51
第7図 僧寺塔跡採集鑑瓦（2）……………	16	第43図 尼寺跡出土字瓦（4）……………	52
第8図 僧寺塔跡採集鑑瓦（3）……………	17	第44図 市内遺跡出土字瓦（1）……………	53
第9図 僧寺塔跡採集鑑瓦（4） ・僧寺僧坊跡採集鑑瓦（1）……………	18	第45図 市内遺跡出土字瓦（2）……………	54
第10図 僧寺僧坊跡採集鑑瓦（2）……………	19	第46図 市内遺跡出土字瓦（3）……………	55
第11図 僧寺北方建物付近（薬師堂・北院・中院等）、 鐘楼採集鑑瓦 ……………	20	第47図 市内遺跡出土字瓦（4）……………	56
第12図 尼寺跡出土・採集鑑瓦 ……………	21	第48図 市内遺跡出土字瓦（5）……………	57
第13図 市内遺跡出土鑑瓦（1）……………	22	第49図 市内遺跡出土字瓦（6）……………	58
第14図 市内遺跡出土鑑瓦（2）……………	23	第50図 市内遺跡出土字瓦（7）……………	59
第15図 市内遺跡出土鑑瓦（3）……………	24	第51図 市内遺跡出土字瓦（8）……………	60
第16図 市内遺跡出土鑑瓦（4）……………	25	第52図 市内遺跡出土字瓦（9）……………	61
第17図 市内遺跡出土鑑瓦（5）……………	26	第53図 市内遺跡出土字瓦（10）……………	62
第18図 市内遺跡出土鑑瓦（6）……………	27	第54図 市内遺跡出土字瓦（11）……………	63
第19図 市内遺跡出土鑑瓦（7）……………	28	第55図 市内遺跡出土字瓦（12）……………	64
第20図 市内遺跡出土鑑瓦（8）……………	29	第56図 市内遺跡出土字瓦（13）……………	65
第21図 市内遺跡出土鑑瓦（9）……………	30	第57図 市内遺跡出土字瓦（14）……………	66
第22図 市内遺跡出土鑑瓦（10）……………	31	第58図 市内遺跡出土字瓦（15）……………	67
第23図 市内遺跡出土鑑瓦（11）……………	32	第59図 市内遺跡出土字瓦（16）……………	68
第24図 市内遺跡出土鑑瓦（12）……………	33	第60図 市内遺跡出土字瓦（17）……………	69
第25図 市内遺跡出土鑑瓦（13）……………	34	第61図 市内遺跡出土字瓦（18）……………	70
第26図 市内遺跡出土鑑瓦（14）……………	35	第62図 市内遺跡出土字瓦（19）……………	71
第27図 市内遺跡出土鑑瓦（15）……………	36	第63図 市内遺跡出土字瓦（20）……………	72
第28図 市内遺跡出土鑑瓦（16）……………	37	第64図 市内遺跡出土字瓦（21）……………	73
第29図 府中市域出土鑑瓦－武蔵台遺跡－ ……………	38	第65図 市内遺跡出土字瓦（22）……………	74
第30図 府中市域出土鑑瓦－武蔵台東遺跡（1）－ ……	39	第66図 市内遺跡出土字瓦（23）……………	75
第31図 府中市域出土鑑瓦－武蔵台東遺跡（2）－ ……	40	第67図 市内遺跡出土字瓦（24）……………	76
第32図 府中市域出土鑑瓦－武蔵台東遺跡（3）－、 恋ヶ窪廃寺跡出土鑑瓦 ……………	41	第68図 市内遺跡出土字瓦（25）……………	77
第33図 府中市域出土鑑瓦－武蔵国分寺南西地区－ ……	42	第69図 市内遺跡出土字瓦（26）……………	78
第34図 僧寺金堂跡採集字瓦 ……………	43	第70図 市内遺跡出土字瓦（27）……………	79
第35図 僧寺講堂跡採集字瓦（1）……………	44	第71図 市内遺跡出土字瓦（28）……………	80
第36図 僧寺講堂跡採集字瓦（2）……………	45	第72図 市内遺跡出土字瓦（29）……………	81
		第73図 市内遺跡出土字瓦（30）……………	82
		第74図 市内遺跡出土字瓦（31）、府中市域出土字瓦 ……………	83

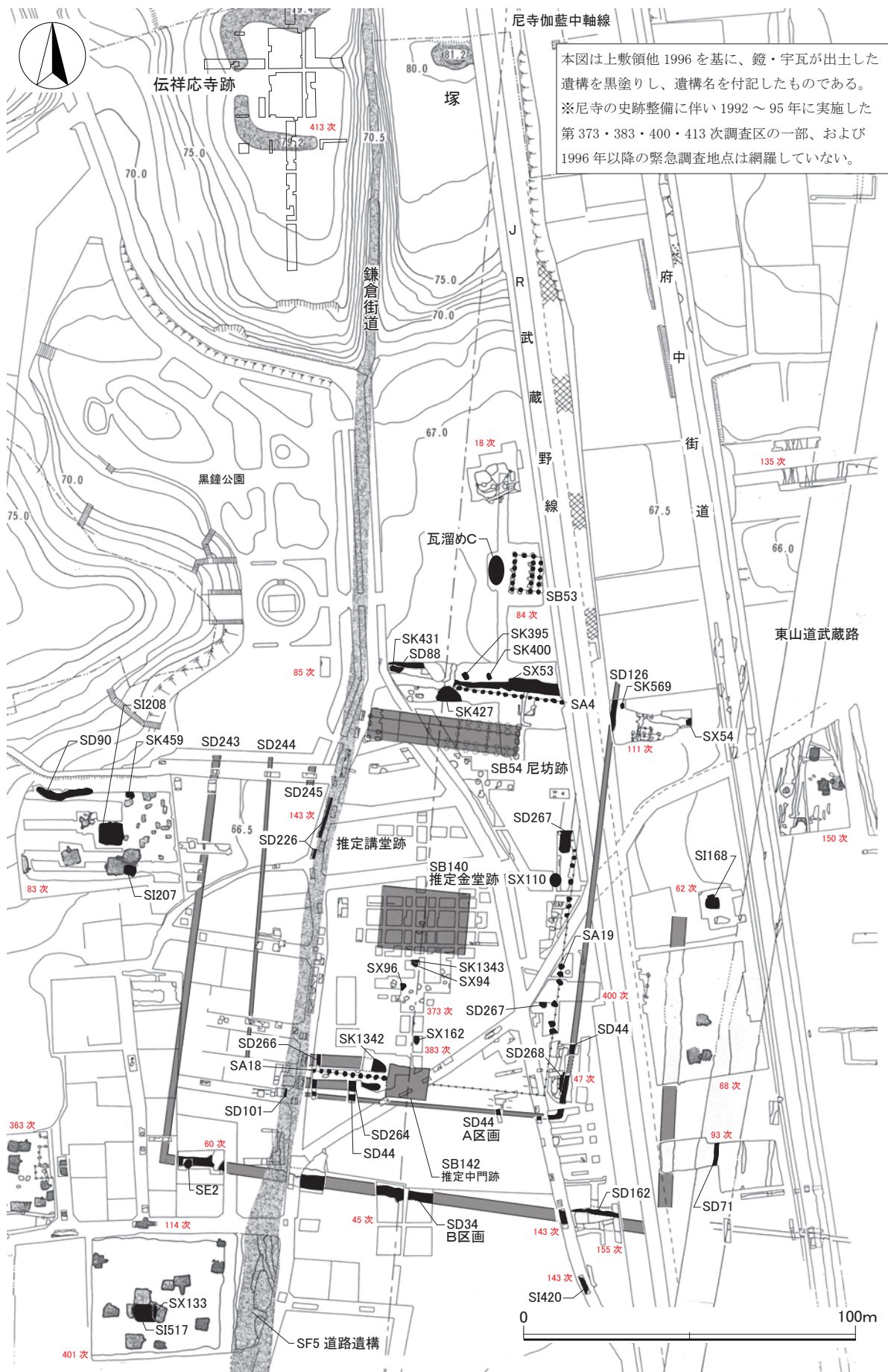
第75図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（1）－	84	武蔵台遺跡（1）－	89	
第76図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（2）－	85	第81図	府中市域出土宇瓦－武蔵台遺跡（2）－	90
第77図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（3）－	86	第82図	府中市域出土宇瓦－武蔵台遺跡（3）－	91
第78図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（4）－	87	第83図	府中市域出土宇瓦－武蔵台遺跡（4）－	92
第79図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（5）－	88	第84図	府中市域出土宇瓦－武蔵国分寺南西地区－	93
第80図	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡（6）、				

挿表目次

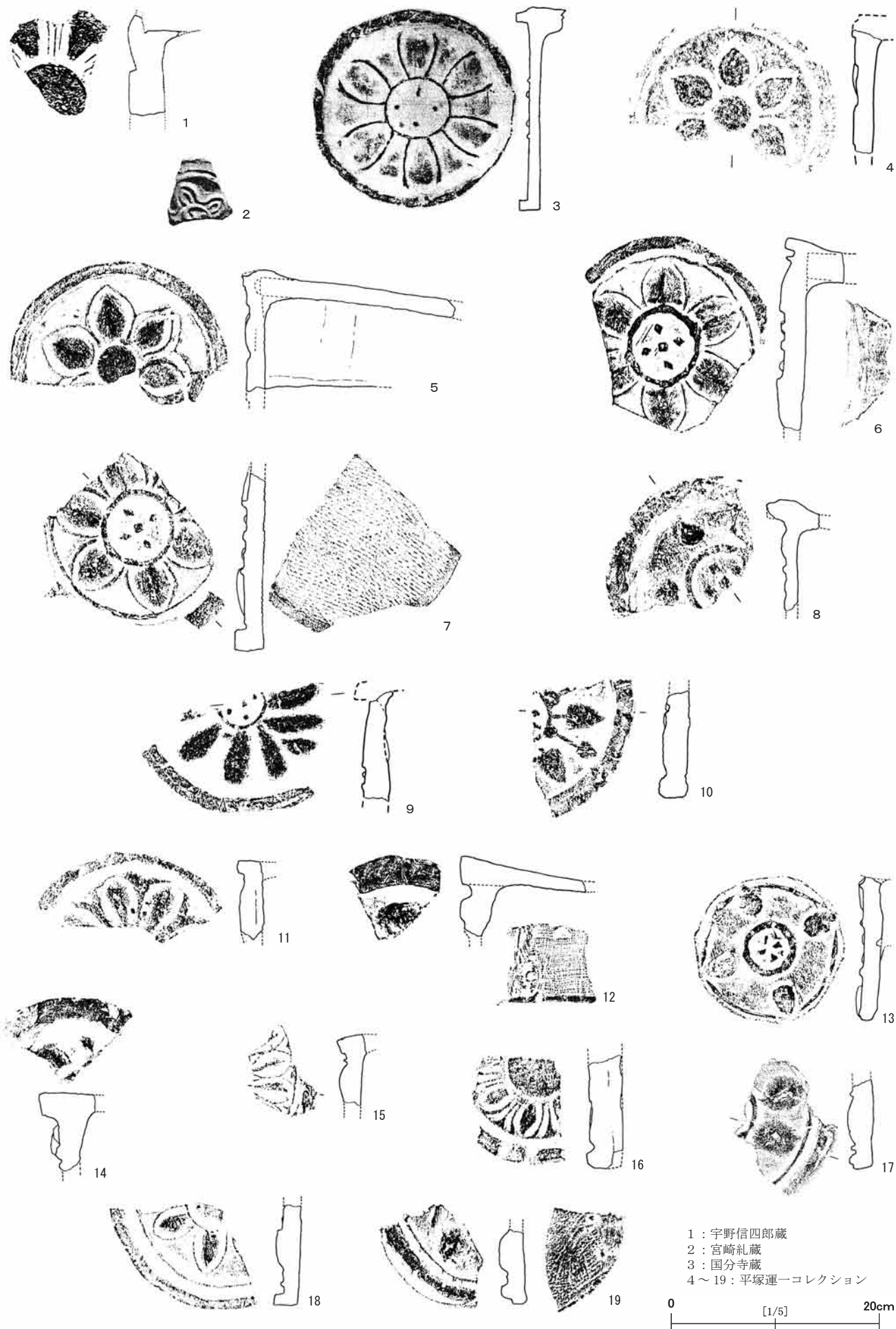
第1表	僧寺金堂跡採集鏡瓦【第3図】	94	第13表	僧寺講堂跡採集宇瓦【第35・36図】	116
第2表	僧寺講堂跡採集鏡瓦【第4～6図】	94	第14表	僧寺塔跡採集宇瓦【第37図】	118
第3表	僧寺塔跡採集鏡瓦【第6～9図】	96	第15表	僧寺僧坊跡採集宇瓦【第38図】	119
第4表	僧寺僧坊跡採集鏡瓦【第9・10図】	99	第16表	僧寺北方建物付近（中院・北院・薬師堂） 採集宇瓦【第39図】	120
第5表	僧寺北方建物付近（薬師堂・北院・中院）・ 鐘楼跡採集鏡瓦【第11図】	100	第17表	恋ヶ窪廃寺出土宇瓦【第37図】	121
第6表	尼寺採集・出土鏡瓦【第12図】 （※出土瓦は史跡整備に伴う伽藍中枢域の調査）	101	第18表	尼寺採集・出土宇瓦【第40～43図】	121
第7表	市内遺跡出土鏡瓦【第13～28図】	102	第19表	市内遺跡出土宇瓦【第44～74図】	123
第8表	府中市域出土鏡瓦－武蔵台遺跡－【第29図】	112	第20表	府中市域出土宇瓦－南方地区・栄町地区－ 【第74図】	141
第9表	府中市域出土鏡瓦－武蔵台東遺跡－ 【第30～32図】	112	第21表	府中市域出土宇瓦－武蔵台東遺跡－ 【第75～80図】	141
第10表	恋ヶ窪廃寺出土鏡瓦【第32図】	112	第22表	府中市域出土宇瓦－武蔵台遺跡－ 【第80～83図】	144
第11表	府中市域出土鏡瓦－武蔵国分寺関連遺跡 南西地区－【第33図】	114	第23表	府中市域出土宇瓦－武蔵国分寺関連遺跡 南西地区－【第84図】	145
第12表	僧寺金堂跡採集宇瓦【第34図】	115			



第1図 武蔵国分寺跡(武蔵国分寺関連遺跡)における鏡瓦・宇瓦の出土地点



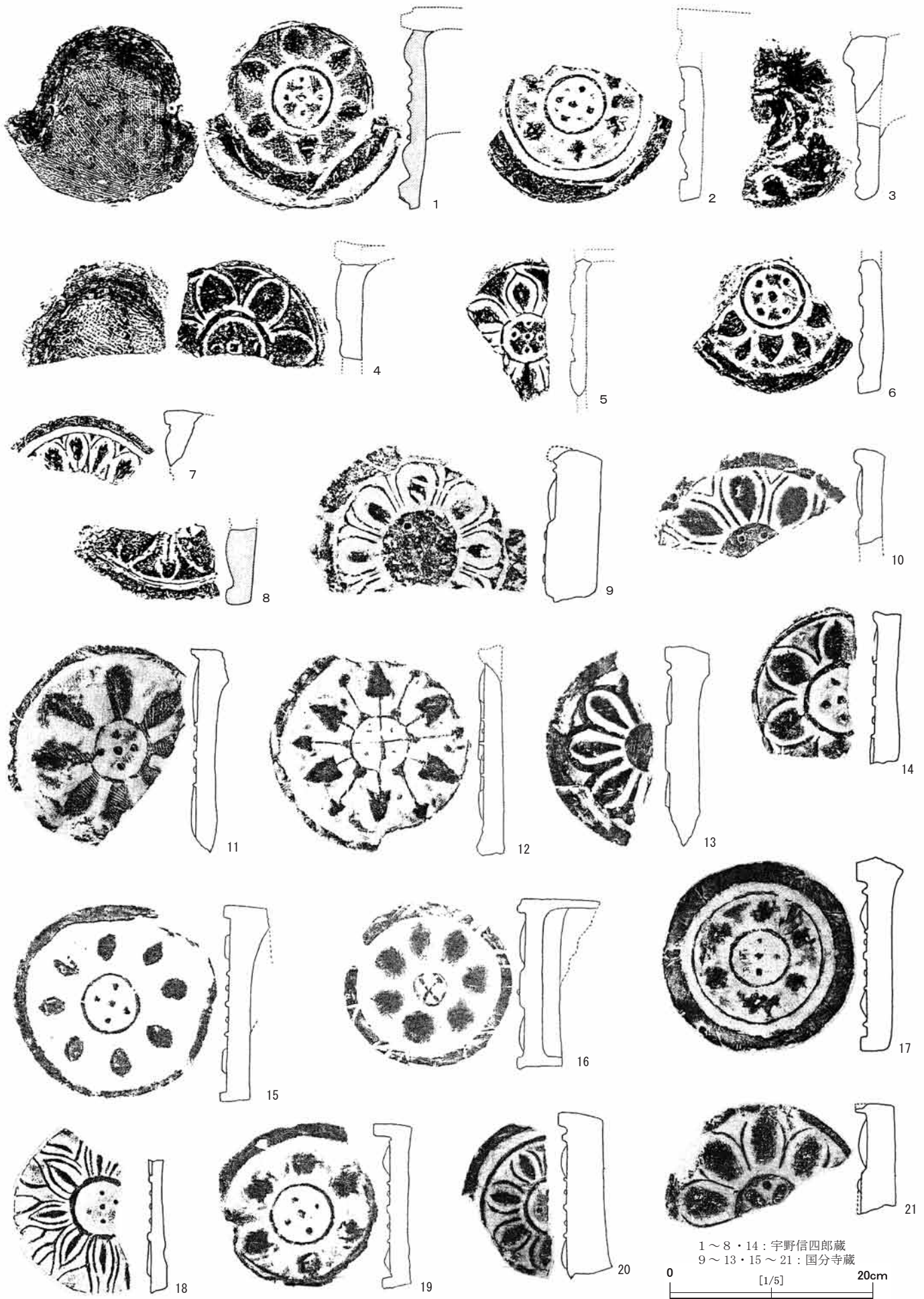
第 2 図 尼寺周辺地区における鏡瓦・宇瓦出土調査地点



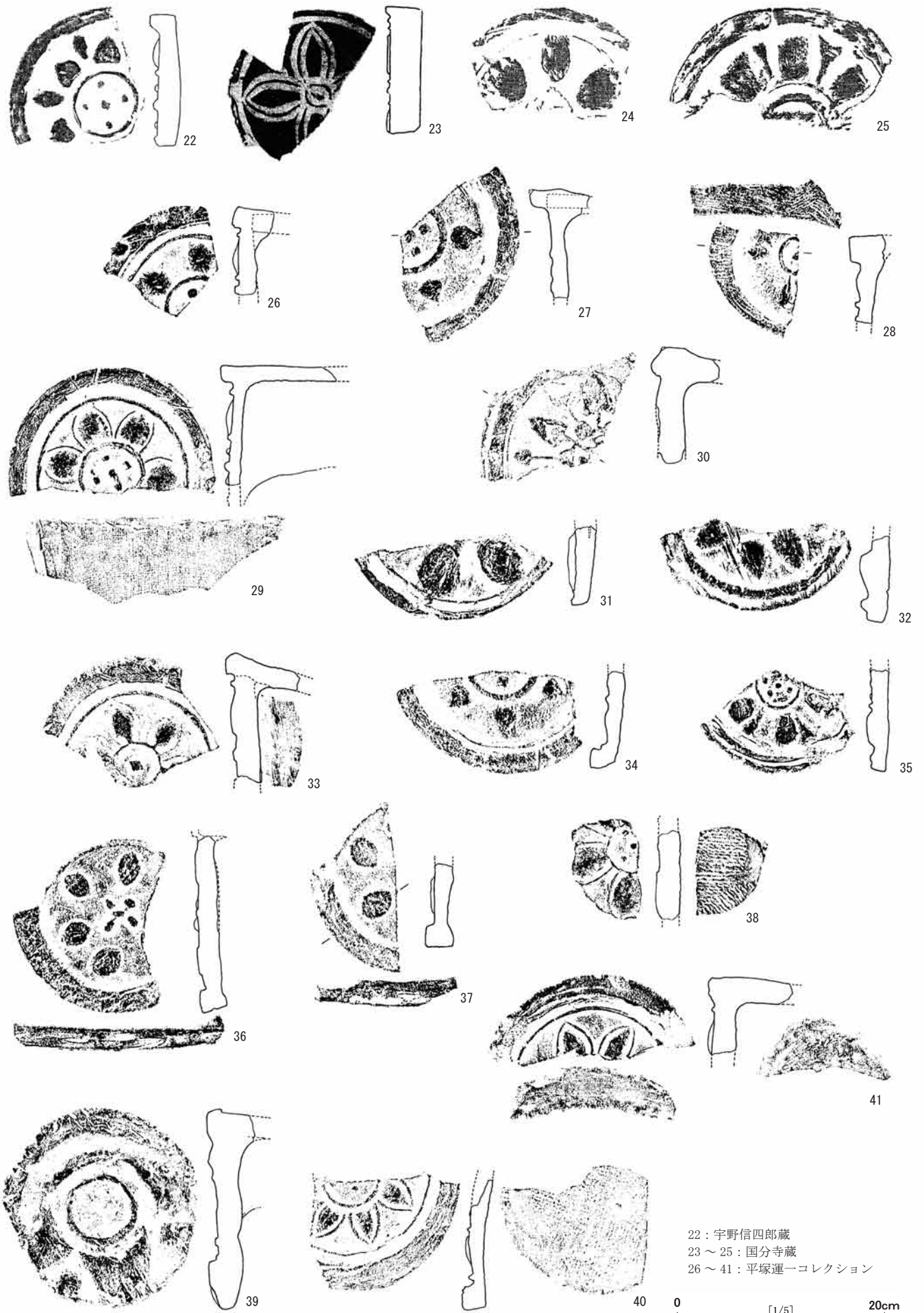
- 1 : 宇野信四郎蔵
- 2 : 宮崎紘蔵
- 3 : 国分寺蔵
- 4 ~ 19 : 平塚運一コレクション

0 [1/5] 20cm

第3図 僧寺金堂跡採集鏡瓦



第4図 僧寺講堂跡採集鏡瓦(1)

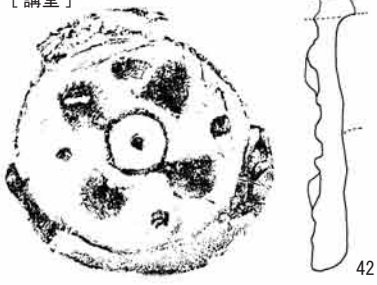


22 : 宇野信四郎蔵
 23 ~ 25 : 国分寺蔵
 26 ~ 41 : 平塚運一コレクション

0 [1/5] 20cm

第5図 僧寺講堂跡採集鏡瓦(2)

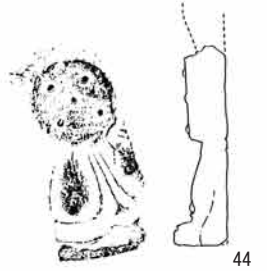
[講堂]



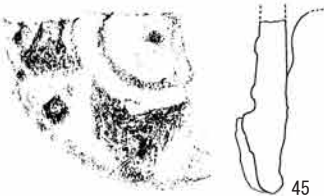
42



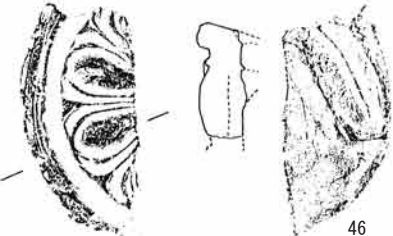
43



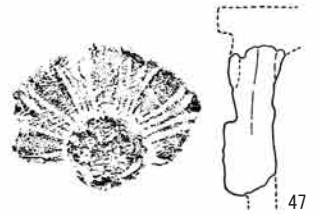
44



45



46



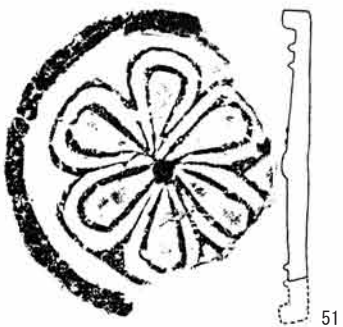
47



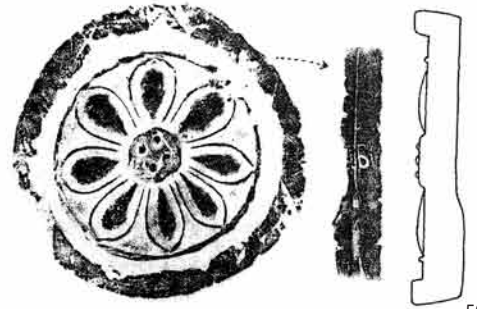
48



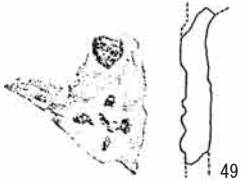
49



50

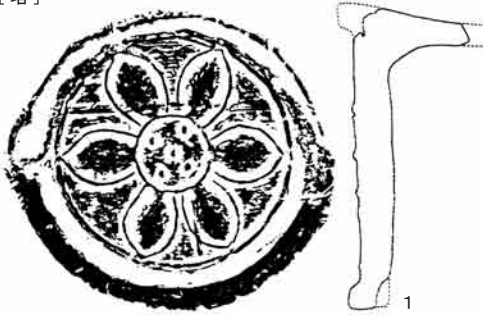


51

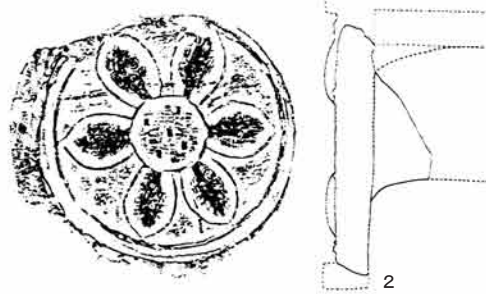


52

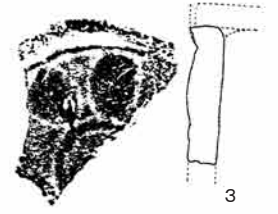
[塔]



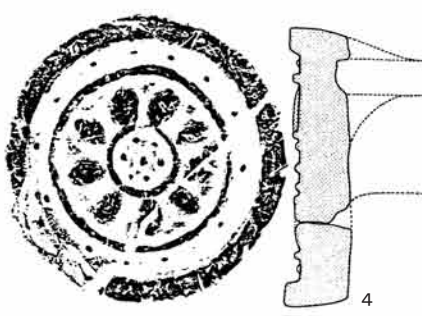
1



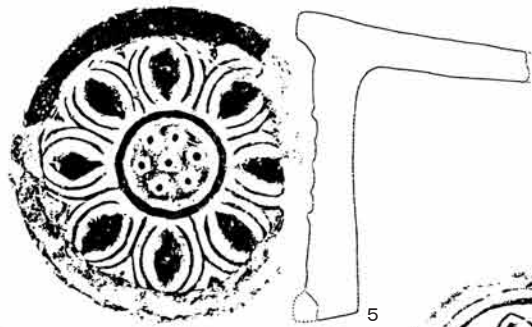
2



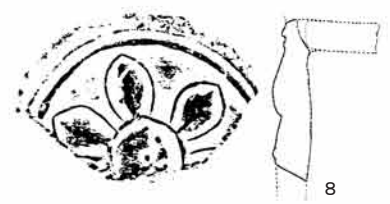
3



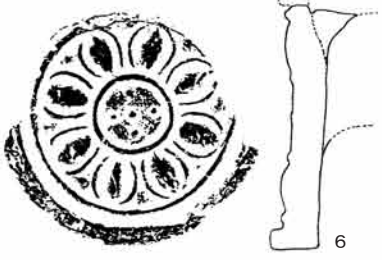
4



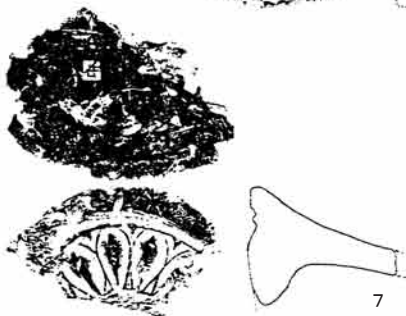
5



6

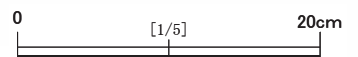


7

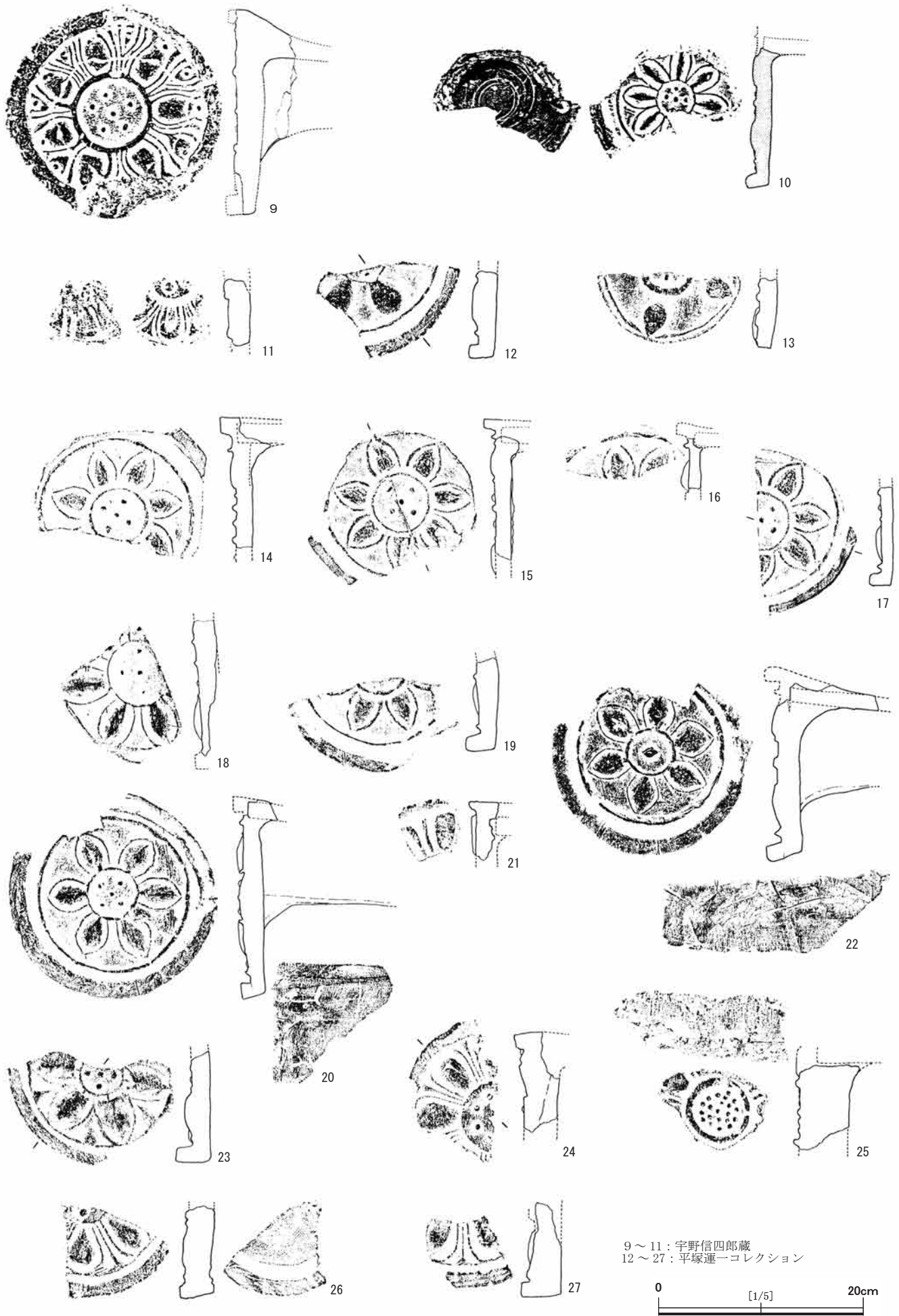


8

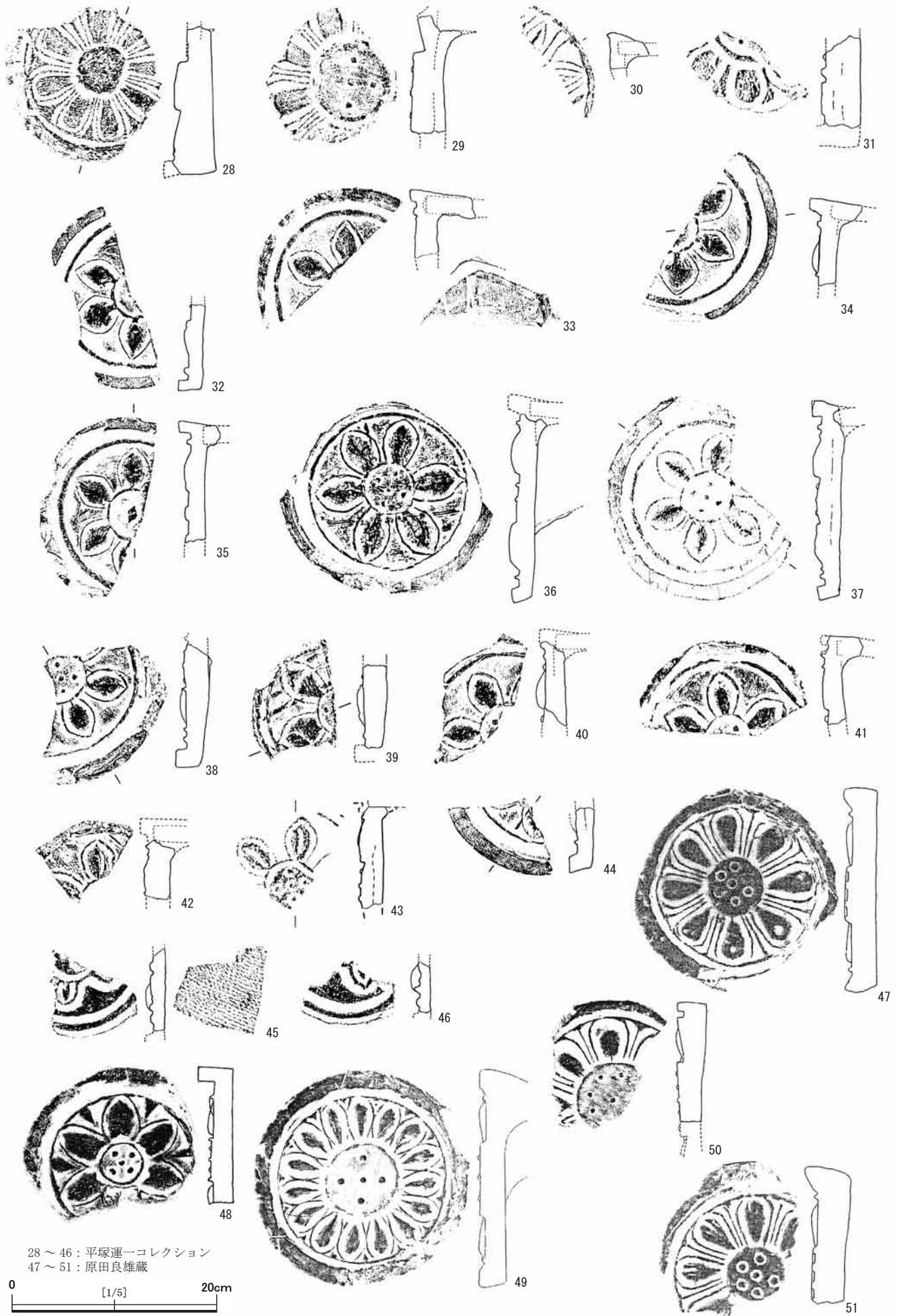
[講堂]42～52：平塚運一コレクション
[塔]1～8：宇野信四郎蔵



第6図 僧寺講堂跡採集鏡瓦（3）・僧寺塔跡採集鏡瓦（1）

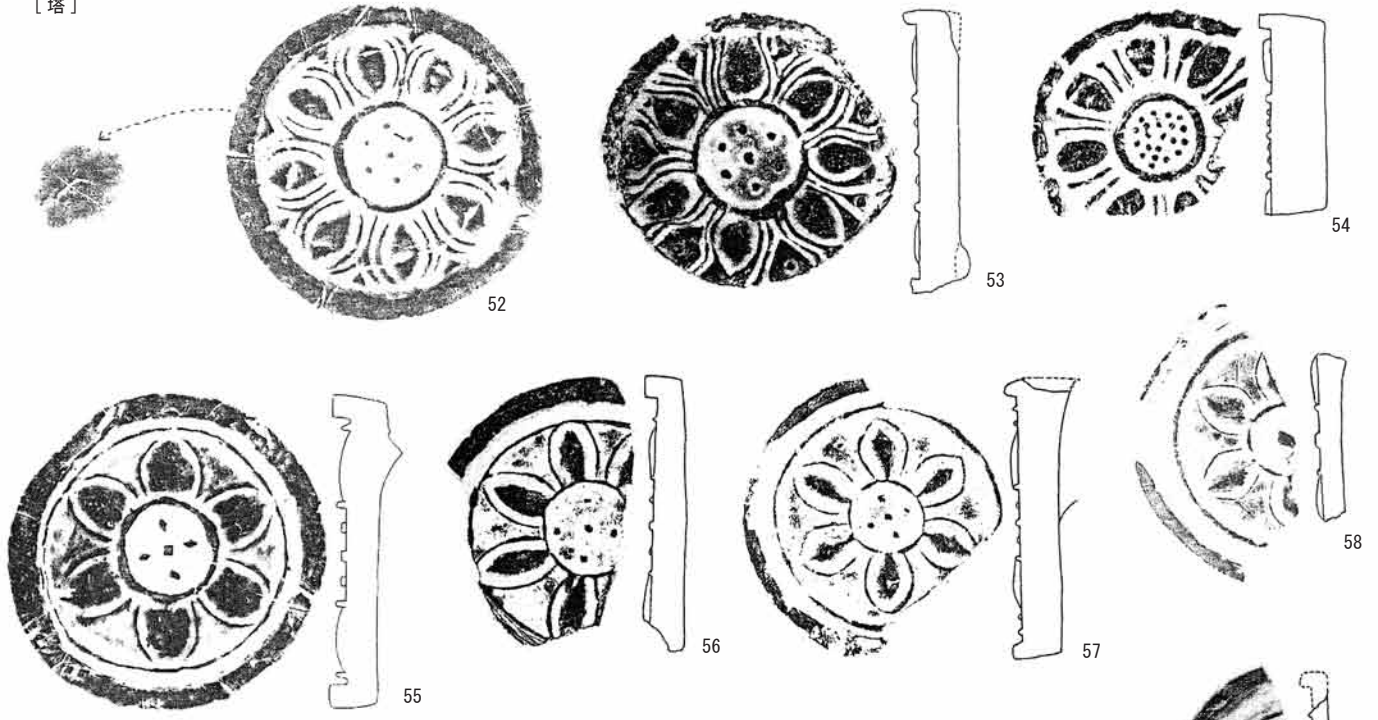


第7図 僧寺塔跡採集鏡瓦(2)

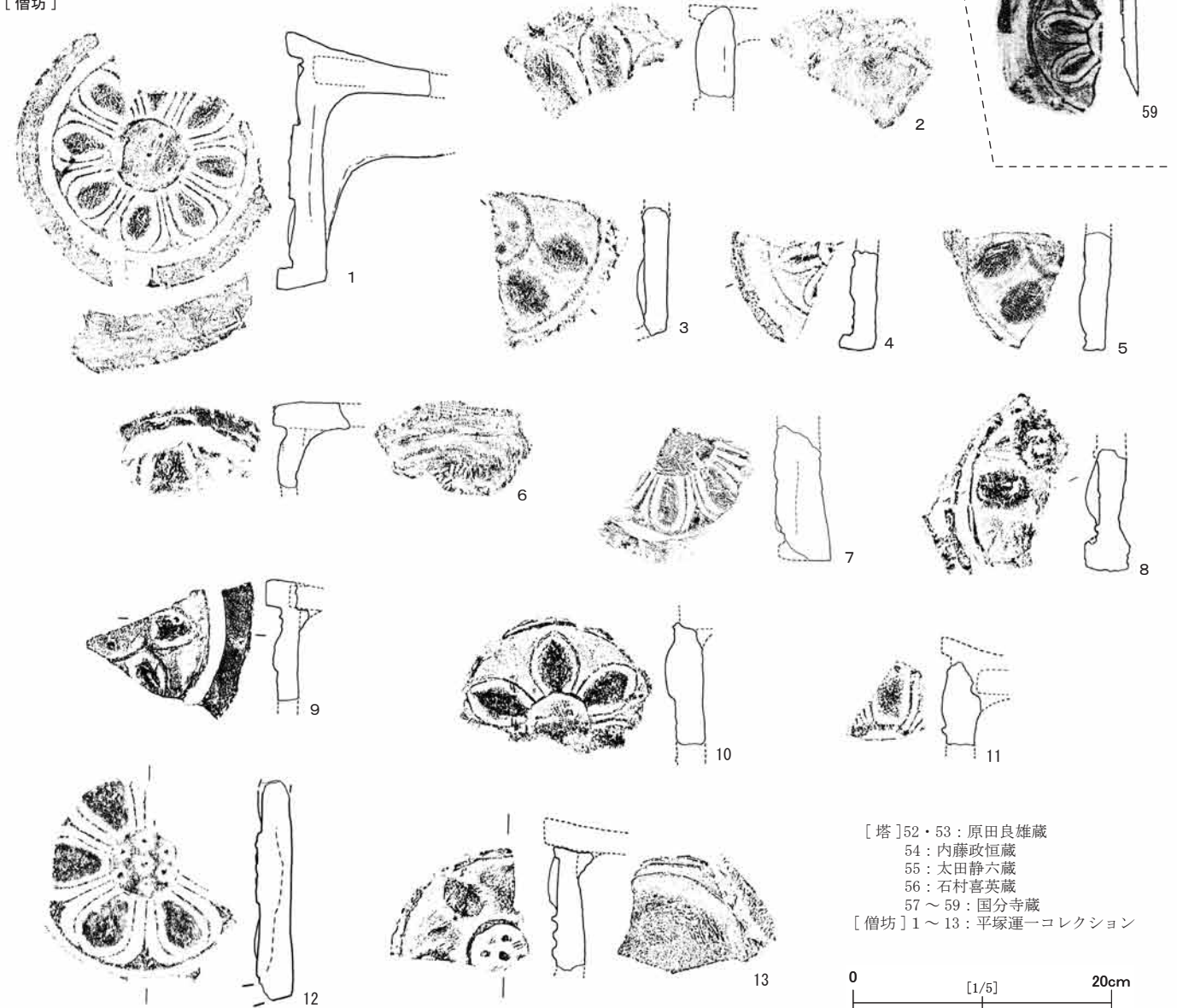


第8図 僧寺塔跡採集鏡瓦(3)

[塔]



[僧坊]



[塔] 52・53：原田良雄蔵
 54：内藤政恒蔵
 55：太田静六蔵
 56：石村喜英蔵
 57～59：国分寺蔵
 [僧坊] 1～13：平塚運一コレクション

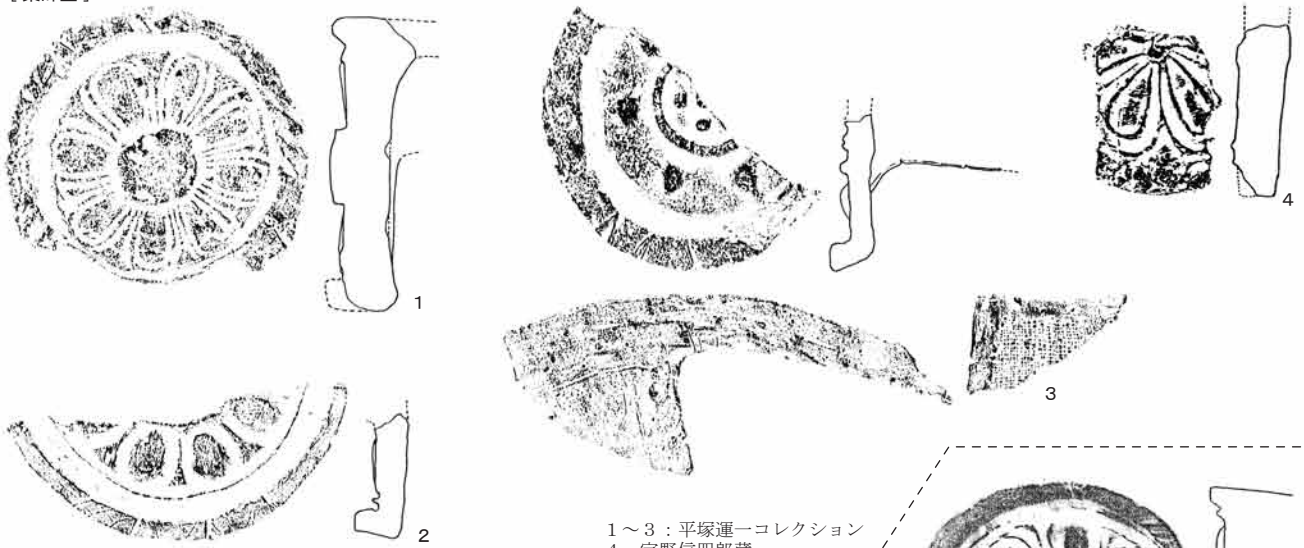
0 [1/5] 20cm

第9図 僧寺塔跡採集鐙瓦(4)・僧寺僧坊跡採集鐙瓦(1)



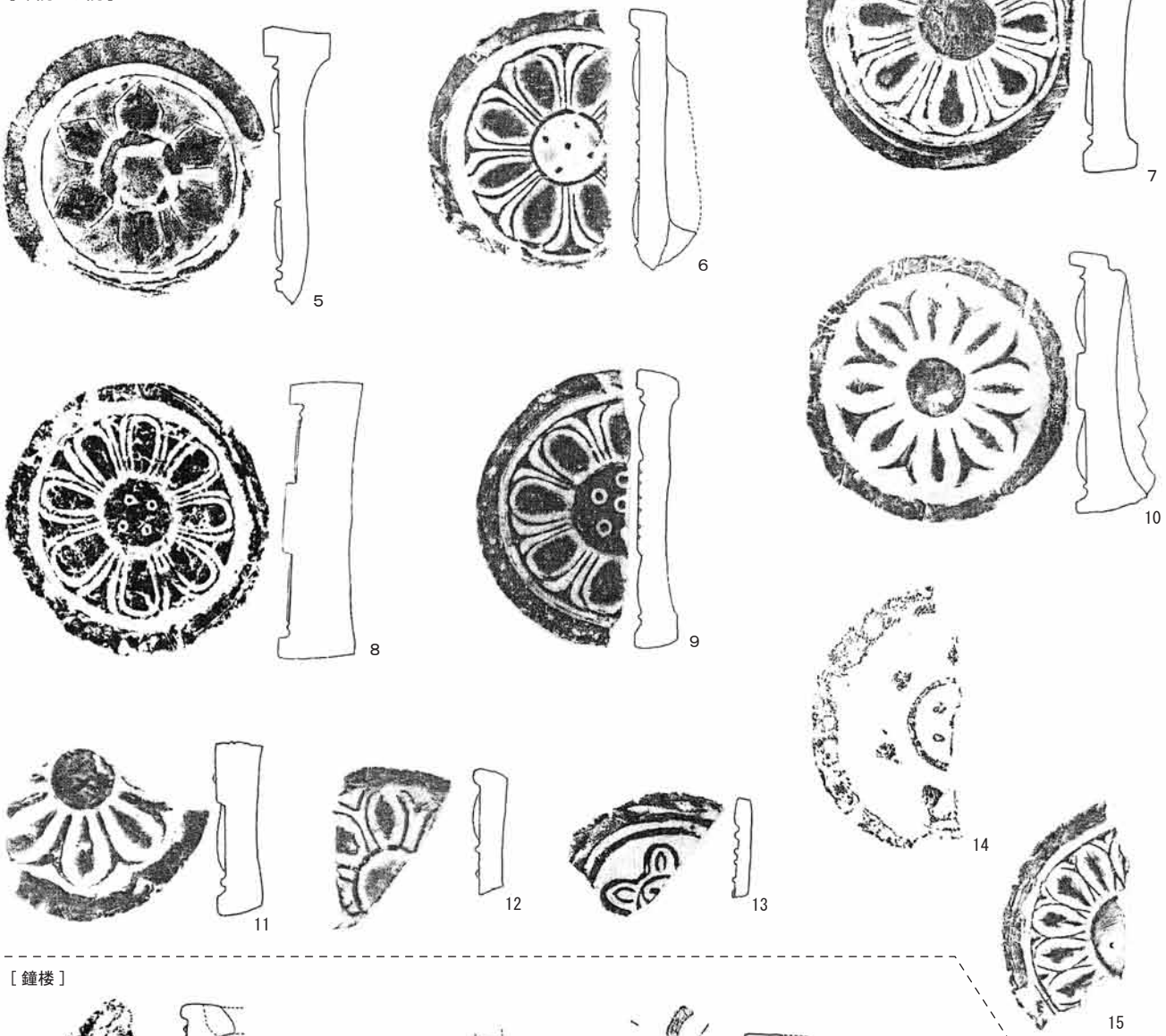
第10図 僧寺僧坊跡採集鏡瓦(2)

[薬師堂]



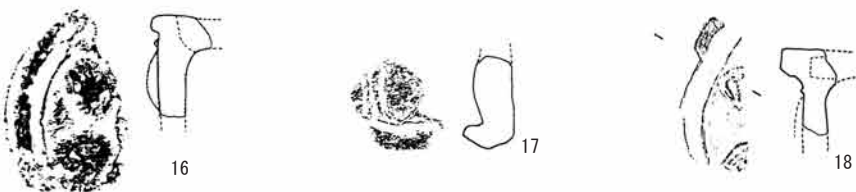
1～3：平塚運一コレクション
4：宇野信四郎蔵

[中院・北院]



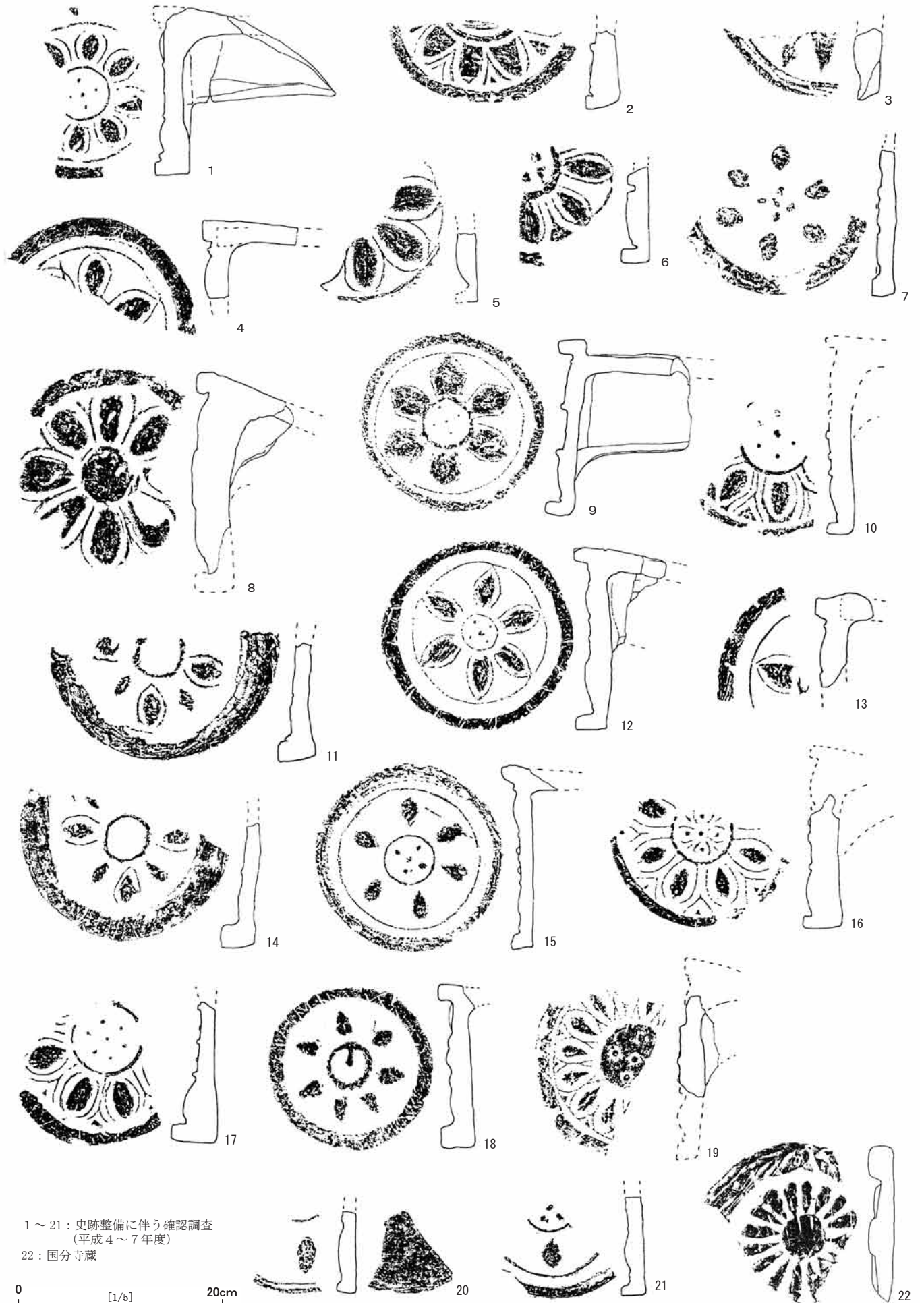
5～12・15：国分寺蔵
13：織戸市郎蔵 16：宇野信四郎蔵
14・17・18：平塚運一コレクション

[鐘楼]

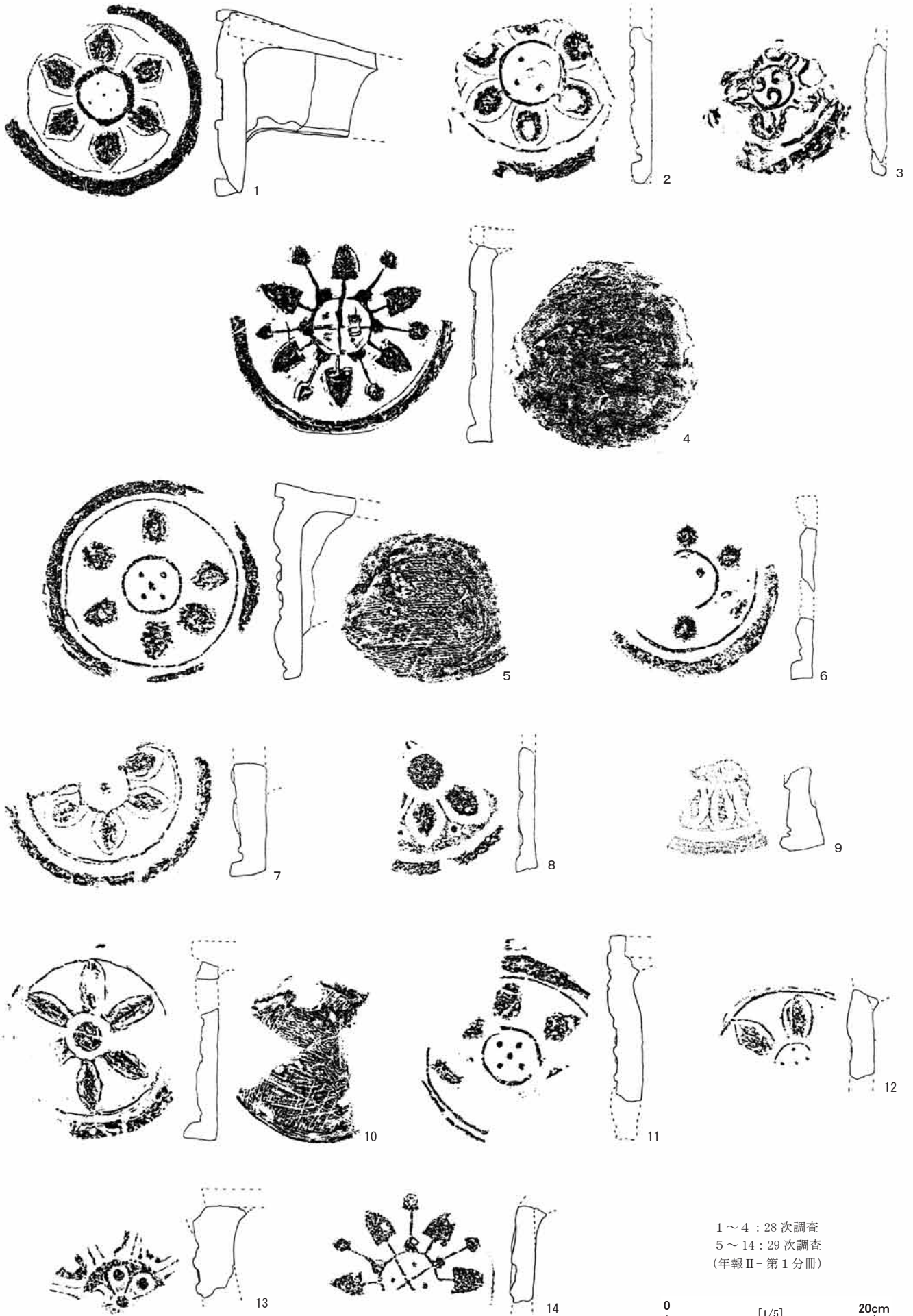


0 [1/5] 20cm

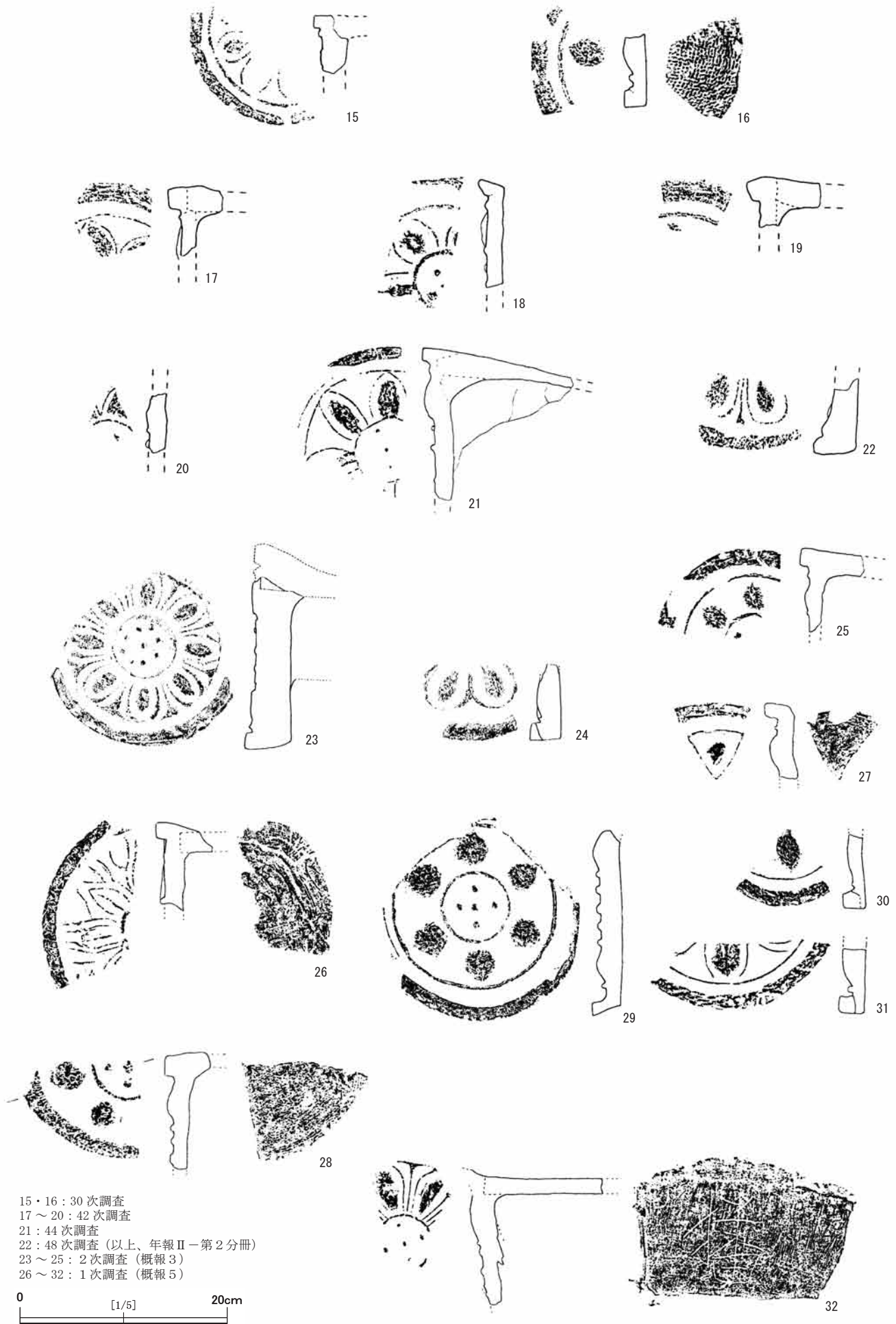
第11図 僧寺北方建物付近（薬師堂・北院・中院等）・鐘楼跡採集鐙瓦



第12図 尼寺跡出土・採集鏡瓦

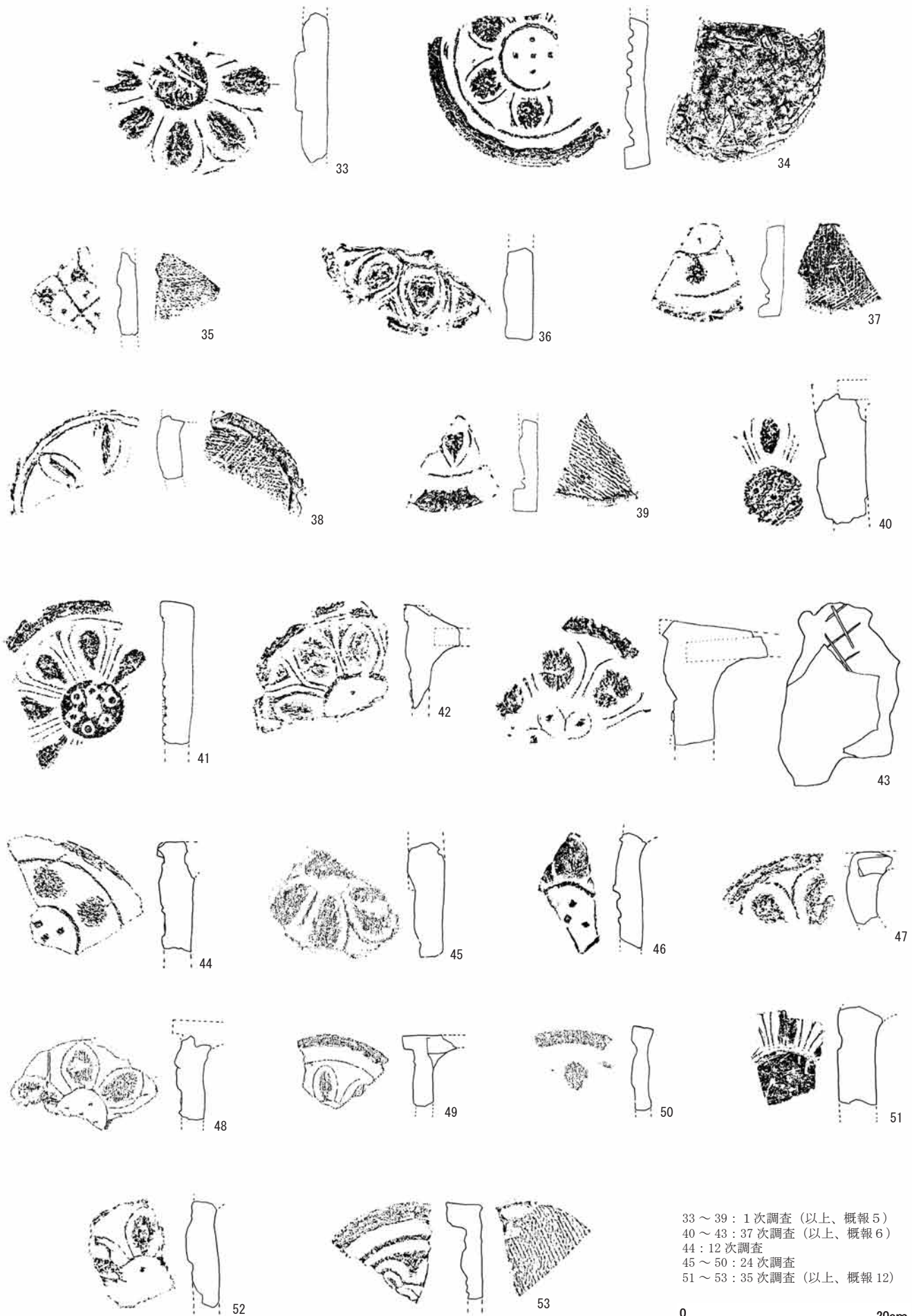


第 13 図 市内遺跡出土鏡瓦 (1)

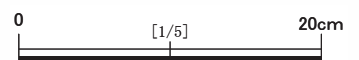


15・16：30次調査
 17～20：42次調査
 21：44次調査
 22：48次調査（以上、年報Ⅱ－第2分冊）
 23～25：2次調査（概報3）
 26～32：1次調査（概報5）

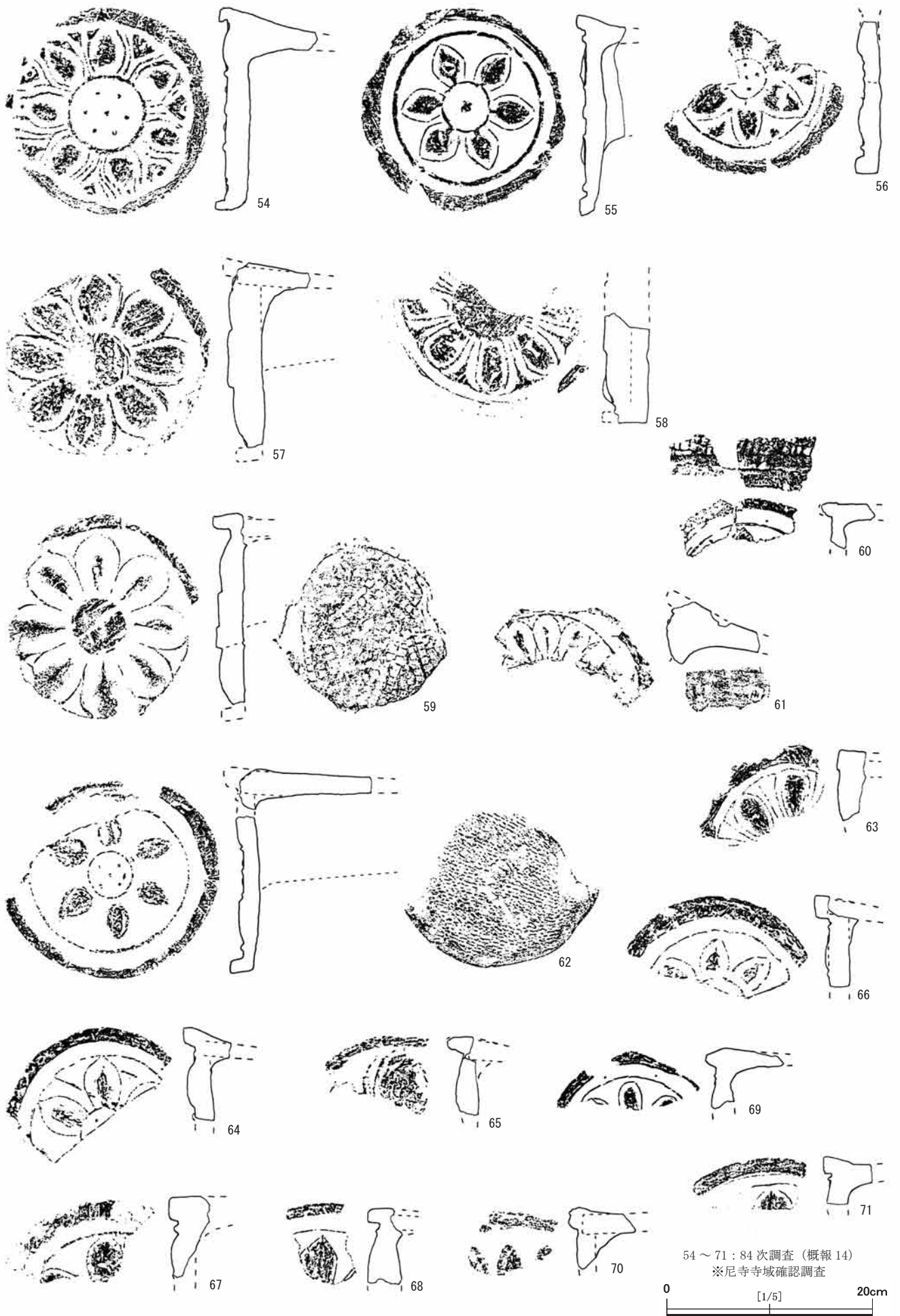
第14図 市内遺跡出土鏡瓦（2）



33 ~ 39 : 1次調査 (以上、概報 5)
 40 ~ 43 : 37次調査 (以上、概報 6)
 44 : 12次調査
 45 ~ 50 : 24次調査
 51 ~ 53 : 35次調査 (以上、概報 12)

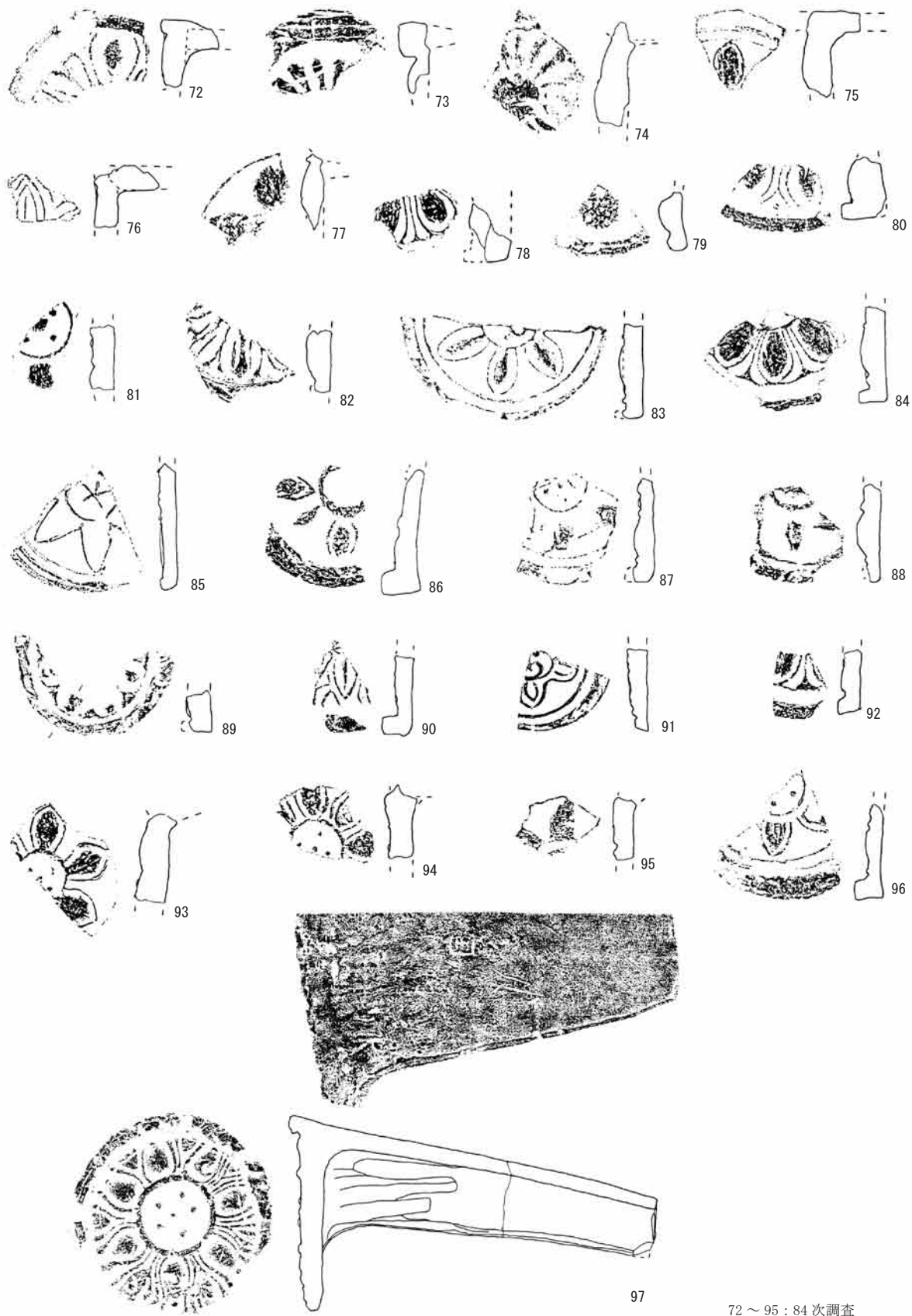


第 15 図 市内遺跡出土鏡瓦 (3)

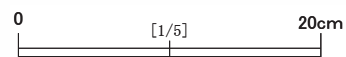


54～71：84次調査（概報14）
 ※尼寺寺域確認調査

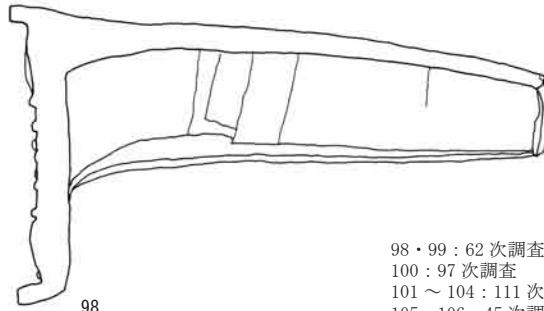
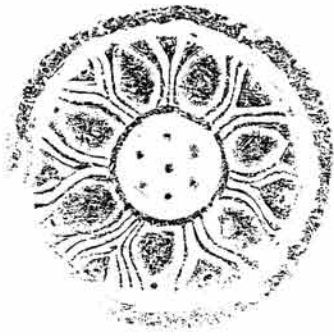
第16図 市内遺跡出土鏡瓦（4）



72 ~ 95 : 84 次調査
 96 : 85 次調査
 97 : 62 次調査 (以上、概報 14)
 ※尼寺寺域確認調査

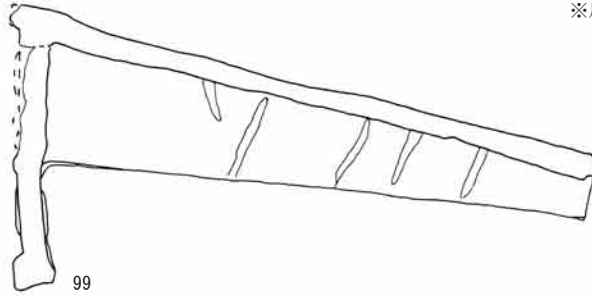
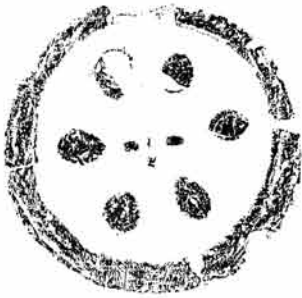


第 17 図 市内遺跡出土鐙瓦 (5)



98

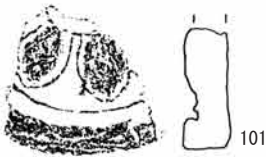
98・99：62次調査
 100：97次調査
 101～104：111次調査
 105・106：45次調査
 107～109：60次調査
 110：155次調査
 (以上、概報14)
 ※尼寺寺域確認調査



99



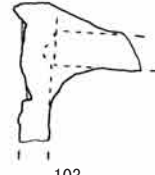
100



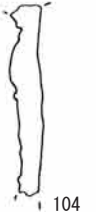
101



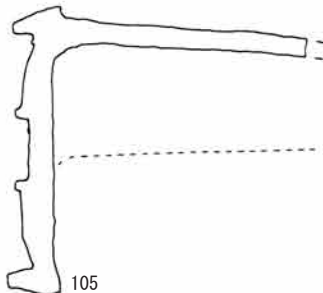
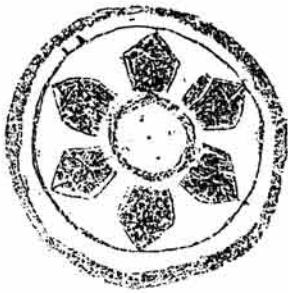
102



103



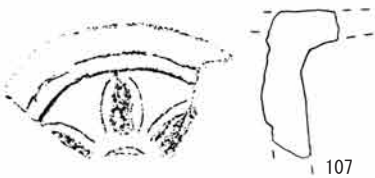
104



105



106



107



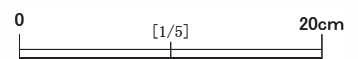
108



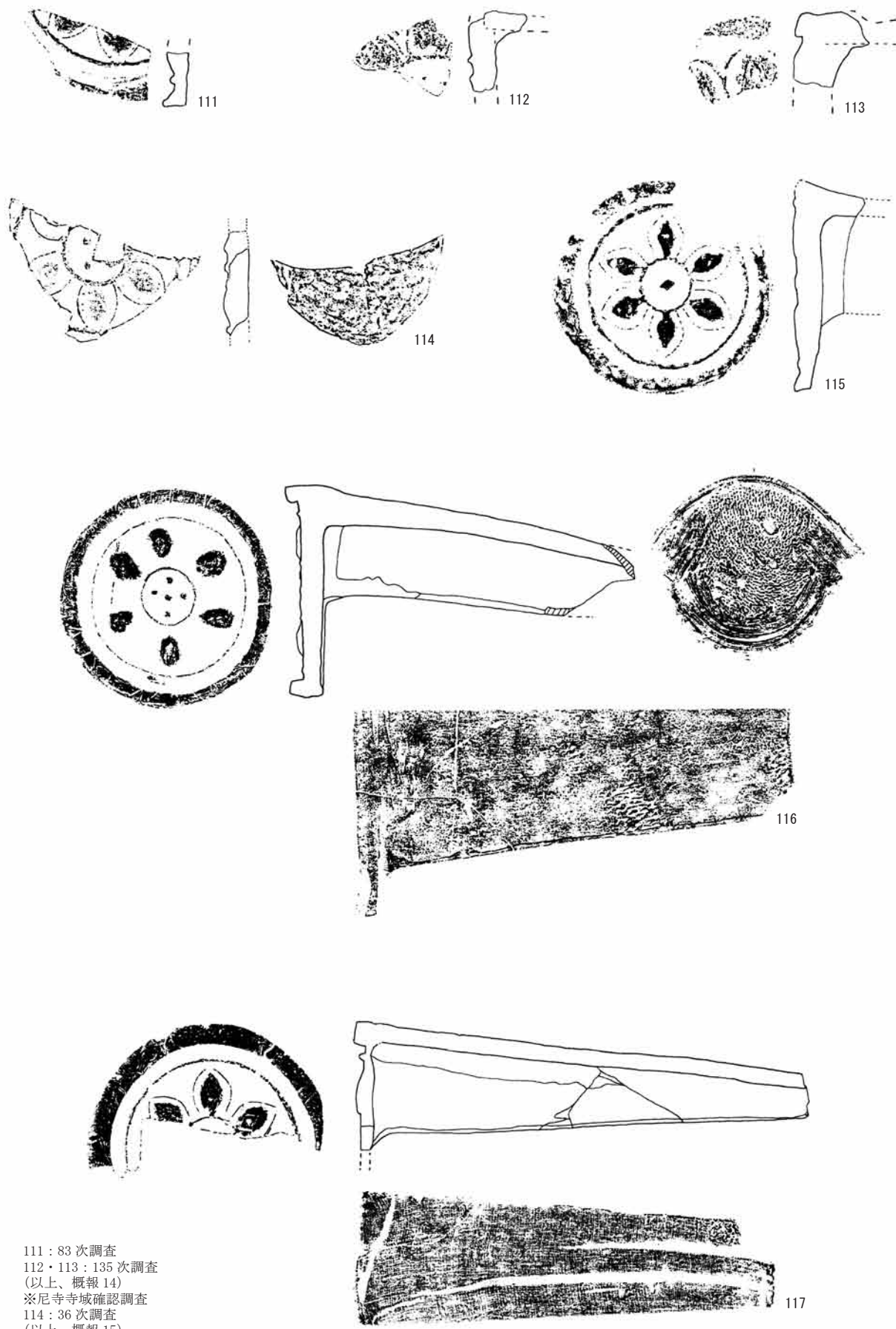
110



109



第18図 市内遺跡出土鏡瓦(6)

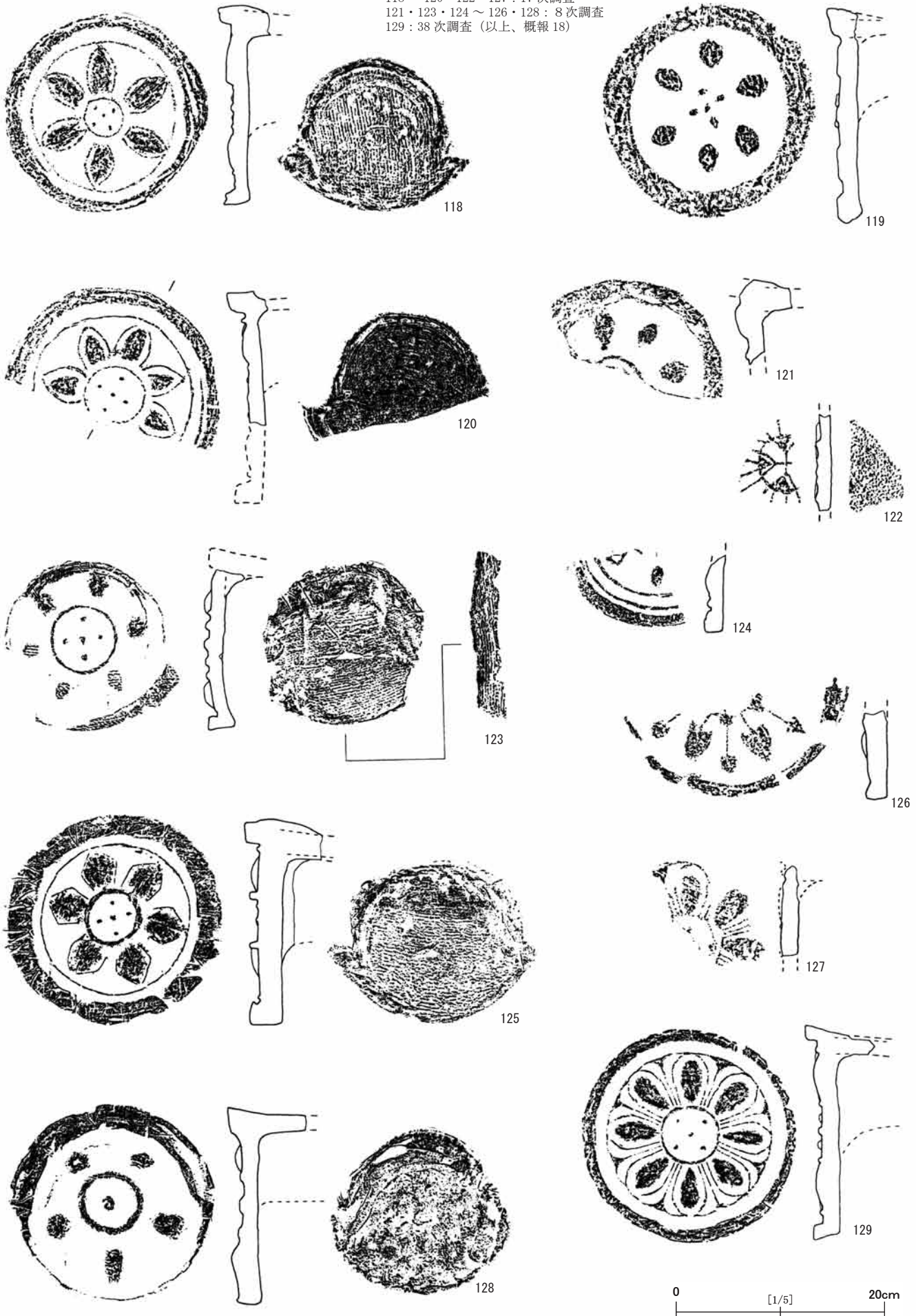


111 : 83 次調査
 112・113 : 135 次調査
 (以上、概報 14)
 ※尼寺寺域確認調査
 114 : 36 次調査
 (以上、概報 15)
 115 ~ 117 : 344 次調査
 (以上、概報 17)

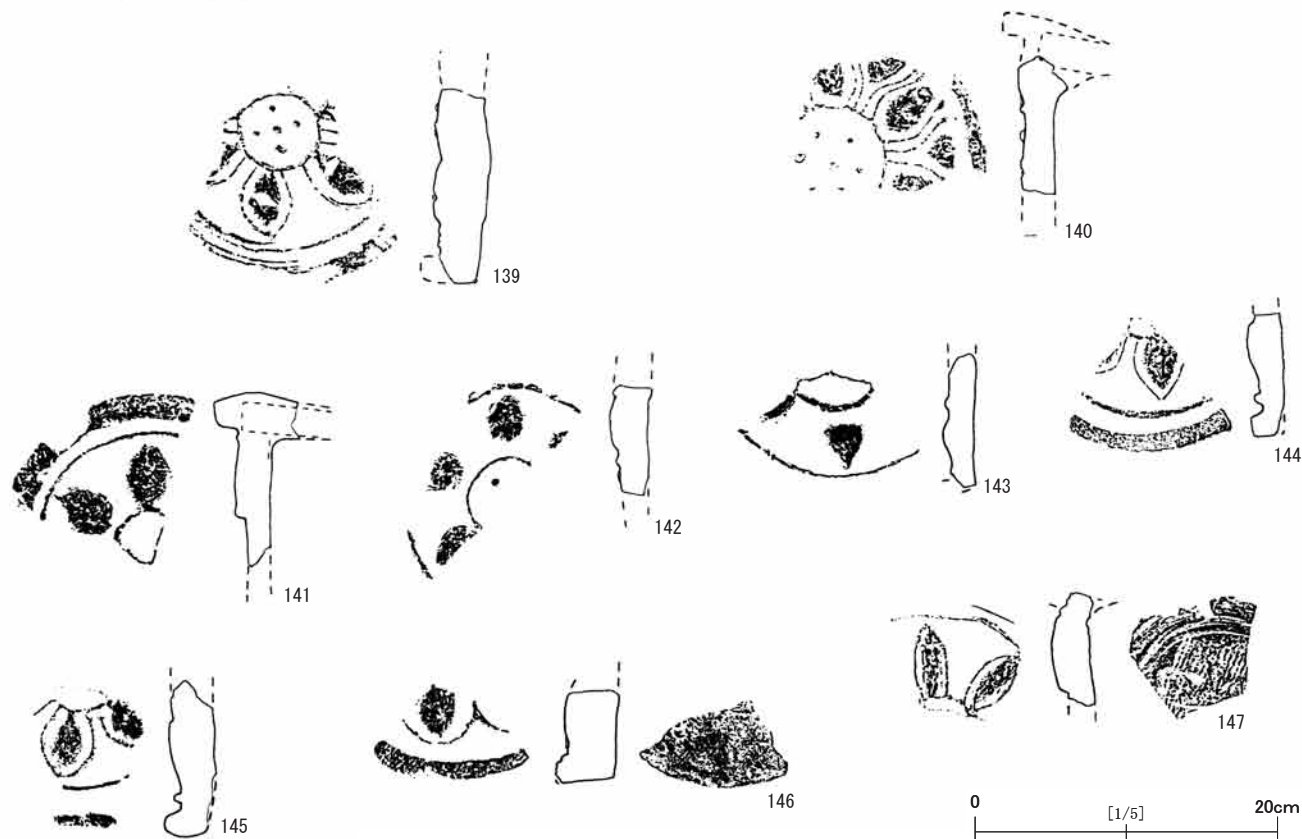
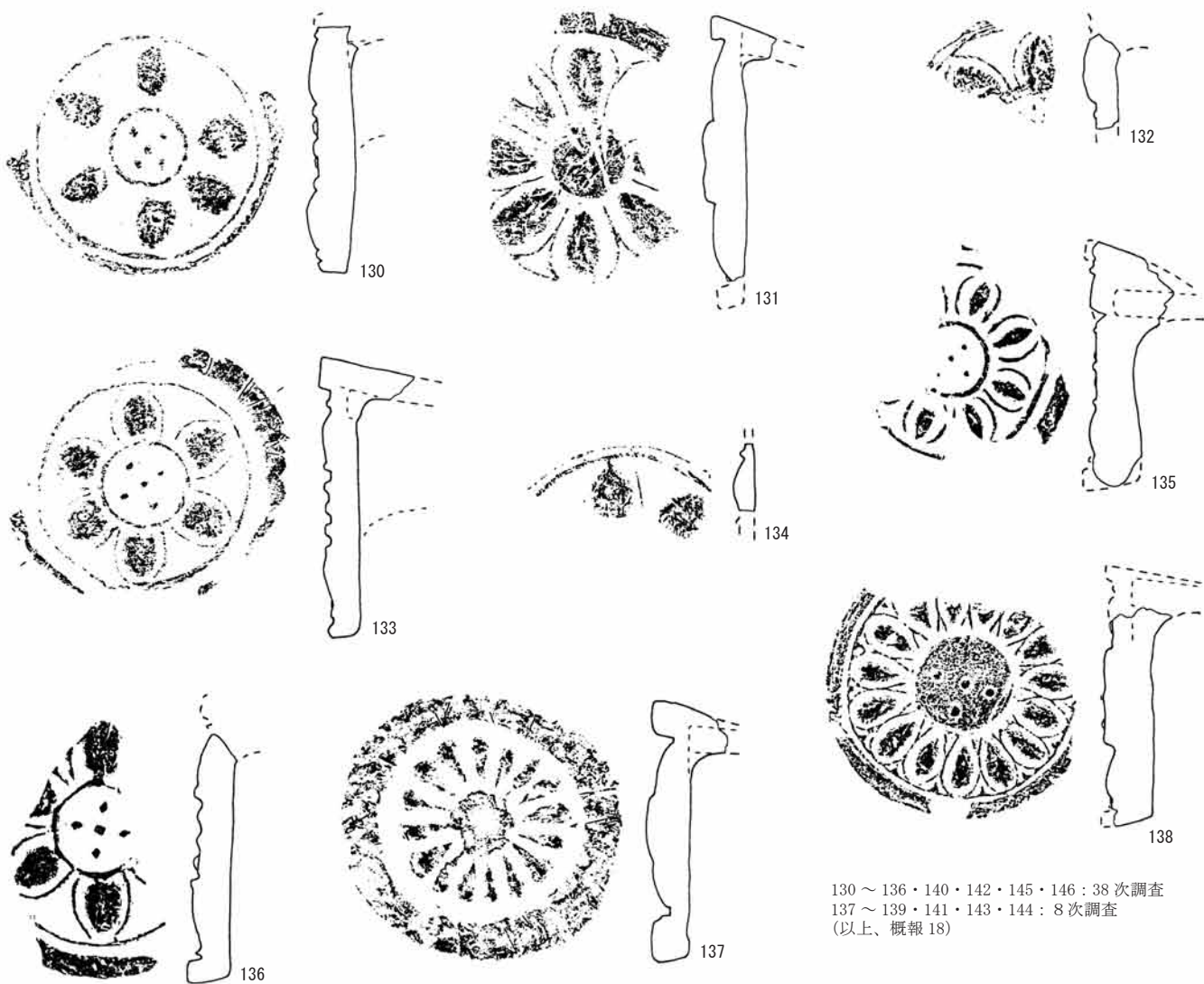


第 19 図 市内遺跡出土鏡瓦 (7)

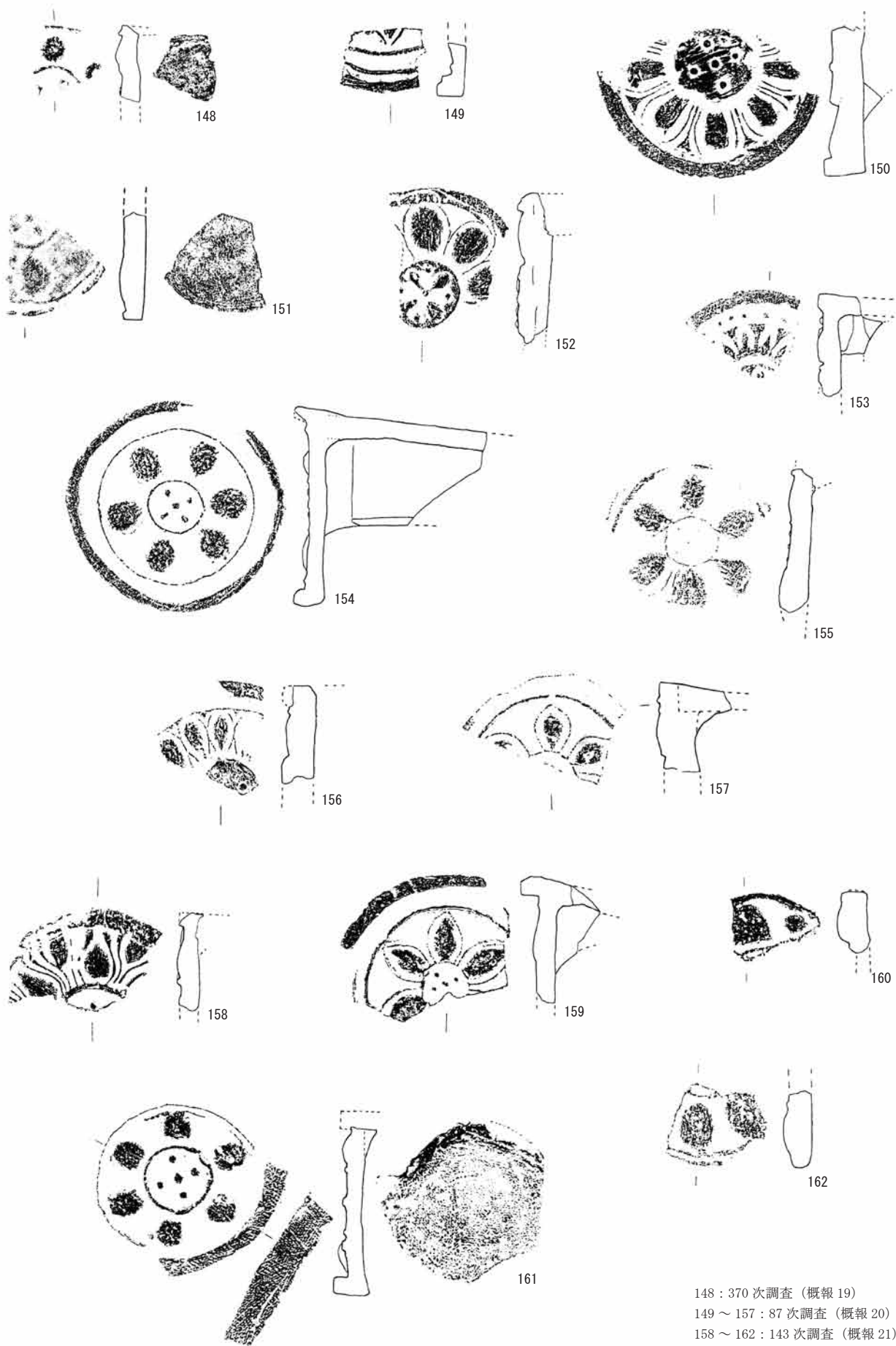
118 ~ 120 · 122 · 127 : 17 次調査
 121 · 123 · 124 ~ 126 · 128 : 8 次調査
 129 : 38 次調査 (以上、概報 18)



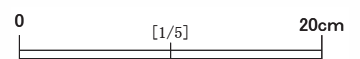
第 20 図 市内遺跡出土鏡瓦 (8)



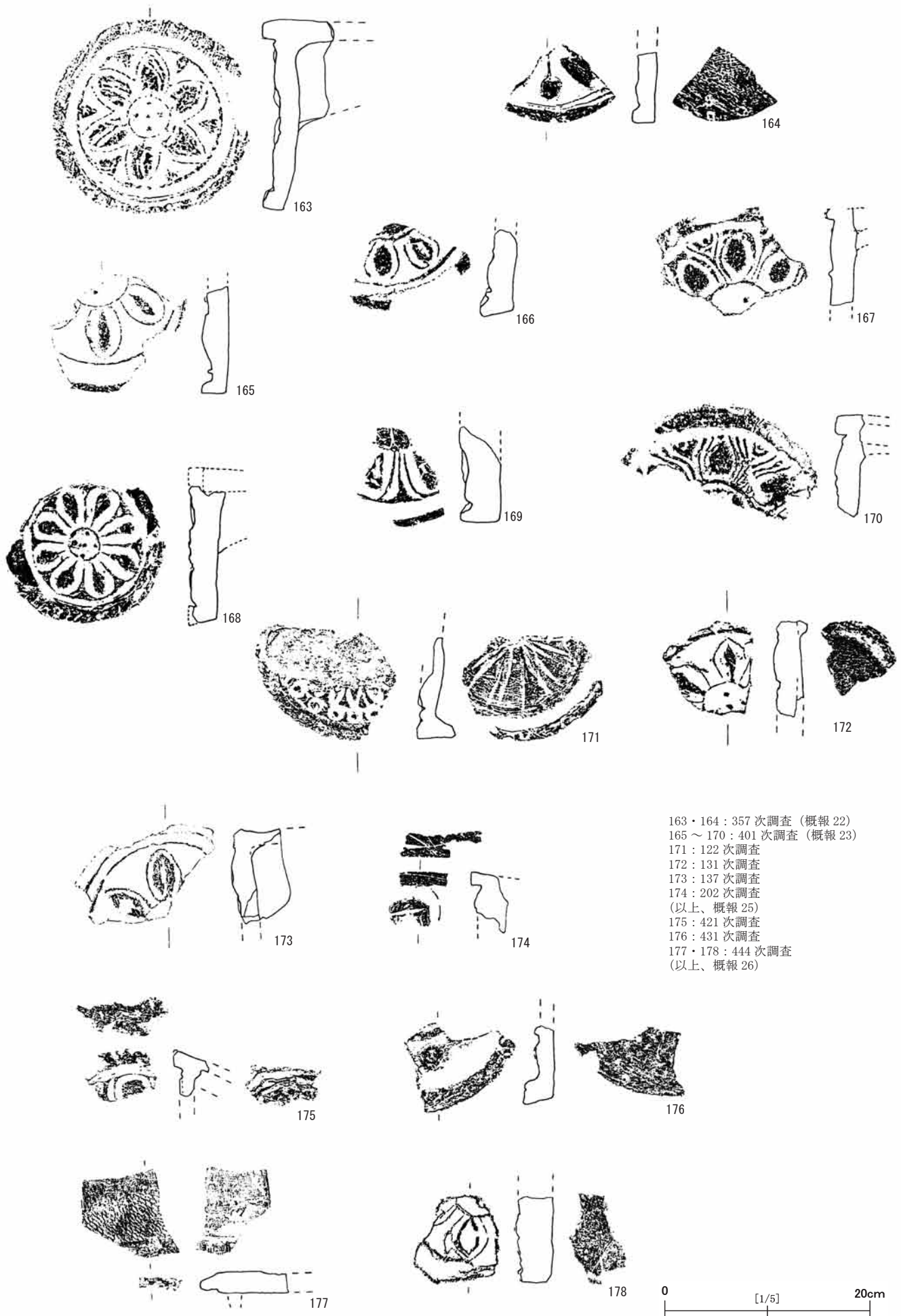
第 21 図 市内遺跡出土鏡瓦 (9)



148 : 370 次調査 (概報 19)
 149 ~ 157 : 87 次調査 (概報 20)
 158 ~ 162 : 143 次調査 (概報 21)

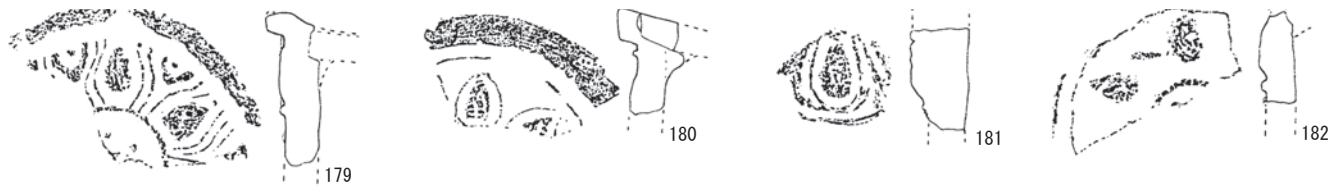


第 22 図 市内遺跡出土鏡瓦 (10)

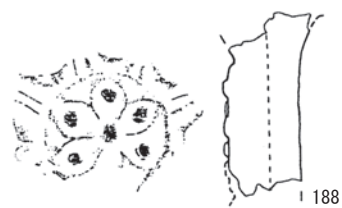


163・164 : 357 次調査 (概報 22)
 165 ~ 170 : 401 次調査 (概報 23)
 171 : 122 次調査
 172 : 131 次調査
 173 : 137 次調査
 174 : 202 次調査
 (以上、概報 25)
 175 : 421 次調査
 176 : 431 次調査
 177・178 : 444 次調査
 (以上、概報 26)

第 23 図 市内遺跡出土鐙瓦 (11)



179 ~ 184 : 68 次調査
 (以上、概報 27)
 185 ~ 186 : 251 次調査
 (以上、概報 28)



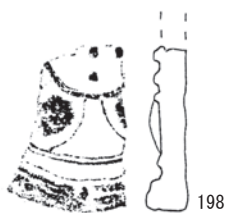
187 ~ 189 : 476 次調査
 190 : 500 次調査
 191 ~ 192 : 506 次調査
 (以上、概報 29)



193 : 574 次調査
 194 : 569 次調査
 (以上、概報 33)

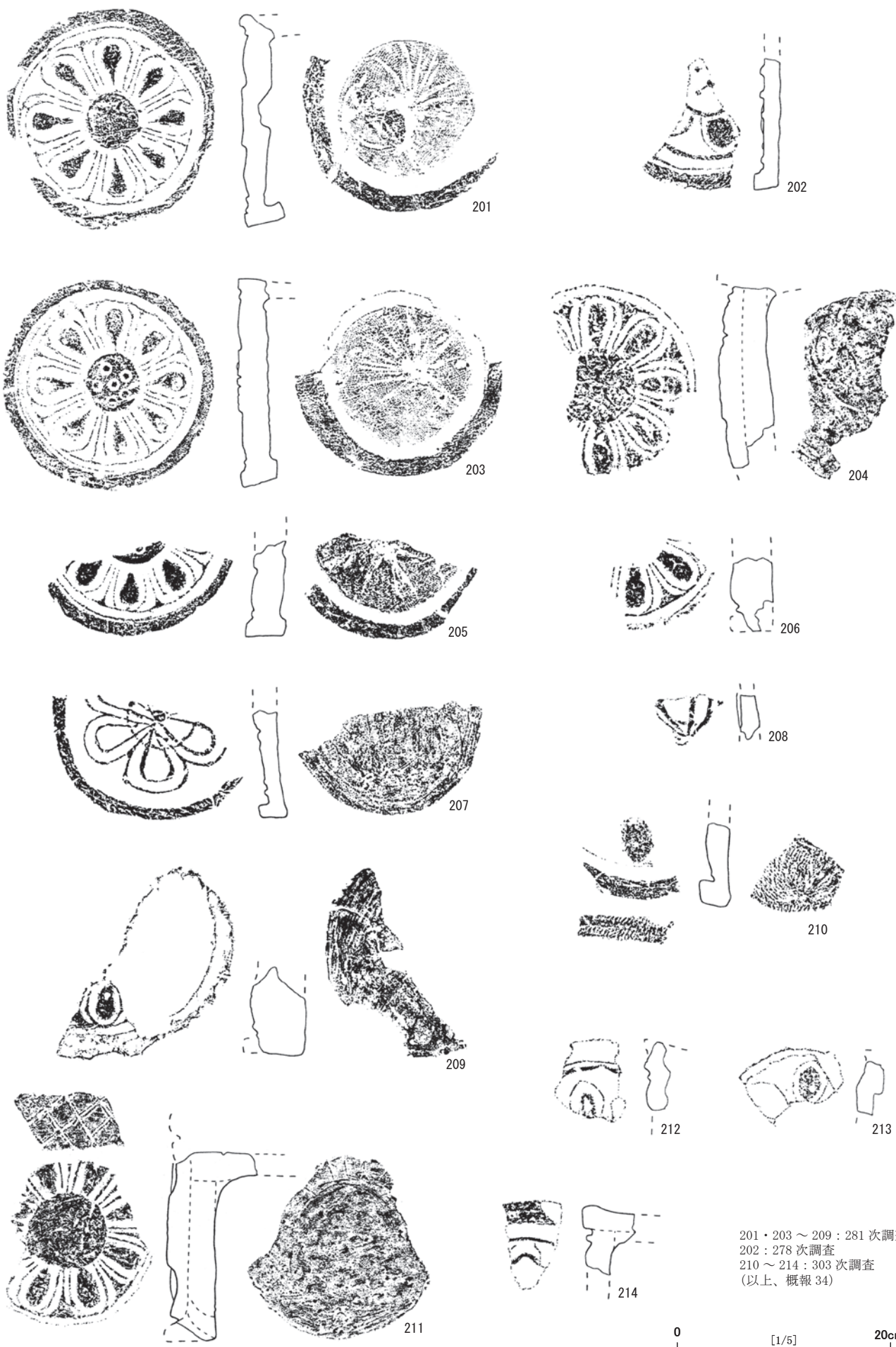


195 ~ 196 : 19 次調査
 197 : 117 次調査
 198 : 213 次調査
 199 : 263 次調査
 200 : 303 次調査
 (以上、概報 34)



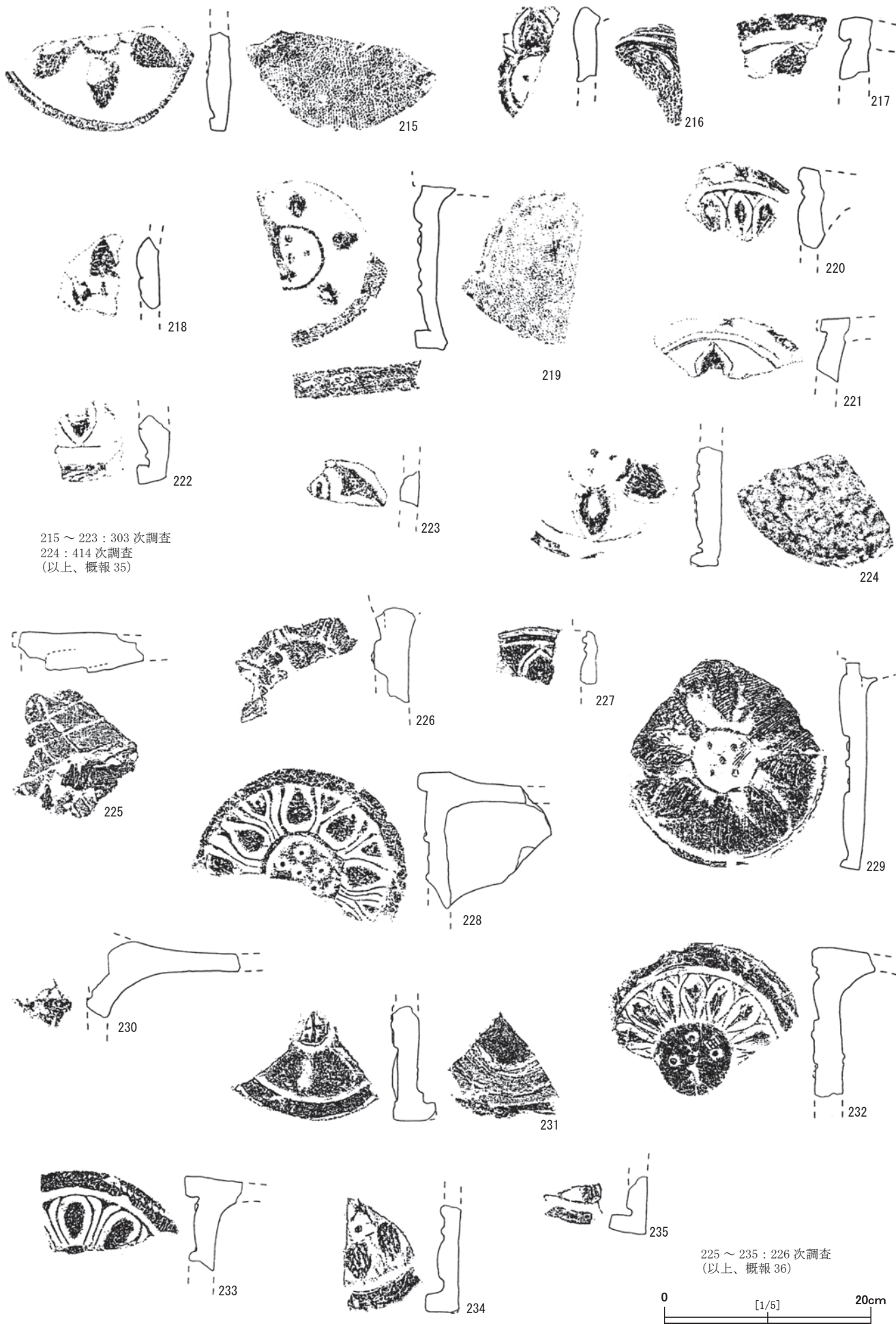
0 [1/5] 20cm

第 24 図 市内遺跡出土鐙瓦 (12)

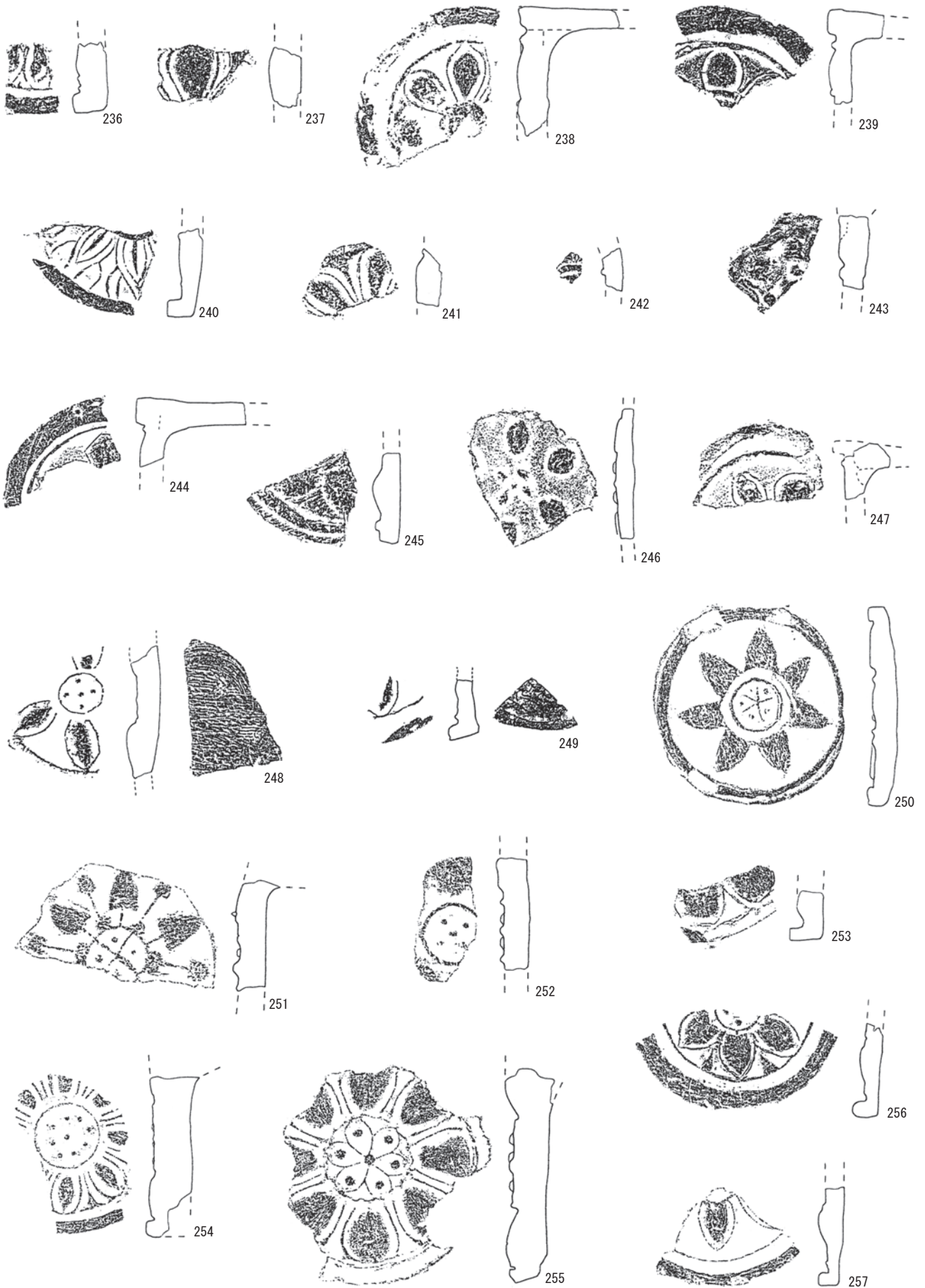


201・203～209：281次調査
 202：278次調査
 210～214：303次調査
 (以上、概報34)

第25図 市内遺跡出土鏡瓦(13)



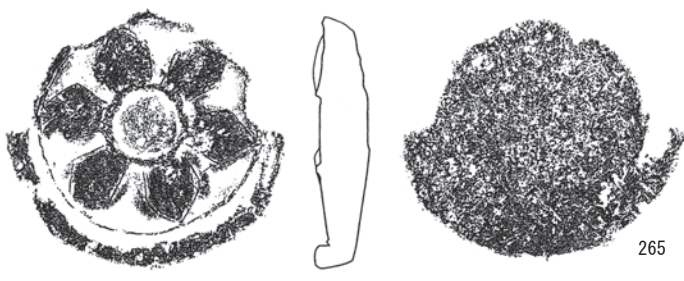
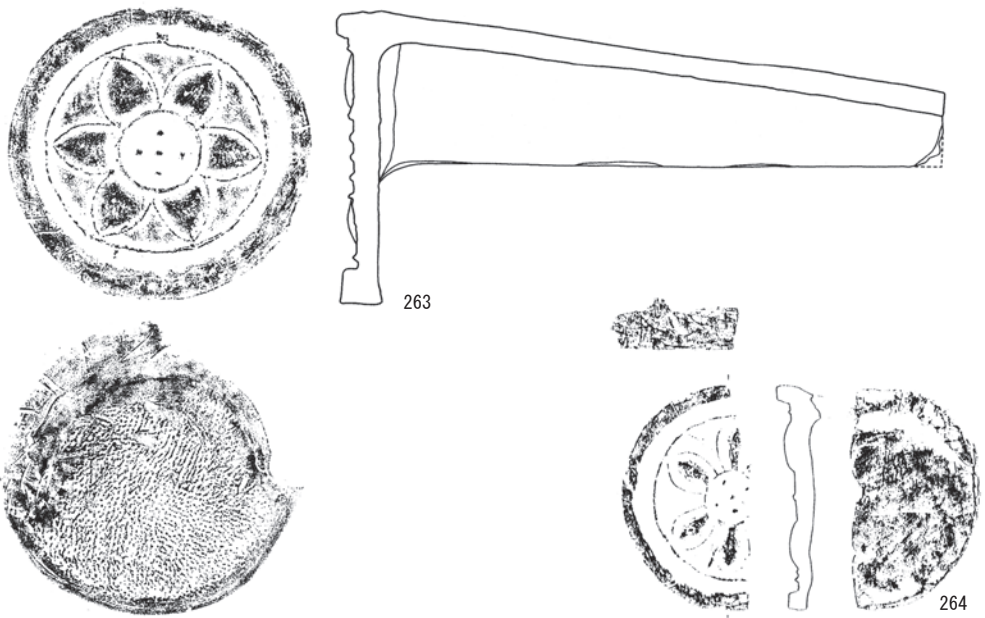
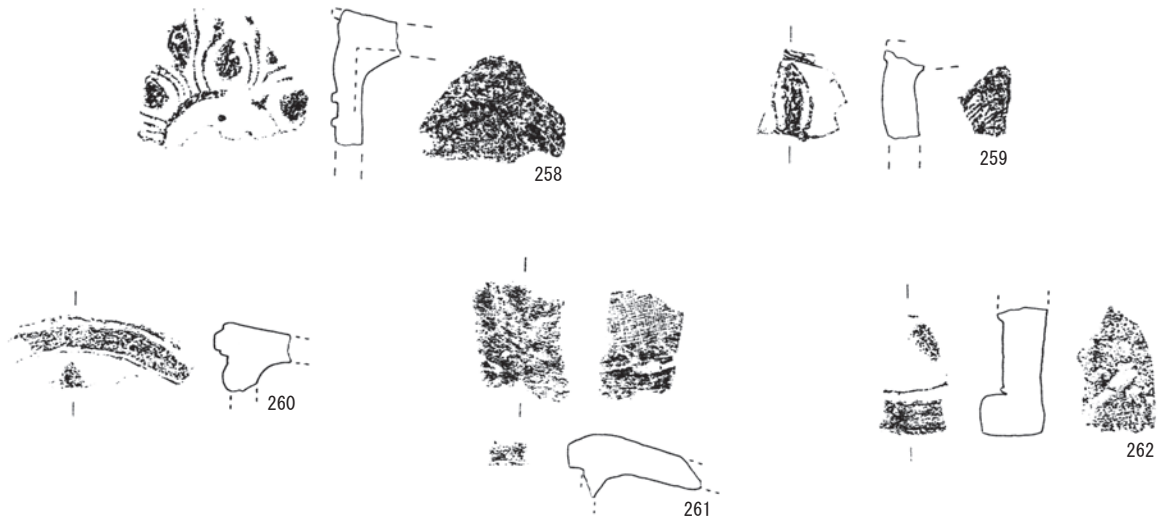
第 26 図 市内遺跡出土鑑瓦 (14)



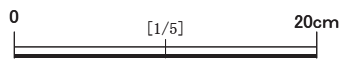
236 ~ 247 : 226 次調査
 248 ~ 249 : 295 次調査
 250 ~ 257 : 360 次調査
 (以上、概報 35)

0 [1/5] 20cm

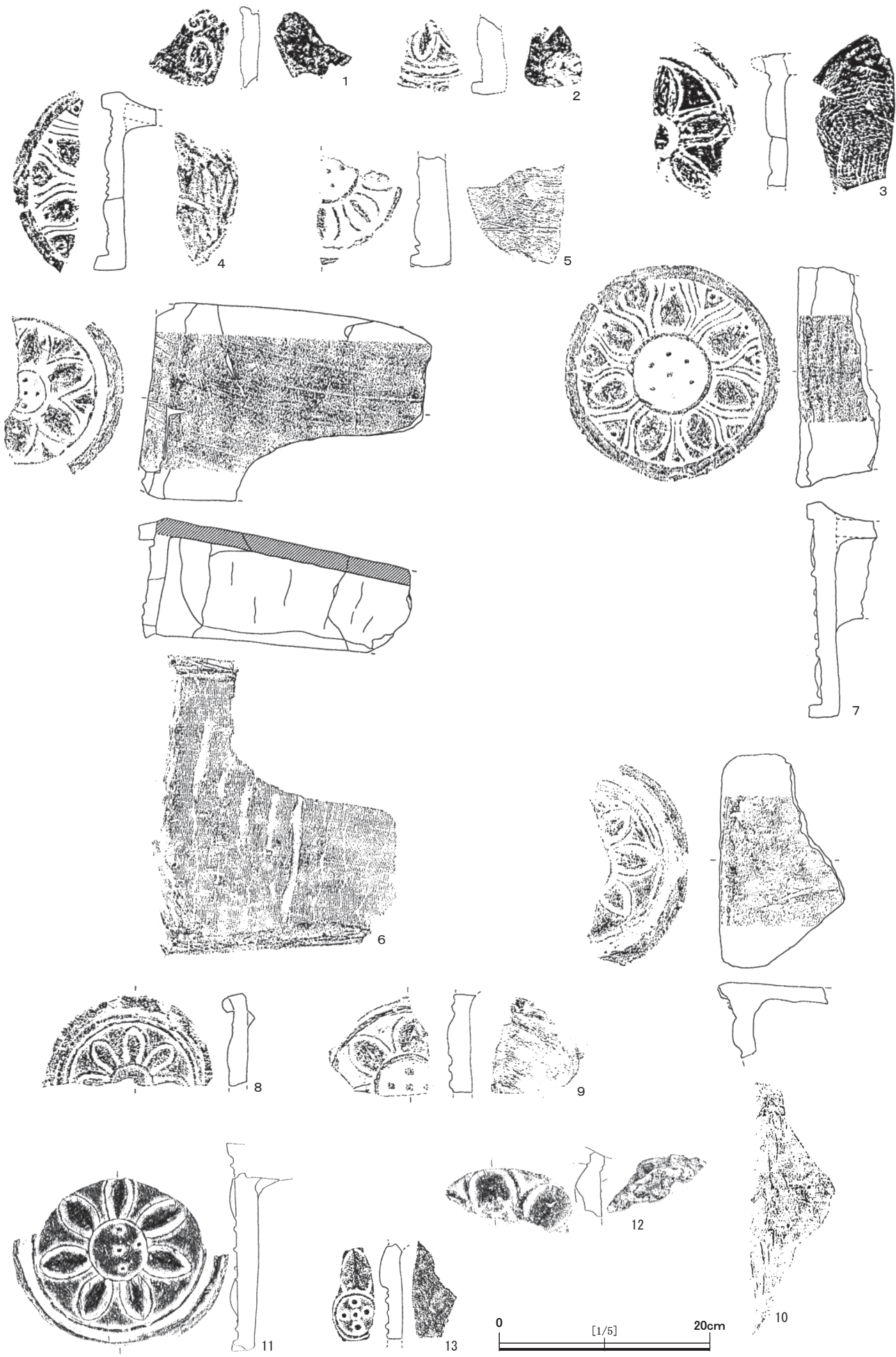
第 27 図 市内遺跡出土鏡瓦 (15)



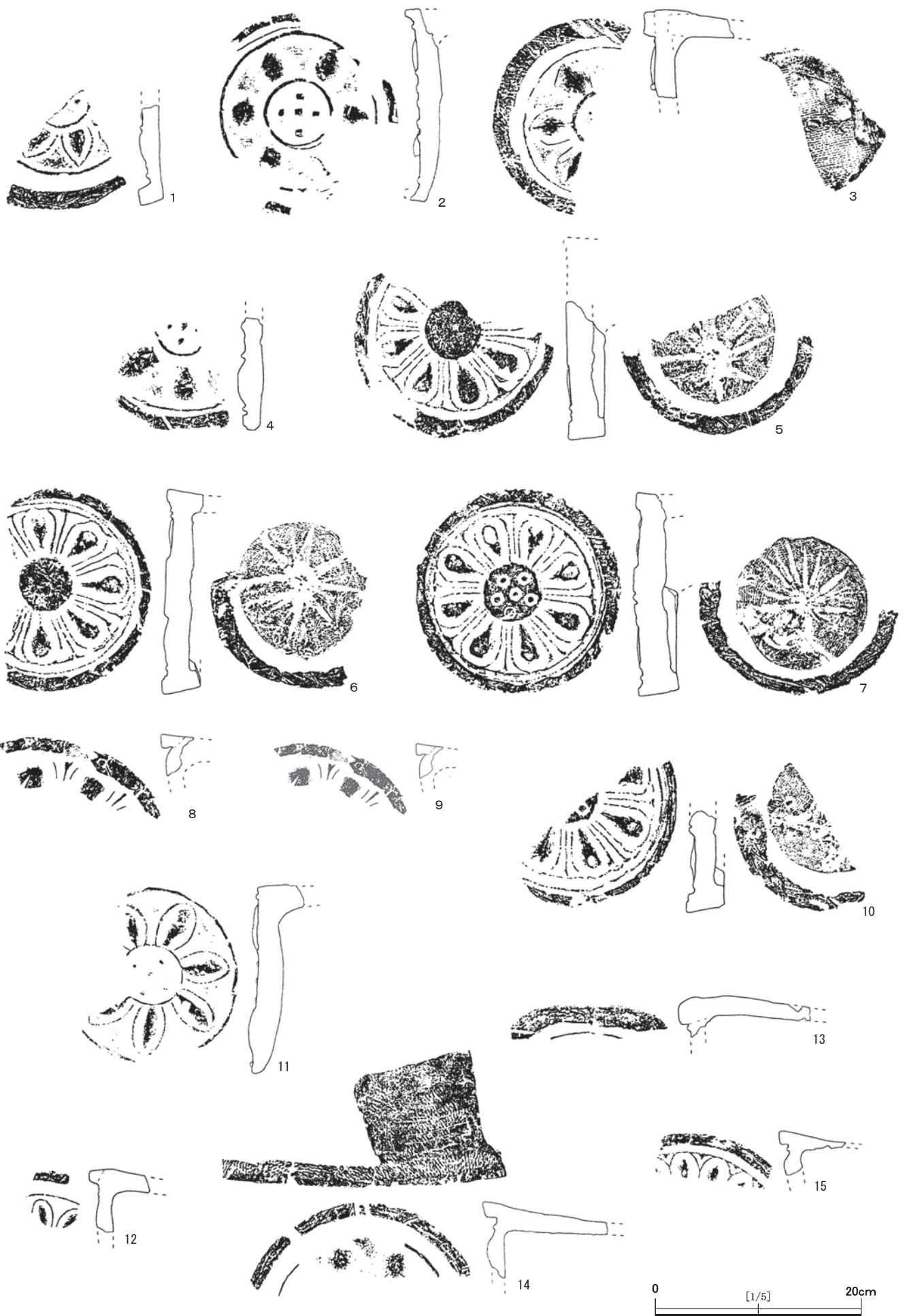
258 : 11 次調査
 259 : 56 次調査
 (以上、概報 37)
 260 ~ 262 : 167 次調査
 263 : 216 次調査
 (以上、概報 38)
 264 : 日影山遺跡
 265 : 704 次調査
 (東山道武蔵路 II)



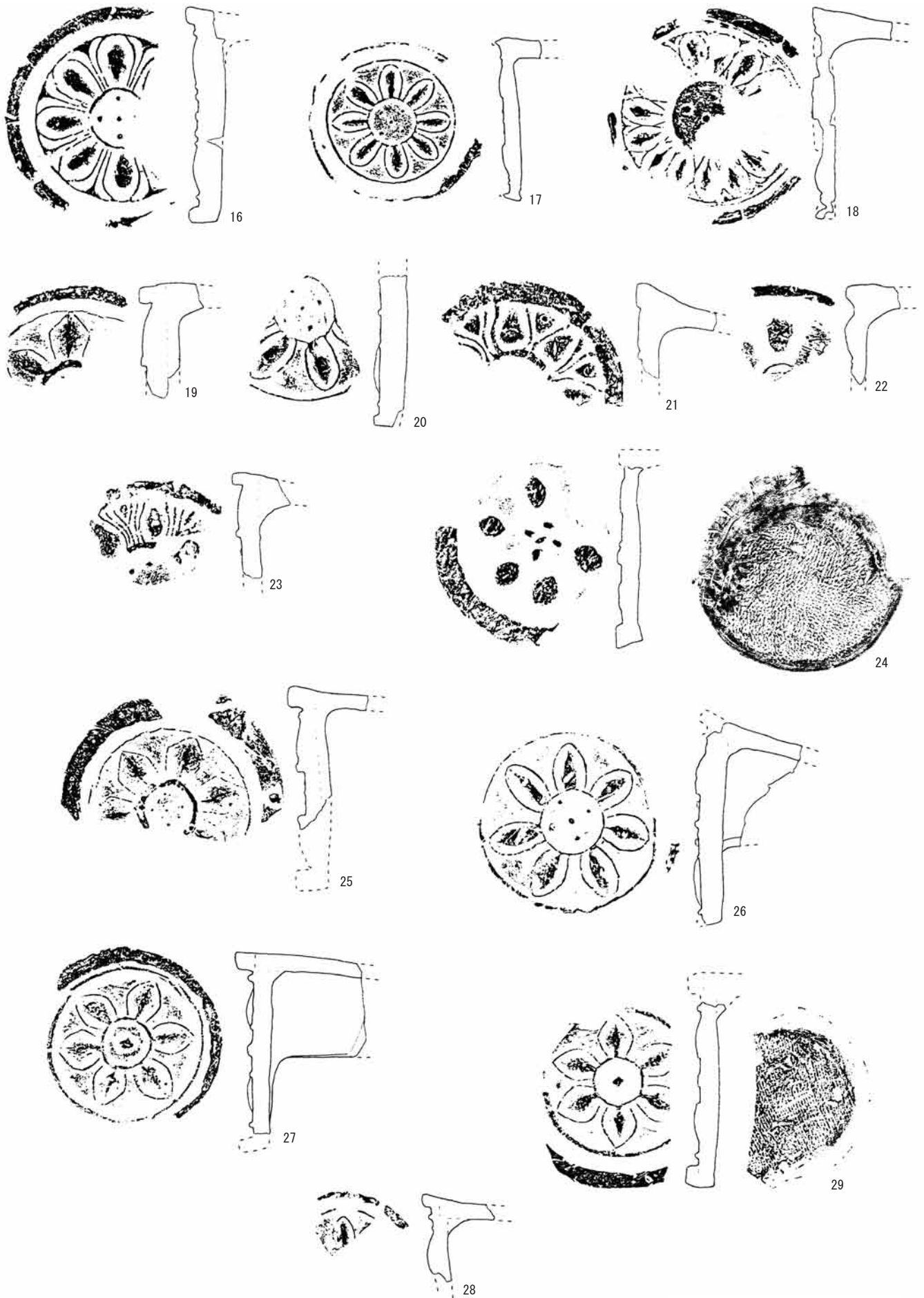
第 28 図 市内遺跡出土鏡瓦 (16)



第29圖 府中市域出土鐙瓦—武藏台遺跡—

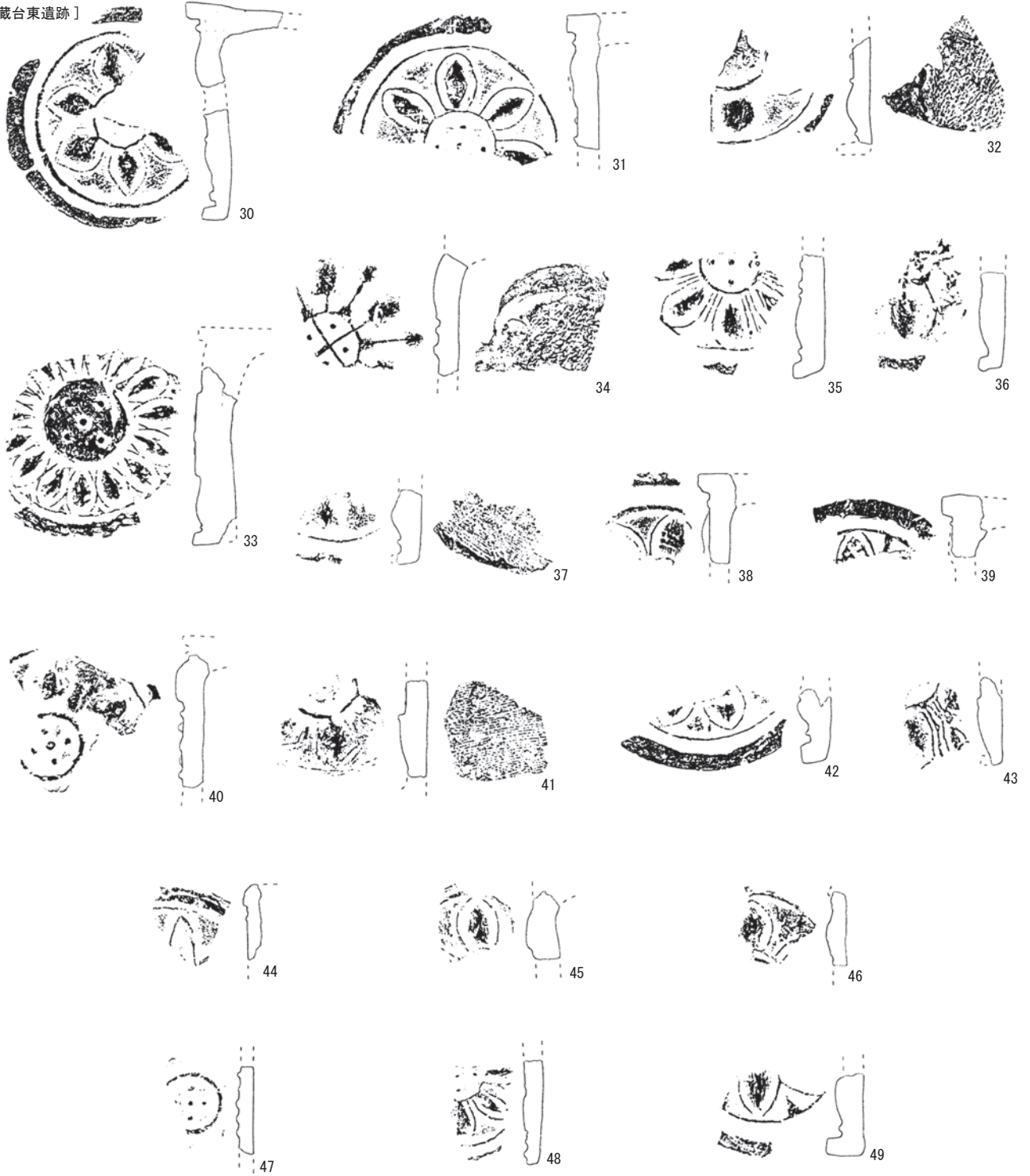


第30図 府中市域出土鏡瓦—武蔵台東遺跡（1）—

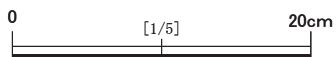
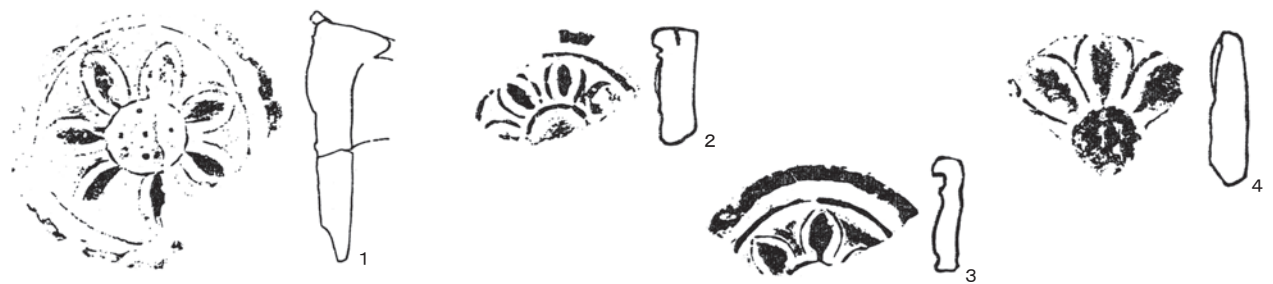


第 31 图 府中市域出土鐙瓦—武蔵台東遺跡（2）—

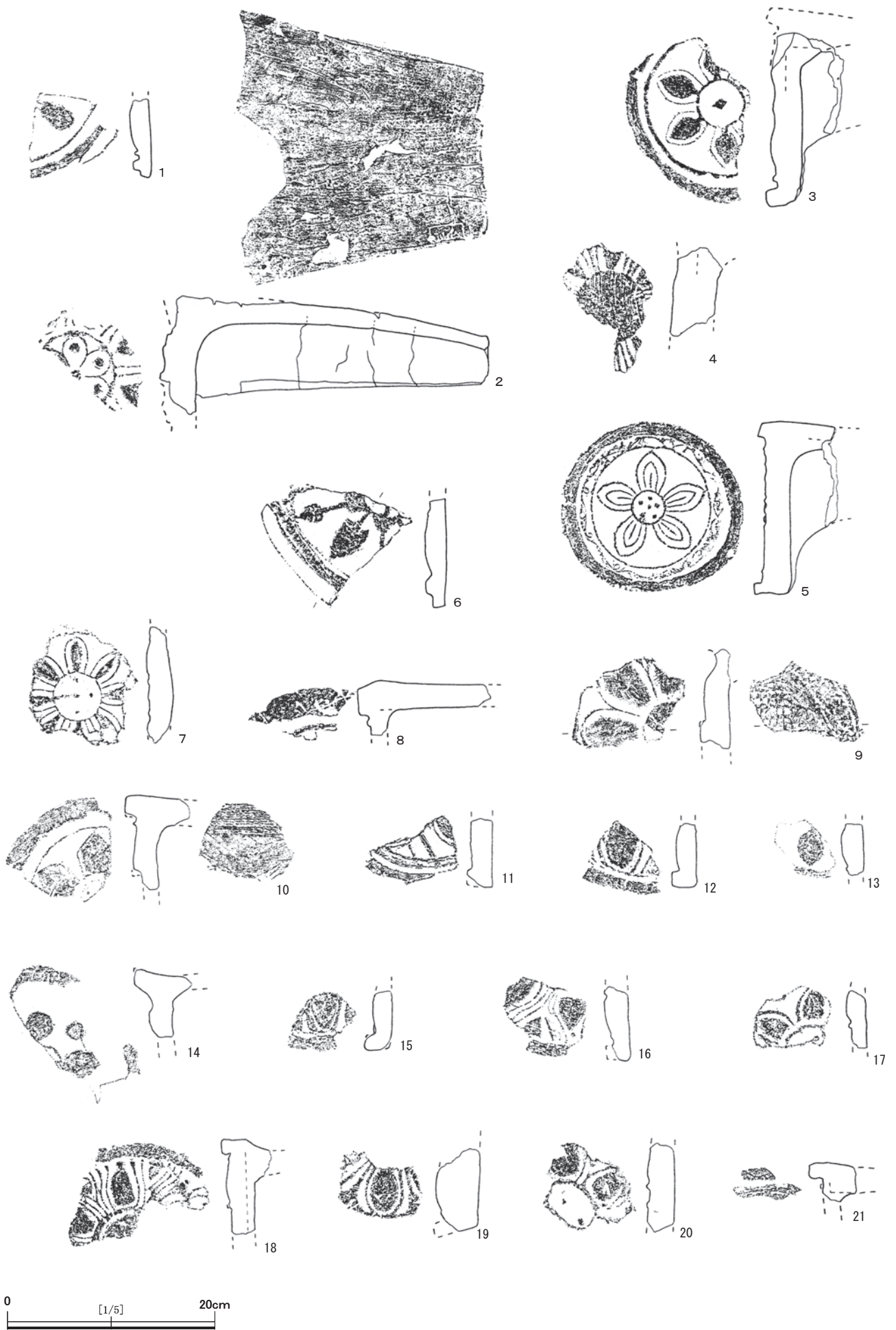
[武蔵台東遺跡]



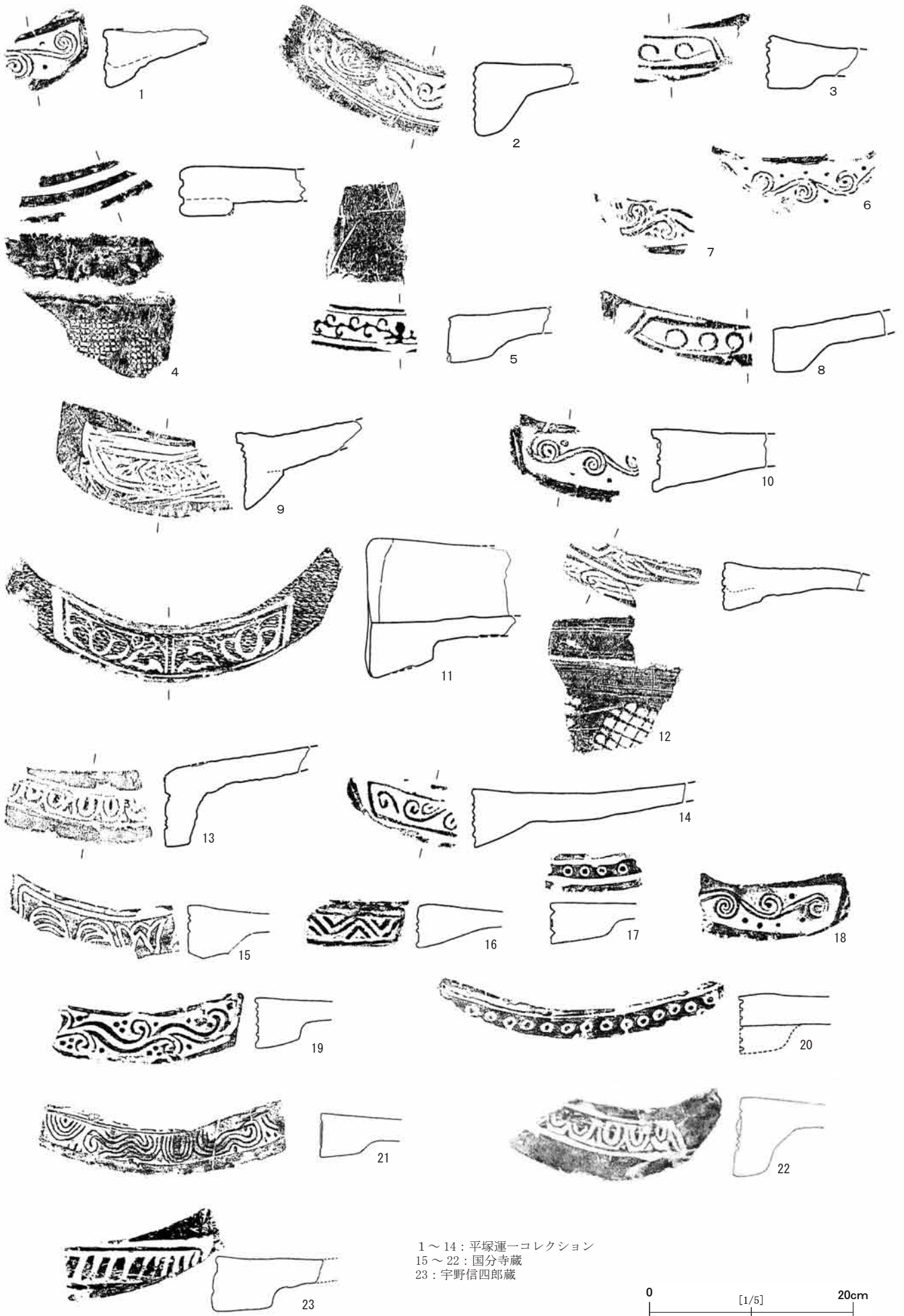
[恋ヶ窪廃寺跡]



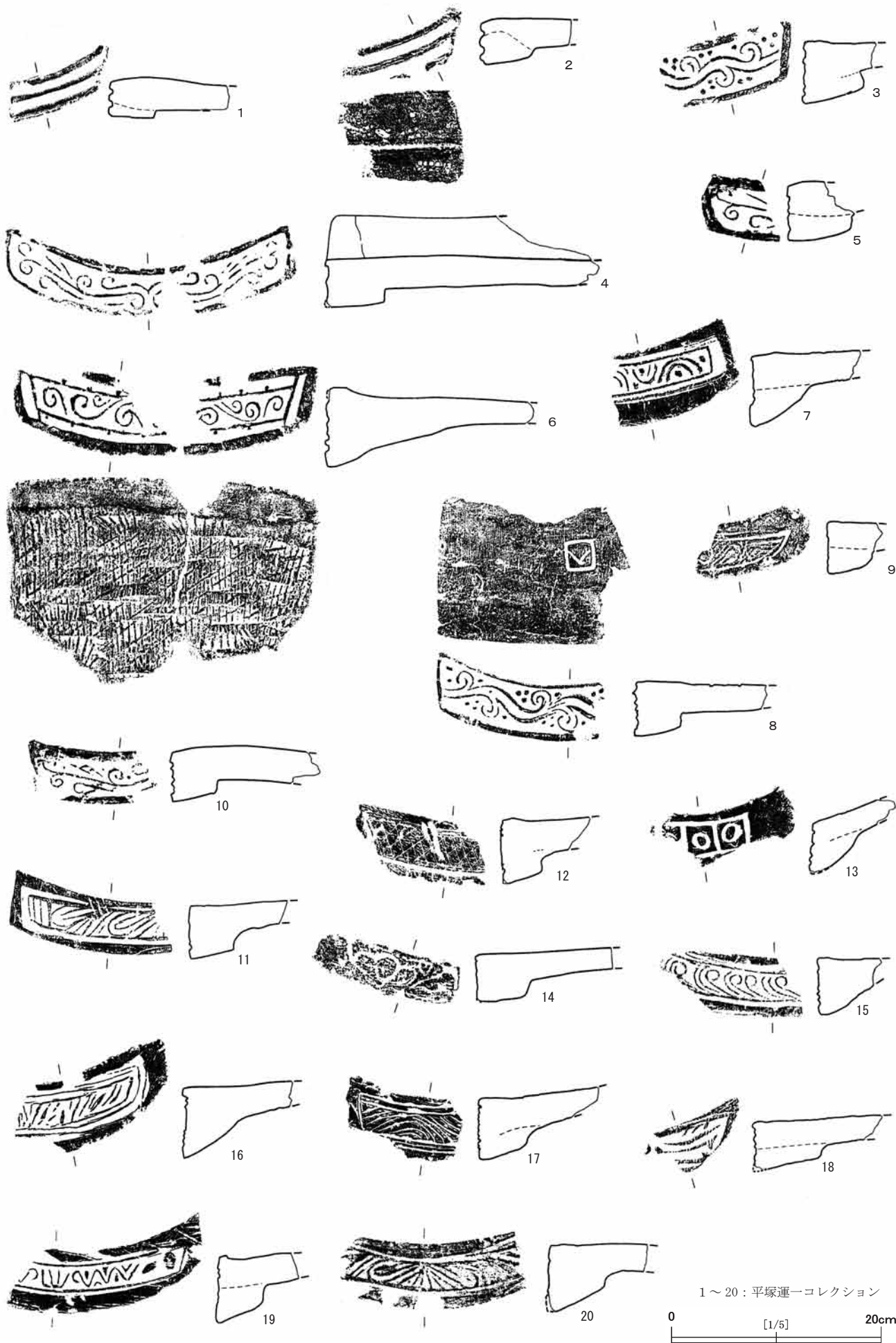
第 32 図 府中市域出土鑑瓦—武蔵台東遺跡 (3)—、恋ヶ窪廃寺跡出土鑑瓦



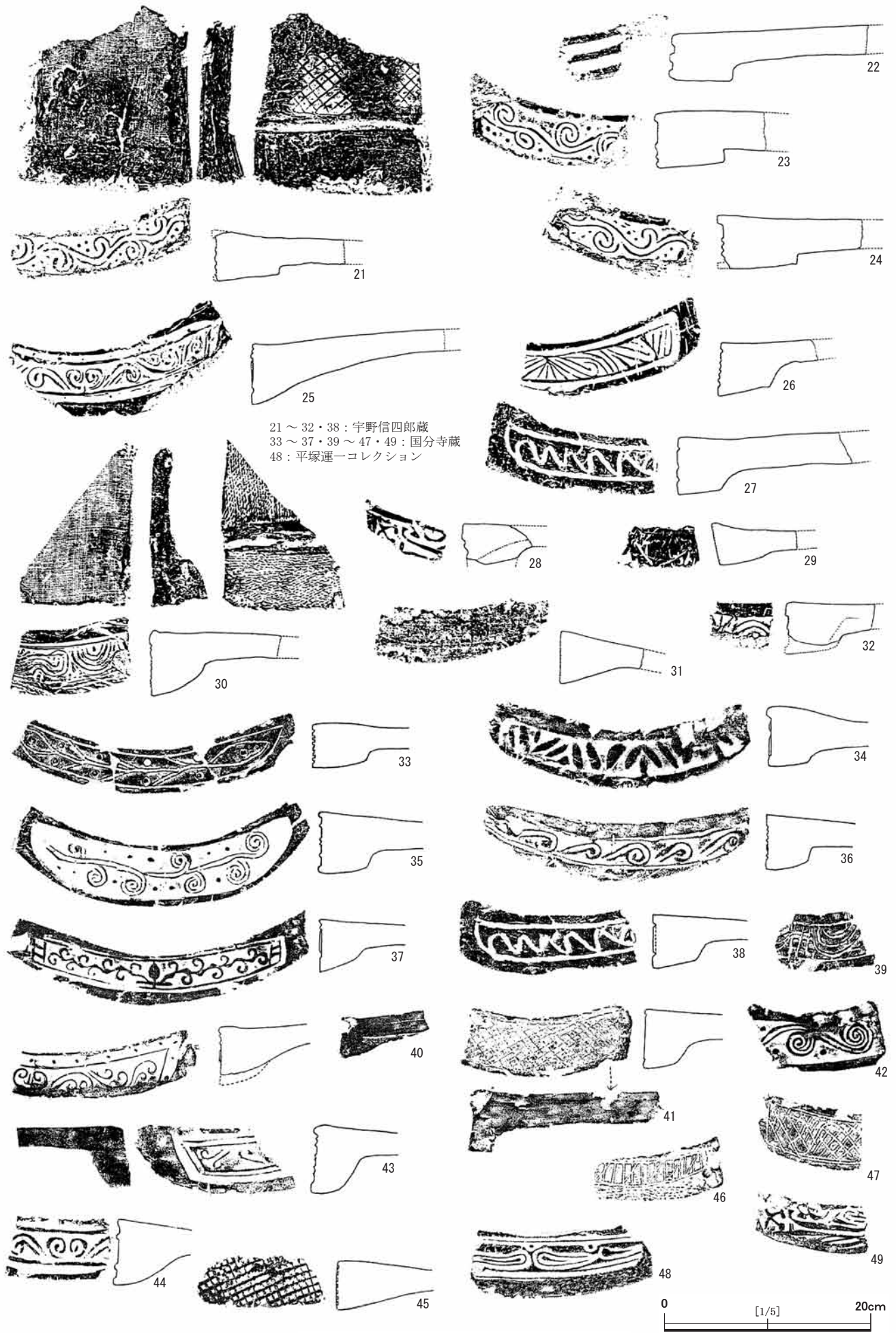
第 33 图 府中市域出土鍍瓦—武蔵国分寺南西地区—



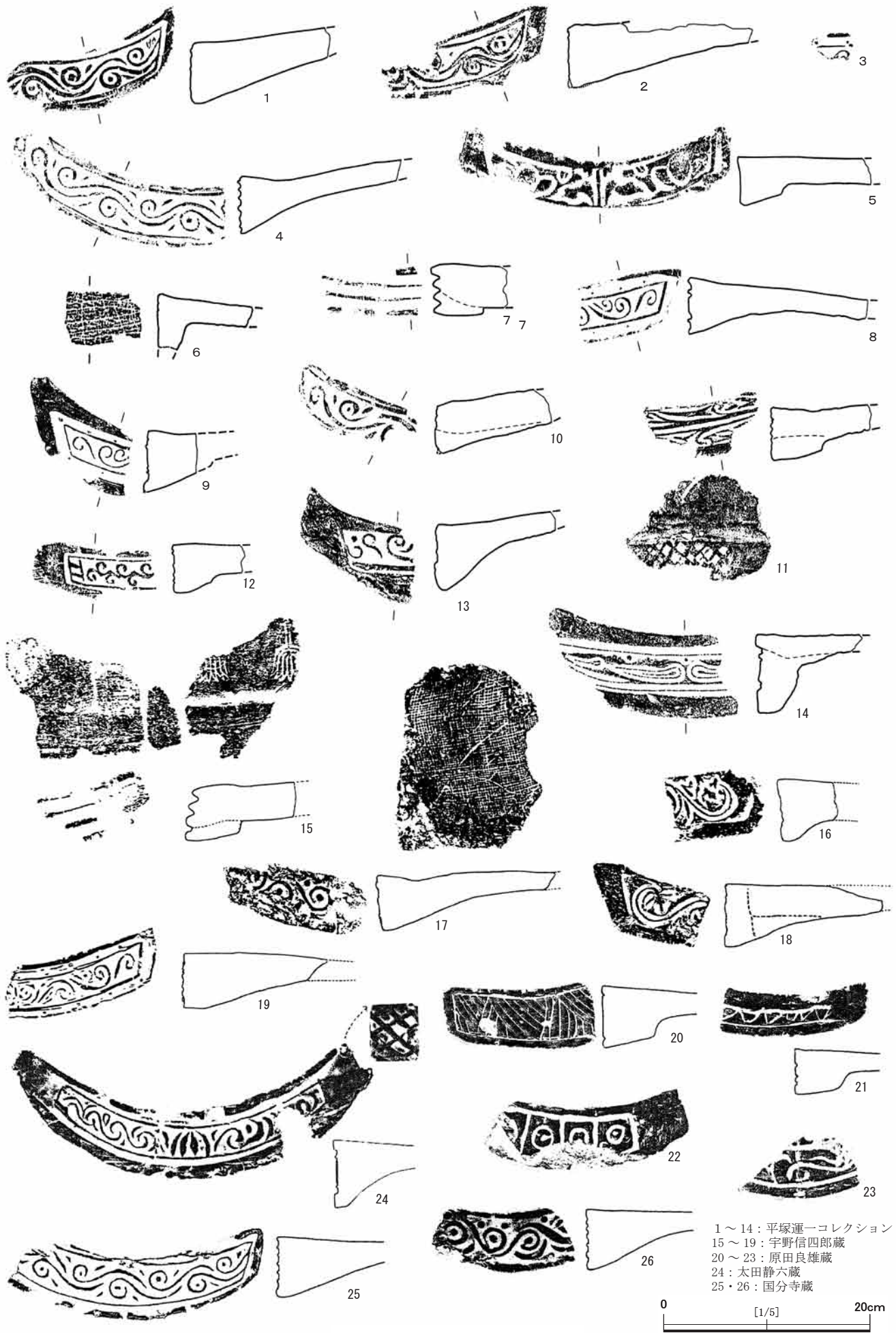
第 34 図 僧寺金堂跡採集宇瓦



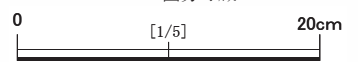
第 35 図 僧寺講堂跡採集宇瓦 (1)



第36図 僧寺講堂跡採集宇瓦(2)

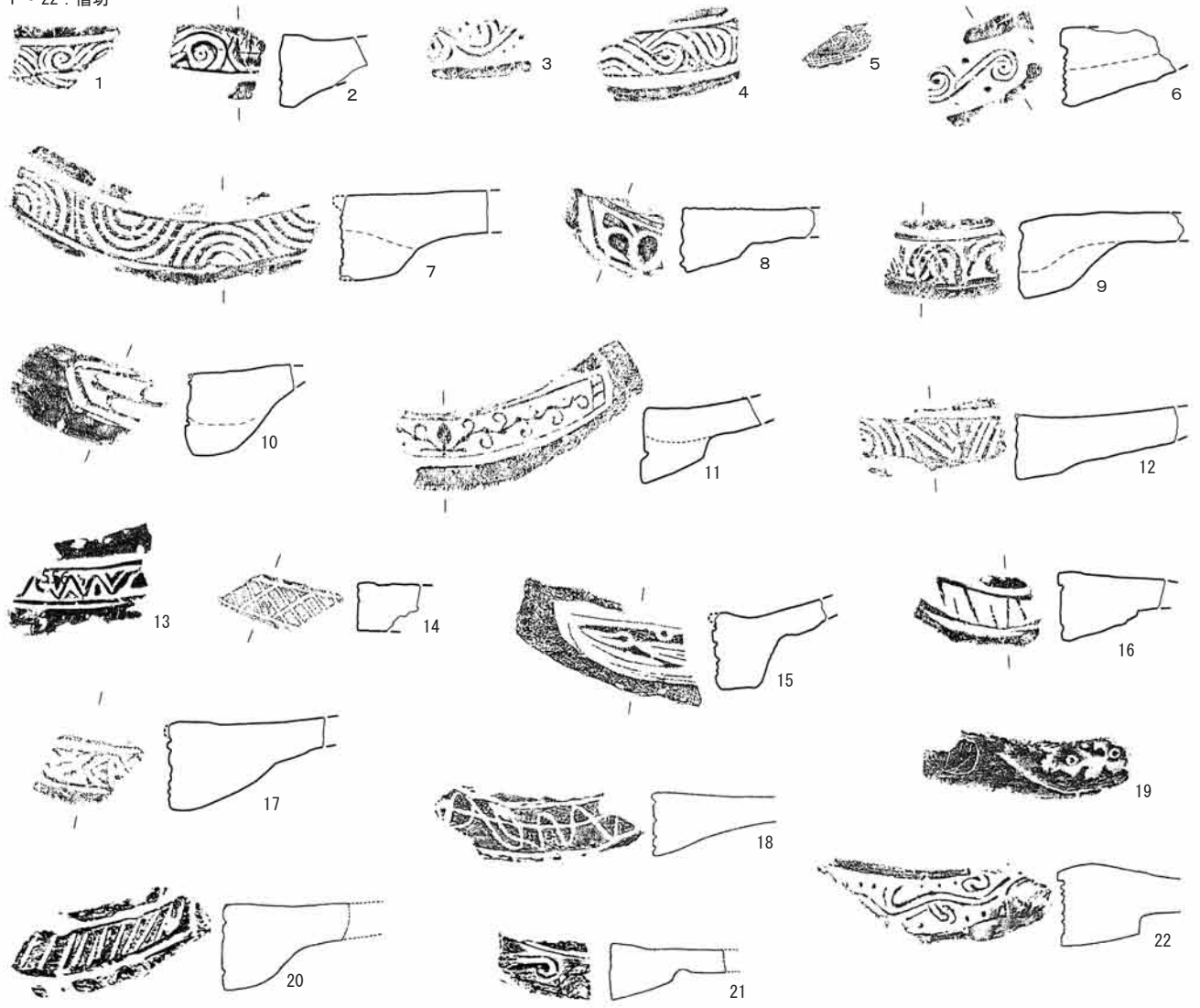


1～14：平塚運一コレクション
 15～19：宇野信四郎蔵
 20～23：原田良雄蔵
 24：太田静六蔵
 25・26：国分寺蔵

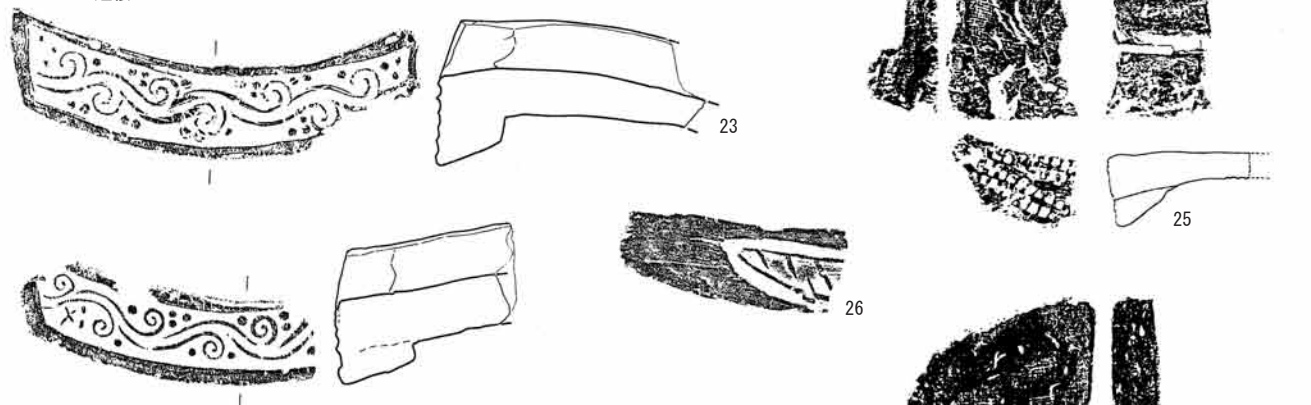


第 37 図 僧寺塔跡採集字瓦

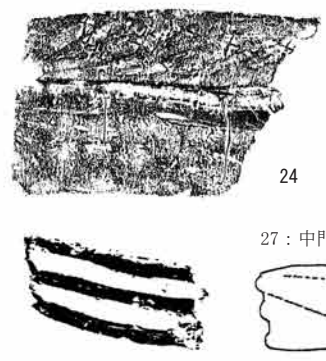
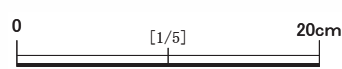
1 ~ 22 : 僧坊



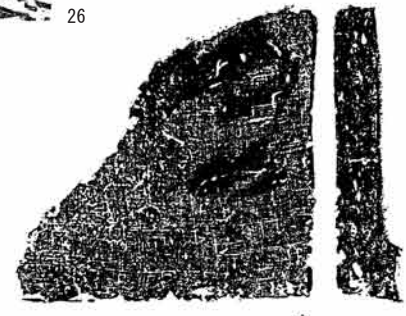
23 ~ 26 : 鐘楼



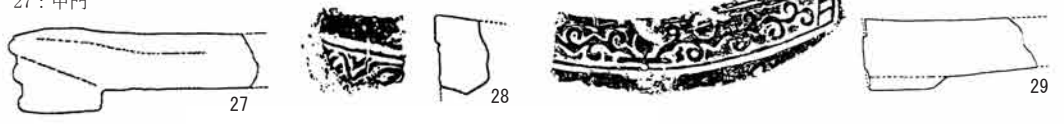
1 ~ 19・23・24 : 平塚運一コレクション
 20・21・25・27 ~ 29 : 宇野信四郎蔵
 22・26 : 国分寺蔵



27 : 中門

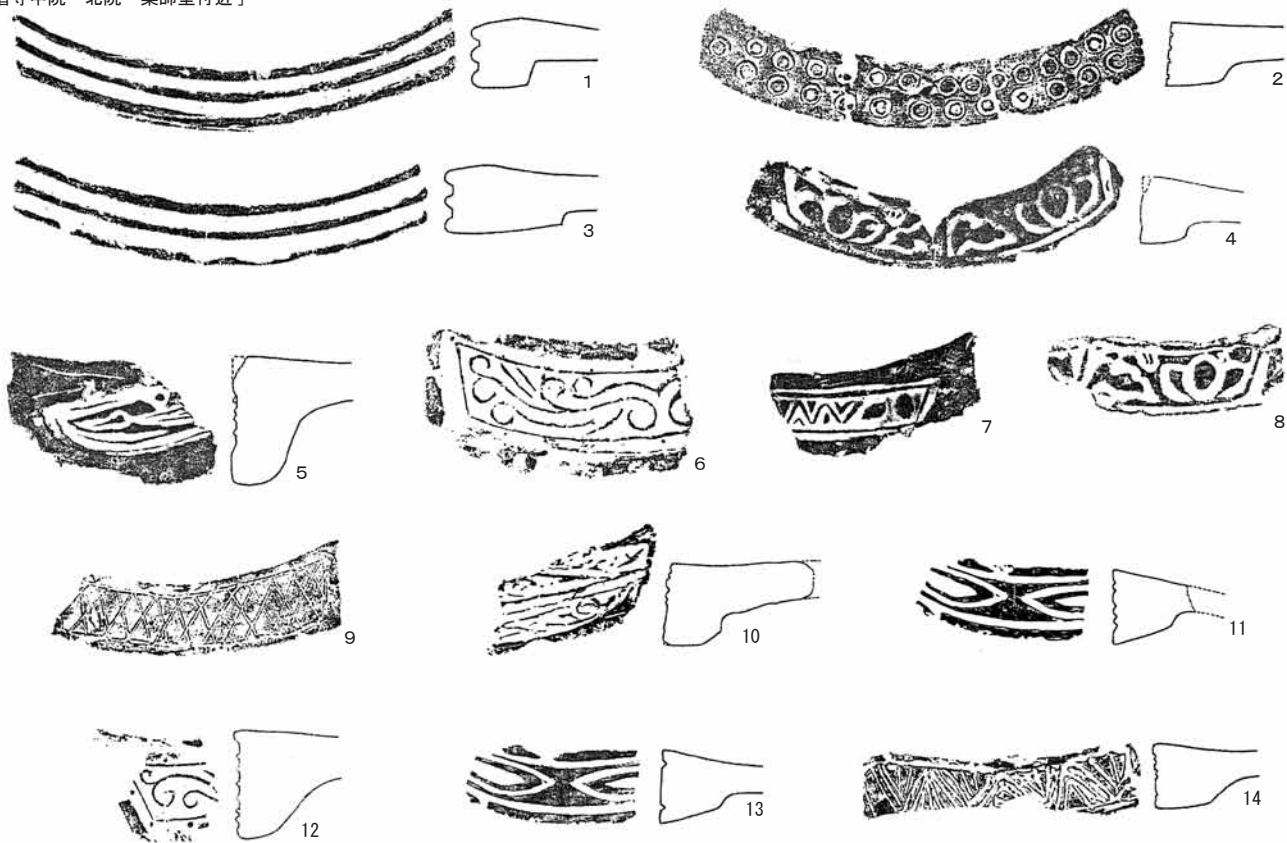


28・29 : 南大門

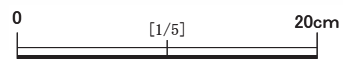
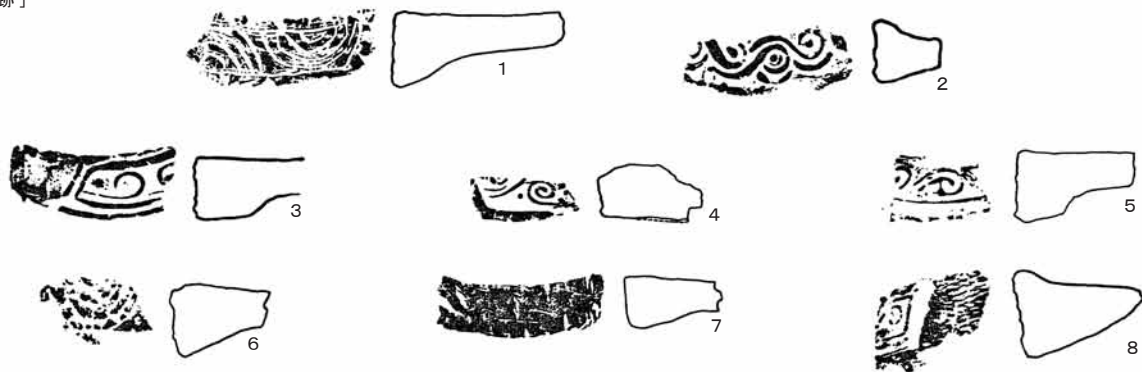


第 38 図 僧寺僧坊跡・中門跡・南門跡採集の宇瓦

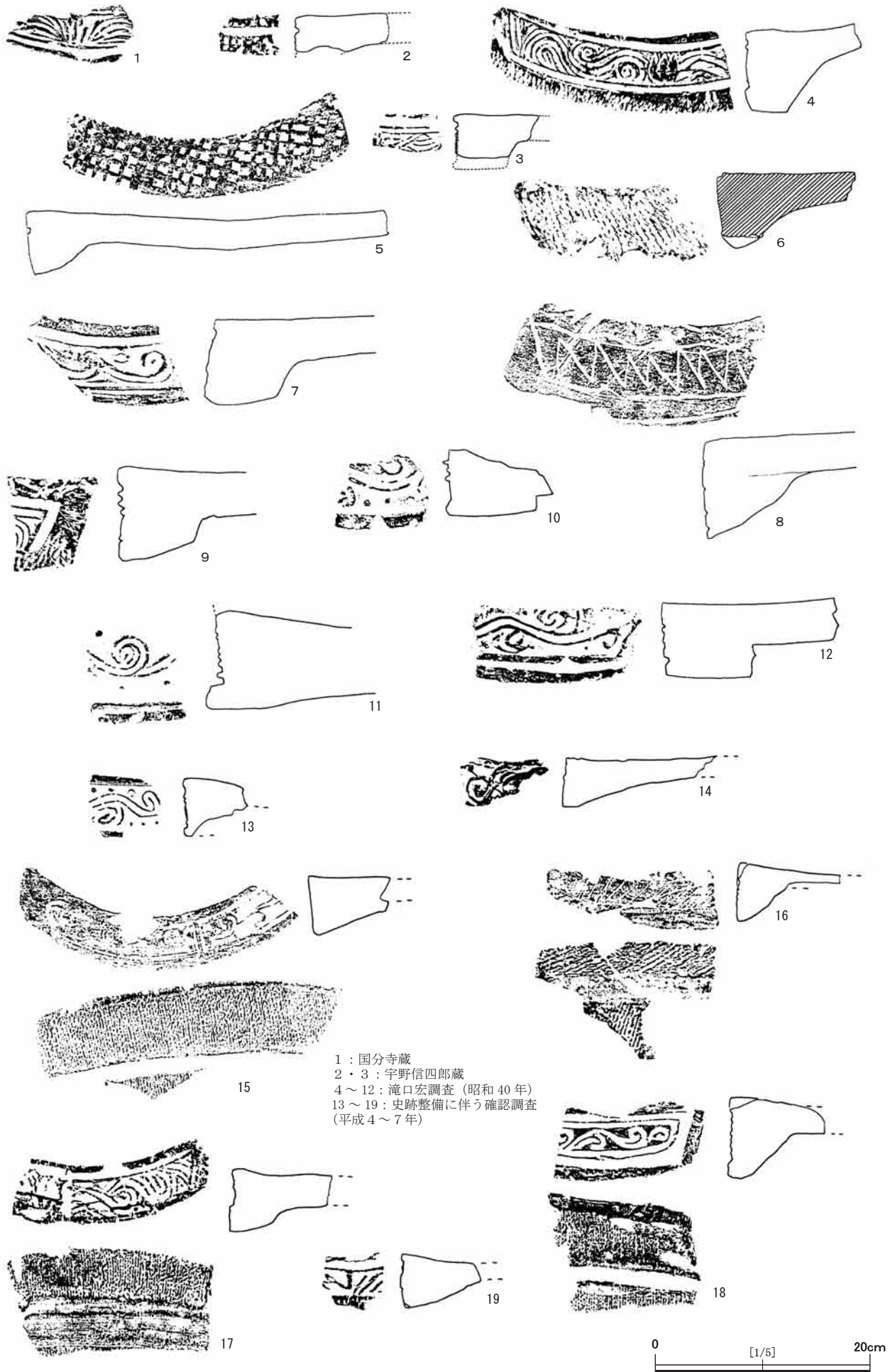
[僧寺中院・北院・薬師堂付近]



[恋ヶ窪廃寺跡]

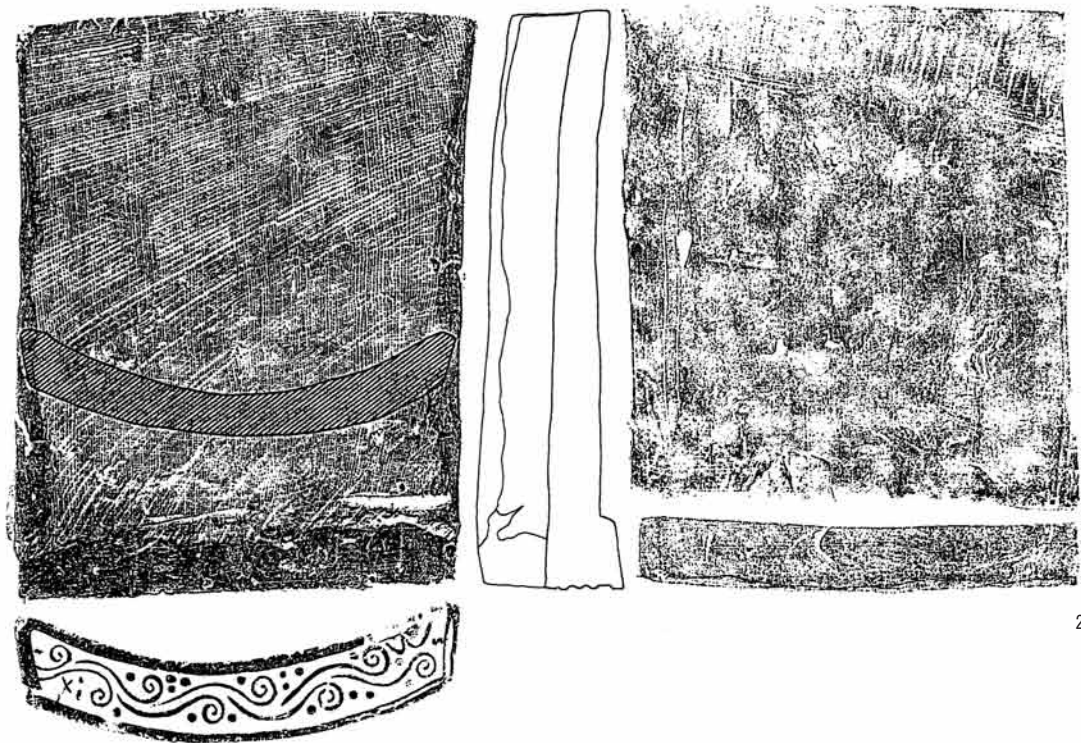


第39図 僧寺中院・北院跡・薬師堂付近採集宇瓦、恋ヶ窪廃寺跡出土宇瓦

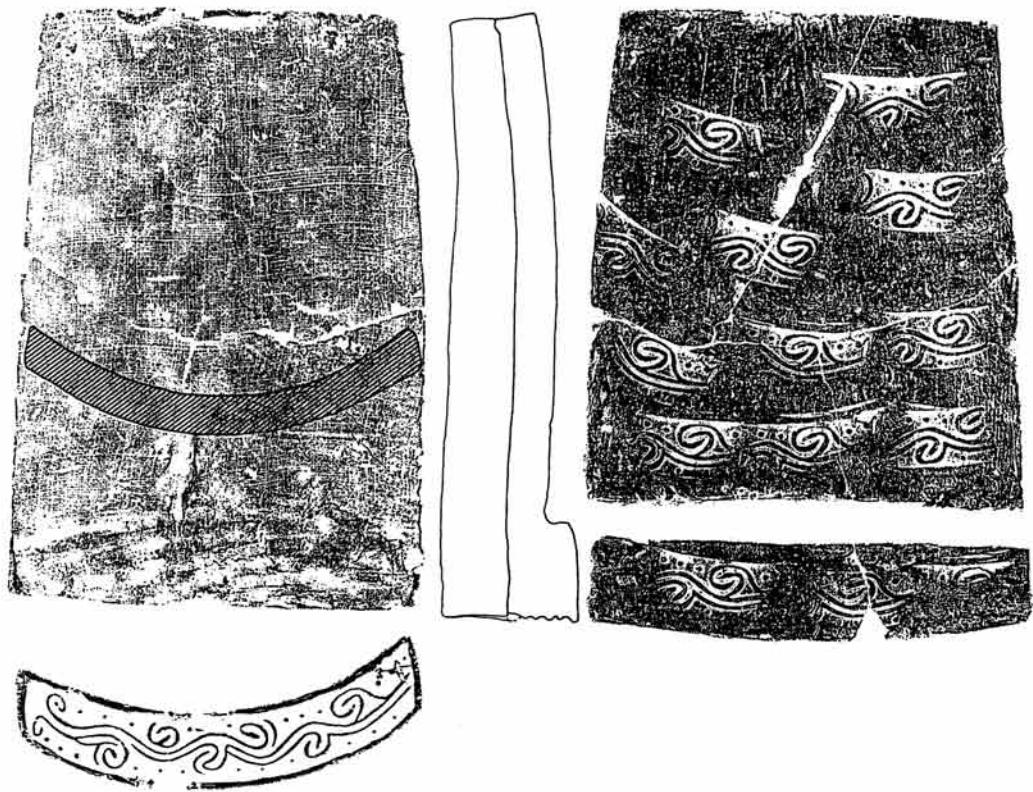


1 : 国分寺蔵
 2・3 : 宇野信四郎蔵
 4～12 : 滝口宏調査 (昭和40年)
 13～19 : 史跡整備に伴う確認調査 (平成4～7年)

第40図 尼寺跡採集宇瓦・出土宇瓦 (1)

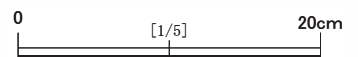


20

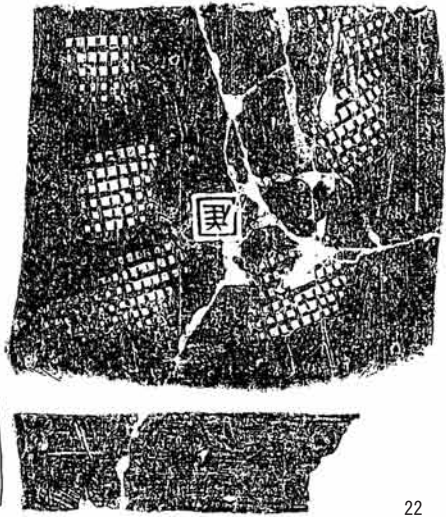
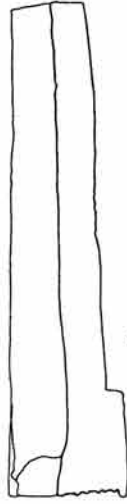


21

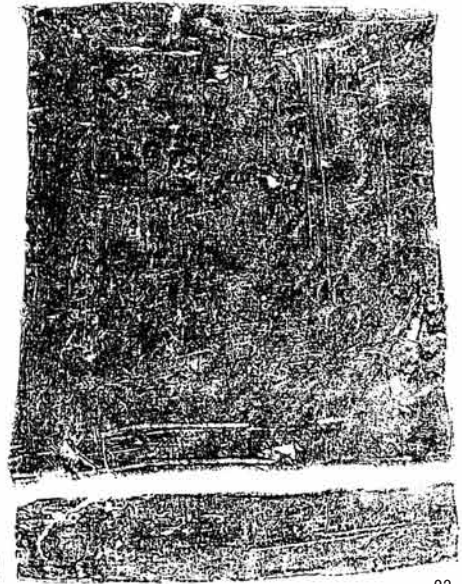
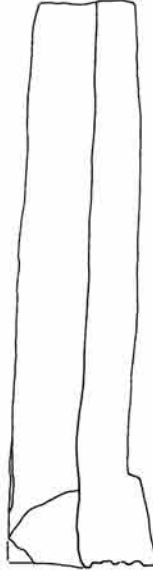
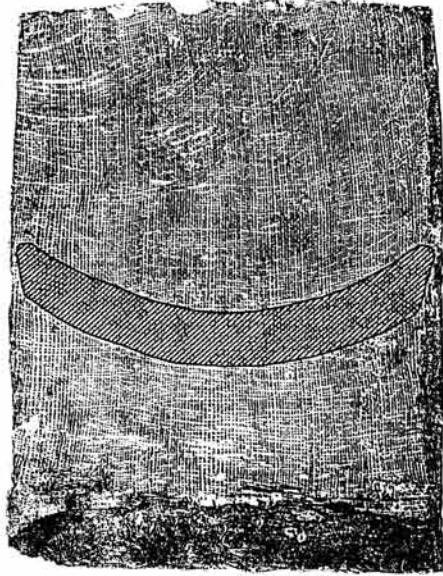
20・21：373次調査（尼寺概報Ⅰ）



第41図 尼寺跡出土瓦（2）



22



23



24

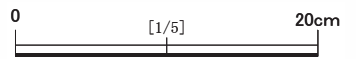


25

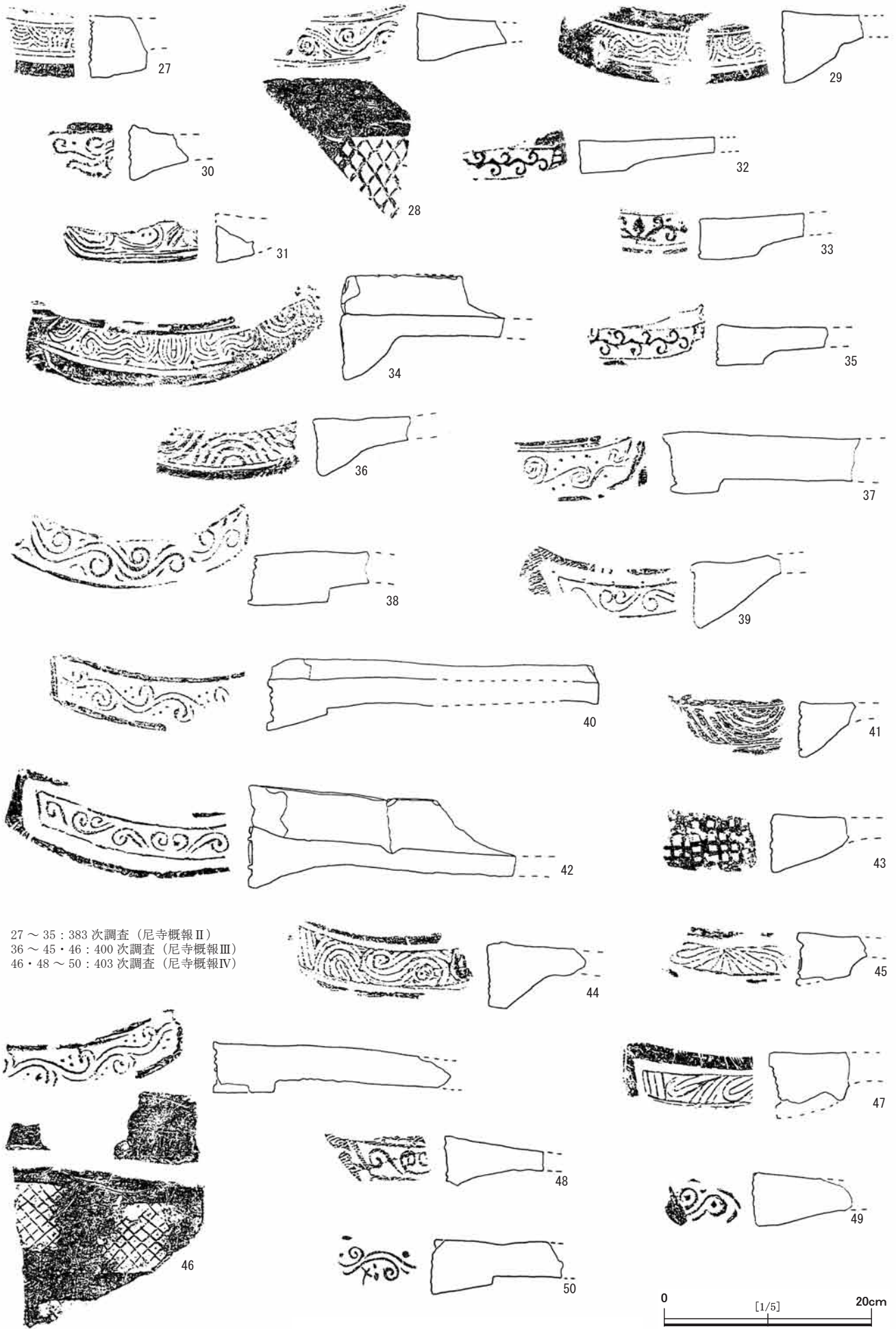


26

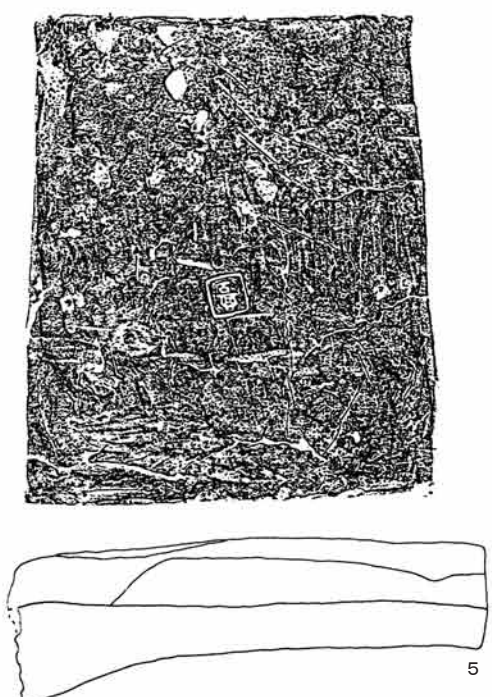
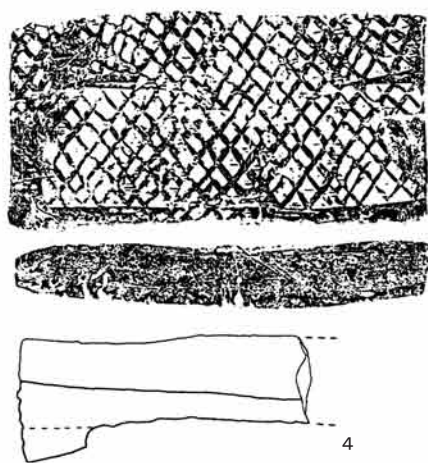
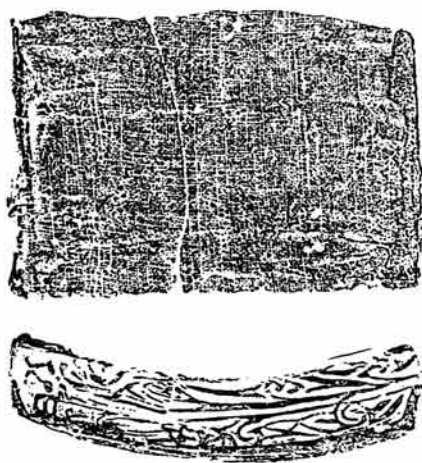
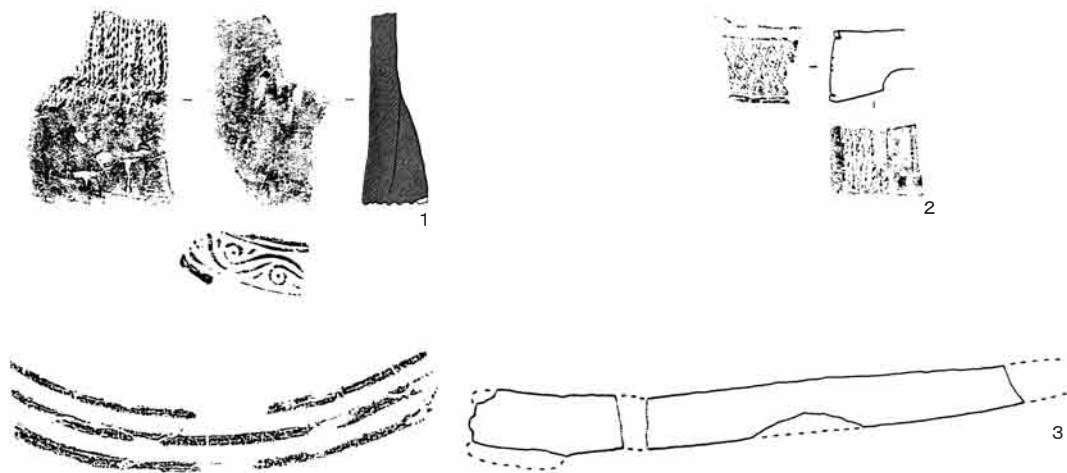
22・23 : 373 次調査 (尼寺概報 I)
22・23 : 383 次調査 (尼寺概報 II)



第 42 図 尼寺跡出土字瓦 (3)



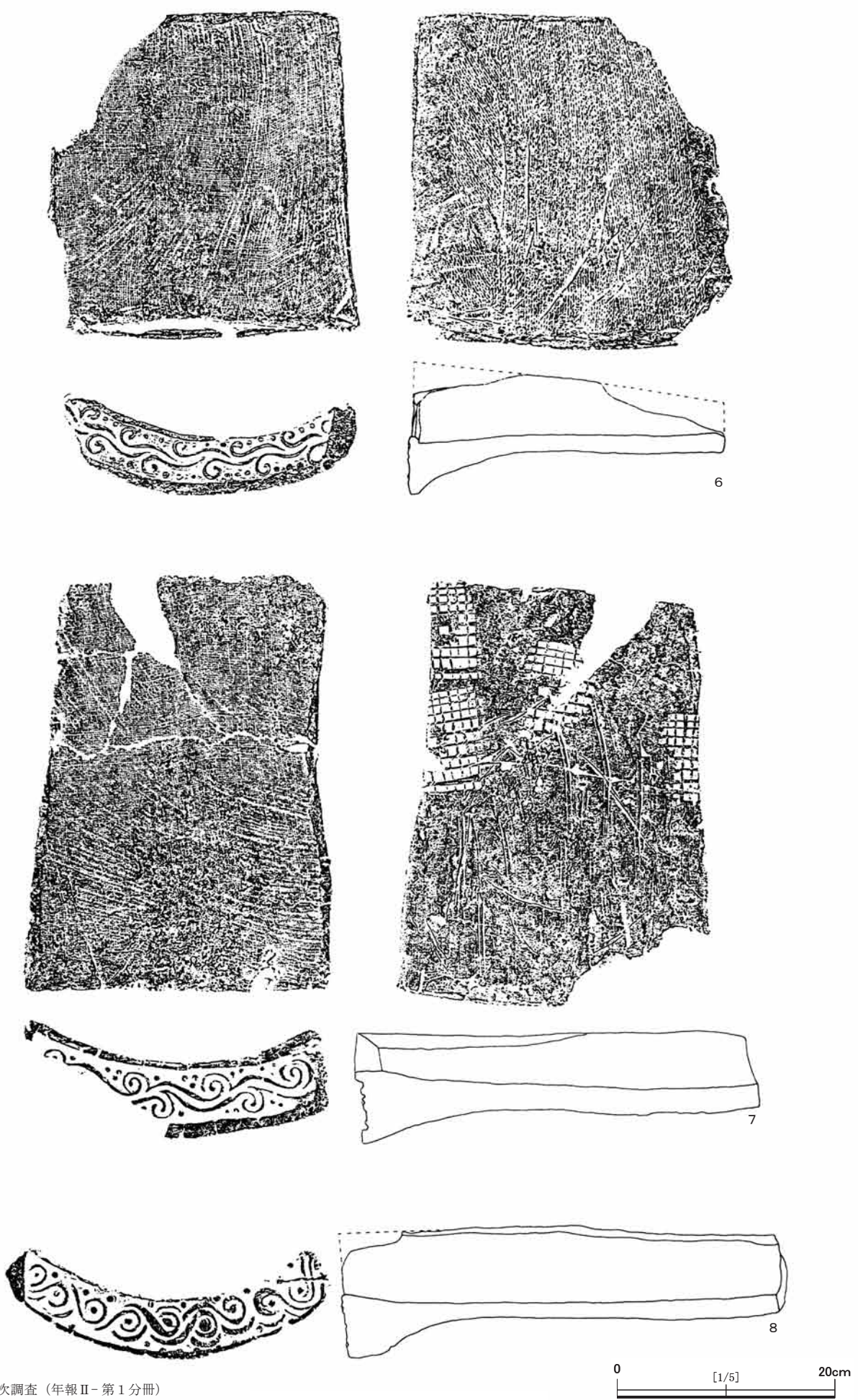
第 43 図 尼寺跡出土宇瓦 (4)



1 : 3次調査
 2 : 5次調査 (以上、1974年報)
 3~5 : 28次調査 (年報II-第1分冊)

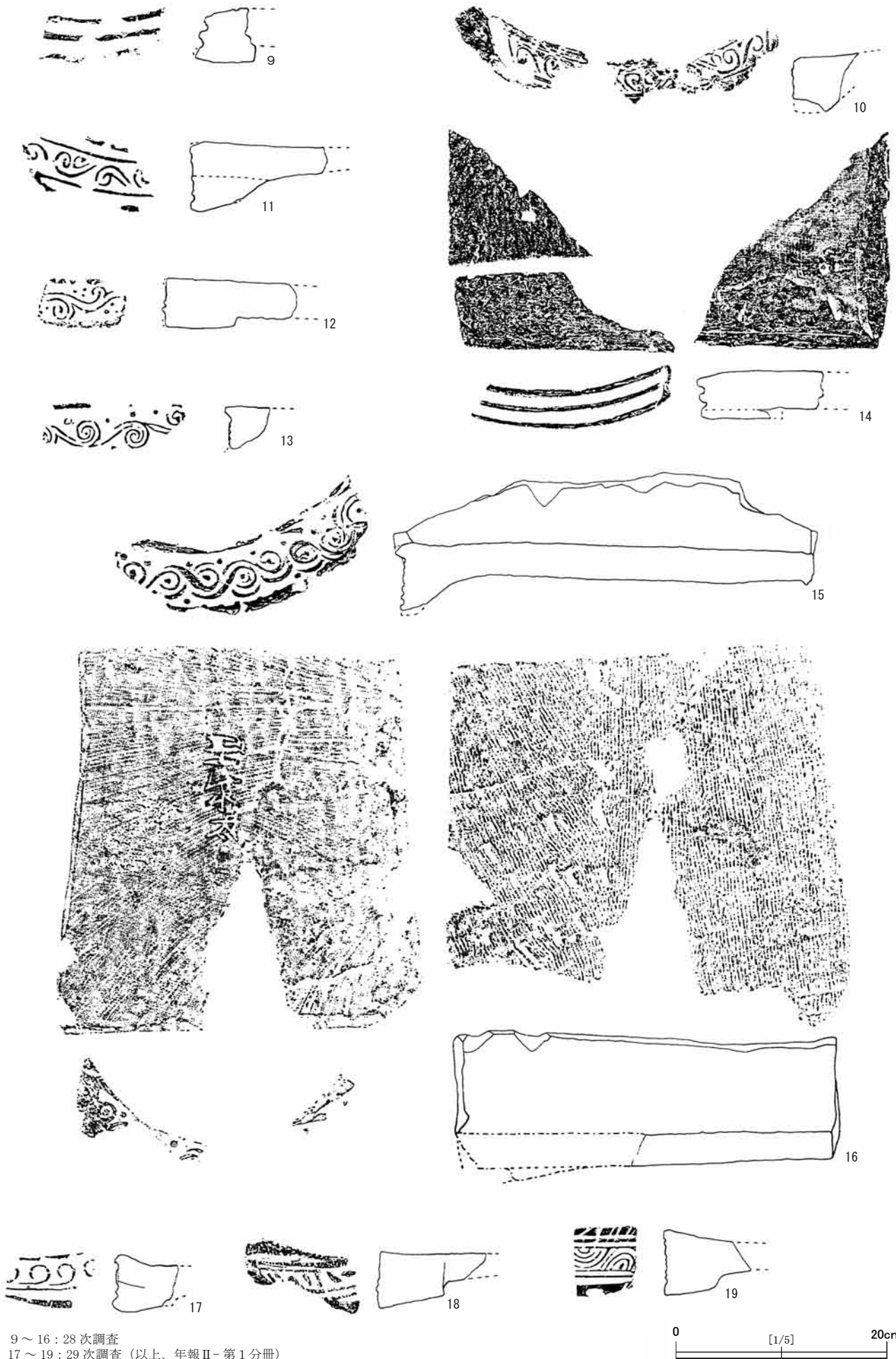
0 [1/5] 20cm

第44図 市内遺跡出土字瓦(1)

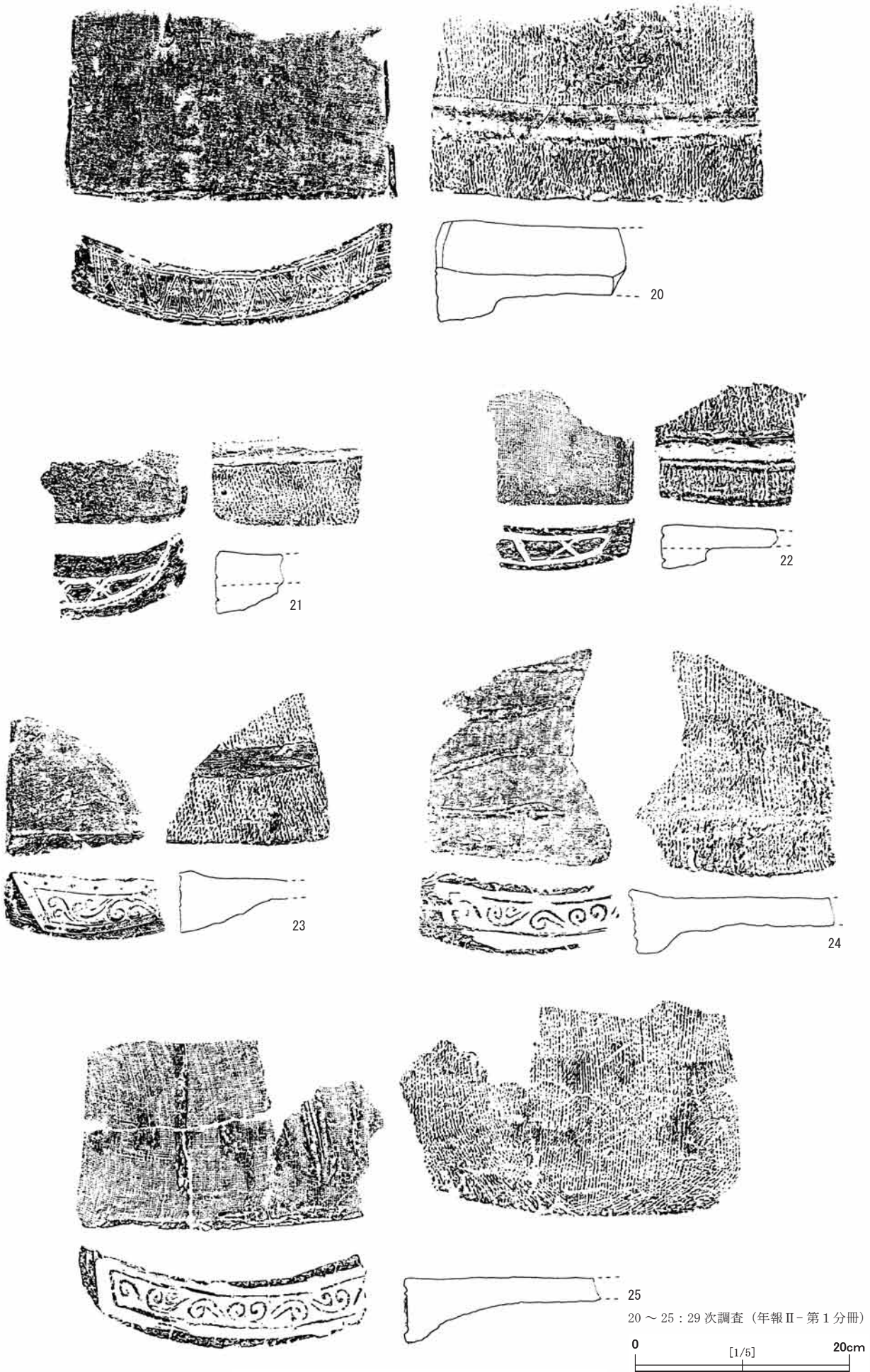


6～8：28次調査（年報Ⅱ-第1分冊）

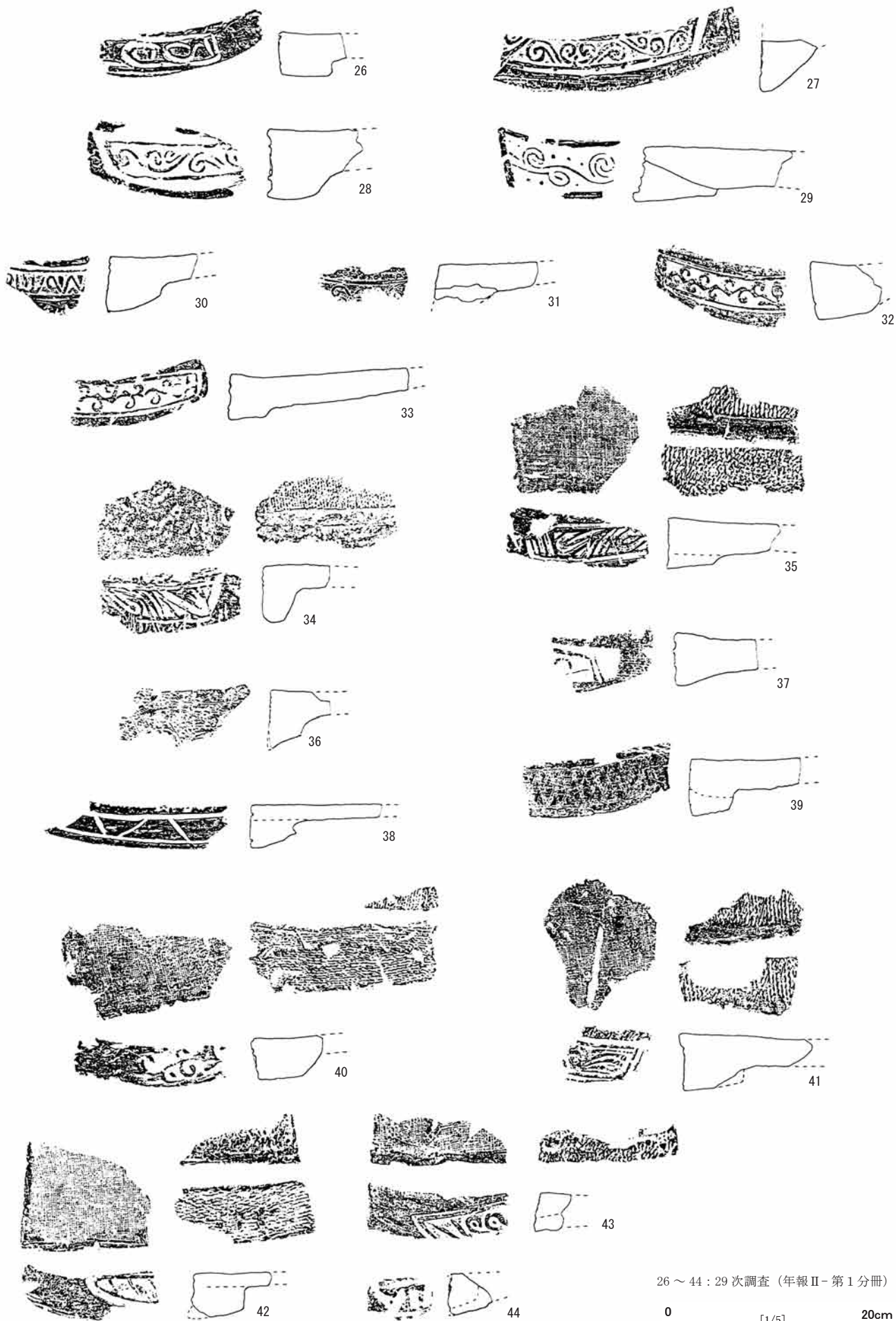
第45圖 市内遺跡出土字瓦（2）



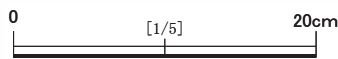
第 46 図 市内遺跡出土土瓦 (3)



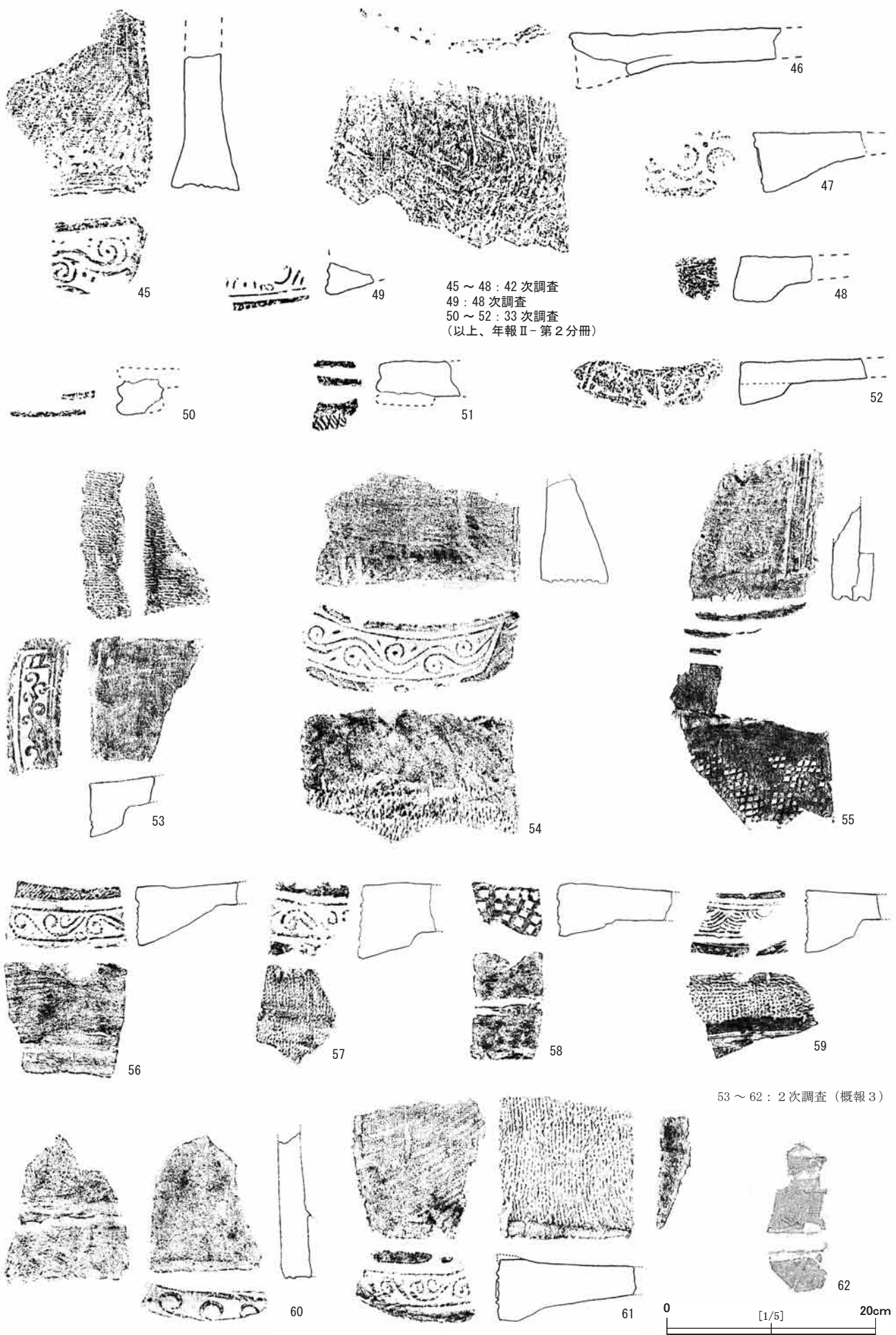
第 47 図 市内遺跡出土土字瓦 (4)



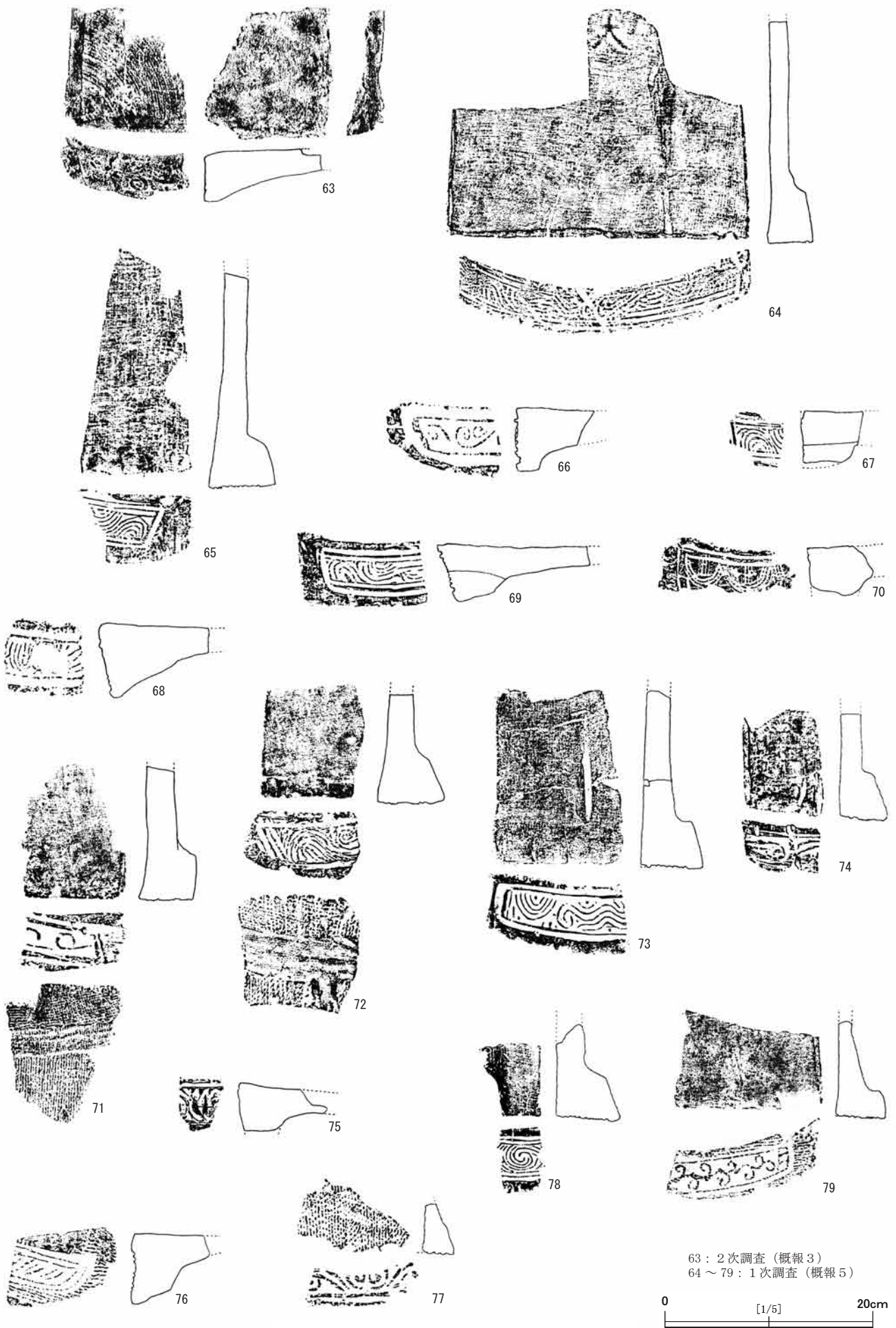
26 ~ 44 : 29 次調査 (年報 II - 第 1 分冊)



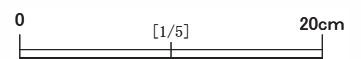
第 48 図 市内遺跡出土字瓦 (5)



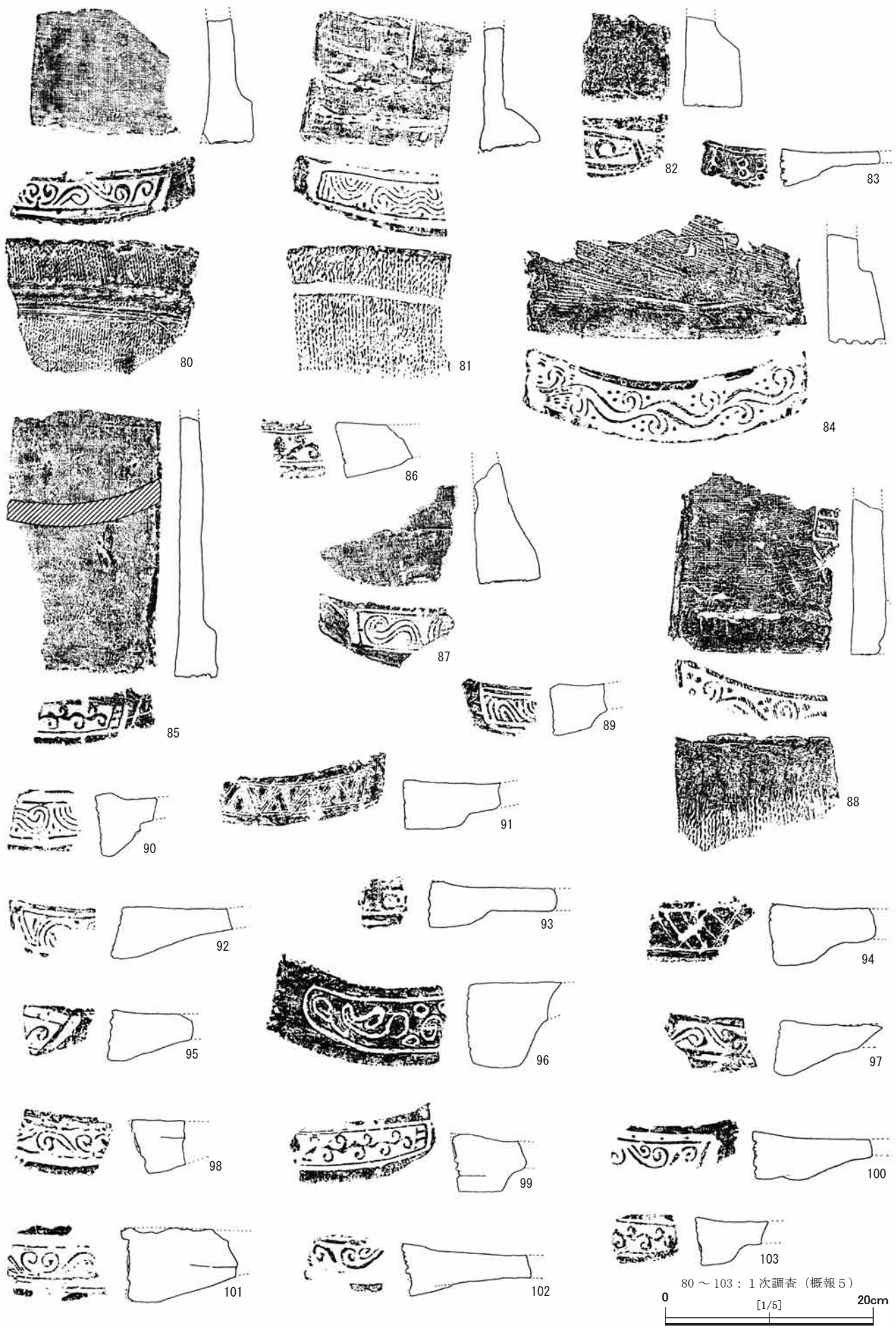
第 49 図 市内遺跡出土宇瓦 (6)



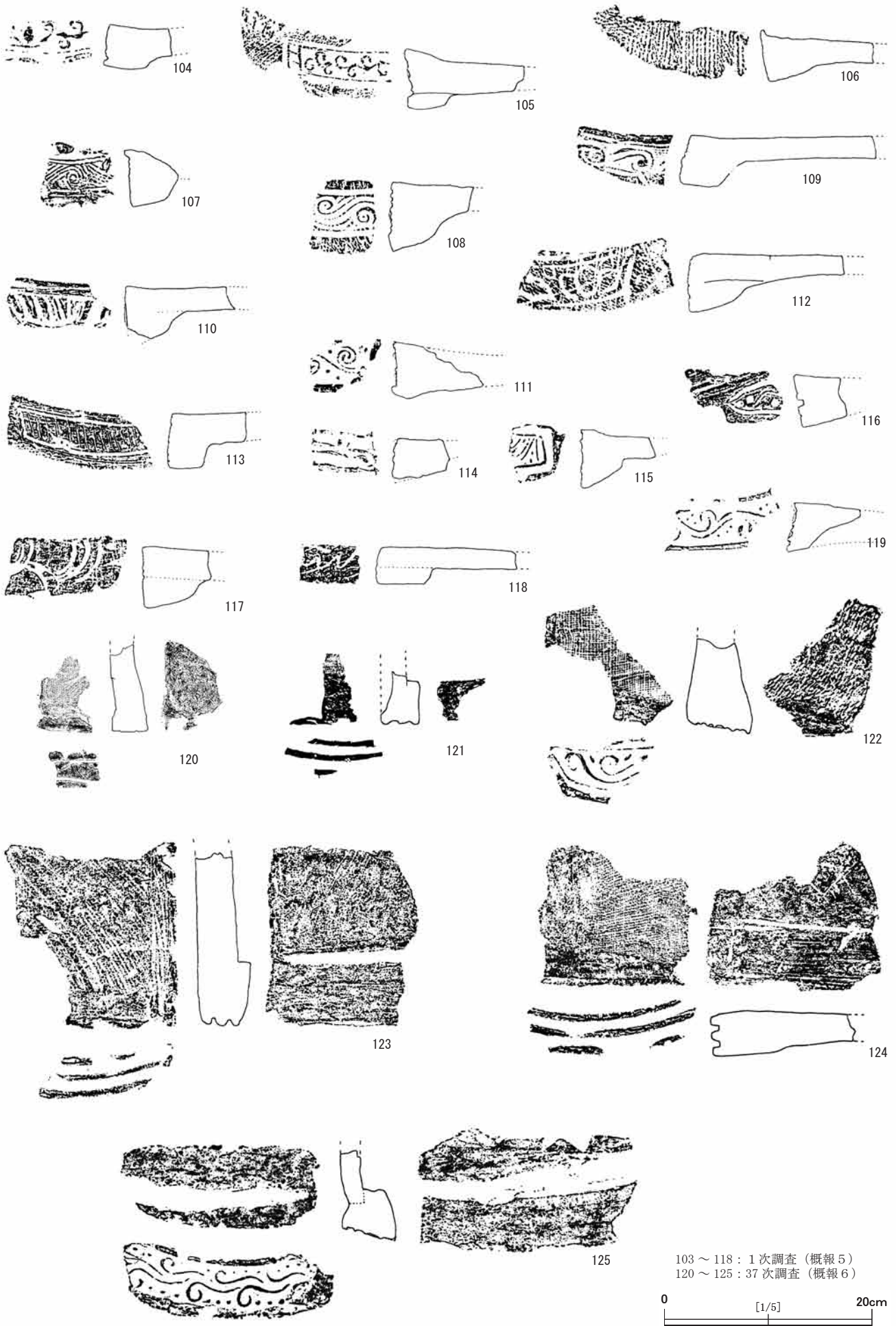
63 : 2次調査 (概報3)
 64 ~ 79 : 1次調査 (概報5)



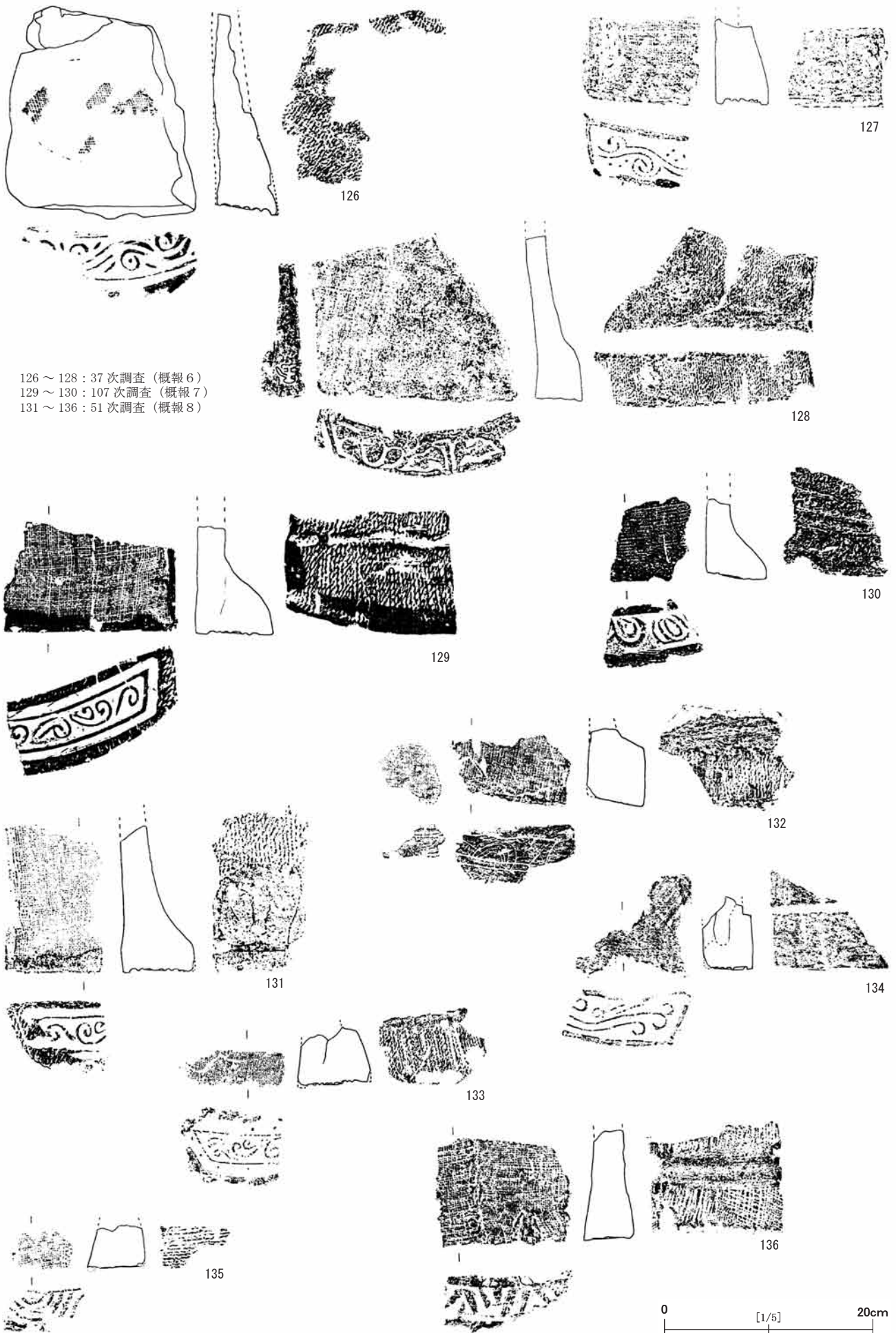
第50図 市内遺跡出土土宇瓦 (7)



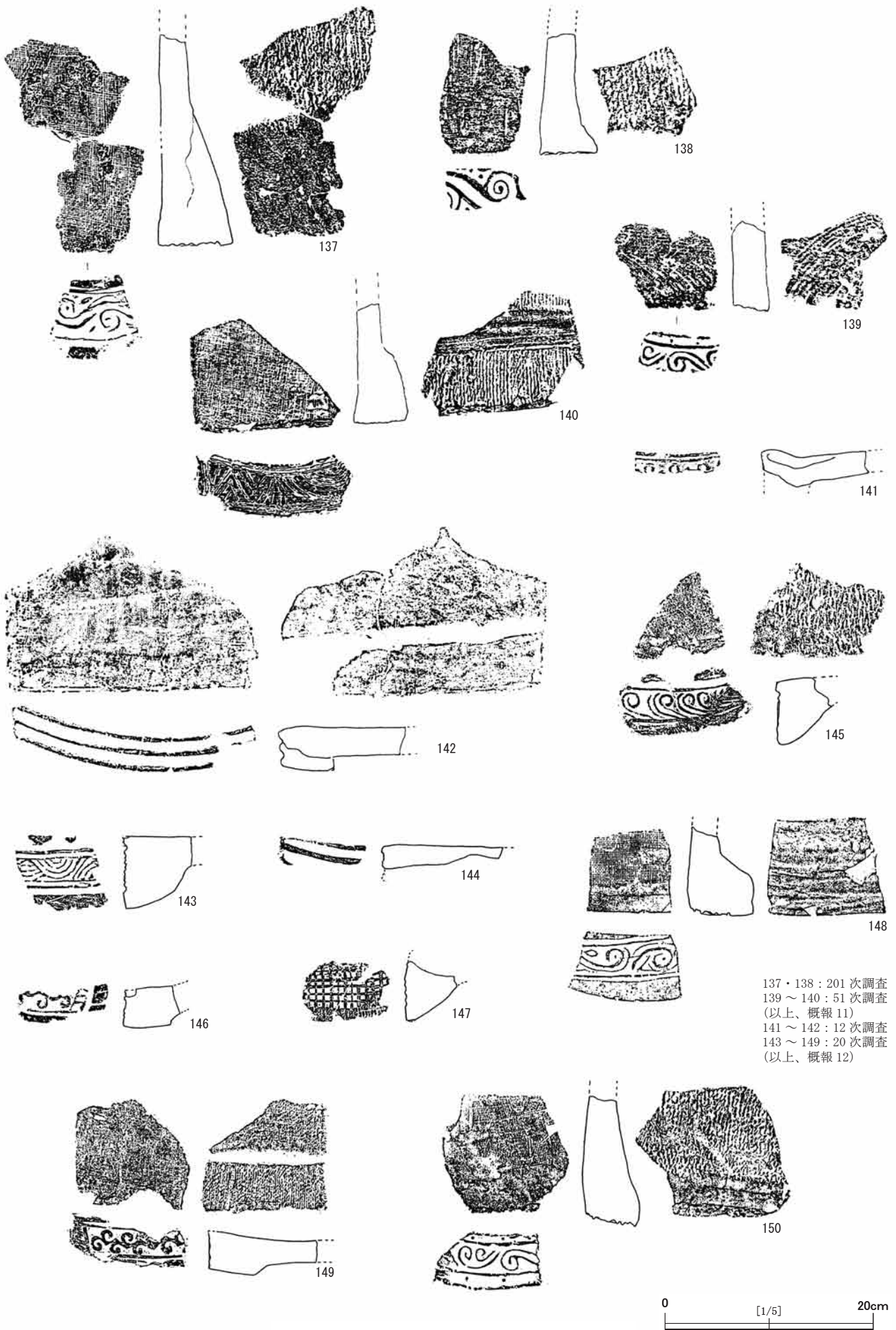
第51図 市内遺跡出土宇瓦(8)



第 52 図 市内遺跡出土土字瓦 (9)

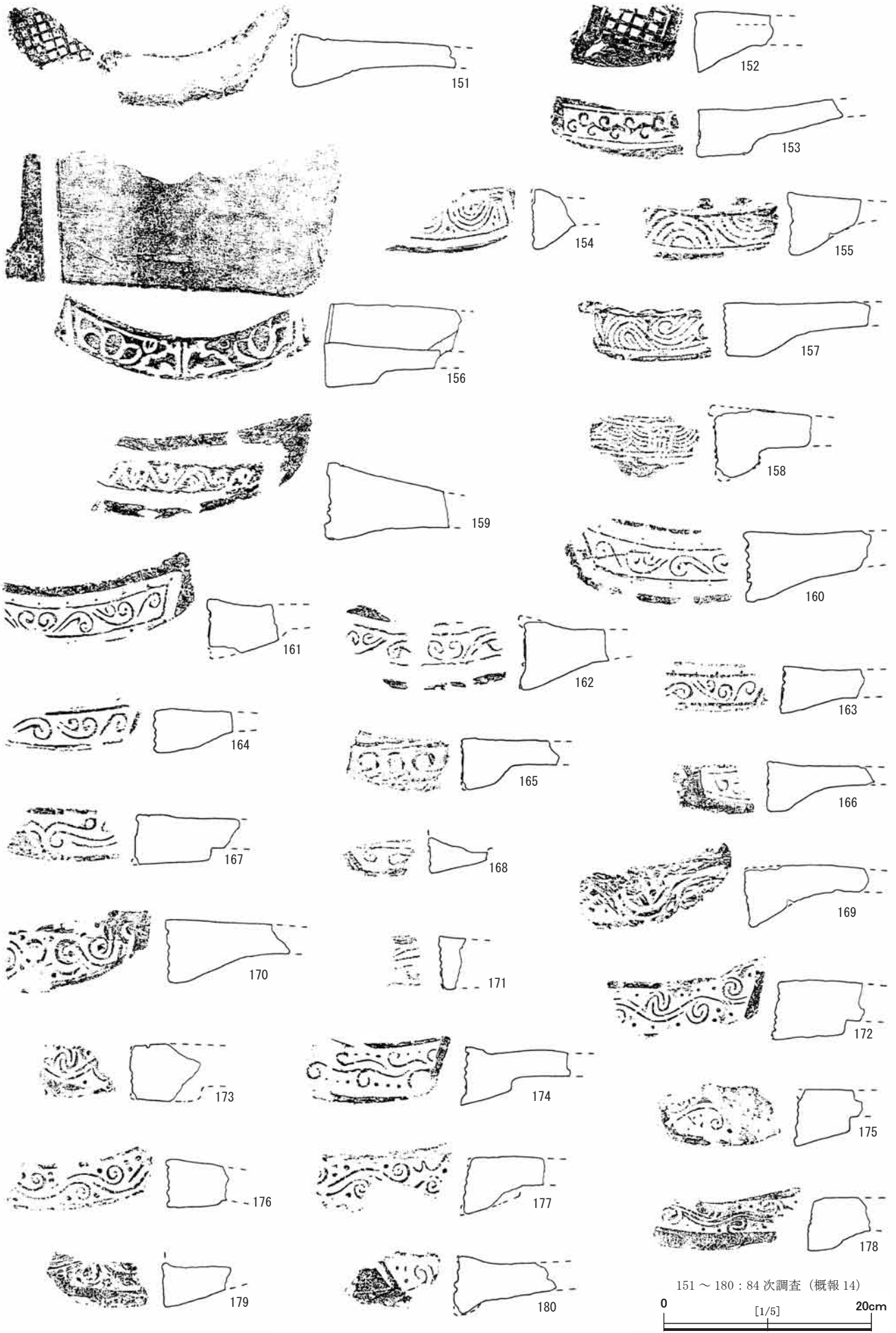


第 53 図 市内遺跡出土字瓦 (10)

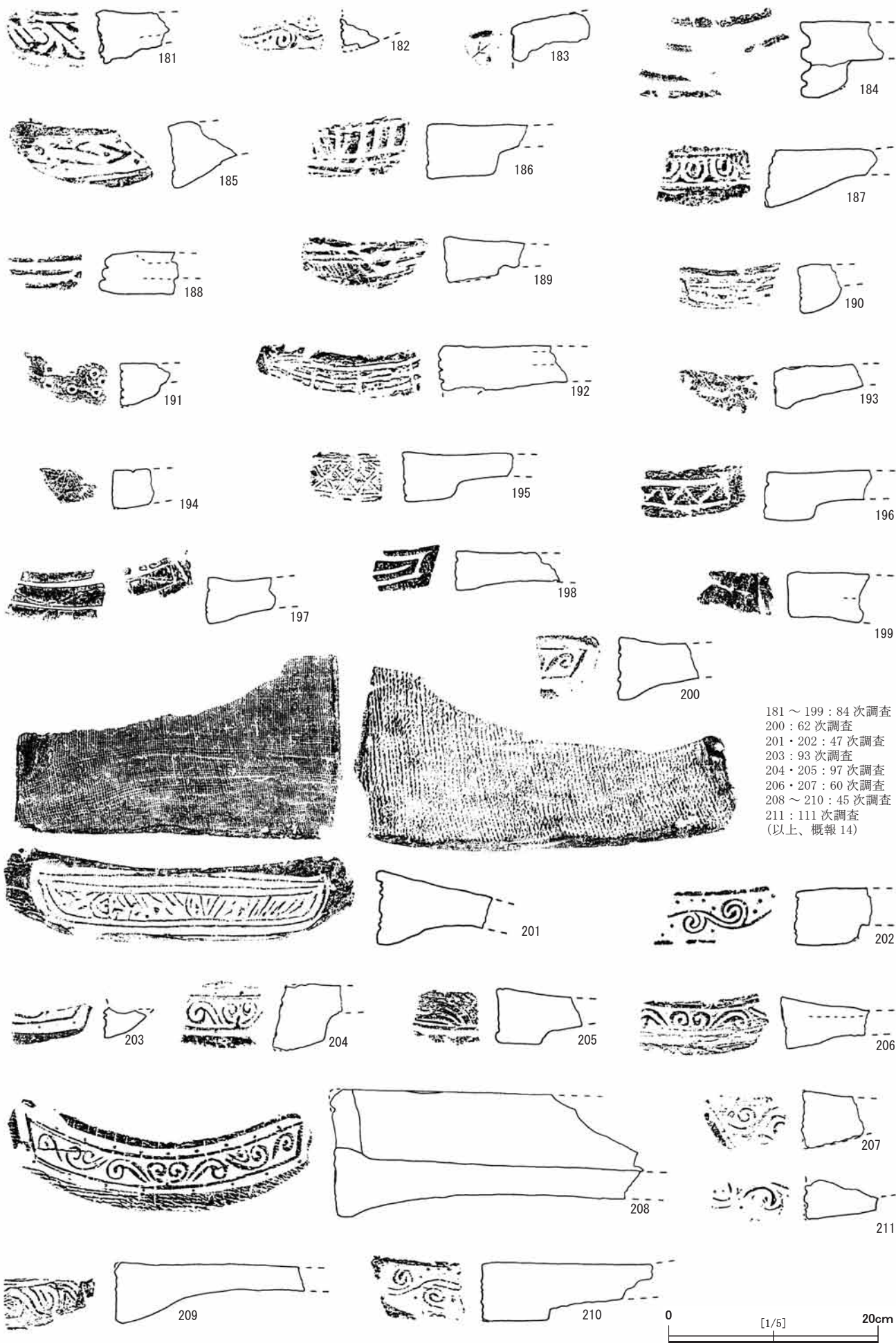


137・138：201次調査
 139～140：51次調査
 (以上、概報11)
 141～142：12次調査
 143～149：20次調査
 (以上、概報12)

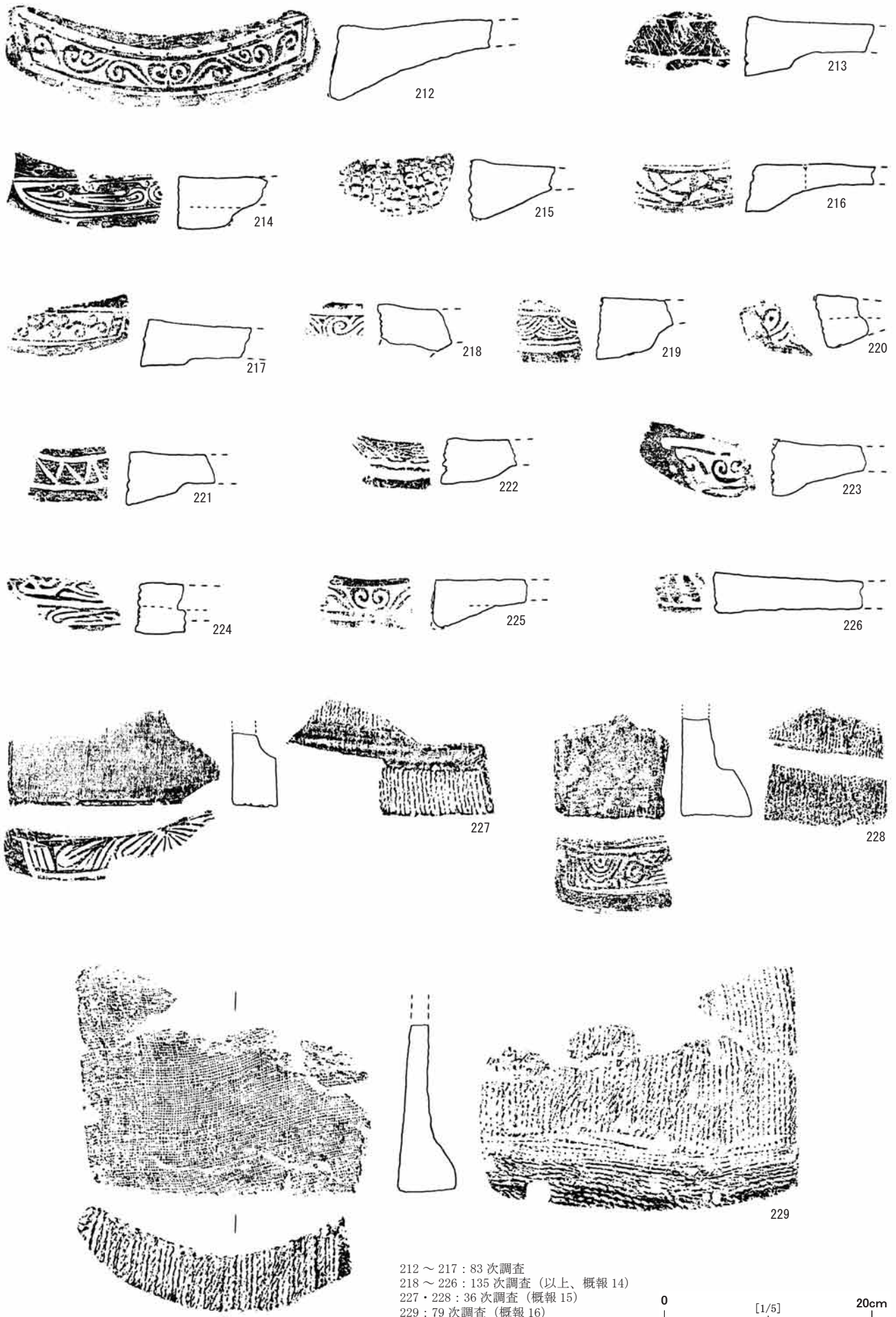
第54図 市内遺跡出土字瓦(11)



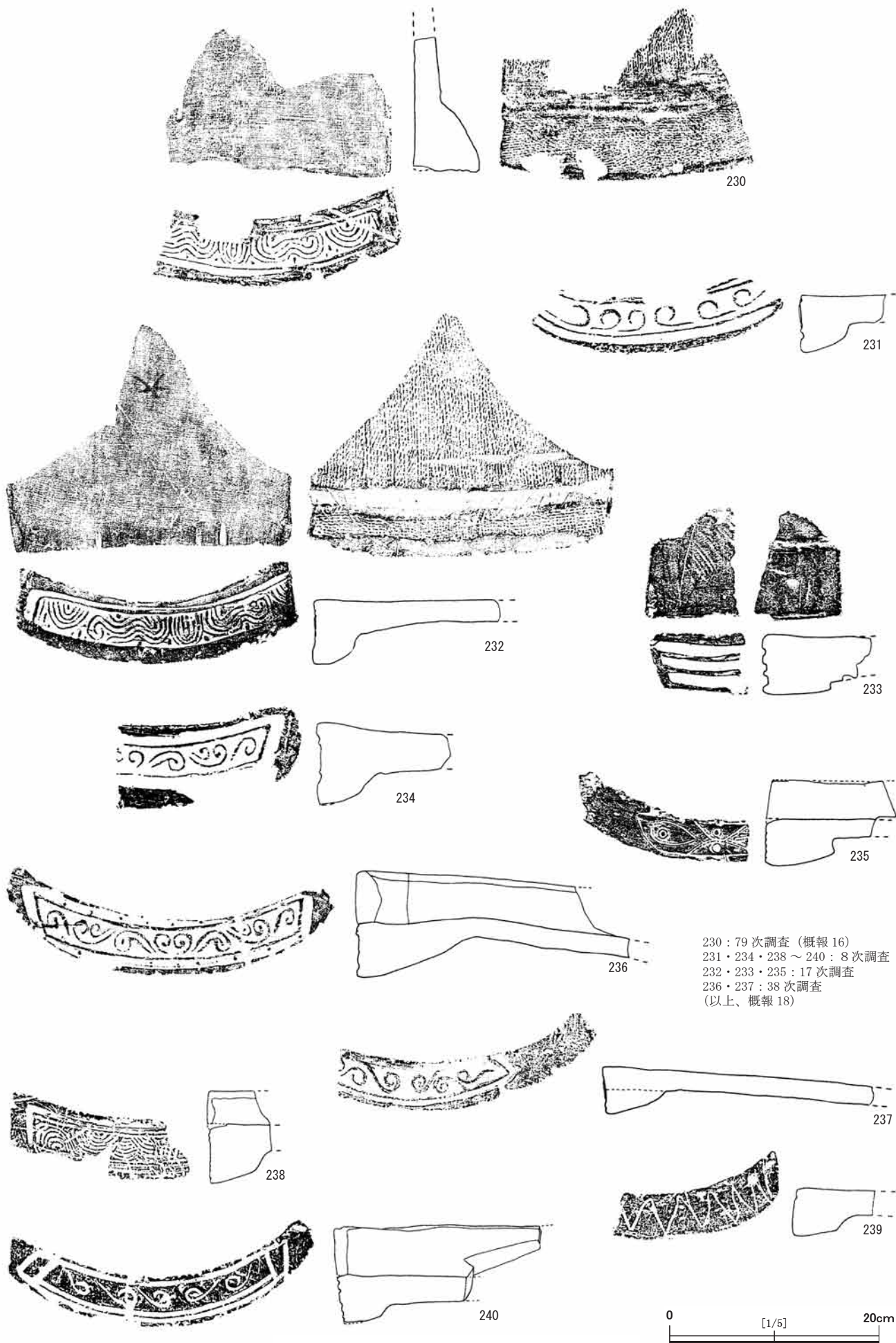
第 55 図 市内遺跡出土土宇瓦 (12)



第 56 図 市内遺跡出土土宇瓦 (13)

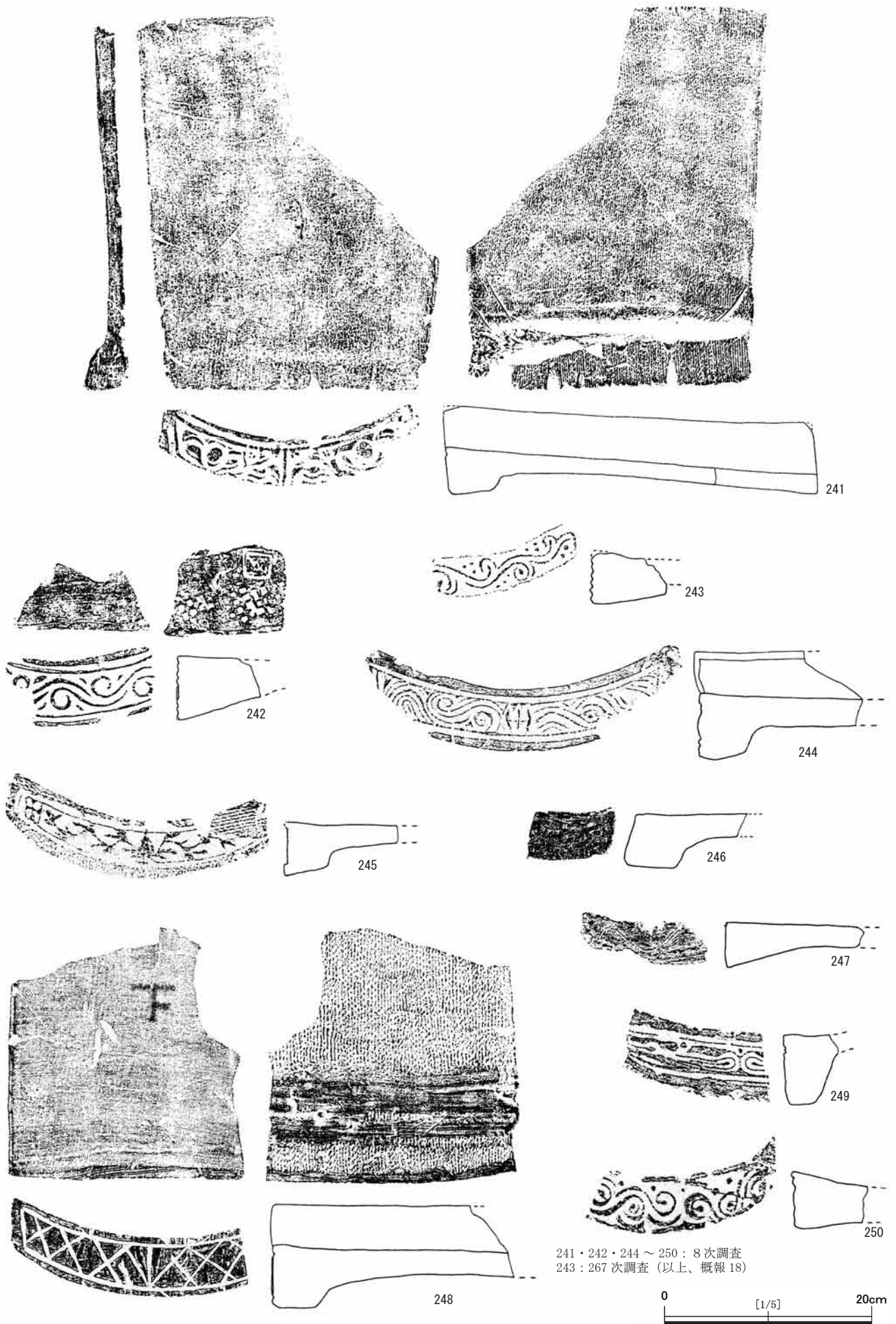


第 57 図 市内遺跡出土字瓦 (14)

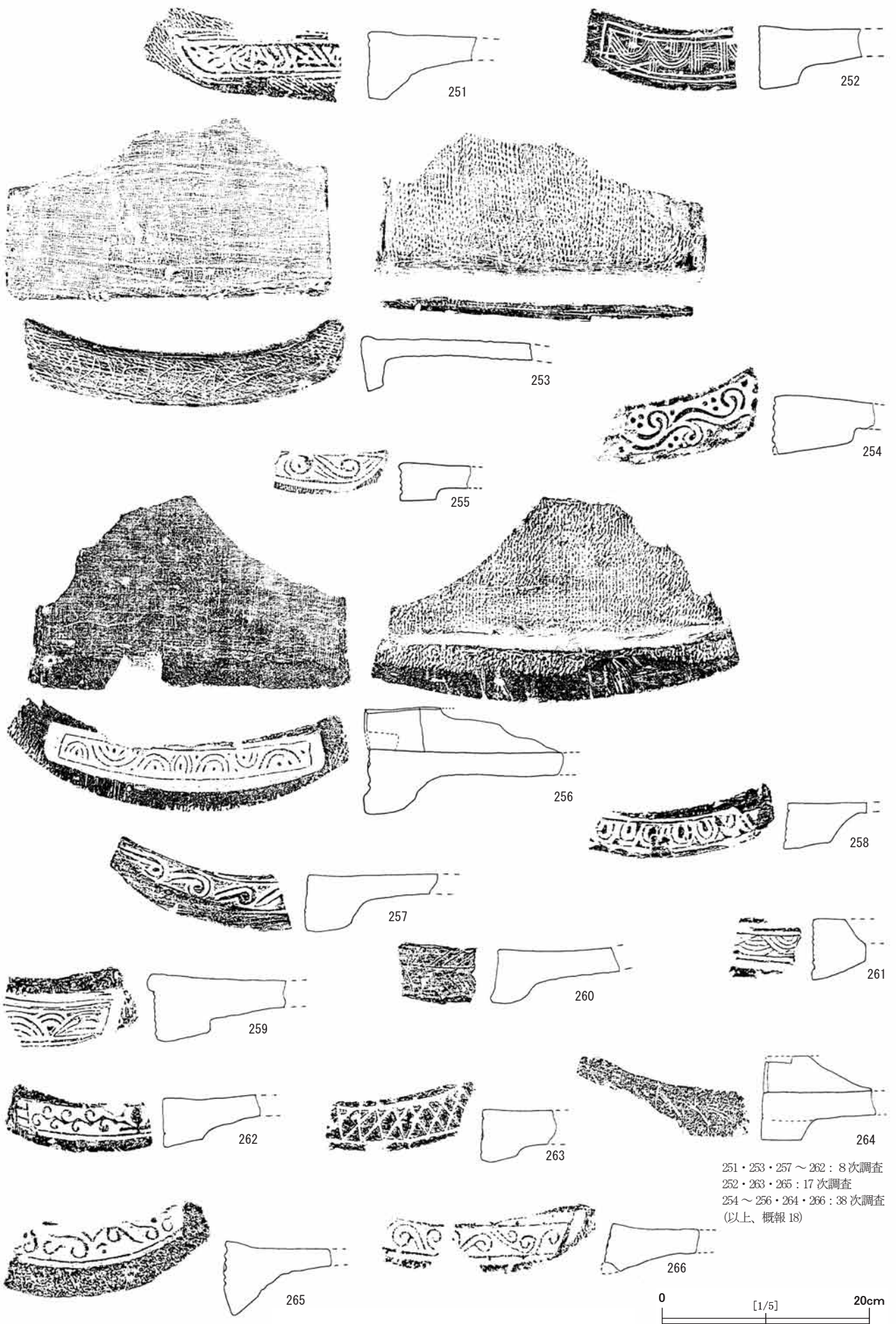


230 : 79 次調査 (概報 16)
 231・234・238～240 : 8 次調査
 232・233・235 : 17 次調査
 236・237 : 38 次調査
 (以上、概報 18)

第 58 図 市内遺跡出土土宇瓦 (15)

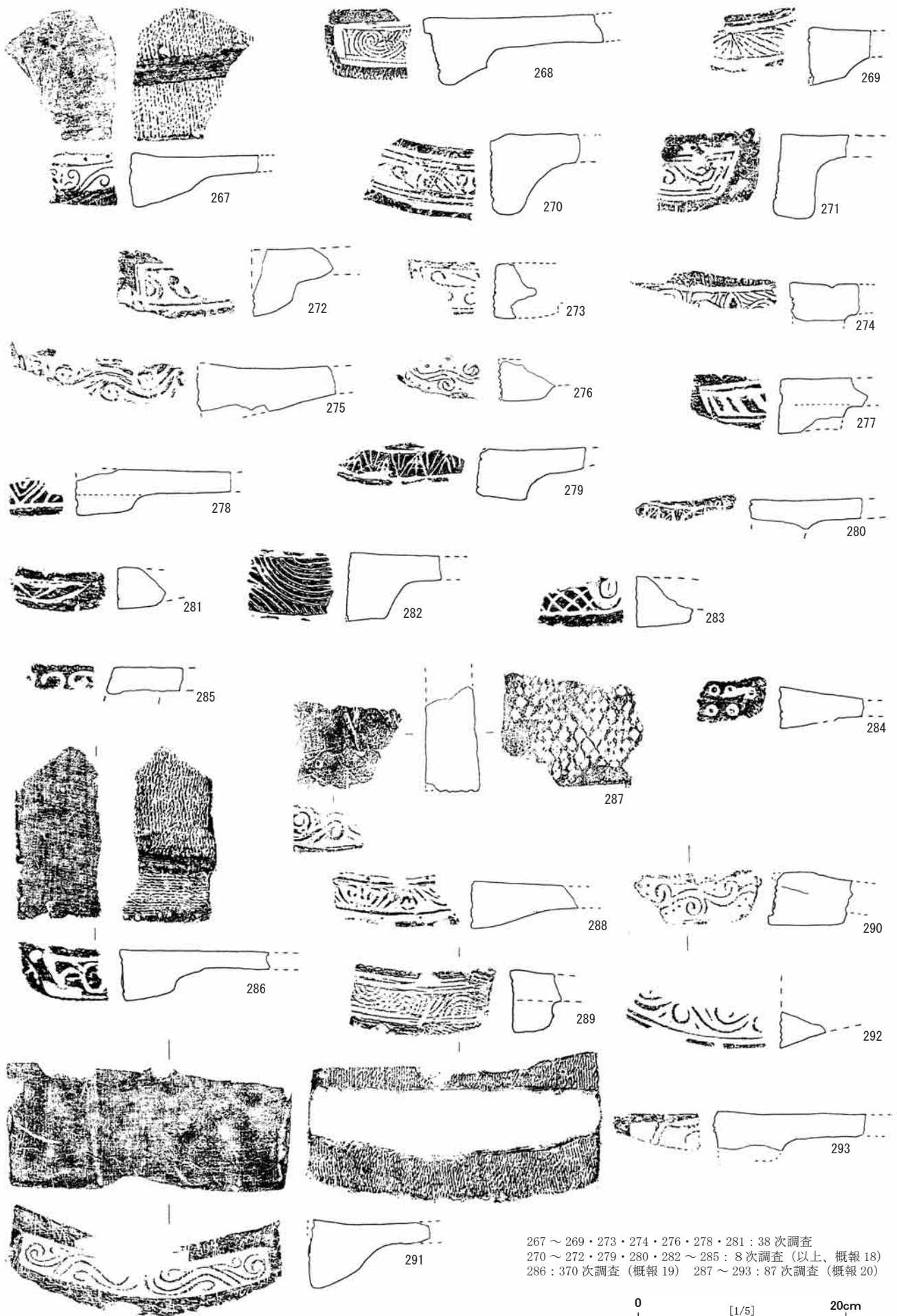


第 59 図 市内遺跡出土宇瓦 (16)

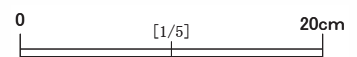


251・253・257～262：8次調査
 252・263・265：17次調査
 254～256・264・266：38次調査
 (以上、概報 18)

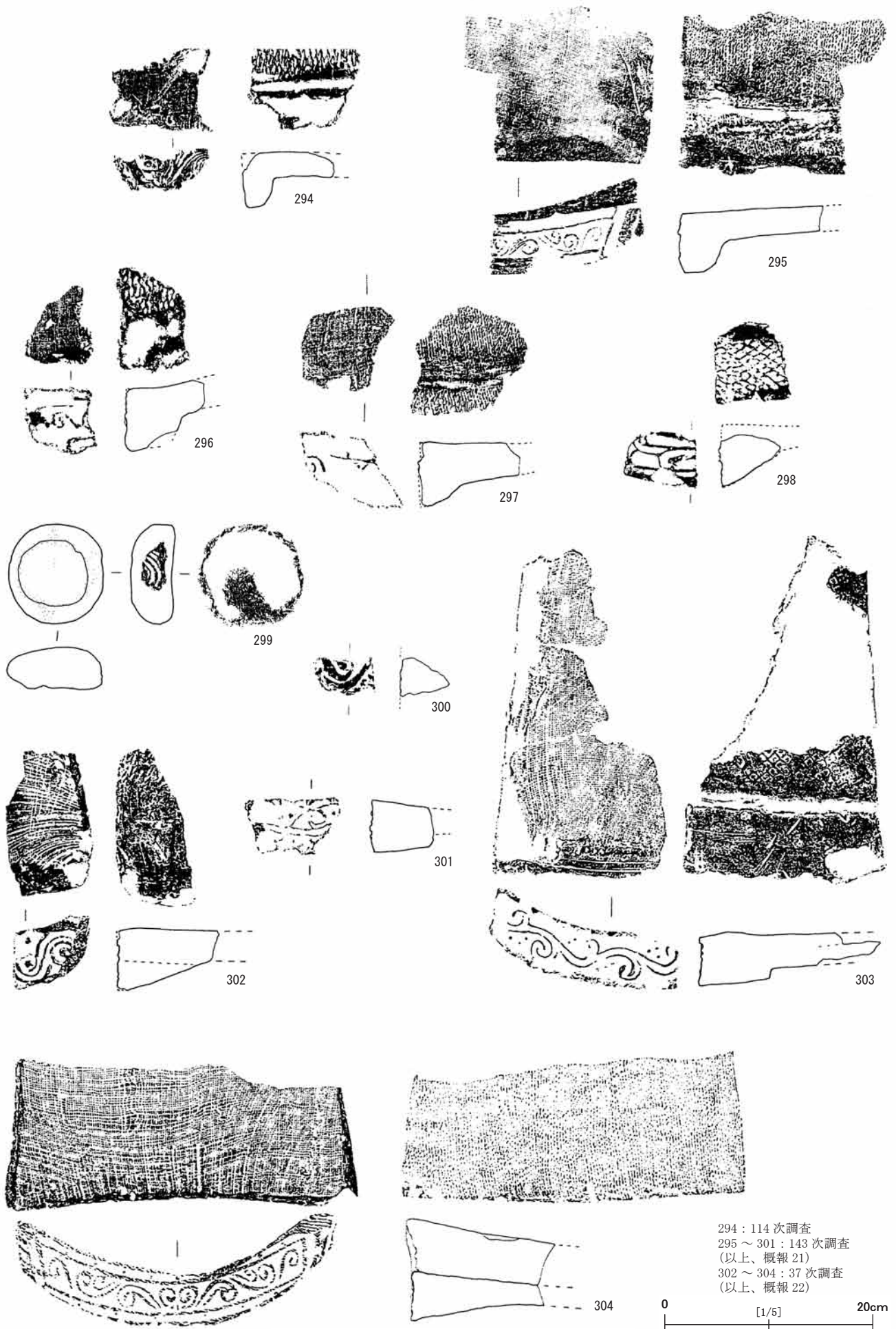
第 60 図 市内遺跡出土宇瓦 (17)



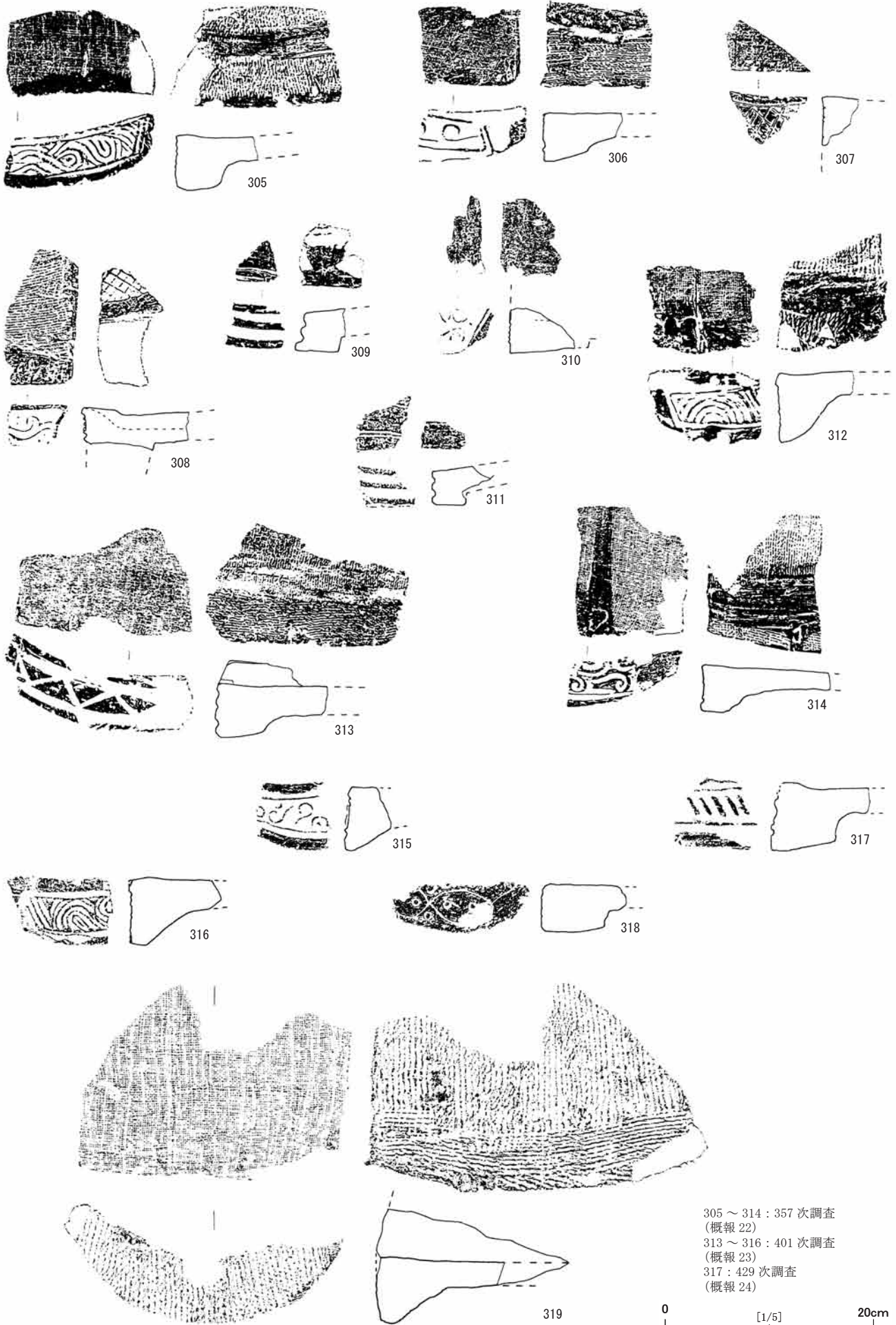
267 ~ 269 · 273 · 274 · 276 · 278 · 281 : 38 次調査
 270 ~ 272 · 279 · 280 · 282 ~ 285 : 8 次調査 (以上、概報 18)
 286 : 370 次調査 (概報 19) 287 ~ 293 : 87 次調査 (概報 20)



第 61 図 市内遺跡出土土瓦 (18)

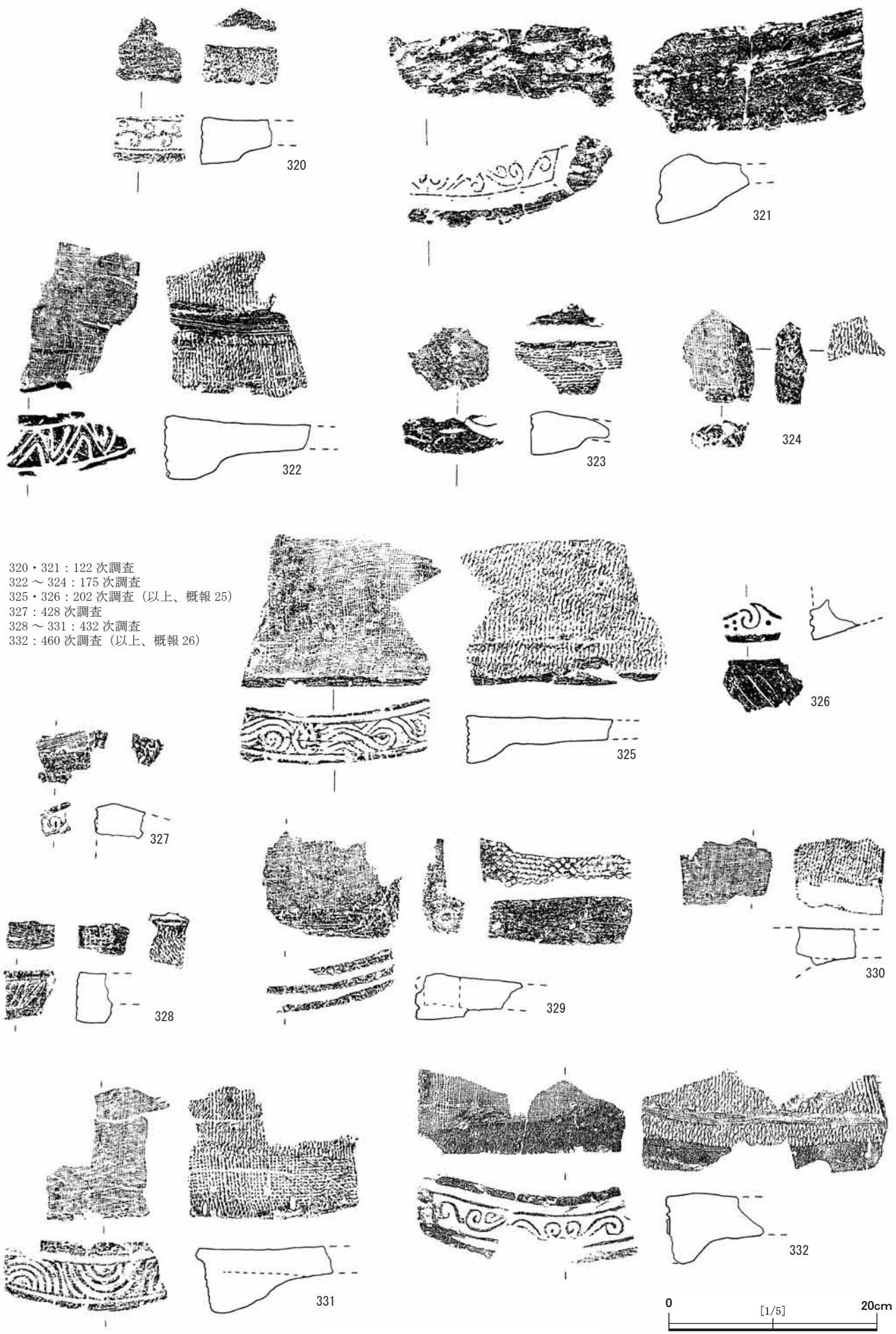


第 62 図 市内遺跡出土字瓦 (19)



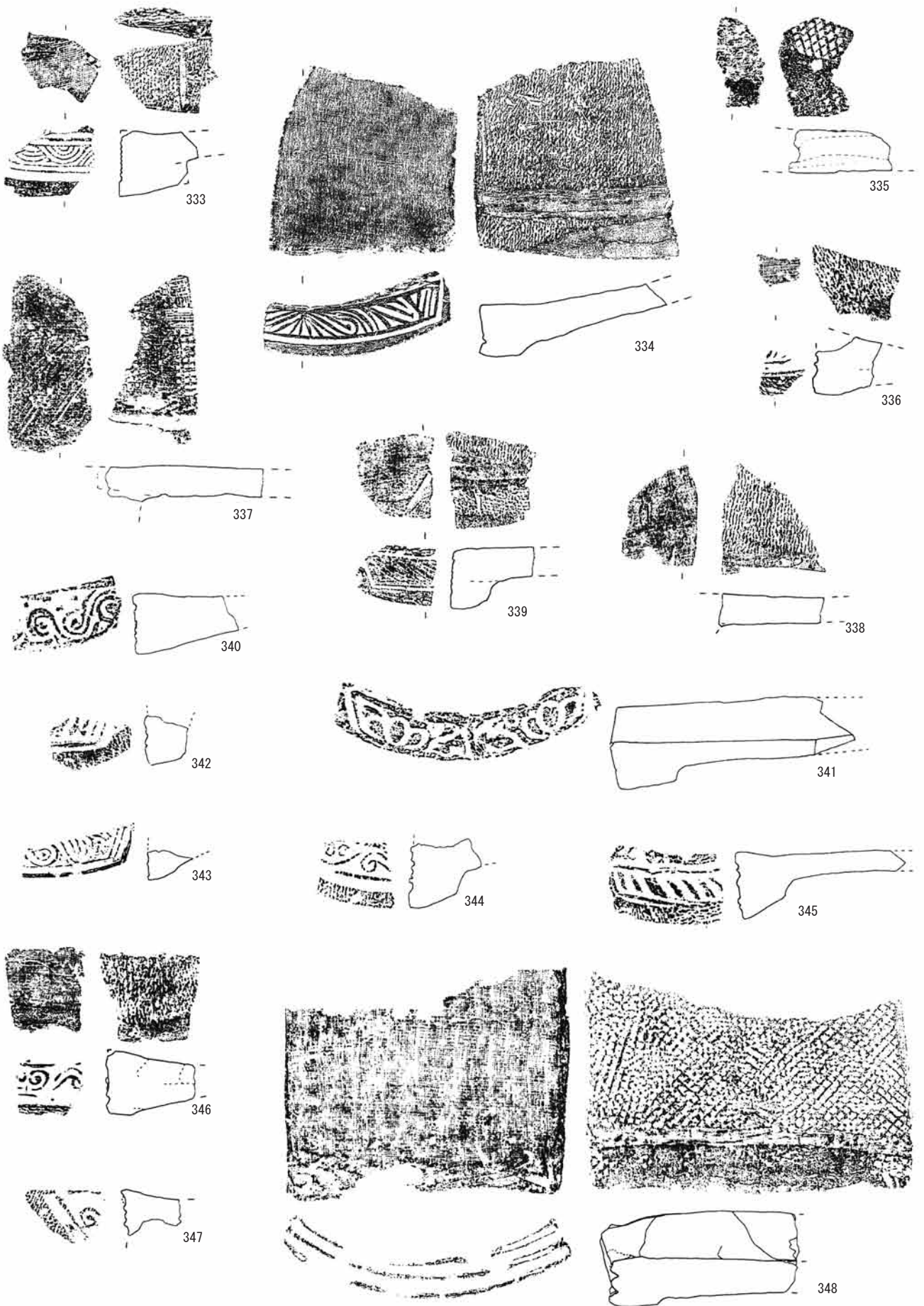
305 ~ 314 : 357 次調査
 (概報 22)
 313 ~ 316 : 401 次調査
 (概報 23)
 317 : 429 次調査
 (概報 24)

第 63 図 市内遺跡出土宇瓦 (20)



320・321：122次調査
 322～324：175次調査
 325・326：202次調査（以上、概報25）
 327：428次調査
 328～331：432次調査
 332：460次調査（以上、概報26）

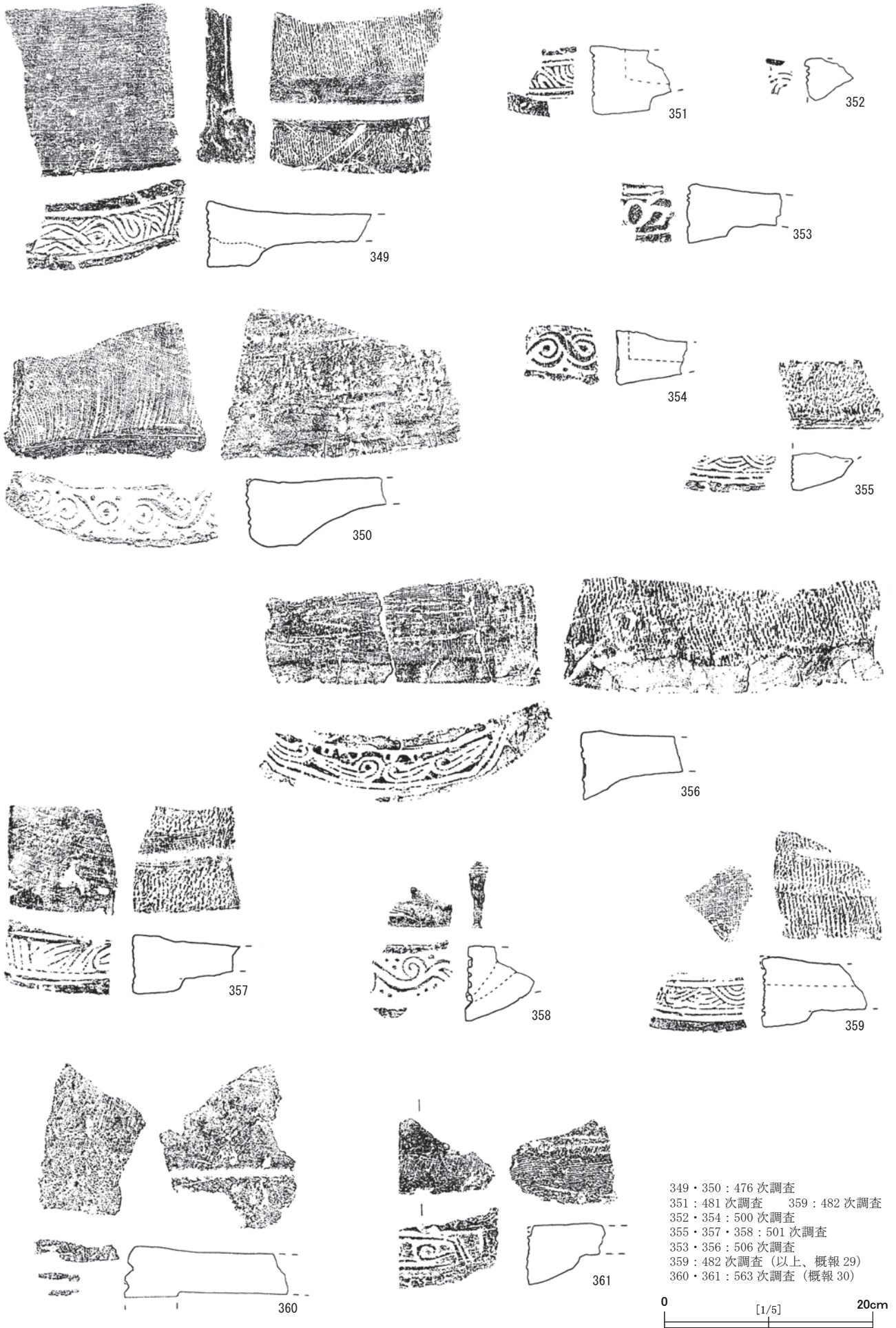
第64図 市内遺跡出土字瓦(21)



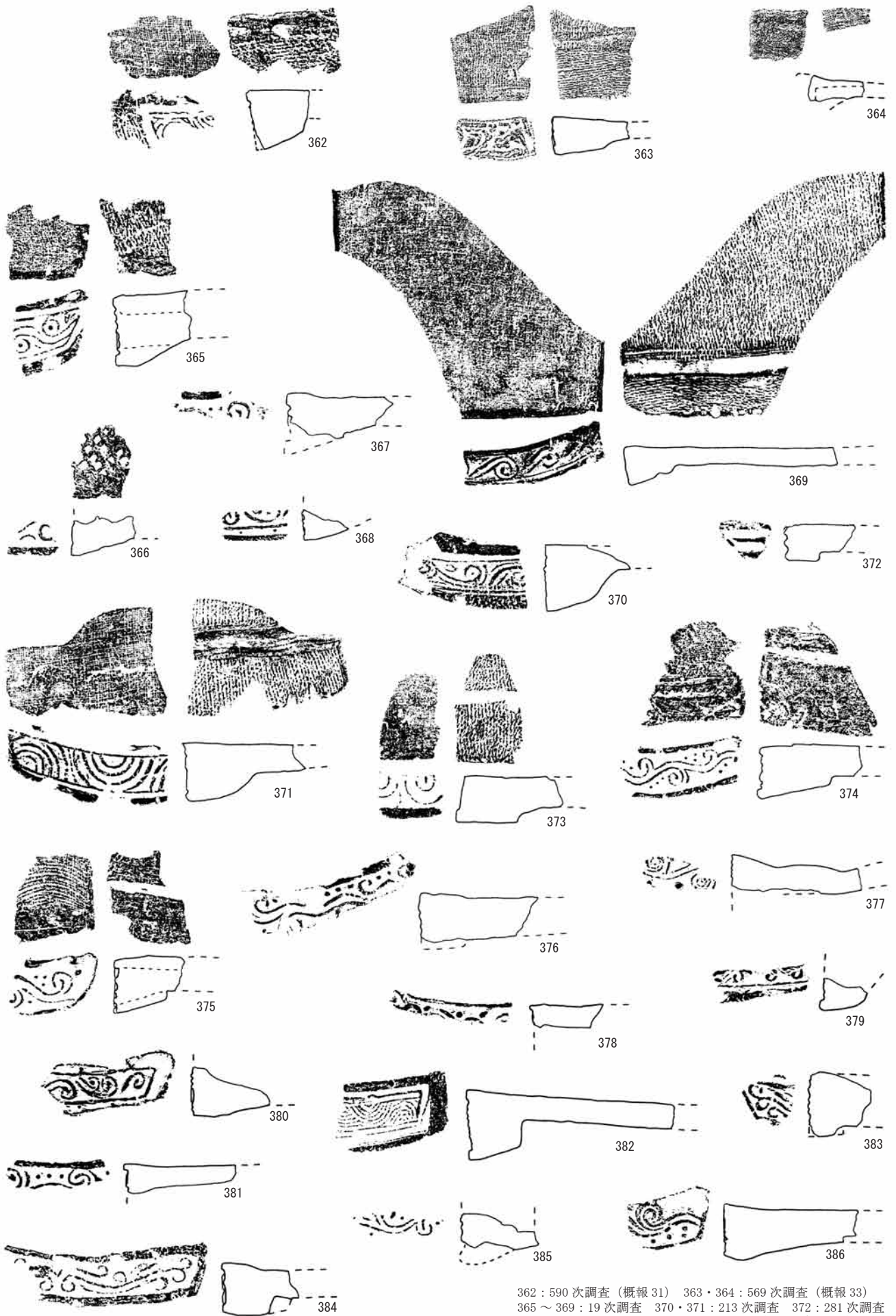
333 : 460 次調査 334 : 466 次調査
 335・336・337・338 : 494 次調査 (以上、概報 26)
 339 : 437 次調査 340～345 : 68 次調査 (以上、概報 27)
 346 : 475 次調査 347～348 : 476 次調査 (以上、概報 29)

0 [1/5] 20cm

第 65 図 市内遺跡出土土字瓦 (22)

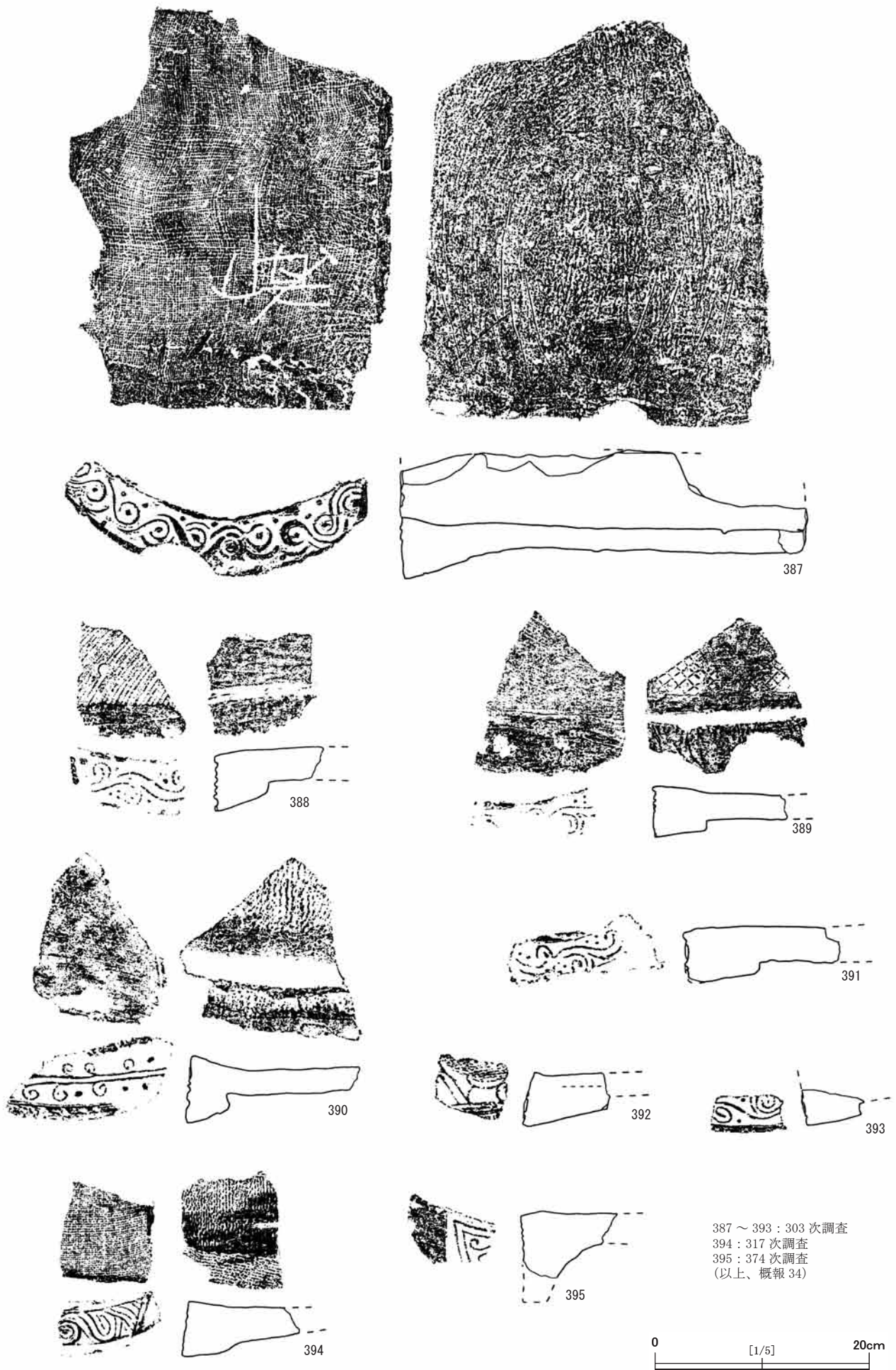


第 66 図 市内遺跡出土字瓦 (23)

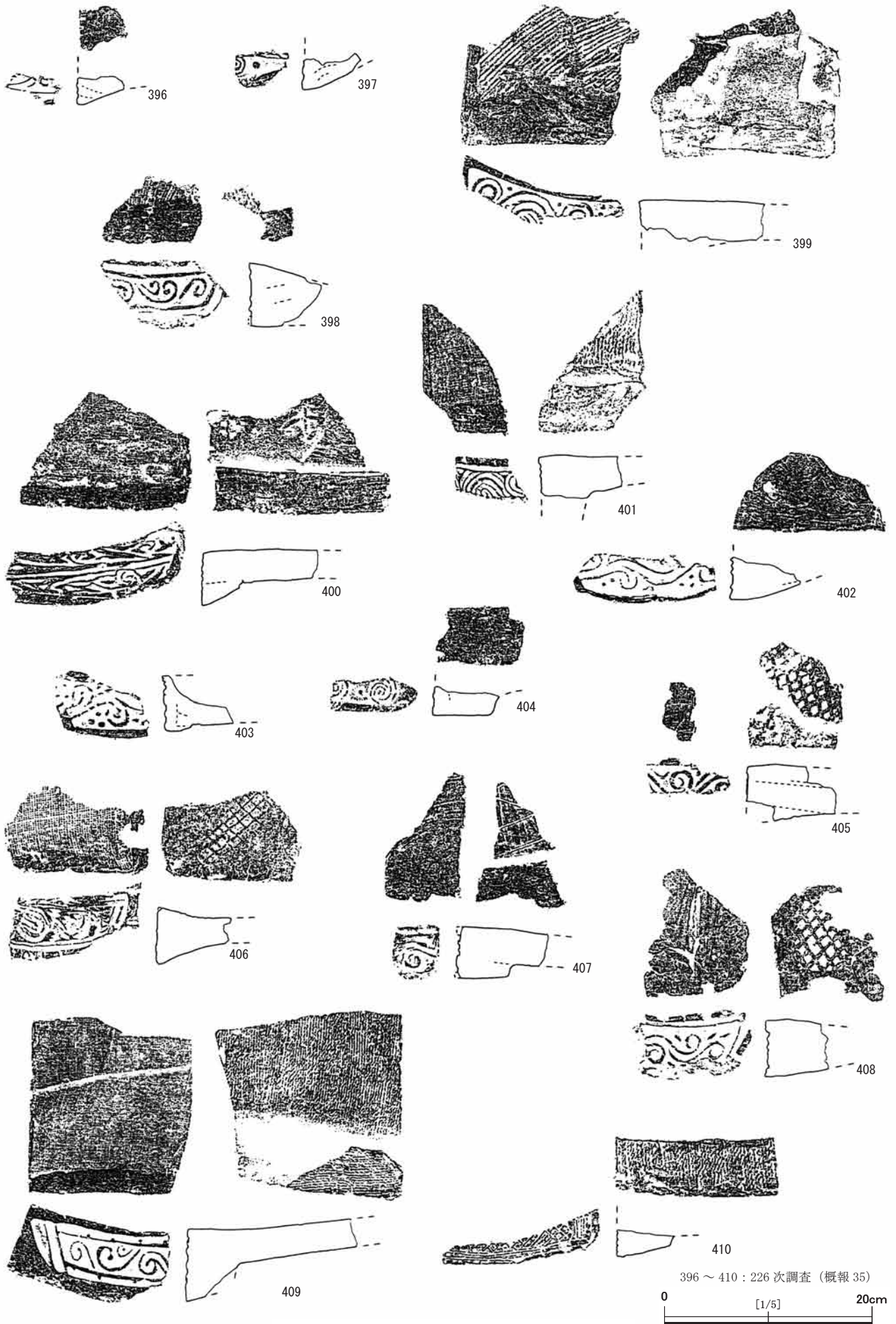


362 : 590 次調査 (概報 31) 363・364 : 569 次調査 (概報 33)
 365 ~ 369 : 19 次調査 370・371 : 213 次調査 372 : 281 次調査
 373 : 263 次調査 374 ~ 386 : 303 次調査 (以上、概報 34)

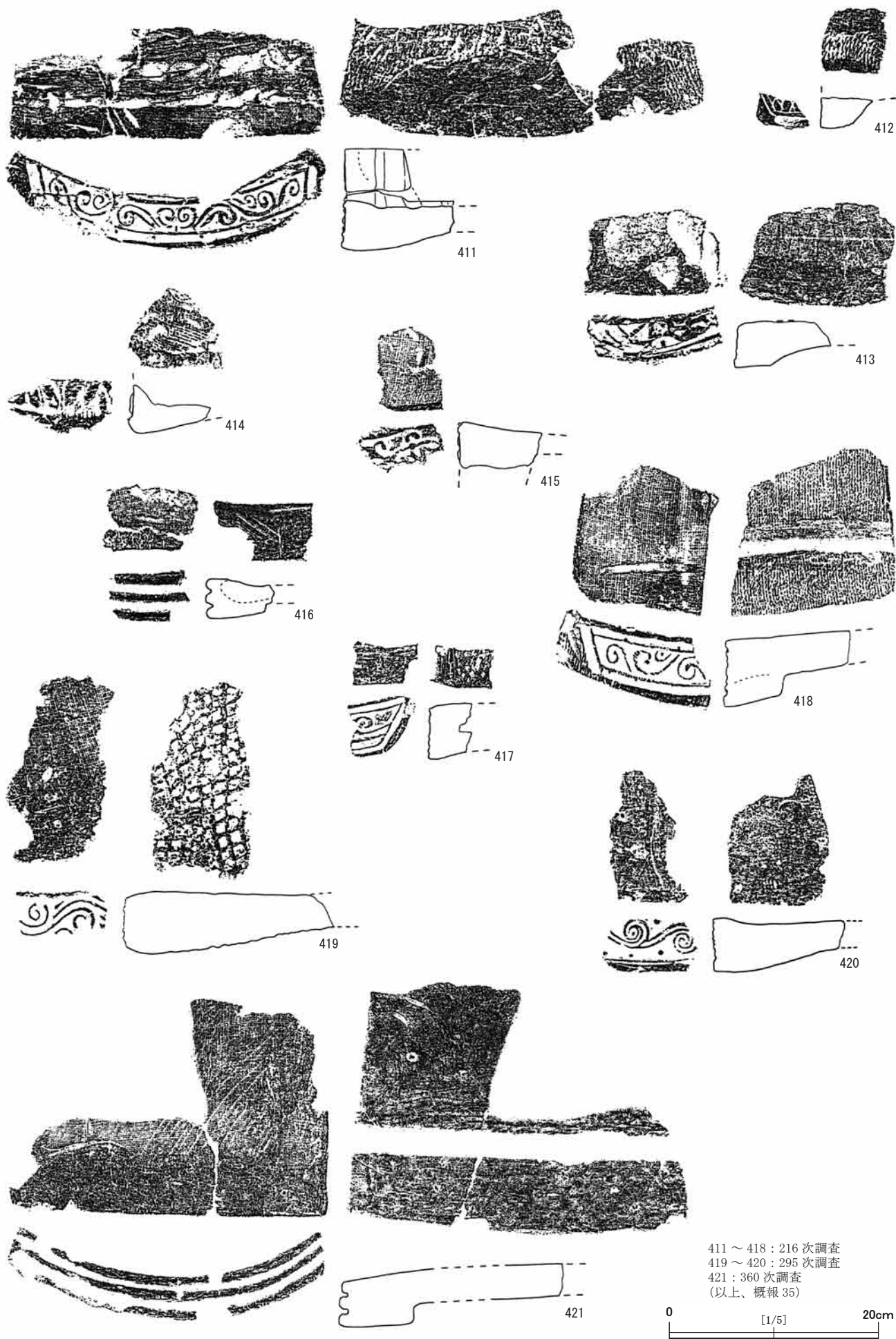
第 67 図 市内遺跡出土宇瓦 (24)



第 68 図 市内遺跡出土宇瓦 (25)

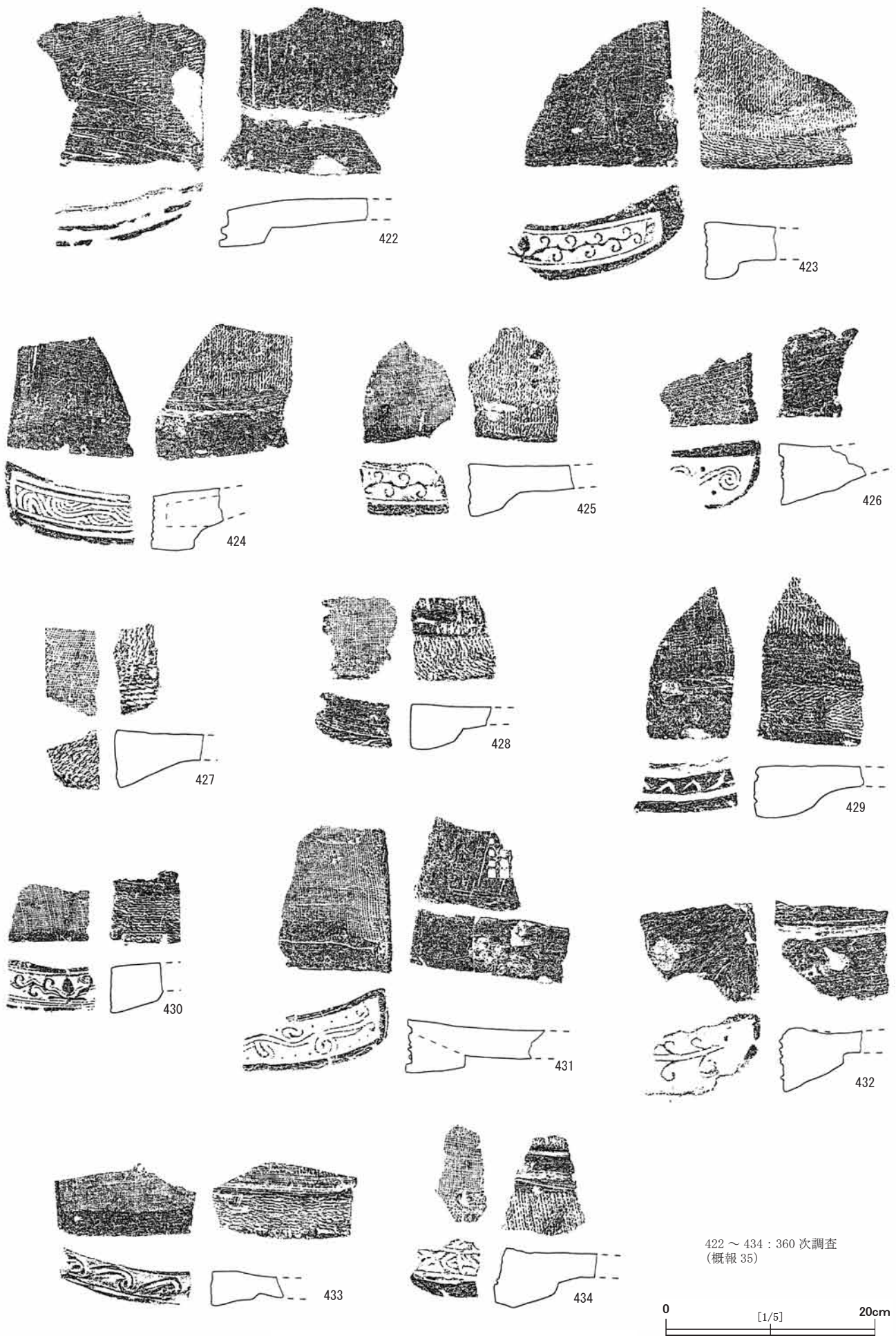


第 69 図 市内遺跡出土字瓦 (26)



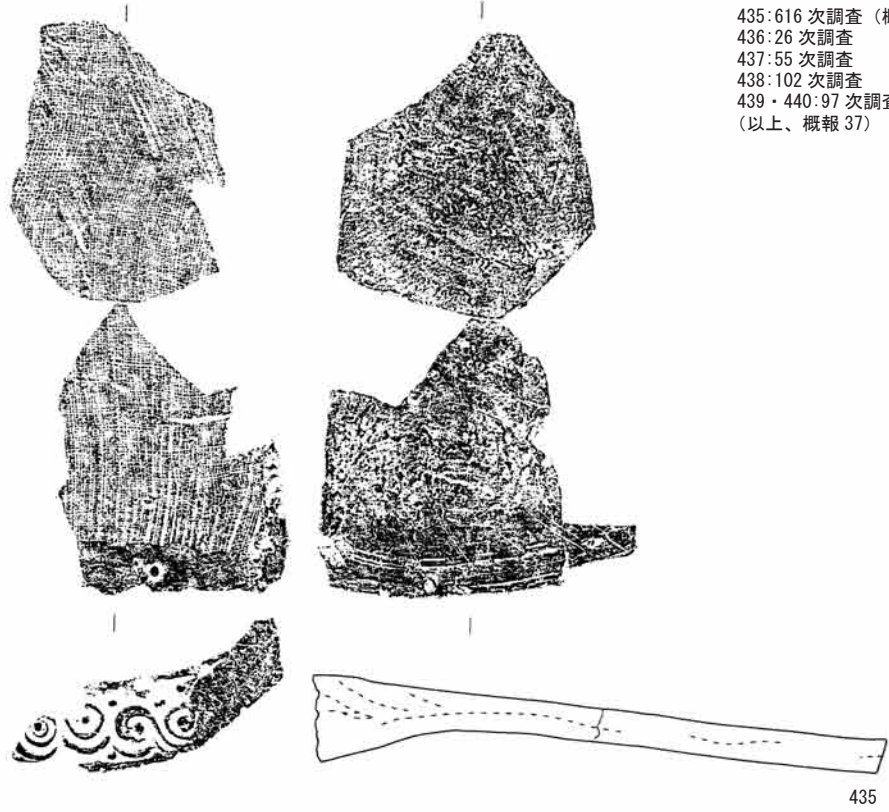
411 ~ 418 : 216 次調査
 419 ~ 420 : 295 次調査
 421 : 360 次調査
 (以上、概報 35)

第 70 図 市内遺跡出土字瓦 (27)

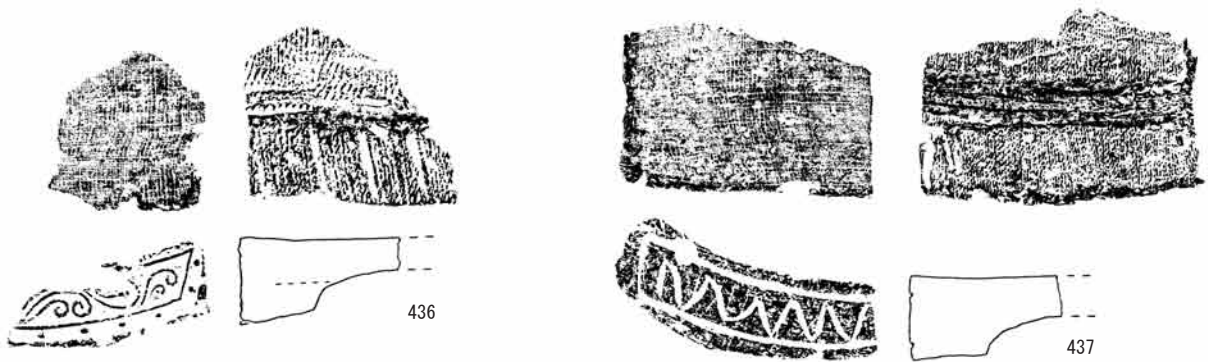


第 71 図 市内遺跡出土字瓦 (28)

435:616 次調査 (概報 36)
 436:26 次調査
 437:55 次調査
 438:102 次調査
 439・440:97 次調査
 (以上、概報 37)

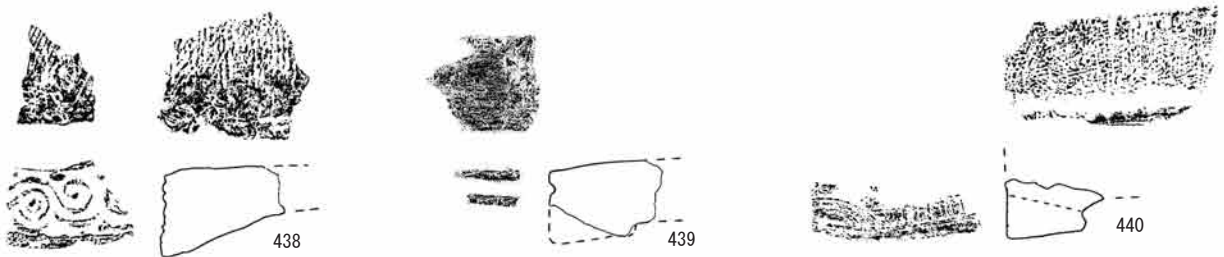


435



436

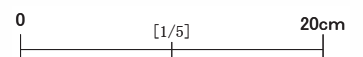
437



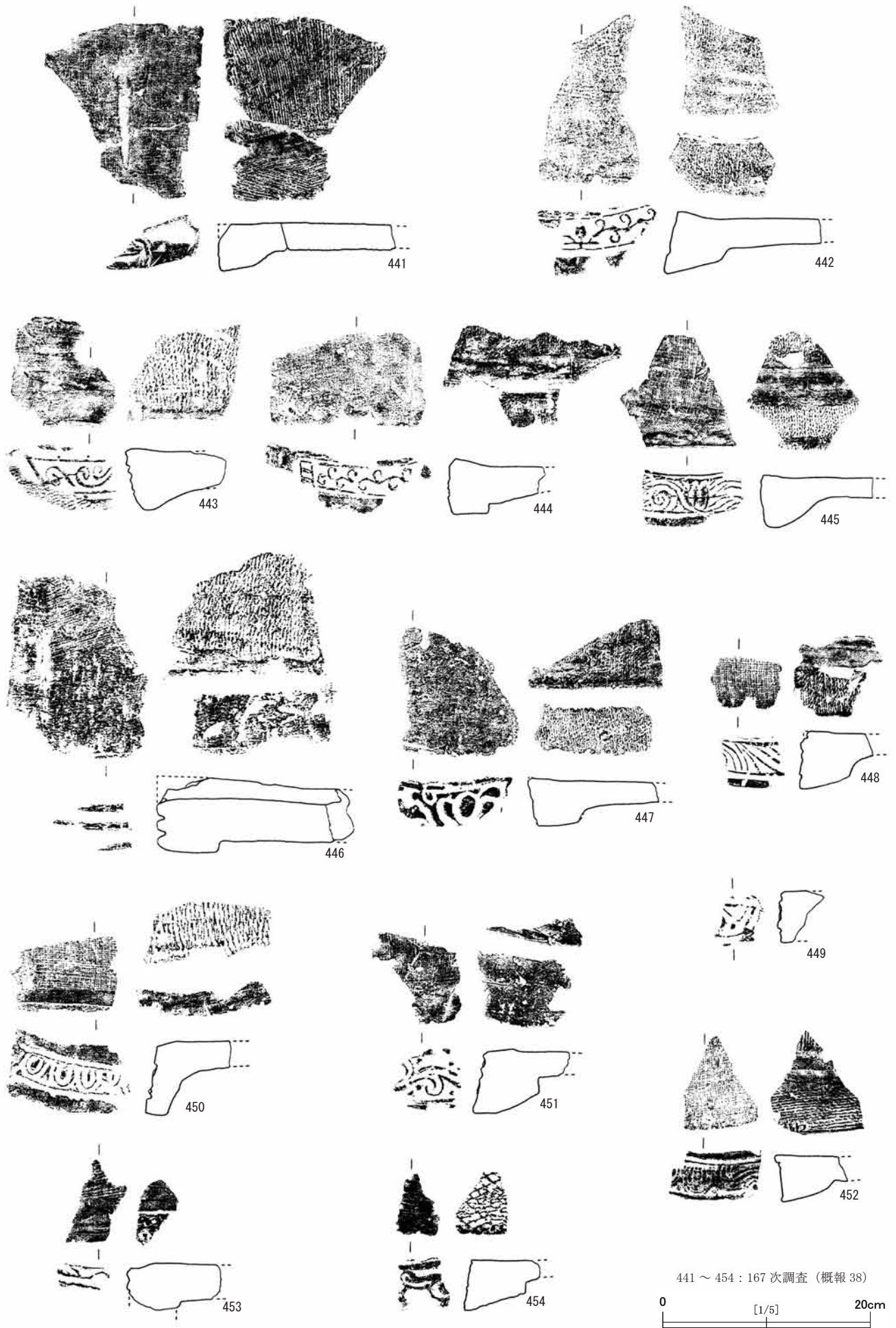
438

439

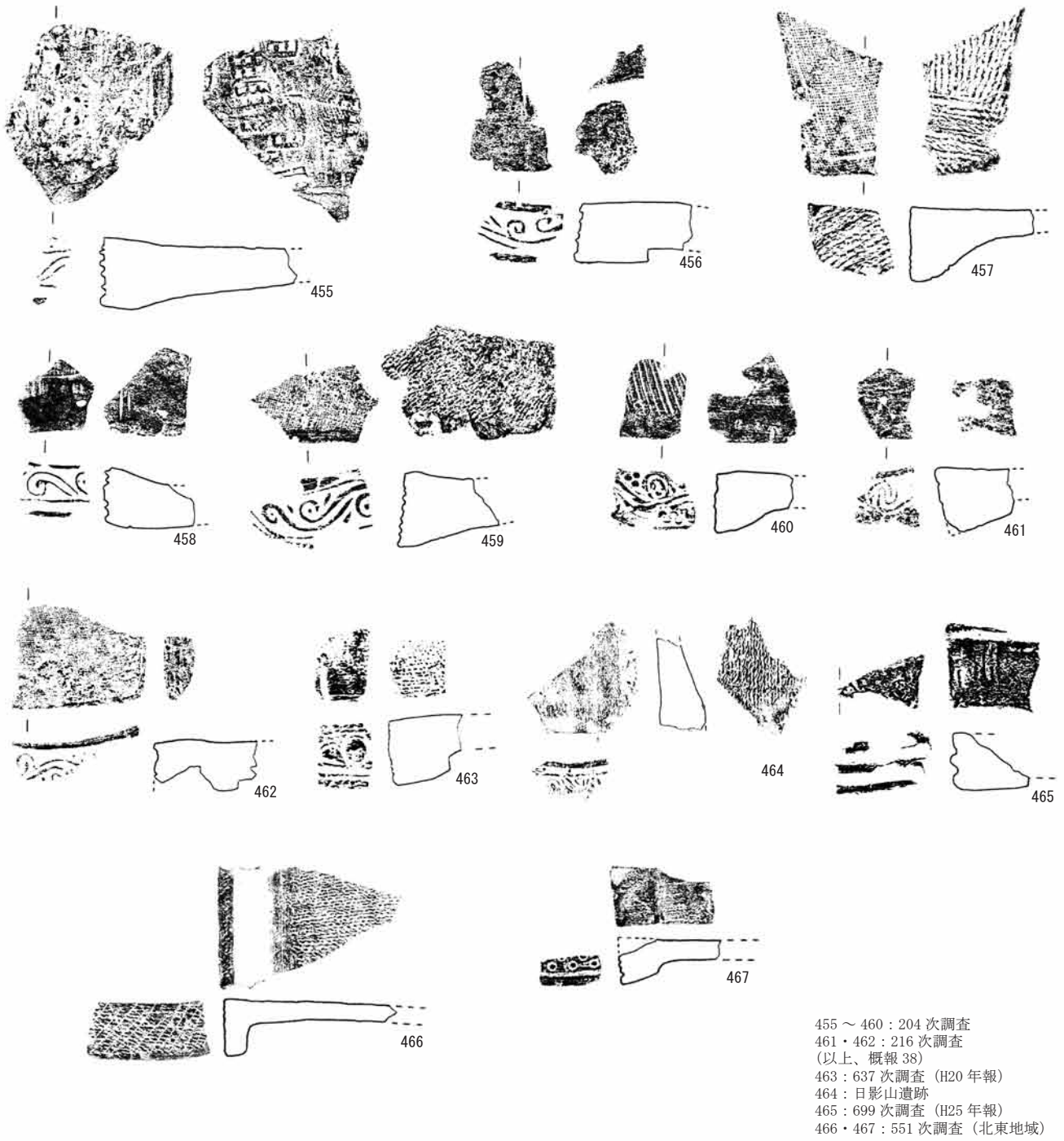
440



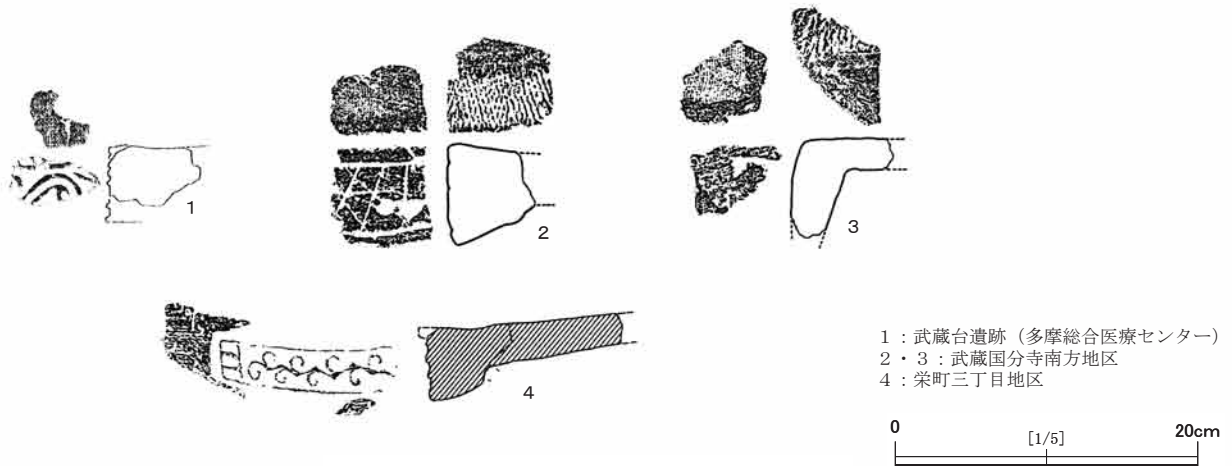
第 72 図 市内遺跡出土字瓦 (29)



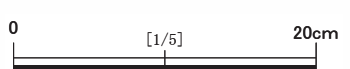
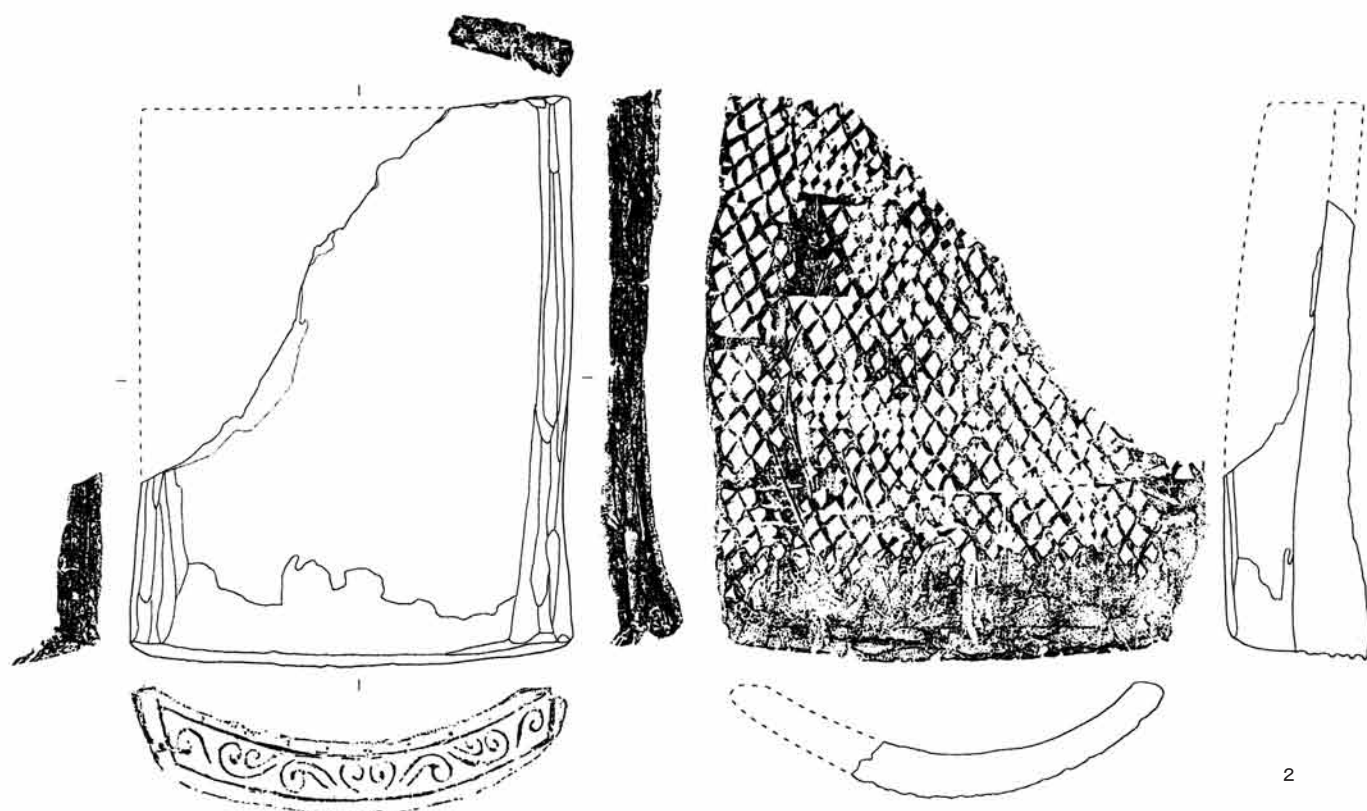
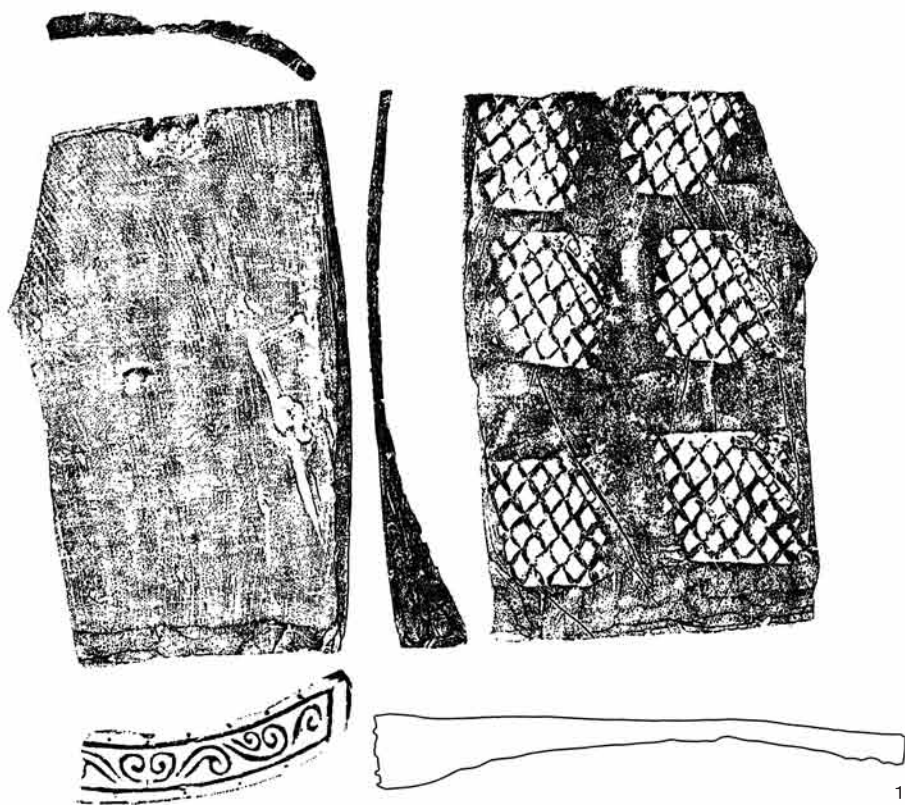
第 73 図 市内遺跡出土字瓦 (30)



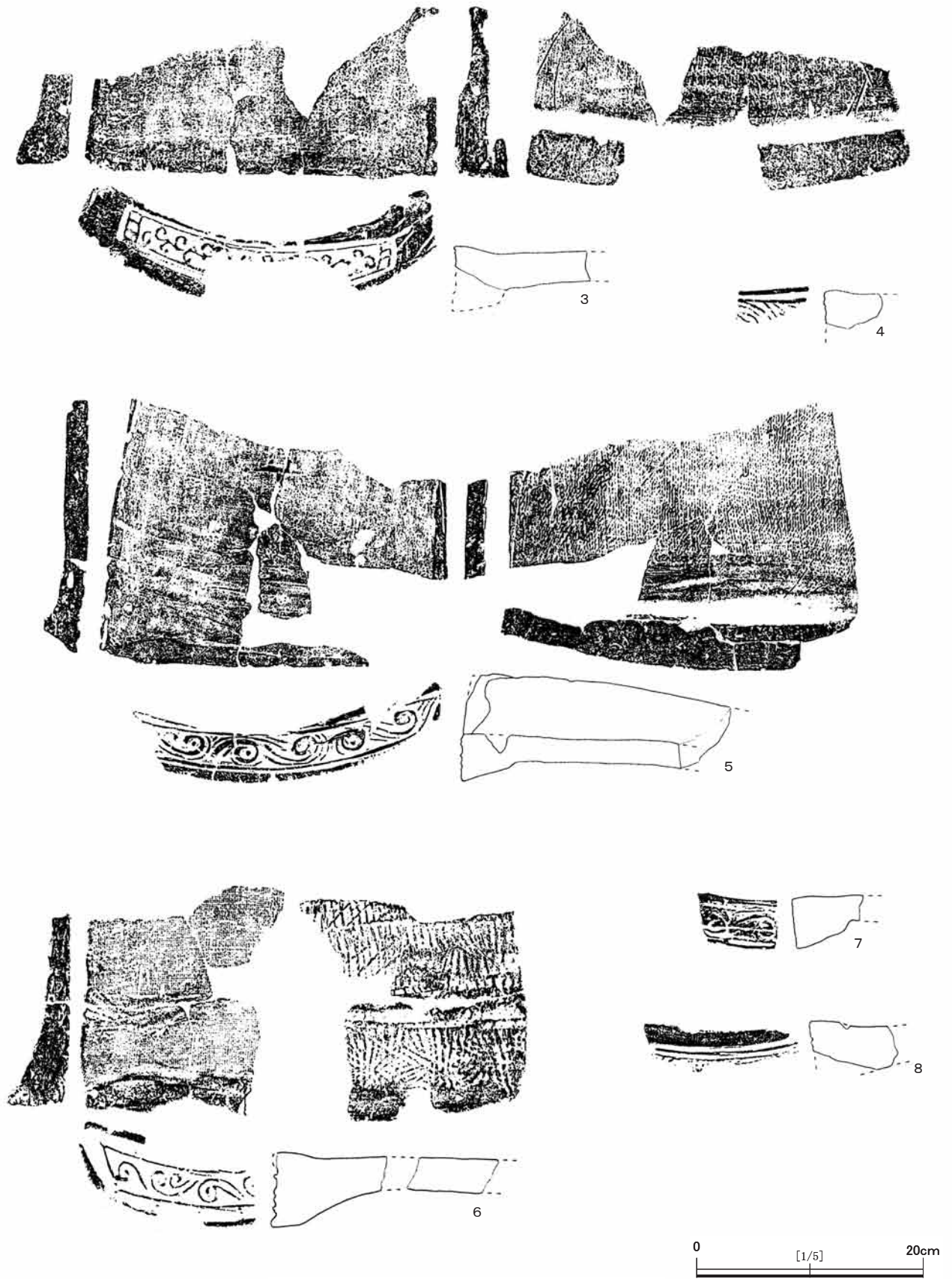
府中市域



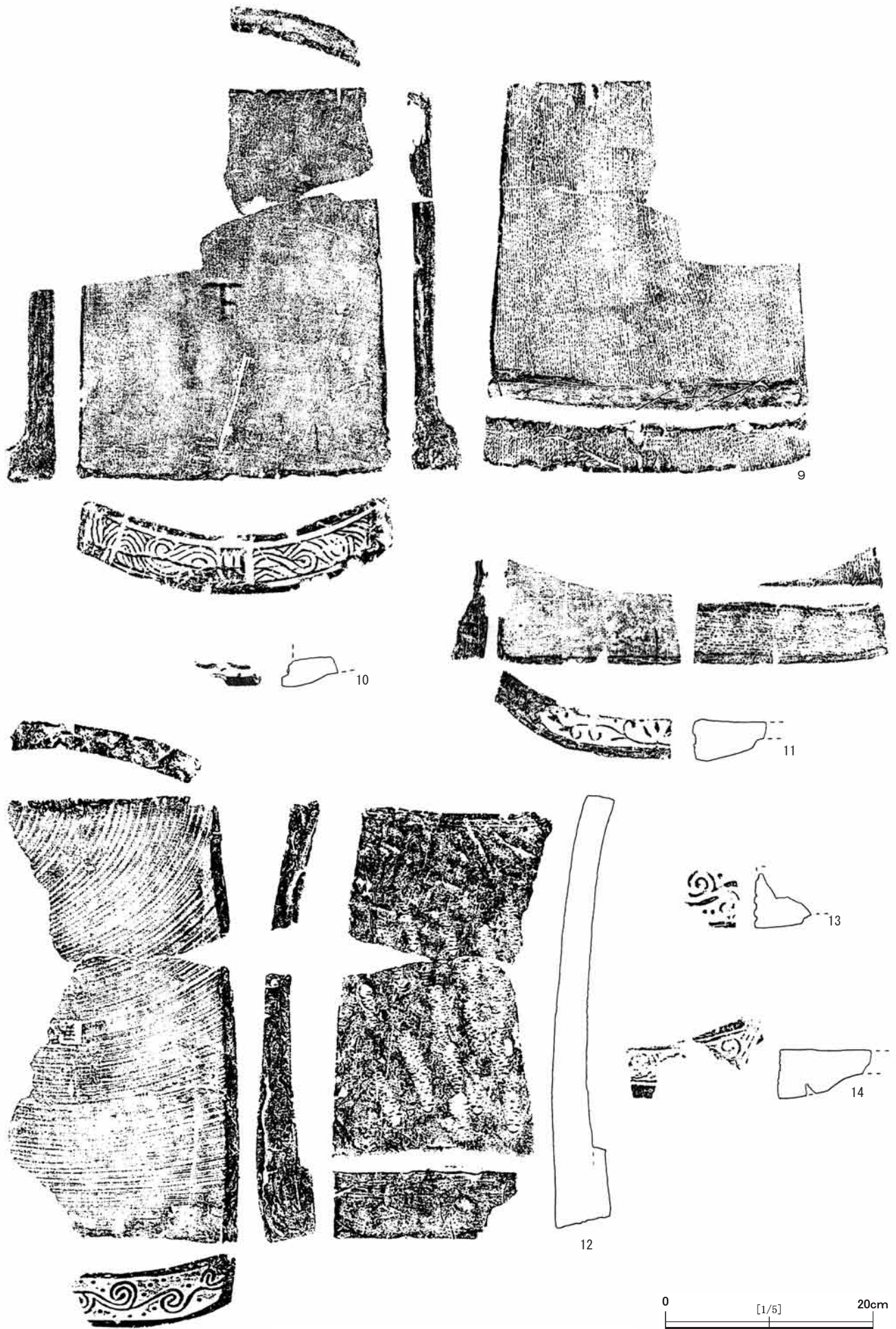
第 74 図 市内遺跡出土字瓦 (31)、府中市域出土字瓦 (1)



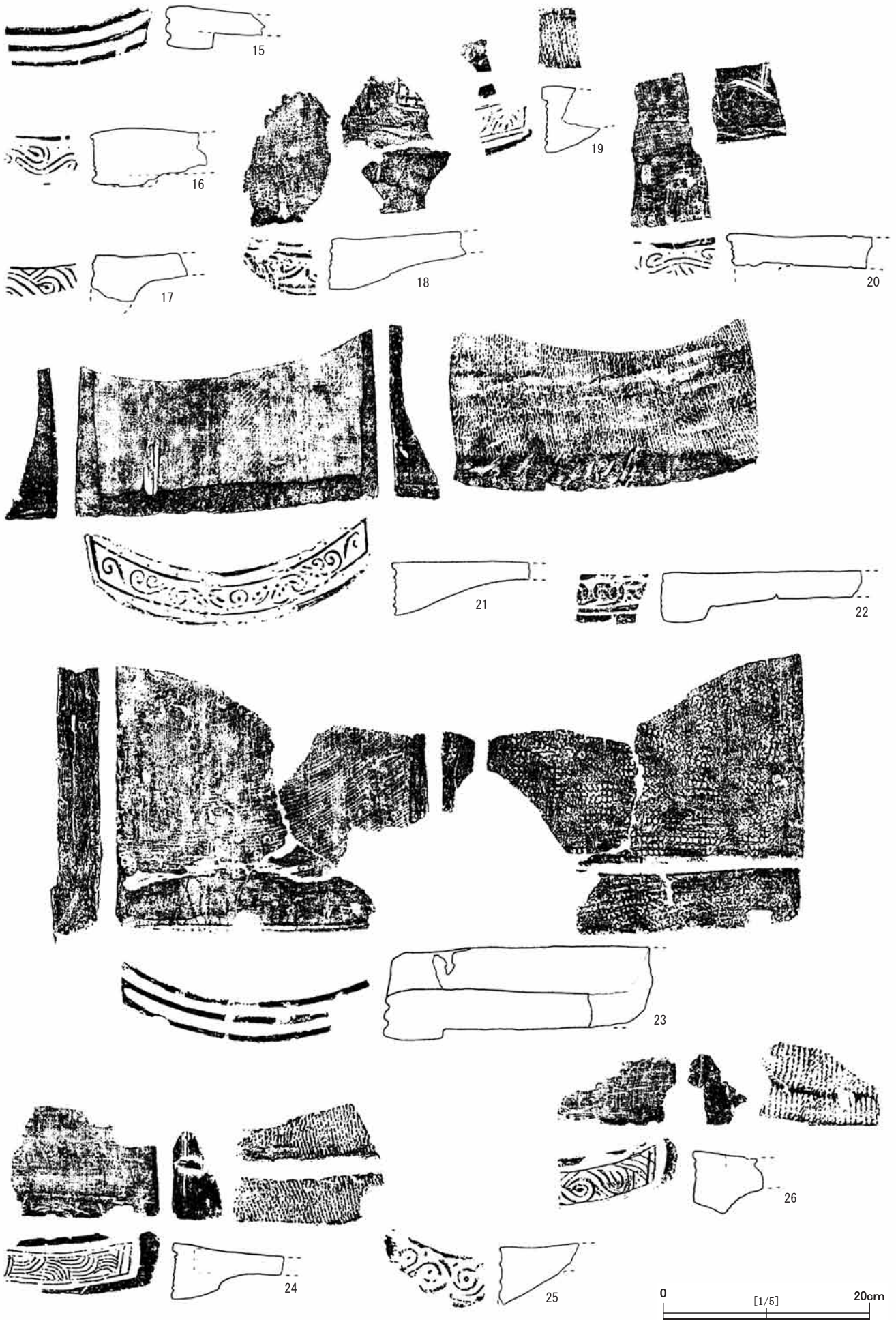
第 75 图 府中市域出土宇瓦—武蔵台東遺跡 (1)—



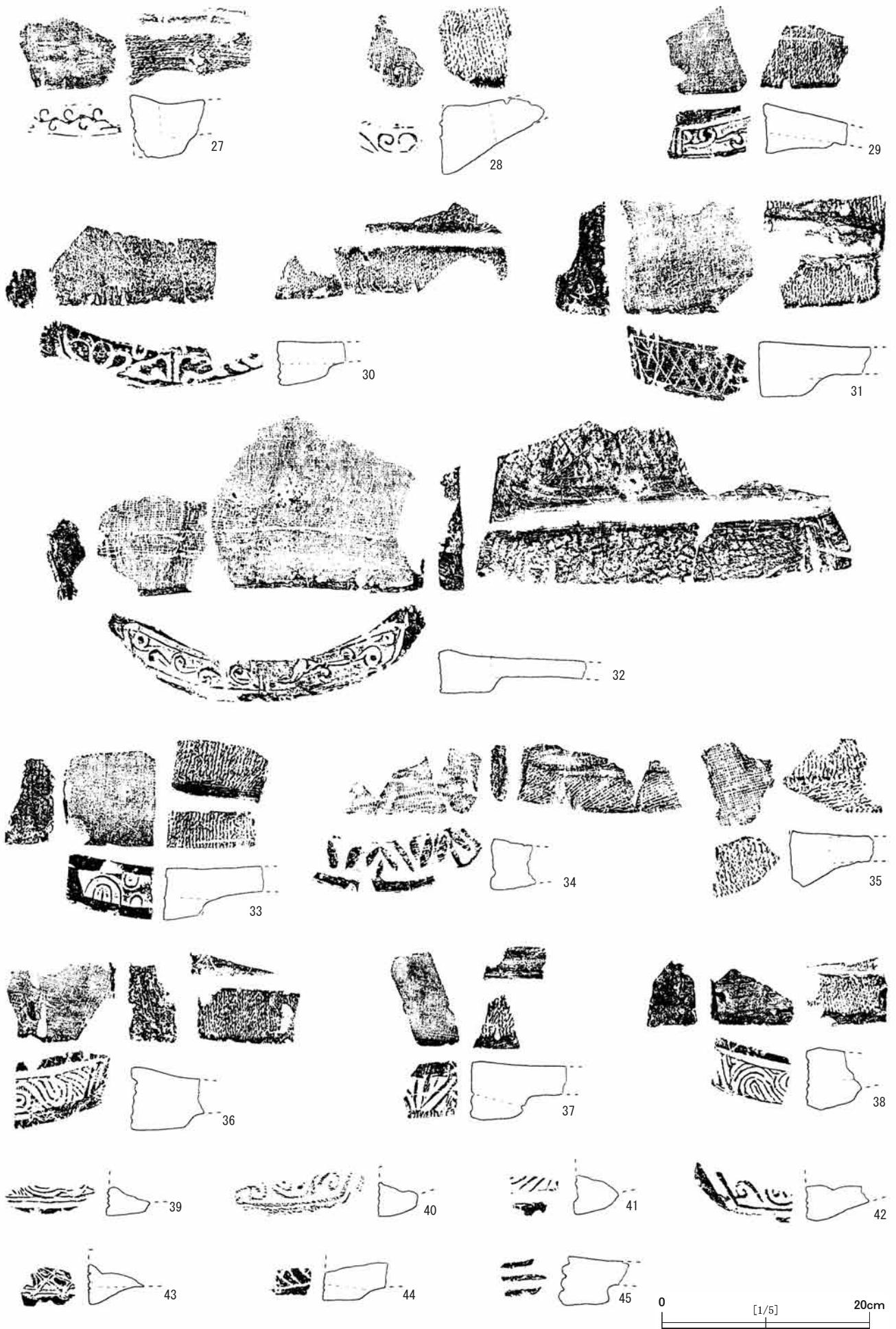
第 76 图 府中市域出土字瓦—武藏台東遺跡 (2)一



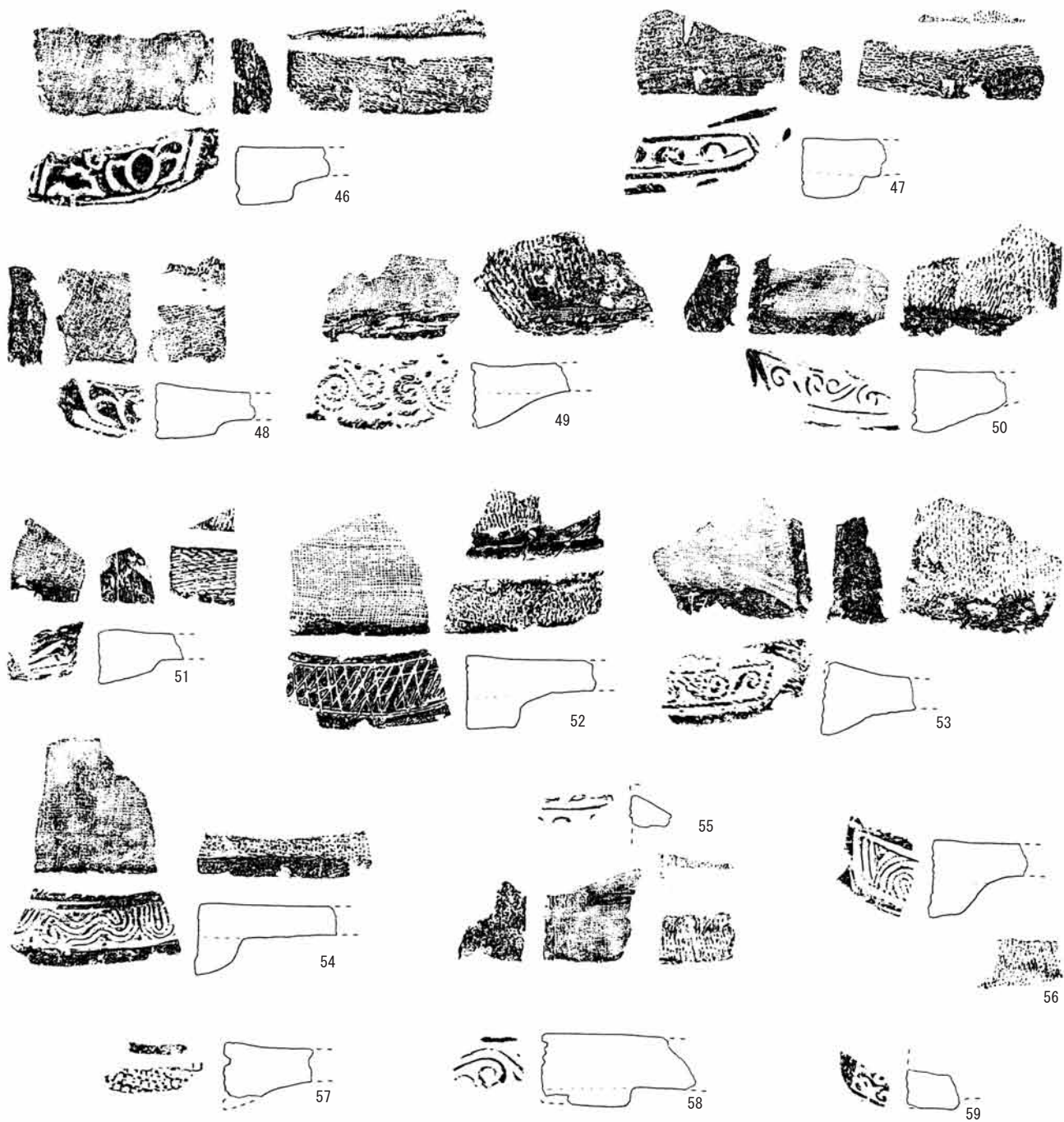
第 77 図 府中市域出土土瓦—武蔵台東遺跡（3）—



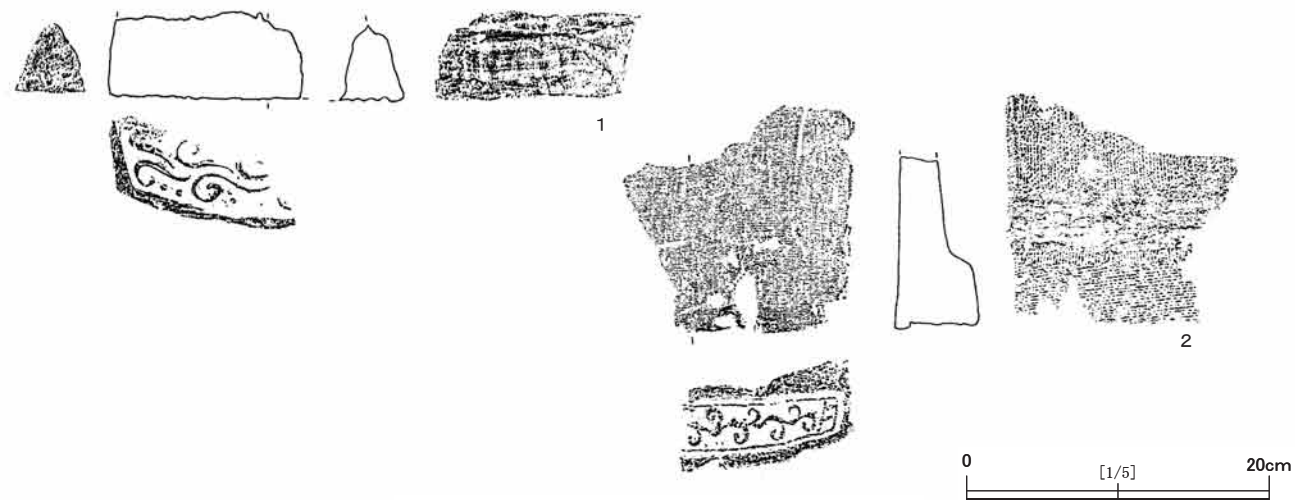
第 78 図 府中市域出土宇瓦—武蔵台東遺跡（4）—



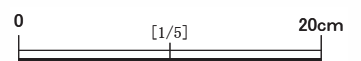
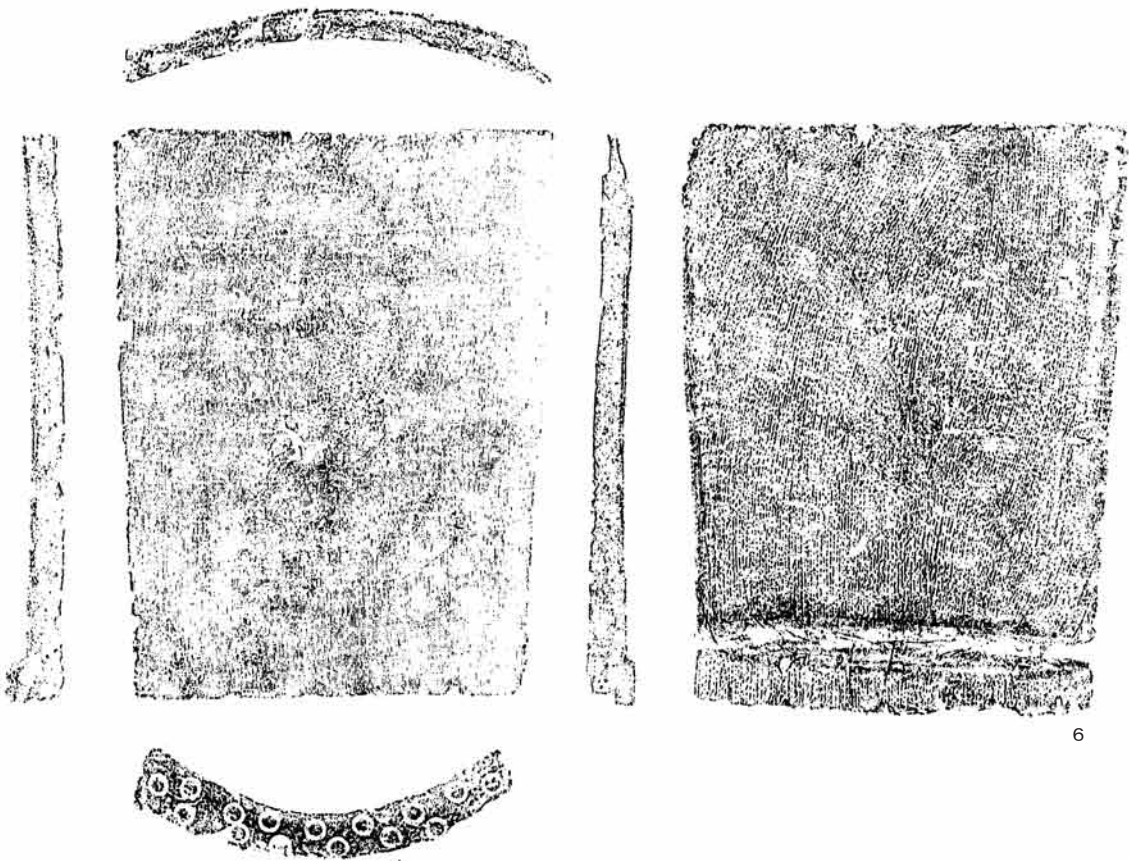
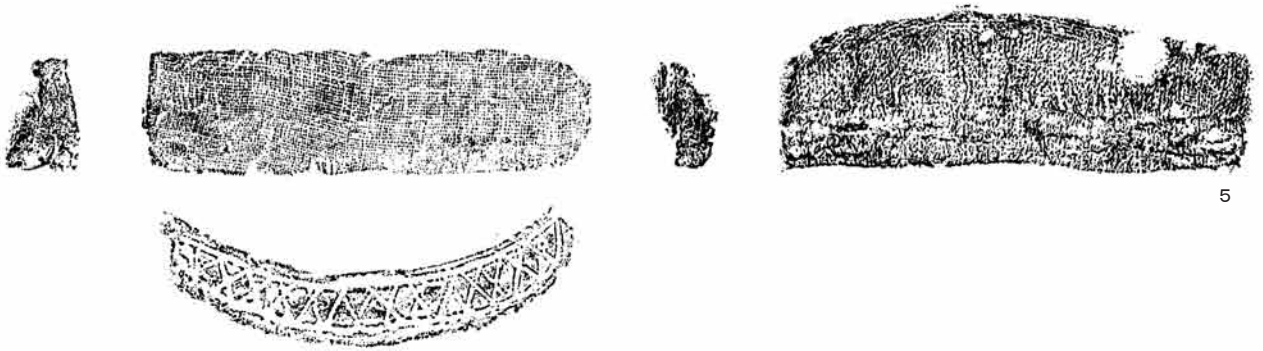
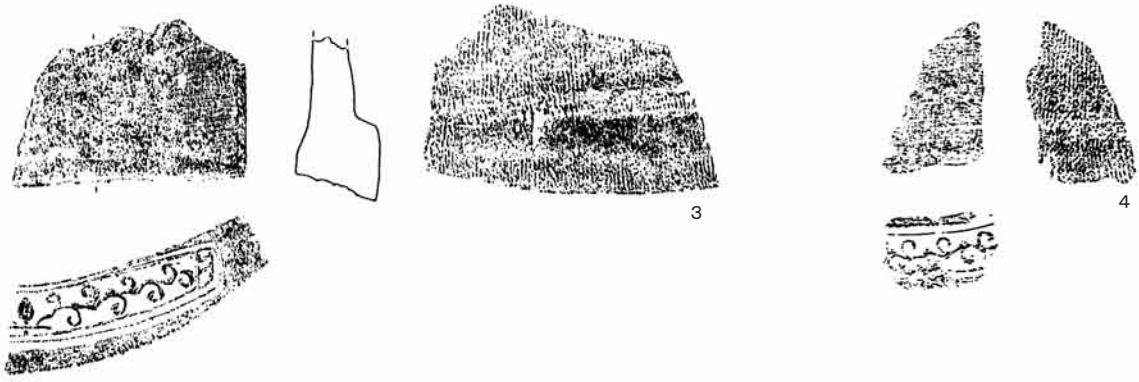
第 79 图 府中市域出土宇瓦—武藏台東遺跡 (5) —



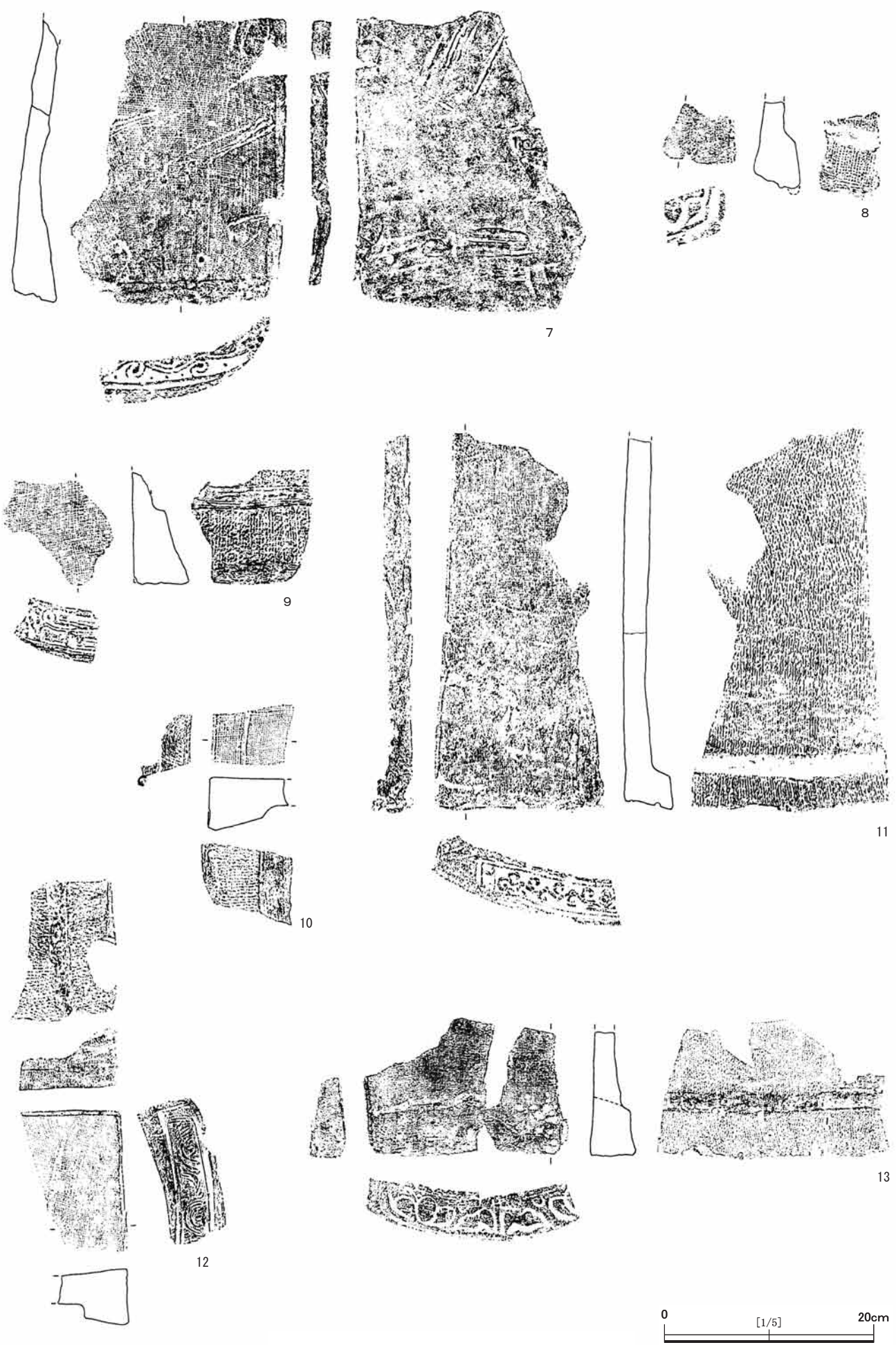
武蔵台遺跡



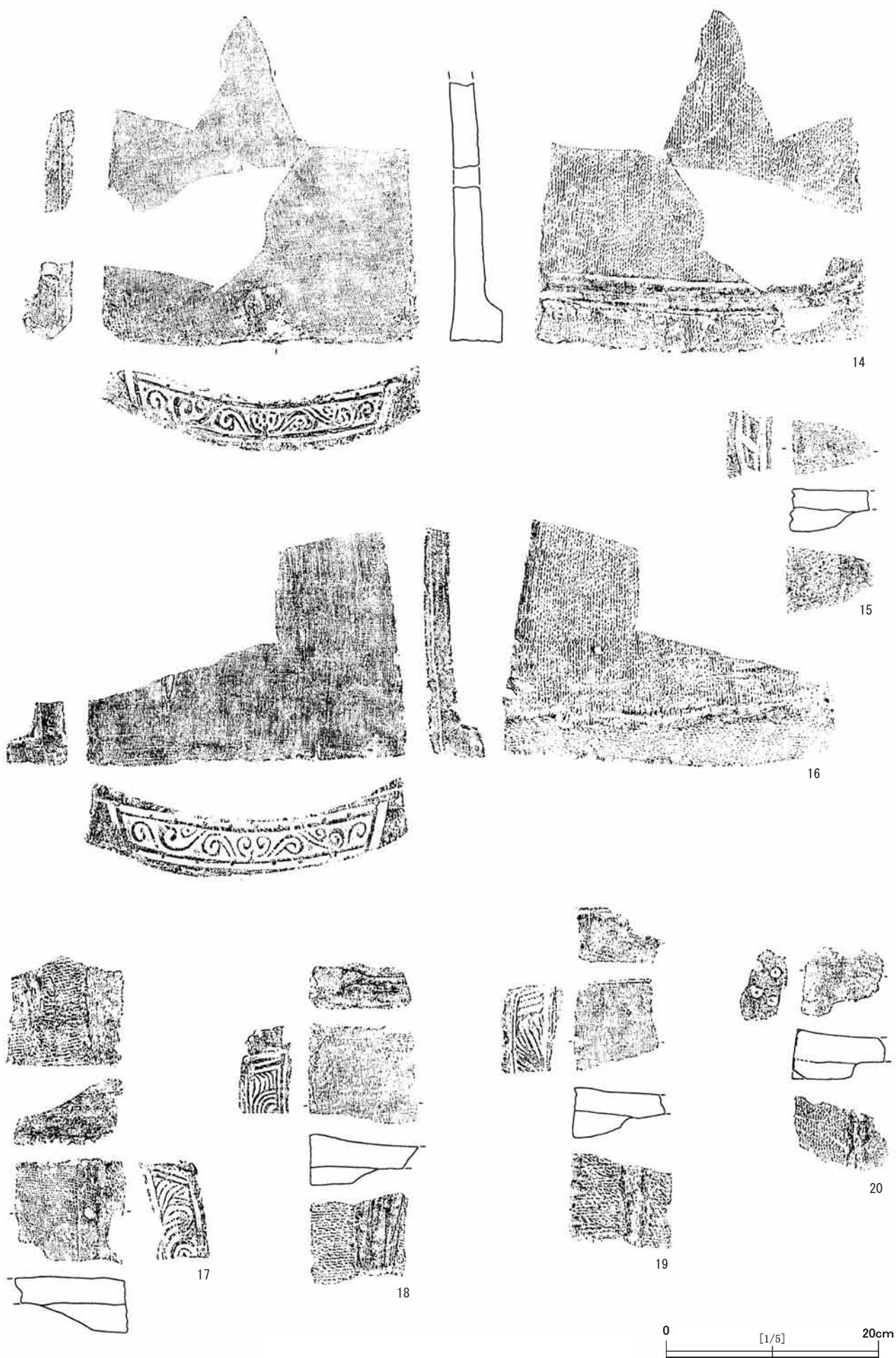
第 80 図 府中市域出土字瓦—武蔵台東遺跡 (6)、武蔵台遺跡 (1)一



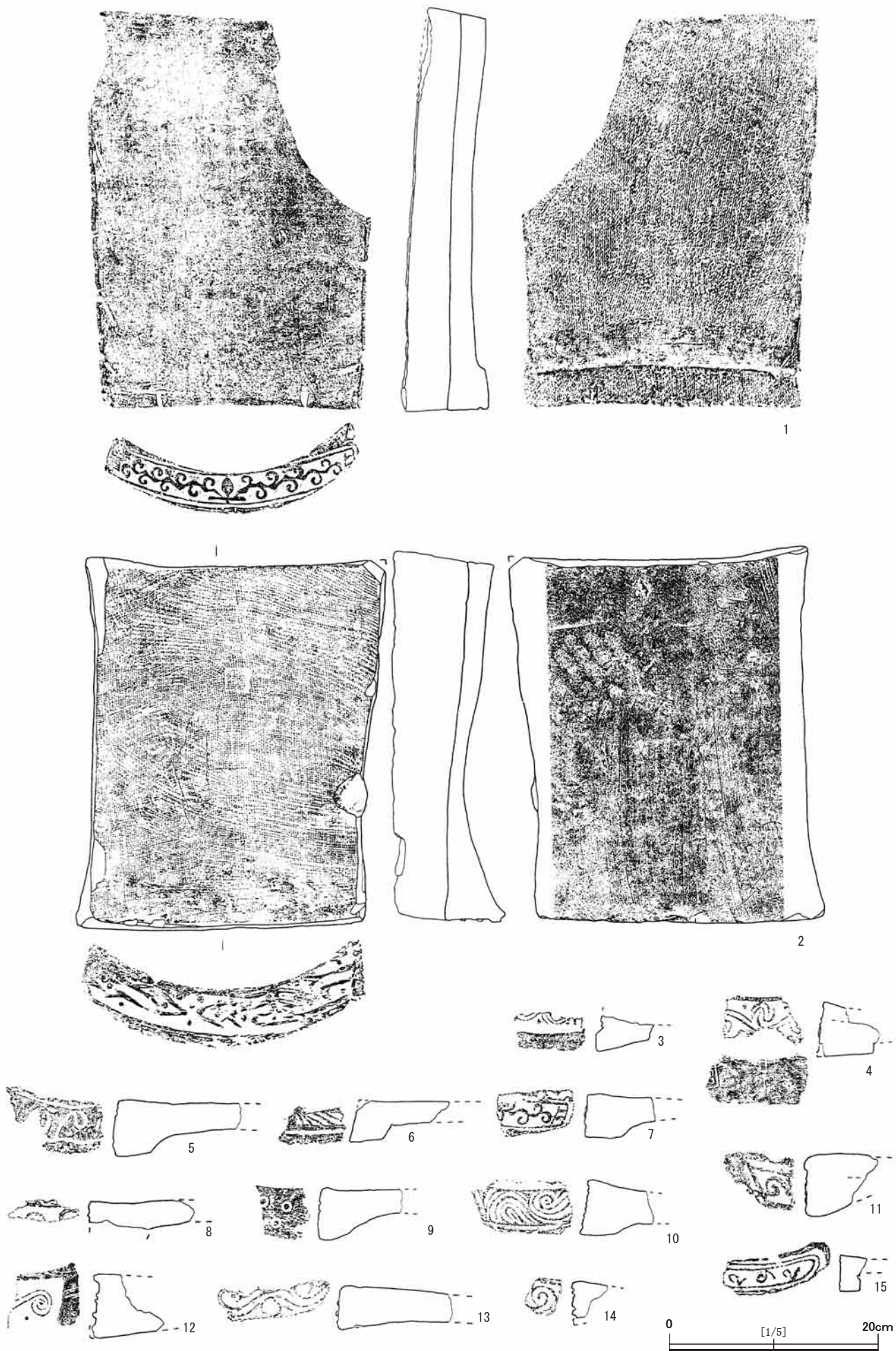
第 81 图 府中市域出土字瓦 - 武藏台遺跡 (2) -



第 82 図 府中市域出土宇瓦 - 武蔵台遺跡 (3) -



第 83 图 府中市域出土字瓦 - 武藏台遺跡 (4) -



第 84 图 府中市域出土字瓦—武藏国分寺南西地区—

第1表 僧寺金堂跡採集鏡瓦（第3図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	8ACB		I b 期	南多摩	TNT513 遺跡 C ①類?	金堂南方 宇野信四郎蔵	27-116 3
2	5BCa?	11			赤褐色。硬質。	金堂 宮崎胤蔵	1 37 図 114
3	6BBB	31	II 期	東金子	八坂前 I 類。灰色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 33 図 83
4	6AAB	21-A'			技法 C1 か。瓦当裏面ナデ。10YR 6/1(灰)。硬質。0.5~1mm 大の砂粒多く含む。	金堂址 平塚運一コレ	57-62 30 図 803
5	6AAB	21-A'			瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、10YR 5/2 灰黄褐(断面)。硬質。0.5mm 以下の細かな砂粒を含む。	金堂址 平塚運一コレ	49 図版 6-40
6	6BCa	23-B	II 期	東金子	谷久保窯。技法 A か。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、2.5Y 5/2 暗黄灰(断面)。硬質。0.5~1.0mm 程の砂粒を含む。	金堂南 平塚運一コレ	49 図版 24-184
7	6BCa	23-B	II 期	東金子	谷久保窯。瓦当裏面縄目叩き、一部ナデ。5Y 6/1 灰(表)、5Y 4/1 灰(裏)、2.5Y 6/1 黄灰(断面)。硬質。0.5~2.0mm 程の砂粒を含む。	金堂南 平塚運一コレ	49 図版 25-187
8	6BAB	30-B	II~III 期	南多摩	御殿山 I a 類・武蔵国府。技法 B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/2 暗灰黄(表・裏)、2.5Y 4/1 黄灰(断面)。硬質。0.5~2.0mm 程の砂粒を含む。	金堂址 平塚運一コレ	49 図版 11-77
9					技法 D I か。瓦当裏面ナデ。2.5Y 4/1(黄灰)。硬質。0.5~2mm 程度の白色砂粒含む。	金堂址 平塚運一コレ	57-62 30 図 295
10	6BAB	171			西別府廢寺。技法 B I か。瓦当裏面指圧痕あり。5Y 5/1 灰(表)、5Y 4/1 灰(裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。硬質。0.1~2.0mm 程の砂粒を多く含む。	金堂址 平塚運一コレ	49 図版 14-101
11	8ACB	97-B	I b 期	南比企	小谷 B・新沼窯。技法 A・B I か。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表・裏)、2.5Y 6/1 黄灰(断面)。軟質。白色針状物質、0.5~1.0mm 程の砂粒を多く含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 36-268
12	4BAB	4?			技法 D I。瓦当裏面ナデ。10YR 5/1 褐灰(表)、5Y 5/1 灰(裏)、7.5YR 6/4 にぶい橙(断面)。硬質。0.1~1.0mm 程の細かな砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 12-88
13	4BAa		II~III 期	南多摩	御殿山 III a 類。技法 D I。瓦当裏面ナデ。N 6/ 灰(表)、7.5Y 5/1 灰(裏)。硬質。0.5~1.5mm 程の白色砂粒を含む。	金堂址 平塚運一コレ	49 図版 1-1
14	4BAB	4?			技法 D I か。瓦当裏面ナデ。10YR 5/1 褐灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、7.5YR 6/3 にぶい褐(断面)。硬質。0.1~2.0mm 程の白色粒砂を含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 2-8
15	15ACa	131			技法 B I か。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰。硬質。0.1~0.5mm 程の細かな砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 47-352
16	8ACa	86?			瓦当裏面ケズリ後ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表・断面)、2.5Y 6/1 黄灰(裏)。硬質。0.5mm 以下の砂粒を含む。	金堂カ 平塚運一コレ	49 図版 42-314
17	6BAa	29-D		南比企?	広町 B 改範? 技法 B I か。瓦当裏面ナデ。7.5Y 6/1 灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、7.5Y 6/2 灰オリーブ(断面)。0.5~2.5mm 程の砂粒を多く含む。硬質。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 9-57
18	6BCa				技法 B I か。瓦当裏面ナデ。2.5Y 3/1 黒褐(表・裏)、2.5Y 4/1 黄灰(断面)。硬質。0.5~0.1.5mm 程の砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 21-160
19	4BAB				瓦当裏面縄目叩き後ナデ。5Y5/1 灰(表)、2.5Y 5/1 黄灰(裏・断面)、硬質。0.5~2.0mm 程の白色砂粒を多く含む。	金堂 平塚運一コレ	49 図版 3-22

第2表 僧寺講堂跡採集鏡瓦（1）（第4~6図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	6BAB	30-C			瓦当裏面縄目叩き。	講堂東 宇野信四郎蔵	27-118 25
2	6BAa	29-F?			瓦当裏面縄目叩き。	講堂址 宇野信四郎蔵	27-118 27
3	4BAB	5				講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-119 35
4	6BCa	23-B	II 期	東金子	谷久保窯。瓦当裏面縄目叩き。	講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-117 21
5	6BCa	26-C	II 期	東金子	八坂前 III -1 類。	講堂 宇野信四郎蔵	27-117 18
6	6BCa	33				講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-118 31
7	15ACa	131				講堂東 宇野信四郎蔵	27-116 11

第2表 僧寺講堂跡採集燈瓦（2）（第4～6図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
8	6BAB	171			西別府廃寺。	講堂東部 宇野信四郎蔵	27-118 23
9	8ACa	83-B	I a 期	南多摩	TNT513 遺跡 A 類 = 瓦谷戸Ⅲ類。灰色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 19 図 5
10	8ACB	91-A			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 25 図 36
11	8BAB	102			鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 36 図 100
12	6BAB	171			西別府廃寺。黒色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 25 図 37
13	8ACB	97-B1			鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 24 図 33
14	6BCa	23-B	Ⅱ期	東金子	谷久保窯。鼠色。硬質。	講堂東 宇野信四郎蔵	1 35 図 94
15	8BAB	103-A			黒色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 29 図 58
16	7AAB	62	I a ~ b 期	南比企	小谷 B・広町 B 窯。中房に「父」字。褐色。焼成並。	講堂東 国分寺蔵	1 29 図 60
17	6BAa	29-F			鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 33 図 87
18	8BCB	95-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅸ類。褐色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 27 図 45
19	6BAB	30-C			鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 29 図 62
20	8BCa	99	I b ~ c 期	南比企	石田国分寺瓦窯。鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 30 図 68
21	8ACa	89-A			鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 33 図 85
22	6BCa	33			鼠色。硬質。	講堂東 宇野信四郎蔵	1 23 図 23
23	4BCB	1			鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 37 図 110
24	6BAB	4			鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 28 図 53
25	7ABB?	101		南多摩?	TNT271 遺跡。鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 28 図 54
26	6BAa	29-A or 29-F			瓦当裏面ナデ?。5Y 6/1 灰。硬質。0.5～1.0mm 程の砂粒を少量含む。	講堂址 平塚運一コレ	49 図版 7-43
27	6BAB	30-B?	Ⅱ～Ⅲ 期	南多摩	御殿山 I a 類・武蔵国府? 技法 B I。瓦当裏面ナデ。5Y 4/1 灰(表)、5Y 5/2 灰オリブ(裏・断面)。0.5～1.0mm 程の砂粒を含む。硬質。接合分離痕あり。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 11-79
28	6BAB	65-B2?			技法 B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表)、5Y 5/1 灰(裏)、N 4/ 灰(断面)。硬質。0.5～1.5mm 程の白色砂粒を含む。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 3-17
29	6BCa	23-A			瓦当裏面指頭痕及びナデ。5Y 6/1 灰(表・断面)、5Y 6/2 灰オリブ(裏)。0.5～1.0mm 程の細かな白色砂粒を含む。硬質。	講堂址 平塚運一コレ	49 図版 24-182
30	6BAB	171			西別府廃寺。技法 B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/2 暗灰黄(表・断面)、5Y 5/1 灰(裏)。0.1～2.0mm 程の砂粒を多く含む。やや軟質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 13-98
31	6BAa				瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表・断面)、5Y 5/1 灰(裏)。白色針状物質あり。0.1～1.0mm 程の砂粒を少量含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 10-70
32	6BAB				瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、7.5Y 4/1 灰(裏)、5Y 5/2 灰オリブ(断面)。0.5～3.0mm 程の砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 11-76
33	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久 I = 八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。技法 B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 4/1 黄灰(表)、7.5Y 4/1 褐灰(裏)、10YR 4/1 褐灰(断面)。0.5～1.5mm 程の砂粒を含む。硬質。	講□ 平塚運一コレ	49 図版 22-168
34	6BAB	30-?		南多摩	御殿山 I a 類? 瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。0.5～1.5mm 程の白色砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 11-80
35	7ABB?	101?		南多摩?	TNT271 遺跡? 瓦当裏面ナデか。10YR 6/3 にぶい黄橙(表・裏)、10YR 7/4 にぶい黄橙(断面)。0.5～1.5mm 程の砂粒を少量含む。やや軟質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版 10-71

第2表 僧寺講堂跡採集燈瓦(3)(第4~6図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
36	6DAB				技法B I。瓦当裏面布目のちナデか。5Y 5/1 灰(表)、5Y 6/2 灰オリーブ(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。瓦当外周側面に不連続のアタリあり。	講堂 平塚運一コレ	49 図版12-86
37	6DAB				技法B Iか。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、N 5/ 灰(裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。0.5mm程の砂粒を少量含む。硬質。瓦当外周側面に不連続のアタリあり。	講堂 平塚運一コレ	49 図版12-87
38	6BCa				瓦当裏面縄目叩き一部ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表)、10YR 7/3 にぶい黄橙(裏)、7.5YR 7/4 にぶい橙(断面)。0.5mm以下の細かな黒色砂粒を含む。やや軟質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版21-162
39	4BAB	5			技法D I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/2 暗灰黄。硬質。0.5~2.0mm程の白色砂粒を含む。	講堂 平塚運一コレ	49 図版2-11
40	7BCa	63	II期	東金子	新久III=八坂前VII類。瓦当裏面縄目叩きのちナデか。2.5Y 5/1 黄灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、7.5YR 5/2 灰褐(断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。	講堂址 平塚運一コレ	49 図版29-211
41	7BCa	63	II期	東金子	新久III=八坂前VII類。技法B Iか。瓦当裏面縄目叩きのちナデ。2.5Y 4/1 黄灰(表)、5Y 5/1 灰(裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版30-220
42	4BAB	4			技法D I。瓦当裏面縄目叩き後ナデ。7.5YR 7/4 にぶい橙。やや軟質。白色・黒色の小粒砂を含む。	講口 平塚運一コレ	49 図版1-3
43	8BAB	103-A?		南比企	技法A・B Iか。瓦当裏面ナデ。5Y 4/1 灰(表)、N 5/ 灰(裏・断面)。白色針状物質あり。0.1~2.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	講堂址 平塚運一コレ	49 図版39-296
44	8ATB	83-C	I b期	南多摩	瓦谷戸I類。瓦当裏面ケズリ一部ナデか。N 5/ 灰(表)、5Y 5/1 灰(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~2.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版39-293
45	4BAB	5			技法D Iか。瓦当裏面ナデ一部ミガキか。2.5Y 5/1 黄灰(表・断面)、2.5Y 5/2 暗灰黄(裏面)。硬質。0.5~2.0mm程の白色砂粒を含む。	講堂址 平塚運一コレ	49 図版2-12
46	8BCa				技法A・B Iか。瓦当裏面ケズリ及びナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表・裏)、5Y 6/2 灰オリーブ(断面)。白色針状物質あり。0.5~3.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版43-321
47	8ACa	105-A1		南比企	技法B IIか。瓦当裏面指頭痕及びナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表・裏)、7.5YR 6/4 にぶい橙(断面)。白色針状物質あり。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。やや軟質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版34-254
48	8BCa	99	I b~ c期	南比企	石田国分寺瓦窯。瓦当裏面ケズリのちナデ。2.5Y 3/1 黒褐(表・裏)、2.5Y 5/3 黄褐(断面)。白色針状物質あり。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版42-309
49	8DAB				瓦当裏面指頭痕及びナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。0.1~0.5mm程の細かな白色砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版46-350
50	15ACa	131			瓦当裏面ケズリのちナデ。5Y 5/1 灰(表)、7.5Y 6/1 灰(裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。	講堂 平塚運一コレ	49 図版47-357
51	6ABB	32			鼠色。硬質。	講堂 平塚運一コレ	1 26 図44
52	8ACa	98			鼠色。硬質。	講堂 平塚運一コレ	1 34 図93

第3表 僧寺塔跡採集燈瓦(1)(第6~9図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	6BCa	26-A	II期	東金子	八坂前III-2類。	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-117 15
2	6BCa	26-A	II期	東金子	八坂前III-2類。	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-117 16
3	6BAa	29-D		南比企	広町B改範か?	塔北方 宇野信四郎蔵	27-118 29
4	9BAb	121			平城宮系。	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-118 24
5	8BCB	92				塔址 宇野信四郎蔵	27-116 5
6	8BCa	99	I b~ c期	南比企	石田国分寺瓦窯。	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-117 12
7	15ACa	131				塔南門南側散 布地 宇野信四郎蔵	27-116 10

第3表 僧寺塔跡採集鏡瓦(2)(第6~9図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
8	6BCa	26-C	II期	東金子	八坂前III-1類	塔址 宇野信四郎蔵	27-117 17
9	7BCB	61-B				塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-116 7
10	8BCb	100-B	I c期	南比企	新沼窯・天沼遺跡。平城宮系。瓦当裏面布目→回転ナデ?	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-118 22
11						塔西瓦溜 宇野信四郎蔵	27-116 9
12	6BAa	29-G2			技法B I。瓦当裏面ケズリ。5Y 8/1 灰白(表・断面)、5Y 7/1 灰白(裏)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。やや硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版10-65
13	4BAa	4BAa	II~III期	南多摩	御殿山III a類。瓦当裏面ナデ。N5/灰(表)、10Y5/1 灰(裏)、5Y5/2 灰オリーブ(断面)。硬質。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。	塔址 平塚運一コレ	49 図版1-2
14	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。技法B I。瓦当裏面ナデ。10YR 5/1 褐灰(表)、2.5Y 5/2 暗灰黄(裏)、7.5YR 5/2 灰褐(断面)。0.5~1.5mm程の細かな砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版28-208
15	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、5Y 6/2 灰オリーブ(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の細かな砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版29-213
16	7BCa	7BCa			技法B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 7/2 灰黄(表)、2.5Y 6/1 黄灰(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.1~2.0mm程の細かな砂粒を少量含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版30-223
17	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。技法B I。瓦当裏面ケズリのちナデ。5Y 6/1 灰(表)、2.5Y 5/1 黄灰(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の細かな砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版28-209
18	7BCa	64	II期	東金子	八坂前VI類。瓦当裏面ケズリのちナデか。2.5Y 8/2 灰白(表)、2.5Y 8/1 灰白(裏・断面)。0.5~1.0mm程の黒色砂粒を含む。やや軟質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版31-228
19	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。2.5Y 8/2 灰白(表・裏)、2.5Y 7/3 浅黄(断面)。1.0~2.5mm程のやや大粒な砂粒を含む。軟質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版30-219
20	6BCa	26-C	II期	東金子	八坂前III-1類。技法B I。2.5Y 6/2 灰黄(表)、2.5Y 7/1 灰白(裏)、2.5Y 6/1 黄灰(断面)。0.1~2.5mm程の白・黒色砂粒を多く含む。硬質。男瓦部は粘土細桶巻き作り。	塔址 平塚運一コレ	49 図版17-129
21	8BAB	96	I a~ b期	南多摩	瓦谷戸VII類。技法B IIか。5Y 7/1 灰白(表)、5Y 8/1 灰白(裏)、2.5Y 7/2 灰黄(断面)。0.1~1.5mm程の砂粒を含む。やや硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版45-341
22	6BCa	27	II期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。0.1~3.5mm程の白・黒色砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版22-164
23	6BCa	24-A			技法B Iか。瓦当裏面ナデか。7.5YR 7/6 橙(表・断面)、2.5Y 7/2 灰黄(裏)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。軟質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版27-199
24	8ACB	83-F?			瓦当裏面ケズリ。7.5Y 5/1 灰(表)、N 4/ 灰(裏)、N 5 灰(断面)。0.5mm以下の細かな砂粒を多く含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版37-276
25	8BCB	96	I a~ b期?	南多摩	瓦谷戸VIII類。技法B II。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表・裏)、5Y 7/1 灰白(断面)。0.1~1.0mm程のやや細かな砂粒を多く含む。やや軟質。男瓦先端凸面の刻み反転して残る。	塔址 平塚運一コレ	49 図版45-340
26	8ACa			南比企	技法C I。瓦当裏面布目のちナデ。5Y 4/1 灰(表・裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。白色針状物質あり。0.5~3.0mm程のやや大粒な砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版34-255
27	8ATa				瓦当裏面ケズリのちナデか。2.5Y 8/2 灰白(表)、2.5Y 7/4 浅黄(裏)、10YR 7/4 にぶい黄橙(断面)。0.5~10mm程の細かな砂粒を多く含む。やや軟質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版39-289
28	8ACa	105-A1	I a~ b期	南比企	技法B II。瓦当裏面ケズリのちナデ。7.5Y 4/1 灰(表)、7.5Y 5/1 灰(裏・断面)。白色針状物質あり。1.0mm程の白色の小砂粒を多く含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版33-252
29	8ACB	87	I b期	南多摩	瓦谷戸V = No.513遺跡C②類。技法B I。瓦当裏面ケズリ。5Y 4/1 灰(表・裏)、2.5Y 6/3 にぶい黄(断面)。0.5mm以下の砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版36-272
30	8BCB	95-A	II期	東金子	八坂前IX類。技法B I。5Y 6/1 灰(表)、5Y 7/1 灰白(裏・断面)。0.1~1.0mm程の砂粒を少量含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版45-337
31	8BCB	8BCB	I b期	南多摩	瓦谷戸VI類? 技法B IIか。瓦当裏面ケズリ。5Y 5/1 灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、5Y7/2 灰白(断面)。0.1~1.0mm程の細かな砂粒を多く含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版45-342
32	6BCa	27	II期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。技法B Iか。瓦当裏面ナデ。2.5Y 7/2 灰黄。0.5~2.0mm程の砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版22-166
33	6BCa	27	II期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。技法B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/1 黄灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、2.5Y 7/2 灰黄(断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版23-171

第3表 僧寺塔跡採集鏡瓦(3)(第6~9図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
34	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 7/1 灰白。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。やや硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 22-167
35	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰。0.1~1.0mm程の細かな砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 22-165
36	6BCa	26-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類。技法BⅠ。瓦当裏面ケズリのちナデ。2.5Y 7/3 浅黄(表・断面)、10YR 7/3 におい黄橙(裏)。0.5~1.0mm程の黒色砂粒を少量含む。やや硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 16-114
37	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。技法BⅠ。瓦当裏面指頭痕及びナデ。5Y 6/2 灰オリーブ(表)、5Y 7/2 灰白(裏・断面)。0.5mm以下の細かな白色砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 18-132
38	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表・裏)、5Y 6/2 灰オリーブ(断面)。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 19-139
39	6BCa	26-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、10Y 5/1 灰(裏)、5Y 7/2 灰(断面)。0.5~2.0mm程の白色砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 17-120
40	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰。0.5~2.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 19-142
41	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 19-135
42	6BCa	26-C?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類? 技法BⅠ。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、5Y 6/2 灰オリーブ(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.1~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 19-141
43	6BCa	26-C?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類? 技法BⅠ。10Y 6/1(灰)。硬質。1mm大の砂粒少量含む。	塔址 平塚運一コレ	57-62 30 図 809
44	6BCa	26-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類。瓦当裏面ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表・裏)、2.5Y 7/2 灰黄(断面)。0.5mm以下の細かな砂粒を含む。硬質。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 17-125
45	5ACa	3			瓦当裏面縄目叩き。2.5Y 5/1 黄灰(表・断面)、2.5Y 5/2 暗灰黄(裏)。硬質。0.5mm以下の細かな白色砂粒を含む。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 4-28
46	5ACa	3			瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/1 黄灰。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。	塔址 平塚運一コレ	49 図版 4-31
47	8ACa	82-B?	I a 期		上野系。黒色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 23 図 26
48	6BCa	24-A			褐色。脆。	塔 原田良雄蔵	1 35 図 95
49	15ACa	131			鼠色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 28 図 55
50	8ACa?	83-B	I a 期	南多摩	TNT No.513 遺跡 A= 瓦谷戸Ⅲ類。灰色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 20 図 8
51	8ACa	82-B1?	I a 期		上野系。灰色。焼成並。	塔 原田良雄蔵	1 23 図 24
52	8BCB	92			褐色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 23 図 25
53	7BCB	61-A			武蔵国府・寺尾廃寺(川越市)に出土例。鼠色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 26 図 40
54	8BAB	96	I a ~ b 期?	南多摩	瓦谷戸Ⅶ類。鼠色。硬質。	塔 内藤政恒蔵	1 26 図 42
55	6BCa	23-B	Ⅱ期	東金子	谷久保窯。鼠色。硬質。	塔 太田静六蔵	1 32 図 80
56	7BCa	64-A	Ⅱ期	東金子	灰色。硬質。	塔西 石村喜英蔵	1 34 図 91
57	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。灰色。硬質。	塔西 国分寺蔵	1 34 図 89
58	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。灰色。硬質。	塔西 国分寺蔵	1 32 図 78
59	8BCb	100-B	I c 期	南比企	新沼窯・天沼遺跡。平城宮系。鼠色。硬質。	塔 国分寺蔵	1 36 図 103

第4表 僧寺僧坊跡採集鑑瓦(1)(第9・10図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	8ACa		I b 期?	南比企	瓦当外周に押印「企」(有吉分類「比企2」:瓦谷戸・小谷B・金沢・武蔵国府)。技法B II。瓦当裏面ナデ。7.5Y 6/1 灰(表)、N 4/ 灰(裏)、7.5Y 5/1 灰(断面)。白色針状物質あり。0.5~2mm程の砂粒を含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 34-257
2	8ACB	97-A1			技法C I。瓦当裏面布目のちナデ。2.5Y 7/3 浅黄(表)、10YR 7/4 にぶい黄橙(裏)、2.5Y 6/3 にぶい黄(断面)。0.1~1.5mm程の砂粒を含む。やや軟質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 35-262
3	6BAa	29-D?		南比企	広町B改範か? 瓦当裏面ナデ。7.5YR 4/1 褐灰(表)、10YR 2/1 黒(裏)、7.5YR 5/2 灰褐(断面)。0.1~2.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 41-303
4	8BCb	100-B	I c期	南比企	新沼窯・天沼遺跡。平城宮系。瓦当裏面ナデ。2.5Y 4/1 黄灰(表)、7.5YR 3/1 黒褐(裏)、5Y 3/1 オリーブ黒(断面)。0.1~1.5mm程の砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 44-330
5	6BAa	29-D?		南比企	広町B改範か? 技法D I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表)、5Y 6/1 灰(裏)、2.5Y 7/4 浅黄(断面)。1.0~3.0mm、それ以上の大粒な砂粒を多く含む。やや軟質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 41-302
6	8ACB	22?			瓦当裏面縄目叩きのちナデ。2.5Y 5/1 黄灰(表)、2.5Y 4/1 黄灰(裏)、7.5YR 5/3 にぶい褐(断面)。0.1~3.0mm程の砂粒を多く含む。やや軟質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 37-279
7	8ACa	85-A?		南比企	勝呂系。瓦当裏面ナデ。2.5Y 6/2 灰黄(表・断面)、2.5Y 6/1 黄灰(裏)。0.6mm以下の砂粒を含む。硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 33-245
8	6BAa	29-D?		南比企	広町B改範か? 技法B I。瓦当裏面ナデ。7.5Y 5/1 灰(表)、N 5/ 灰(裏)、7.5YR 4/1 灰褐(断面)。0.1~2.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 9-59
9	7BCa	63	II期	東金子	新久Ⅲ=八坂前Ⅶ類。技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 30-218
10	6BCa	26-A	II期	東金子	八坂前Ⅲ-2類・恋ヶ窪廃寺。技法B I。瓦当裏面指頭痕及びナデ。2.5Y 6/1 黄灰(表)、5Y 7/1 灰白(裏)、2.5Y 6/2 灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。やや硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 16-117
11	7BCB	61-?			技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、5Y 5/1 灰(裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。0.1~1.5mm程の砂粒を多く含む。やや硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 32-239
12	6BCa			南比 企?	技法B I。瓦当裏面ナデ。7.5Y 8/1(灰色)。やや軟質。白色針状物質・2mm大の黒色砂粒含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-62 30 図 813
13	6BAa	29-B?			技法B Iか。瓦当裏面縄目叩きのちナデ。5Y 5/2 灰オリーブ(表)、10Y 5/1 灰(裏)、7.5Y 5/1 灰(断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 12-85
14	6BAa	29-C?			技法B I。瓦当裏面縄目叩き後ナデ。5Y /1 灰(表)、5Y 5/2 灰オリーブ(裏・断面)。硬質。0.5mm以下の細かな砂粒を少量含む。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 8-51
15	6BAa	29-C?			瓦当裏面縄目叩き後ナデ。5Y 6/1 灰(表・断面)、10Y 5/1 灰(裏)。硬質。0.5~2.0mm程の砂粒を含む。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 7-47
16	6BAa				技法B Iか。瓦当裏面縄目叩き。5Y 5/1 灰(表)、5Y 5/2 灰オリーブ(裏・断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を多く含む。やや硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 9-60
17	6BCa	23-A			技法B I。瓦当裏面ナデ。10YR 4/1 褐灰(表)、2.5Y 5/2 暗灰黄(裏)、10YR 4/3 にぶい黄褐(断面)。0.5~1.0mm程の白色砂粒を含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 26-195
18	4DAB				技法B Iか。瓦当裏面ナデ。5Y 5/2 灰オリーブ(表)、N 5/ 灰(裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。0.5~3.0mm程の砂粒を含む。やや軟質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 13-96
19	7BAB	65-A?			技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、5Y 5/2 灰オリーブ(裏・断面)。0.5~1.0mm程の砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 10-74
20	6BCa	26-D?			技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、5Y 6/2 灰オリーブ(裏)、10YR 6/3 にぶい黄橙(断面)。0.5~2.0mm程の砂粒を含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 20-153
21	6BCa	26-D?			技法B Iか。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/1 黄灰(表)、5Y 6/1 灰(裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。0.1~2.0mm程の砂粒を含む。やや硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 21-156
22	8ACa	86?	I a期	南比企	瓦当裏面ナデ。「橘」の押印あり。10Y 6/1(灰)。硬質。白色針状物質・1mm大の長石含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-62 30 図 812
23	6BAa	29-E?			瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、10Y 5/1 灰(裏)、5Y 5/1 灰(断面)。0.5~3.5mm程の白色砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 12-84
24	6BAa	29-A?			技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、N5/ 灰(裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。硬質。0.5~1.0mm程の砂粒を含む。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 7-45
25	6BAB				瓦当裏面ナデ。7.5YR 6/4 にぶい橙(表・断面)、2.5Y 5/2 暗灰黄(裏)。0.1~1.0mm程の細かな砂粒をごく少量含む。やや軟質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 10-75
26	6BAB	171			西別府廃寺。瓦当裏面縄目叩き一部ナデ。7.5Y 6/1 灰(表)、7.5Y 5/1 灰(裏)、2.5Y 5/2 暗灰黄(断面)。0.5~1.0mm程の白色砂粒を多く含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 14-103

第4表 僧寺僧坊跡採集鍔瓦(2)(第9・10図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
27	XBCa				技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 4/1 灰(表)、N 4/ 灰(裏)、2.5Y 5/1 黄灰(断面)。0.1~0.5mm程の細かな砂粒を含む。硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 47-351
28	4BAB				瓦当裏面ナデ。10YR 8/4 浅黄橙(表)、2.5Y 8/2 灰白(裏)、7.5YR 7/3 にぶい橙(断面)。やや軟質。0.5~1.0mm程の砂粒を少量含む。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 3-18
29					瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/1 黄灰。0.1~2.0mm程の砂粒を含む。硬質。	平塚運一コレ	49 図版 48-370
30	15ACa	131			瓦当裏面ケズリ。2.5Y 6/1 黄灰(表)、2.5Y 6/2 灰黄(裏・断面)。0.1mm以下の細かな砂粒を少量含む。やや硬質。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 47-354
31	8DAB	108?			技法B I。瓦当裏面ナデ。5Y 6/1 灰(表)、5Y 6/2 灰オリーブ(裏・断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。やや軟質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 12-89
32	8BCB	95-A	II期	東金子	八坂前IX類。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/2 暗灰黄(表)、2.5Y 6/2 灰黄(裏)、7.5YR 6/4 にぶい橙(断面)。0.5~1.5mm程の砂粒を含む。硬質。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 45-338
33	4BAB				技法D Iか。瓦当裏面ナデ。5Y 5/2 灰オリーブ。硬質。0.5~2.5mm程の白色粒砂を含む。	僧坊 平塚運一コレ	49 図版 3-20
34	5ACa	3			瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/1 黄灰(表・裏)、2.5Y 5/3 黄褐(断面)。0.5~1.0mm程の細かな白色砂粒を含む。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 4-27
35	5ACa	3			技法D Iか。瓦当裏面ナデ。5Y 5/2 灰オリーブ(表・断面)、N5/ 灰(裏)。硬質。0.5~2.0mm程の白色砂粒を含む。	僧坊址 平塚運一コレ	49 図版 4-26

第5表 僧寺北方建物付近(薬師堂・北院・中院等)・鐘楼跡採集鍔瓦(第11図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	8ACa	105-A1	I a~ b期	南比企	瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表)、2.5Y 6/2 灰黄(裏・断面)。白色針状物質あり。1.5mm程の白色の小砂粒を多く含む。やや硬質。	薬師境内 平塚運一コレ	49 図版 33-251
2	7ABB?	101?		南多摩?	TNT271遺跡。瓦当裏面ナデ。5Y 5/1 灰(表・裏)、2.5Y 6/1 黄灰(断面)。0.1~1.0mm程の細かな砂粒を多く含む。硬質。	薬師堂前 平塚運一コレ	49 図版 39-294
3	6BAB	30-B		南多摩	御殿山I a類・武蔵国府。技法B I。瓦当裏面ナデ。2.5Y 5/2 暗灰黄(表・裏)、5Y 5/2 灰オリーブ(断面)。1.0~2.0mm程の砂粒を多く含む。やや硬質。瓦当外周側面に不連続のアタリあり。	薬師堂前 平塚運一コレ	49 図版 11-78
4	6ABB	32				薬師堂西 宇野信四郎蔵	27-119 34
5	6BCa	28	II期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。灰色。硬質。	中院 国分寺蔵	1 36 図 102
6	8BCa	88			灰色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 20 図 10
7	8ACa	82-B2	I a期	南比企	上野系。黒色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 22 図 21
8	8ACa	105-A2	I a~ b期	南比企	褐色。焼成並。	中院南 国分寺蔵	11 19 図 1
9	8ACa	82-A1?	I a期	南比企	上野系。褐色。焼成並。	中院南 国分寺蔵	1 20 図 6
10	8ACB	97-B1	I b期	南比企	小谷B・新沼窯。黒色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 24 図 28
11	8ACB	97-B2	I b期	南比企	小谷B・新沼窯。黒色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 24 図 30
12		91-B			黒色。硬質。	中院 国分寺蔵	1 32 図 81
13	5BCa	11			褐色。硬質。	北院付近 織戸市郎蔵	1 37 図 106
14	6BAB	30-B		南多摩	御殿山I a類・武蔵国府。	中院 平塚運一コレ	1 27 図 50
15	15ACa	131			鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 21 図 14
16	6BAa	29-D?		南多摩	広町B改範?	カネツキ堂 宇野信四郎蔵	27-118 30
17					瓦当裏面縄目叩きのちナデ。2.5Y 5/1 黄灰(表)、N 5/ 灰(裏・断面)。0.1~1.0mm程の細かな砂粒を多く含む。やや硬質。	鐘撞堂 平塚運一コレ	49 図版 48-371
18	6BCa?				技法B I。瓦当裏面縄目叩きのちナデ。5Y 6/1 灰(表・断面)、5Y 5/2 灰オリーブ(裏)。0.1~1.0mm以下の細かな砂粒を少量含む。硬質。	鐘撞堂 平塚運一コレ	49 図版 21-157

第6表 尼寺採集・出土鏡瓦（第12図）
（※出土瓦は史跡整備に伴う伽藍中枢域の調査）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	8BCa	99	I b ~ c 期	南比企	石田国分寺瓦窯。	383 次調査 中枢部区画 SD267	28-15 12 図 12
2						383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 5
3	6BAB	171			西別府廃寺。	383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 6
4	6BCa	26-A?	II 期	東金子	八坂前III-2 類? 恋ヶ窪廃寺? 技法B- I ?。	383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 4
5	8ACB	97-A2?	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。	383 次調査 中枢部区画 SD267	28-15 12 図 11
6	8BCB		II 期	東金子	八坂前VIII類。	383 次調査 中門地区 SD264	28-15 12 図 1
7	6DAB					383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 10
8	8ACB	97-A1	I b 期			400 次調査 表土	31-20 13 図 4
9	6BCa	28	II 期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。	383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 8
10	7BCB	61-A			武蔵国府・寺尾廃寺（川越市）。	400 次調査 表土	31-20 13 図 3
11	8BAB			南比企	技法A。中房内無文、蓮子なし。胎土に白色針状物質が顕著。青灰色。	373 次調査 SK1342	20-30 21 図 2
12	6BCa	26-D				383 次調査 中枢部区画 SD267	28-15 12 図 13
13	6BCa?	26-A?	II 期	東金子	八坂前III-2 類・恋ヶ窪廃寺? 技法B。中房形状不明。灰色。	373 次調査 SK1342	20-30 21 図 1
14	8BAB					383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 7
15	6BAa	29-B				383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 3
16	8BCB			南比企	中房に凸線による蓮弁状の輪郭線あり。白色針状物質を多く含む。	400 次調査 鐘楼地区 SX110A	31-20 13 図 2
17	8BCB	92			技法D- II。灰色。	373 次調査 SK1343	20-30 21 図 3
18	6BAB					383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 9
19	15ACa	131				400 次調査 中枢部区画 SD268	31-20 13 図 1
20	6B				瓦当部が薄く、厚み 1.2 cm。	413 次調査 表土	32-19 11 図 6
21	6BAa	29-B				383 次調査 中門地区 SD266	28-15 12 図 2
22	16AAB	141			鼠色。硬質。	尼寺 国分寺蔵	1 27 図 46

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（1）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ類・谷久保窯・霞川遺跡。部分的に細板圧痕。瓦当接合部分指ナデ。范型内区のみ。	28次調査 SD23	10- 図面 15 3
2	6BCa	23-A			蓮子に筈キズあり。瓦当裏面指ナデ。少量の黒色スコリア状物質含む。	28次調査 表土	10- 図面 20 3
3	5BCa	11			瓦当裏面全面指ナデ。黒色スコリア状物質含む。	28次調査 表土	10- 図面 20 2
4	6BAB	171			西別府廃寺。自然釉付着。瓦当面に筈ずれあり。黒色スコリア状物質含む。	28次調査 表土	10- 図面 20 1
5	6BAa	29-D		南比企	広町B改範か？ 瓦当裏面縄目叩き L13 本。男瓦接合部分指ナデ。瓦当面自然釉付着。	29次調査 SD23	10- 図面 43 1
6	6BAa	29-A?			瓦当裏面全面指頭痕。瓦当面自然釉付着。	29次調査 SD23	10- 図面 43 2
7	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類 = 八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。瓦当裏面指ナデ。少量の黒色スコリア状物質含む。	29次調査 SD23	10- 図面 43 4
8	6AAB	21-A			瓦当裏面ナデ。全面に自然釉付着。	29次調査 SD23	10- 図面 43 5
9	15ACa	131			男瓦接合部分指ナデ。瓦当裏面指頭痕。	29次調査 SD23	10- 図面 43 3
10	6ACa	34			瓦当裏面縄目叩き L15 本。一部自然釉付着。	29次調査 表土	10- 図面 51 7
11	6BAa	29-D		南比企	広町B改範か？ 瓦当下面半区外縁なし。瓦当裏面指ナデ。黒色スコリア状物質含む。全体的に自然釉付着。	29次調査 表土	10- 図面 51 6
12	6BCa	26-D			瓦当裏面指ナデ。	29次調査 表土	10- 図面 51 4
13		81?	I b 期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。瓦当裏面全面ヘラナデ。	29次調査 表土	10- 図面 51 5
14	6BAB	171			西別府廃寺。男瓦接合部分指ナデ。瓦当裏面縄目叩き L12 本。黒色スコリア状物質含む。	29次調査 表土	10- 図面 51 3
15	8BCa?	99?	I b ~ c 期	南比企	石田国分寺瓦窯？ 白色針状物質・黒色スコリア状物質を含む。	30次調査 SD23	9- 図面 36 11
16	6BAa?	29-E?			瓦当裏面縄叩き。黒色スコリア状物質含む。	30次調査 SD23	9- 図面 36 12
17					瓦当裏面縄叩き。少量の赤色スコリア状物質含む。	42次調査 SI136(9c 後)	9- 図面 19 3
18	6BCa?	23-A?				42次調査 SI136(9c 後)	9- 図面 19 5
19					黒色スコリア状物質含む。	42次調査 SI136(9c 後)	9- 図面 19 2
20	6BCa?	23-C?			瓦当裏面縄叩き。	42次調査 SI136(9c 後)	9- 図面 19 4
21	7BCa	64	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅵ類・恋ヶ窪廃寺。	44次調査 P7	9- 図面 26 8
22	8ATB?	83-C?	I b 期	南多摩	瓦谷戸Ⅰ類？ 瓦当裏面指ナデ。	48次調査 表土	9- 図面 25 1
23	8ACa	86				2次調査 表土	4-80 3
24	8ACB?	97-B?	I b 期	南比企	小谷B・新沼窯？ 瓦当裏面縦方向のヘラ削り。焼成良好。灰色。	2次調査 SD13	4-80 2
25	15ACa	131			焼成良好。黒灰色。瓦当裏面に自然釉。	2次調査 SD13	4-80 1
26	8BCB	95-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅸ類。瓦当裏面全面指ナデ。	1次調査 SI9(9c 後)	6-118 48-1
27	6BAa?	29-A?			瓦当裏面縄叩き後ナデ。	1次調査 SI10(9c 後)	6-120 50-10
28	6BAB	30-C			瓦当裏面縄叩き。中房中心蓮子変形。	1次調査 SI11(9c 中)	6-122 52-1
29	6BAa	29-C			瓦当裏面周縁ヘラ削り。瓦当面自然釉付着。	1次調査 SI18(9c 中～ 後)	6-143 73-1
30					瓦当裏面ヘラ削り後ナデ。	1次調査 SI18(9c 中～ 後)	6-143 73-3

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（2）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
31					瓦当裏面ナデ。	1次調査 SI18(9c中～ 後)	6-143 73-2
32	8BCa	88			間弁を有する。男瓦部凸面に「播」のヘラ書き文字。瓦当裏面ヘラ削り。	1次調査 SI19(9c中)	6-146 76-1
33	8ACB	97-A2	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。白色針状物質を含む。	1次調査 P50	6-152 82-5
34	6BCa	23-A	II 期		瓦当面全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-157 87-1
35	6BAB	171			西別府廃寺。瓦当裏面縄目叩き。	1次調査 表土	6-157 87-2
36	7BCB	61-?				1次調査 表土	6-157 87-6
37	6BAa	29-F			瓦当裏面縄叩き後ヘラ削り。	1次調査 表土	6-157 87-5
38	6ACa	34			瓦当裏面縄叩き。	1次調査 表土	6-157 87-4
39	7BCa	63?	II 期	東金子	新久Ⅲ = 八坂前Ⅶ類? 瓦当面全体に自然釉付着。瓦当裏面縄叩き後ヘラ削り。	1次調査 表土	6-157 87-3
40					間弁を有する。蓮子はわずかに残存。	37次調査 3人孔表土	7-45 第17図-6
41	8ACa	82-?	I a 期	南比企	上野系。瓦当裏面指ナデ(?)。白色針状物質含む。	37次調査 4人孔表土	7-46 第18図-1
42	7BCB	61-?				37次調査 6人孔表土	7-48 第20図-2
43		81?	I b 期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。白色針状物質を含む。	37次調査 7人孔表土	7-57 第29図-1
44	6BAa	29-C?			無子葉文。蓮子は正方形。男瓦部欠損。接合部が露出。瓦当裏面はやや雑なナデ。	12次調査 遺構外	14- 図面 22 2
45	8ACB	97-A?	I b 期	南比企		24次調査 No.3立坑表土	14- 図面 24 6
46	6BCa	23-B	II 期	東金子	谷久保窯。	24次調査 No.3立坑表土	14- 図面 24 7
47	8ACB	97-A?	I b 期	南比企		24次調査 No.3立坑表土	14- 図面 24 8
48	8BCa	26-A	II 期	東金子	八坂前Ⅲ-2類。	24次調査 砂利穴	14- 図面 24 14
49						24次調査 砂利穴	14- 図面 24 15
50						24次調査 砂利穴	14- 図面 24 16
51						35次調査 SD37	14- 図面 35 3
52	8BCa	26-A	II 期	東金子	八坂前Ⅲ-2類。	35次調査 表土	14- 図面 36 10
53	5ACa	3				35次調査 表土	14- 図面 36 11
54	7BCB	61-A			武蔵国府・寺尾廃寺(川越市)。薄青灰色。硬質。瓦当側面ヘラナデ。瓦当裏面ナデ。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 106
55	6BCa	27	II 期	東金子	新久Ⅰ = 八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。黄味灰色。硬質。外区外縁ヘラ削り。瓦当裏面上半分ナデ。瓦当下半分不調整(指頭痕あり)。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 107
56	6BCa?	24-A?			技法B-Ⅰ。赤灰色～黒灰色。瓦当面自然釉付着。硬質。瓦当側面および外縁内部の一部ヘラ削り調整。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 111
57	8ACB	97-A1	I b 期	南比企	技法B-Ⅰ。薄灰色。白色針状物質多く含む。やや硬質。蓮弁輪郭線が各弁とも接する。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 108
58	8ACa	85-A3	I b 期	南比企	勝呂系。技法B-Ⅱ。薄灰色。やや硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 109
59	8ACB	97-A2	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法B-Ⅰ。青灰色。白色針状物質多く含む。硬質。蓮弁に范キズあり。瓦当裏面格子目叩きあり、不調整。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 21 110

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（3）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
60					薄青灰色～黒灰色。硬質。男瓦部格子目叩き後ナデ。	84次調査 SB53 P(1-1)A期 (8c中)	15- 図面 22 113
61	15ACa	131			技法B- I ?。黄味灰色。硬質。間弁三角形、圏線に接する。男瓦部凹面に「往」と思われる押印あり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 114
62	6BAa	29-2			技法B- I。暗赤灰色（内部赤褐色）。硬質。瓦当裏面縄目叩きL9本。男瓦部凹面朱墨書あり。	84次調査 瓦溜めC	15- 図面 21 112
63	8ACB	109	I b期	南多摩 →南比 企	TNT944遺跡（瓦谷戸窯跡群にも類例あり）。胎土に白色針状物質を僅かに含む。技法B。暗灰色。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 116
64	6BCa	26-A	II期	東金子	八坂前III-2類・恋ヶ窪廢寺。技法B- I。薄青灰色。硬質。外区外縁、瓦当側面へラ削り。蓮弁に範キズあり。	84次調査 SK431	15- 図面 22 115
65					技法B- I。暗黄褐色。やや硬質。文様面もろい。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 117
66	7BCa	63	II期	東金子	新久III類＝八坂前VII類。技法B- I。黄味灰色。硬質。外縁の内外端縁へラ削り。	84次調査 表土	15- 図面 22 118
67					薄黄灰色。やや硬質。外区外縁、瓦当側面へラ削り。蓮弁に範キズあり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 119
68	6BCa	28	II期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。技法B- I。薄赤灰色。硬質（表面ざらつく）。	84次調査 表土	15- 図面 22 120
69					技法B- I。薄灰色。白色針状物質含む。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 121
70					技法B- I。黒灰色～灰色（外側）、暗赤灰色（内側）。硬質。蓮弁、間弁ともに鏤形。	84次調査 SK400	15- 図面 22 122
71					技法B- I ?。黄味灰色～暗赤灰色。硬質。	84次調査 SK427	15- 図面 22 123
72					技法B- I。暗黄灰色。硬質（表面ひび割れている）。瓦当側面へラ削り。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 124
73	16AAB	141			技法B- I。青灰色。硬質。	84次調査 瓦溜めC(10c前)	15- 図面 22 125
74	16AAB	141			技法B- I。灰色。硬質（須恵質、表面少しざらつく）。	84次調査 瓦溜めC(10c前)	15- 図面 22 126
75			II期	東金子	八坂前V類？黄味灰色（全体的に自然釉付着）。胎土緻密。硬質。弁区周縁へラ状工具？によるナデ。	84次調査 SD88	15- 図面 22 127
76	8BCB	95-A	II期	東金子	八坂前IX類。技法B- I。黄味灰色。硬質。弁の輪郭線二重。男瓦先端を削り、瓦当裏面にさしこんでいる。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 128
77					技法B- I。外面は薄赤褐色、内面は明赤褐色。やや硬質。瓦当裏面縄目叩き後ナデ。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 22 129
78					技法B- II。黄褐色。やや軟質。瓦当側面縦方向にへラ削り。同裏面へラ削り。	84次調査 瓦溜めC(10c前)	15- 図面 23 130
79					外部は暗灰色、内部は薄赤褐色。硬質。	84次調査 表土	15- 図面 23 131
80		91-?		南比企	明黄褐色。白色針状物質多く含む。軟質。間弁Y状。外縁、瓦当側面へラ削り。蓮弁に範キズあり。	84次調査 表土	15- 図面 23 132
81					灰褐色（瓦当両面灰付着）。硬質。中房に段あり。	84次調査 瓦溜めC(10c前)	15- 図面 23 133
82					黒灰色（自然釉付着）。硬質。蓮弁輪郭凸線が各蓮弁とも接する。	84次調査 瓦溜めC(10c前)	15- 図面 23 134
83	7BCa	64	II期	東金子	八坂前VI類。技法B- I ?。灰褐色～黒灰色（文様面自然釉付着）。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 135
84	8BCa	88		南比企	暗黄褐色。白色針状物質を多く含む。やや軟質。蓮弁と間弁が接する。瓦当裏面周縁へラ削り。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 136
85	7BBa?				暗灰色。硬質。	84次調査 SK427	15- 図面 23 137
86					黄味灰色。やや硬質（表面小さな穴がたくさんあいている）。瓦当裏面中央部は凹凸が顕著。	84次調査 SK427	15- 図面 23 138

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（4）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
87	6BAa	29-B			技法B- I。黄味灰色～薄赤灰色。硬質。蓮弁に筈キズあり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 139
88					暗灰色。硬質。瓦当裏面縄目叩き後ナデ。内区に筈キズあり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 140
89				南比企	技法B- I。薄黄褐色。白色針状物質含む。硬質。間弁杏葉型形?。 瓦当側面へラ削り。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 141
90	8BCB	95-A	II期	東金子	八坂前IX類。薄赤灰色。硬質。間弁変形Y字状。瓦当裏面不調整（指 頭痕残存）。	84次調査 瓦溜めC（10c 前）	15- 図面 23 142
91	5BCa	11			暗赤褐色。硬質。	84次調査 表土	15- 図面 23 143
92					技法B?。青灰色～黄味灰色。白色針状物質含む。硬質。蓮弁と間弁 が接する。	84次調査 瓦溜めC（10c 前）	15- 図面 23 144
93	6BCa	26-C	II期	東金子	八坂前III-1類。暗黄褐色（内部赤褐色）。やや軟質（二次火熱?）。 外区剥離。	84次調査 SX13	15- 図面 23 145
94				南比企	技法B- I。薄黄褐色。白色針状物質含む。やや軟質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 23 146
95				南比企	灰色。白色針状物質多く含む。硬質。文様面筈の木目痕顕著。	84次調査 瓦溜めC（10c 前）	15- 図面 23 147
96	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。	85次調査 表土	15- 図面 40 2
97	7BCB	61-B			薄青灰色。硬質。間弁変形Y字状。男瓦部技法I 3-A1?。男瓦部凸面 に「王」の押印文字あり。	62次調査 SI168 カマド (10c前)	15- 図面 43 33
98	7BCB	61-A			薄青灰色。硬質。間弁変形Y字状。男瓦部技法I 3-A1。男瓦部凸面「玉」? の押印文字あり。右側端面糸切り痕あり。	62次調査 SI168 カマド (10c前)	15- 図面 43 34
99	6DAB				薄青灰色～黄味灰色。硬質。男瓦部技法I 3-A1。	62次調査 SI168 カマド (10c前)	15- 図面 43 35
100	8ACB	97-A2	I b期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。薄赤褐色。白色針状物質多く含む。 やや軟質。	97次調査 SD71	15- 図面 47 27
101	6BCa	26-A?	II期	東金子	八坂前III-2類・恋ヶ窪廃寺。技法B- I。黄味灰色。蓮弁に筈キズあり。 一部自然釉付着。硬質。	111次調査 SK569	15- 図面 48 16
102			II期	東金子	八坂前V類? 灰褐色。やや硬質。瓦当裏面周縁、浅い溝状にナデ。 外区外縁ナデ。	111次調査 表土	15- 図面 48 19
103		91-A1			西別府廃寺に類例があるが、蓮子数など異なる。技法B- I。暗黄灰色。 硬質。間弁三角形状。	111次調査 表土	15- 図面 48 17
104	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。技法D?。薄青灰色。硬質。瓦当裏面不調整。 接合部布目痕あり。	111次調査 表土	15- 図面 48 18
105	6BCa	28	II期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。暗青灰色～黒灰色。硬質。文様面 灰付着。瓦当側面男瓦部に向って開き、接合部外面に段をつくって いる。筈の文様は深い。	45次調査 SD34	15- 図面 50 8
106	7BCa	63	II期	東金子	新久III = 八坂前VII類。技法B- I。薄青灰色。硬質。	45次調査 SD34	15- 図面 50 9
107	6ACa	34?			黄味灰色。硬質。蓮弁に筈キズあり。文様面外区と内区の境界に沿っ てへラ? でナデている。	60次調査 SE2	15- 図面 53 19
108	6BAa	29-D		南比企	広町B改筈か? 技法B- I。暗灰色。硬質。文様面灰付着。瓦当裏 面縄目叩き後ナデ。	60次調査 SD34	15- 図面 53 21
109					技法B- I。暗赤灰色～黄味灰色。硬質。文様面自然釉付着。	60次調査 SE2	15- 図面 53 20
110	6BCa	27	II期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。灰褐色。緻密。硬質。瓦当裏面 不調整。	155次調査 SD162	15- 図面 54 4
111	6BCa				技法B- I。暗灰色。硬質。	83次調査 SI207	15- 図面 59 79
112					技法B- I。薄青灰色～黄味灰色。自然釉付着。硬質。	135次調査 SF2	15- 図面 65 44
113	8ACB	97-A1?		南比企	技法B?。黄味灰色。瓦当裏面自然釉付着。白色針状物質少し混入。硬質。	135次調査 SD137	15- 図面 65 45
114	6BCa	23-A?			中房蓮子に筈キズ。瓦当裏面指ナデ。	36次調査 SI173(10c中)	16- 図面 22 8

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（5）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
115	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。中房形状B1。接合技法BⅠ。形状BⅠ。	344次調査 遺構外	19- 図面 15 71
116	6BAa	29-B			接合技法はBⅠ技法。瓦当裏面に縄目叩き(L)。男瓦部縄叩き後回転ナデ。中房形状B1。	344次調査 SI410(9c中)	19- 図面 12 41
117	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。接合技法はBⅠ技法、男瓦部縄叩き後回転ナデ。	344次調査 SI410(9c中)	19- 図面 12 42
118	6BCa	26-D			瓦当裏面縄叩き	17次調査 SB36	21- 図面 98 5
119	6DAB					17次調査 SB7	21- 図面 98 1
120	7BCa	63	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類=八坂前Ⅶ類。	17次調査 SB36	21- 図面 98 6
121	8BAB	104				8次調査 SB24	21- 図面 98 3
122						17次調査 SB36	21- 図面 98 4
123	6BAB	30-C			瓦当面・瓦当裏面縄叩き。	8次調査 A地区SI49	21- 図面 99 7
124	6BAa?	29-F?				8次調査 SB17	21- 図面 98 2
125	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ類・谷久保窯・霞川遺跡。瓦当裏面縄叩き。	8次調査 B地区 SI50A(9c中)	21- 図面 99 8
126	6BAB	171			西別府廃寺。	8次調査 C地区SI67(9c 中)	21- 図面 99 10
127	8ACa	85-A1?	I b期	南比企	勝呂系?	17次調査 B 地区 SI103(10c中 ～後)	21- 図面 99 11
128	5BAB					8次調査 A地区SI56(9c 中～後)	21- 図面 99 9
129	8BCa	88?				38次調査 B地区 SI129(9c中～ 後)	21- 図面 100 12
130	6BAa	29-D		南比企	広町B改範か?	38次調査 B地区 SI142(9c中～ 後)	21- 図面 100 13
131	8ACB	97-A2	I b期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。	38次調査 B地区SK221	21- 図面 100 14
132	6BCa?					38次調査 B地区Pit135	21- 図面 100 15
133	6BCa	23-A				38次調査 B地区黒褐色 土	21- 図面 100 16
134						38次調査 B地区黒褐色 土	21- 図面 100 18
135	8BCa	99	I b～ c期	南比企	石田国分寺瓦窯。	38次調査 B地区黒褐色 土	21- 図面 100 17
136	6BCa	23-B	Ⅱ期	東金子	谷久保窯。	38次調査 B地区黒褐色 土	21- 図面 100 19
137	16AAB	141				8次調査 C地区表土	21- 図面 101 20
138	15ACa	131				8次調査 B地区表土	21- 図面 101 21

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（6）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
139	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。	8次調査 C地区表土	21- 図面 101 22
140	7BCB	61-A			武蔵国府・寺尾廃寺（川越市）	38次調査 B地区表土	21- 図面 101 23
141	6BAa		Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類？	8次調査 C地区表土	21- 図面 101 24
142	6BAa	29-B?				38次調査 B地区表土	21- 図面 101 25
143						8次調査 C地区表土	21- 図面 101 26
144	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ = 八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。	8次調査 B地区表土	21- 図面 101 27
145	6BCa	27?	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ = 八坂前Ⅳ類？・恋ヶ窪廃寺？	38次調査 B地区表土	21- 図面 101 28
146	8ACB	97-B	I b期	南比企	小谷・新沼。	38次調査 B地区表土	21- 図面 101 29
147	6ACa	34			瓦当裏面縄叩き。	8次調査 B地区表土	21- 図面 101 30
148	6BAa				中房形状BⅠ。接合方法BⅠ。	370次調査 表土	24- 図面 27 19
149	7BCa?	63?	Ⅱ期	東金子 ?	新久Ⅲ類 = 八坂前Ⅶ類？ 灰色。微砂粒を含み緻密。硬質。	87次調査 SB73(8c後～ 9c末)	25- 図面 34 3
150	8ACB	87	I b期	南多摩	TNT513遺跡C①類。濃青灰色。微砂粒を多く混じる（白色粒目立つ）。硬質。中房の形態A1。接合方法B-Ⅱ	87次調査 SB73(8c後～ 9c末)	25- 図面 34 4
151	5(6) BAa	29-D?		南比企	広町B？ 濃青灰色。粗砂粒を多く混じる。硬質（須恵質）。29-D型式の5弁か？ 瓦当布目痕あり。	87次調査 SI250(9c中)	25- 図面 45 4
152	8ACB	89-A		南比企	黄灰褐色。微砂粒、白色針状物質を含む。やや軟質。中房形状A-A1。接合方法B-Ⅱ。瓦当裏面に布目痕残存。	87次調査 SI276	25- 図面 49 3
153		132-B	I a期	南比企 ?	上野系。黒灰色（内部黄褐色）。微砂粒、白色針状物質、赤色スコリア状物質混じる。やや軟質。中房形状C。接合方法C-Ⅰ（瓦当側面格子叩き、接合部指ナゲ）。	87次調査 SD23	25- 図面 50 8
154	6BAa	29-B			青灰色～黒灰色。微砂粒を混じる（緻密）。硬質（須恵質）。接合方法B-Ⅰ。	87次調査 SD130	25- 図面 52 4
155	6BAa	29-G2	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅱ類？ 灰白色、微砂粒を混じる（緻密）。やや硬質。中房形状B-B1。接合方法B-Ⅰ。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 12
156	15ACa	131			中房形状A-A1。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 13
157	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。青灰色。微砂粒を混じる（緻密）。硬質（須恵質）。中房形状B-B2。接合方法B-Ⅰ。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 14
158	7BCB	61-?			青黒色。黒色スコリア状物質を混入。硬質。自然釉付着。技法A。中房形状B1。	143次調査 SI420(9c後)	30- 図面 29 11
159	6BCa	26-E			瓦当面灰白色。黒色スコリア状物質混入。硬質。技法A。中房形状B。	143次調査 SD226(中世)	30- 図面 32 5
160	4BAB	4			にぶい黄褐色。断面明褐色。褐色スコリア状物質混入。硬質。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 7
161	6BAB	30-C			瓦当面灰色に灰付着。瓦当裏面灰色。硬質。中房形状B1。	143次調査 SK1161(8c中)	30- 図面 36 6
162	6BAa	29-D		南比企	広町B改竄か？ 灰黄褐色。砂粒・石英混入。硬質。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 8
163	6BCa?	24-A?			技法B-Ⅰ。青灰色、一部赤褐色。硬質。	357次調査 SD255	33- 図面 37 1
164	6BAB	171			西別府廃寺。暗灰～赤褐色。瓦当裏面縄叩き残す。	357次調査 SD255	33- 図面 37 2

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（7）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
165	6BCa?		Ⅱ期?		技法B1-I。硬質。釉明黄褐色～黒色、胎土灰色。瓦当面及び瓦当側面に自然釉付着。瓦当裏面縄叩き後ナデ。瓦当側面ナデ。瓦当面に范キズあり。	401次調査 SI517(9c-IV)	34- 図面 43 3
166	8BCa	99?	I b～ c期		軟質。にぶい黄色。瓦当側面ヘラ削り。弁及び弁の輪郭線が中房から約4mm離れる。	401次調査 SF5	34- 図面 44 10
167	7BCB	61-?	I b期		技法B-I。やや軟質。オリーブ黄色。瓦当側面ヘラ削り後ナデ。瓦当裏面ナデ及び指頭による連続した圧痕を残す。	401次調査 SF5	34- 図面 44 11
168	8ACa				技法B1-II。硬質。灰色。白色針状物質を極少量含む。瓦当側面（男瓦接合箇所）に布目痕残存。瓦当側面ヘラ削り及びナデ。瓦当裏面外周及び男瓦接合部ナデ。間弁三角形。内区まで范型で作り、外区は男瓦部の可能性あり。	401次調査 SX133	34- 図面 46 6
169	8ACa?	85-?	I b期	南比企	勝呂系? 軟質。にぶい黄色。白色針状物質を少量含む。瓦当側面ナデ。三角形の間弁が弁の輪郭線に接し、中房に接続する。中区まで范型で作り、外区は男瓦部の可能性あり。	401次調査 Ⅱ層	34- 図面 48 6
170	7BCB	61-?	I b～ c期		技法B1-I。軟質（白色の細砂粒多量に含む）。釉灰白色～黒色、胎土灰色。瓦当面全面、瓦当側面の一部に自然釉付着。瓦当裏面ナデ。	401次調査 I層	34- 図面 48 5
171		132-?	I a期	南比企	上野系。瓦当裏面布絞り痕。瓦当側面斜格子叩き。一本作り。黄白色。軟質。粗砂、雲母、赤色スコリア状物質を混入。	122次調査 表土	41- 図 6 4
172	6BCa	26-C	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類。技法B-II?。灰色。硬質。	131次調査 SD23	41- 図 8 6
173	7BCa	64-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅵ類。技法B-I。明青灰色、断面淡赤褐色。硬質。緻密。	137次調査 SD23	41- 図 11 6
174						202次調査 SD23	41- 図 30 4
175						421次調査 SD174	42- 図面 4 6
176						431次調査 SI548	42- 図面 29 2
177						444次調査 SI568	42- 図面 161 1
178	6BCa	26-C?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-1類?	444次調査 遺構外	42- 図面 173 12
179	7BCB	61-A?			武蔵国府・寺尾廃寺（川越市）? 灰色。粗砂粒と小礫（直径1～4mm）を多く含む。文様部分裏面に男瓦部との接合痕（印籠付け）。	68次調査 SD70 B期 (9c-IV)	43- 図面 10 4
180	7BCa	63	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ = 八坂前Ⅶ類。灰色。粗砂粒を多く含む。文様部分上面に男瓦部との接合痕あり。	68次調査 SD70 硬質土 内1層Aa層 (10c中)	43- 図面 10 5
181	8ACa?	85-?		南比企	勝呂系? 断面淡灰色、内外面灰色。粗砂粒を多く含む。文様部分裏面に布目痕あり。	68次調査 SD70 硬質土 内2層(10c 中)	43- 図面 10 6
182	6BAa				断面灰色、文様面明褐色、文様裏面黒灰色。砂粒と白色針状物質を多く含む。文様部裏面に男瓦部との接合痕（印籠付け）。	68次調査 SD70 A期Ab層(10c 中)	43- 図面 13 6
183	8ACB				男瓦部欠損。火を受けている。文様部分裏面布目痕あり。	68次調査 SD71	43- 図面 16 3
184	6BCa	26-E?			全体的に自然釉付着。文様部分と男瓦部の接合痕あり（印籠付け）。文様部分裏面は縄目叩き。	68次調査 SD71	43- 図面 16 4
185	8BCa	88		南比企	小片。外面灰黒色。白色針状物質多く含む。	251次調査 SI131	44- 図面 24 14
186				南比企	小片。灰白色。白色針状物質多く含む。	251次調査 SI131	44- 図面 24 15
187	6DAB?			南比企	技法D、硬質、白色針状物質混入、灰色7.5Y4/1	476次調査 SI663	45- 図面 17 7
188	8ACB	81?	I b期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。技法BⅡ。硬質。表面：黒色、断面：にぶい黄橙色10YR6/4。	476次調査 SK2250	45- 図面 34 10
189	7BCa?	64-A?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅵ類? 硬質。粗砂粒目立つ。黒色7.5Y2/1。	476次調査 SI663	45- 図面 17 8

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（8）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
190	6BCa	26-D?			非常に硬質。白色針状物質混入。表面：暗青灰色 5PB4/1、断面：灰赤色 7.5R5/2。	500 次調査 遺構外	45- 図面 130 16
191	8ACa?		I a 期	南比企	上野系。技法 D。やや硬質。白色針状物質混入。表面：黒褐色 2.5Y3/1、断面：暗灰黄色 2.5Y5/2。	506 次調査 SK2335	45- 図面 125 10
192	8ACB	97-A2	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法 D II ?。硬質。白色針状物質混入。灰色 5Y4/1。	506 次調査 SK2335	45- 図面 125 11
193					外区内側へラ削り。硬質。粗砂粒混入。小石含む。灰色。	574 次調査 SX256(中世)	48-158 72 図 6
194					鏡瓦男瓦部。瓦当部は素文の外区外縁のみ残存。直付け接合。極めて硬質。胎土緻密。粗砂粒微量含む。暗灰色～暗赤褐色、一部赤褐色。布目 24 × 24。	569 次調査 SD390(中世)	48-149 63 図 7
195					技法 B- II。黄灰白色～暗褐色。やや軟質。砂粒少量混入。瓦当側面へラナデ。瓦当裏面ナデ。	19 次調査 SD27	51- 図面 30 1
196				南比企	灰白色～黄灰白色。軟質。白色針状物質微量混入。瓦当側面・瓦当裏面へラ削り。	19 次調査 遺構外	51- 図面 30 2
197	5ACa	3			黄褐色。軟質。粗砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ。	117 次調査 遺構外	51- 図面 30 3
198	6BCa	23-A?			明灰色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。	213 次調査 SI335(9c 中)	51- 図面 30 4
199	23-?	23-?			灰色～暗黄褐色。砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ。	263 次調査 遺構外	51- 図面 30 5
200					灰赤褐色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。	303 次調査 遺構外	51- 図面 30 6
201	8ACa	82-B2?	I a 期	南比企	上野系。技法 C- I。布紋。硬質。粗粒砂・白色針状物質少量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。蓮弁と間弁が接する。	281 次調査 SD23	51- 図面 30 7
202	6BCa	23-A			灰色～薄赤褐色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。	278 次調査 SD188	51- 図面 31 1
203	8ACa	82-B1?	I a 期	南比企	上野系。技法 C- I。布紋。硬質。白色針状物質やや多量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。蓮弁と間弁が接する。	281 次調査 SD72	51- 図面 30 8
204	8ACa	85-A2'	I a ~ b 期	南比企	勝呂系。技法 B- II。硬質。砂粒微量混入。瓦当側面へラ削り。瓦当裏面ナデ。	281 次調査 SD72	51- 図面 31 2
205	8ACa	82-A1?	I a 期	南比企	上野系。暗褐色～黄灰白色。やや軟質。白色針状物質少量混入。	281 次調査 SD72	51- 図面 31 3
206	8ACa	85?	I a ~ b 期	南比企	勝呂系? 灰色～暗赤褐色。やや硬質。白色針状物質やや多量混入。	281 次調査 遺構外	51- 図面 31 4
207	6BBB	32?		南比企	灰色。硬質。砂粒・白色針状物質少量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。瓦当裏面ナデ。	281 次調査 遺構外	51- 図面 31 5
208					灰色。硬質。砂粒やや多量混入。瓦当裏面へラ削り。	281 次調査 遺構外	51- 図面 31 6
209	8ACa?	85-?	I a ~ b 期	南比企	黄灰白色。軟質。粗砂粒・白色針状物質やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。	281 次調査 遺構外	51- 図面 31 7
210					灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当裏面縄叩き。	303 次調査 SI391(9c 後 ~)	51- 図面 31 8
211	8ACa	85- A2'?	I a ~ b 期	南比企	勝呂系。技法 B- II。暗褐色～黄灰白色。やや軟質。白色針状物質微量混入。瓦当側面へラ削り。裏面ナデ。	303 次調査 SD23(~ 9c 後)	51- 図面 32 1
212	6BCa	26-C	II 期	東金子	八坂前 III -1 類。暗褐色～灰色。砂粒少量混入。	303 次調査 SD23(~ 9c 後)	51- 図面 32 2
213	6BCa	27?	II 期	東金子	新久 I = 八坂前 IV 類・恋ヶ窪廃寺? 明灰色。硬質。砂粒やや多く混入。	303 次調査 SD23(~ 9c 後)	51- 図面 32 3
214					灰色。硬質。胎土緻密。瓦当面降灰釉。	303 次調査 SD23(~ 9c 後)	51- 図面 32 4
215					暗赤褐色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当裏面縄叩き後ナデ。	303 次調査 遺構外	51- 図面 32 5
216	6BCa?	23-?			灰色。硬質。砂粒やや多量混入。瓦当裏面縄叩き。	303 次調査 遺構外	51- 図面 32 6

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（9）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
217	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ類・谷久保窯・霞川遺跡。暗褐色～橙色。軟質。砂粒少量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。	303次調査 遺構外	51- 図面 32 7
218	6BAB?	171?			西別府廃寺? 灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。瓦当裏面へラ削り。	303次調査 遺構外	51- 図面 32 8
219					灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当外縁・側面。裏面縄叩き痕あり。	303次調査 遺構外	51- 図面 32 9
220	15ACa	131			暗灰色～暗赤褐色。やや硬質。粗砂粒少量混入。	303次調査 遺構外	51- 図面 32 10
221	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ・谷久保窯。灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。	303次調査 遺構外	51- 図面 33 1
222	6BCa	26-A?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類?・恋ヶ窪廃寺。黄灰白色。軟質。粗砂粒やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。	303次調査 遺構外	51- 図面 33 2
223					灰色。硬質。粗砂粒少量混入。	303次調査 遺構外	51- 図面 33 3
224	6BCa?				灰色～暗赤褐色。硬質。砂粒少量混入。瓦当側面へラ削り。瓦当裏面指頭痕あり。	414次調査 SK1546	51- 図面 33 4
225					暗褐色。細砂粒を含む。男瓦部内面へラによる格子状刻目あり。	226次調査 SI337(9c中～ 後)	52- 図面 24 6
226		81?	I b期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。青灰色。砂粒・小石を含む。文様裏面は不規則なケズリ整形。	226次調査 SI337(9c中～ 後)	52- 図面 24 7
227					灰白色。やや硬質。砂粒混入。	226次調査 SD194 A期 (9c中)	52- 図面 27 2
228	7BCB	61-B?			製作技法BⅠ。青灰色。粗砂粒・小石を含む。文様裏面横ナデ。男瓦部凹面粘土帯接合痕あり。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 68 12
229				南比企	製作技法BⅠ。青灰色。粗砂粒・白色針状物質を含む。文様面全面に糸切痕あり。文様裏面下端縁削り整形。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 68 13
230					製作技法BⅠ。灰白色。砂粒・小石を含む。男瓦部凸面全面縦方向削り整形。凹面に粘土紐接合痕あり。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 68 14
231	7AAB	62	I a～ b期	南比企	小谷B・広町B窯。製作技法CⅡ。淡青灰色。砂粒・白色針状物質を含む。中房に「父」刻印。文様裏面外縁に布目痕あり。一本作り。外区外縁削り整形。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 68 15
232	15ACa	131			製作技法BⅠ。青灰色。灰白色粒・粗砂粒を多く含む。中房に「荏」押印あり。文様裏面指ナデ。瓦当端面・男瓦部凸面削り整形。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 68 16
233	8BCa	88?		南比企	製作技法BⅠ。青灰色。灰白色粒・白色針状物質を含む。外区外縁一部に縄目痕あり。文様裏面ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 1
234	8DAB?				青灰色。細砂粒を多く含む。文様裏面ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 2
235					灰白色。砂粒を多く含む。瓦当端面削り整形。文様裏面一部に布目痕あり、ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 3
236	15ACa?	131?			灰褐色・青灰色。砂粒・灰白色粒を含む。瓦当端面削り整形。文様裏面削り・ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 4
237				南比企	灰白色。細砂粒・白色針状物質を含む。文様裏面ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 5
238	8ACB	98		南比企	製作技法DⅠ。黒色。細砂粒・白色針状物質を含む。男瓦接合部へラ状工具により刻目有り。文様裏面縦方向にナデ付け。凸面削り整形。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 6
239	6BCa	23-A?			製作技法BⅠ。灰褐色。細砂粒を多く含む。外区外縁削り整形。文様裏面ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 7
240	8BCB	95-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅸ類。灰褐色。砂粒を含む。外区外縁削り整形。文様裏面は不規則に削り整形。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 8

第7表 市内遺跡出土鏡瓦（10）（第13～28図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
241	8ACa	85?		南比企	勝呂系? 黒褐色。細砂粒・白色針状物質を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 9
242					青灰色。細砂粒を含む。文様裏面縄タタキ。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 10
243					灰褐色。砂粒を含む。弁端付近指ナデあり。文様裏面ナデ調整。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 11
244	6BCa?	28?	II期?	東金子?	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡? 製作技法B I。青灰色。灰白色粒・細砂粒を含む。男瓦部凸面縄目に赤色塗料付着。	226次調査 SX42	52- 図面 98 6
245					青灰色。細砂粒を多く含む。文様面木目痕あり。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 8
246					青灰色。灰白色粒・細砂粒を含む。文様裏面ナデ調整。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 10
247	6BCa	27?	II期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺? 青灰色。灰白色粒・粗砂粒をやや多く含む。文様裏面ナデ調整。男瓦部凸面ケズリ整形。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 11
248	6BCa	26-D			灰色～灰赤褐色。硬質。砂粒微量混入。瓦当裏面ヘラ削り。	295次調査 SK1076	52- 図面 100 6
249					灰色。硬質。砂粒少量混入。自然釉深緑色全面付着。	295次調査 遺構外	52- 図面 101 12
250	7BAB				技法D-1。灰色。硬質。砂粒・白色針状物質少量混入。瓦当側・裏面ヘラ削り。	360次調査 SD23(10c前)	52- 図面 103 5
251	6BAB	171			西別府廃寺。技法D-1。灰色。硬質。粗砂粒・小石多量混入。瓦当裏面ヘラ削り。	360次調査 SD23(10c前)	52- 図面 103 7
252					灰色～灰白色。硬質。粗砂粒・小石多量混入。瓦当裏面ナデ。	360次調査 SD23(10c前)	52- 図面 103 8
253					灰色。硬質。粗砂粒・白色針状物質やや多量混入。瓦当裏面ナデ。	360次調査 SX86	52- 図面 105 5
254	8ACa	86			技法A。灰白色。やや硬質。胎土緻密。瓦当側・裏面ヘラ削り。	360次調査 SX87	52- 図面 107 6
255	8ACB	81?	I b期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。技法A。灰色～灰白色。やや硬質。白色砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ。	360次調査 遺構外	52- 図面 107 11
256	6BCa?	24-A?			灰色。硬質。白色砂粒多量混入。瓦当側面ヘラ削り、瓦当裏面ナデ。丹塗り痕あり。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 8
257					灰白色。硬質。砂粒少量混入。瓦当側面ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 9
258	7BCB	61-?			製作技法A。灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ調整。	11次調査 遺構外	56- 図面 27 3
259	6ACa	34			灰赤褐色。硬質。胎土緻密。	56次調査 遺構外	56- 図面 29 5
260					素弁。男瓦部凹面布目。砂粒を多く含むが緻密。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 3
261					技法A。砂粒を多く含むが緻密。明灰褐色。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 2
262					素弁。技法A。砂粒・角礫を多く含み粗い。男瓦部凹面布目。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 1
263	7BCa	23-C			瓦当面裏面に縄目。青灰色。砂粒少量。	216次調査 SI334(9c中)	58- 図面 50 5
264	6BCa	26-A	II期	東金子	八坂前III -2類・恋ヶ窪廃寺。	日影山遺跡 遺構外	40-516 328図 36
265	6BCa	28	II期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。	704次調査 SX356	61-20 第14図 19

第8表 府中市域出土鏡瓦－武蔵台遺跡－（第29図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
1						武蔵台Ⅱ-1 14号住居跡 (10c前)	17-131 80図15
2	8BCb	100-B	I c期	南比企	平城宮系。白色針状物質を含む。裏面はヘラ削り。	武蔵台Ⅱ-1 14号住居跡 (10c前)	17-131 80図16
3	6ACa	34			裏面に縄目叩き。	武蔵台Ⅱ-1 37号住居跡 (9c-Ⅱ)	17-214 163図17
4	7BCB	61-?				武蔵台Ⅱ-1 39号住居跡 (10c前)	17-233 182図14
5	8BCa	99	I b～ c期	南比企	石田国分寺瓦窯。瓦当裏面ヘラナデ、同側面ヘラ削り。	武蔵台Ⅱ-2 AN-197 I層	26-731 468図6
6	6BCa?	24-A?				武蔵台Ⅱ-3 53号住居跡カ マド (10c後)	29-53 34図7
7	7BCB	61-A			武蔵国府・寺尾廃寺（川越市）。瓦当裏面指ナデ。	武蔵台Ⅱ-3 69・39号住居 跡(9c-Ⅱ)	29-235 156図31
8	8BCb	100-B	I c期	南比企	新沼窯・天沼遺跡。平城宮系。瓦当面全体に摩耗。	武蔵台Ⅱ-3 68号住居跡 (9c後)	29-151 108図14
9	6BCa	23-B	Ⅱ期	東金子	谷久保窯。瓦当裏面ナデ。	武蔵台Ⅱ-4 遺構外	22-215 161図12
10	7BCa	63	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ＝八坂前Ⅶ類。	武蔵台Ⅳ 11号道状遺構	36-536 378図5
11	7BCa	64-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅵ類。蓮子5。瓦当裏・端面ナデ。瓦当面に自然釉。	都埋文239集 B91-SI1	55-282 297図3083
12	8BCB?	97-A1?	I b期	南比企	瓦当裏面正格子叩き後ナデ。白色針状物質。	都埋文239集 A98遺構外	55-262 271図3034
13	24-B?	24-B?			外区欠損。胎土緻密、硬質緻な作り。中房と蓮弁が接しない。蓮弁の中房側には山形の抉りが入る。	都埋文295集 4試掘坑	59-46 29図1

第9表 府中市域出土鏡瓦－武蔵台東遺跡－（1）（第30～32図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
1	7BCa	63	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類＝八坂前Ⅶ類。瓦当裏面・側端ヘラナデ。	14号住居 (9c-Ⅱ)	37-137 128図54
2	6BAa	29-C			技法BⅠ。瓦当裏面・側端ナデ。蓮子は方形。瓦当裏面に自然釉付着。	31号住居跡カ マド (9c-Ⅲ)	37-187 175図8
3	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ類。技法BⅠ。瓦当裏面縄目叩きL13本。側端ヘラ削り。瓦当裏面接合部分ナデ。型押し後中房部を粘土紐で補足整形する。	35号住居跡 (9c-Ⅲ)	37-241 229図10
4					瓦当裏面ヘラナデ。	35号住居跡 (9c-Ⅲ)	37-241 229図11
5	8ACa	82-B2?	I a期		上野系。技法CⅠ。瓦当裏面布絞り痕。花卉に指頭痕あり。瓦当裏面周縁・同側端ヘラ削り。瓦当裏面接合部分指ナデ。白色針状物質含む。酸化焰焼成。二次被熱による黒変あり。	49号住居跡A カマド (8c-Ⅲ)	37-326 312図11
6	8ACa	82-B2?	I a期		上野系。技法CⅠ。瓦当裏面布絞り痕。花卉に指頭痕あり。瓦当裏面周縁・同側端ヘラ削り。瓦当裏面接合部分指ナデ。白色針状物質含む。酸化焰焼成。二次被熱による黒変あり。	49号住居跡A カマド (8c-Ⅲ)	37-326 312図10
7	8ACa	82-?	I a期		上野系。技法CⅠ。瓦当裏面布絞り痕。花卉に指頭痕あり。瓦当裏面周縁・同側端ヘラ削り。瓦当裏面接合部分指ナデ。白色針状物質含む。酸化焰焼成。二次被熱による黒変あり。	49号住居跡 Aカマド	37-326 312図12
8					技法BⅠ。瓦当側端ヘラ削り。	49号住居跡 (8c-Ⅲ)	37-327 313図14
9					技法DⅠ。瓦当面欠失、瓦当裏面・同接合部分、男瓦部凸面・側端ナデ。	49号住居跡A カマド (8c-Ⅲ)	37-327 313図15

第9表 府中市域出土燈瓦－武蔵台東遺跡－（2）（第30～32図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
10	8ACa	82-?	I a 期	南比企	上野系。技法C I。花弁に指頭痕あり。瓦当裏面周縁・同側端へラ削り。瓦当裏面接合部分指ナデ。白色針状物質含む。酸化焙焼成。二次被熱による黒変あり。	49号住居跡A カマド (8c- III)	37-326 312 図 13
11	7BCa	64-A	II 期	東金子	八坂前VI類。技法B I。瓦当裏面・同接合部分ナデ。白色針状物質含む。	41号住居跡 (9c- IV)	37-276 262 図 11
12					技法A。瓦当裏面・同接合部分ナデ。白色針状物質含む。	42号住居跡 (9c- III)	37-283 269 図 12
13					技法D。瓦当部欠失。瓦当裏面接合部分指ナデ。男瓦部凹面粘土紐接合部分指ナデ。男瓦部凸面全面ナデ、両側端へラ削り。酸化焙焼成。	55号住居跡 (9c 末-10c 初)	37-375 361 図 58
14					技法A。瓦当裏面・男瓦部側端へラ削り。瓦当裏面接合部分・男瓦部凹面粘土紐接合部分指ナデ。男瓦部凸面縄目叩きL・9本。	55号住居跡 (9c 末-10c 初)	37-375 361 図 57
15	15ACa	131			技法B I ?。瓦当裏面・同接合部分・男瓦部凹面ナデ。男瓦部凸面へラ削り。	55号住居跡 ・52土坑 (9c 末-10c 初)	37-375 361 図 56
16	8BCa	88?		南比企?	技法B I。瓦当裏面ナデ。側端へラナデ。白色針状物質含む。	60・68号住居跡 (8c 末-9c 初)	37-419 372 図 142
17	8BCb	100-A	I c 期	南比企	広町B・天沼遺跡、西別府廃寺 平城宮系 技法B I。瓦当裏面ナデ。側端へラ削り。男瓦部凸面格子目叩き（小）。	60・61号住居跡 (8c 末-9c 初)	37-419 372 図 143
18	15ACa	131			技法B I。瓦当裏面接合部分指ナデ。男瓦部凸面縦ナデ。	61号住居跡 貯蔵穴2(8c 末-9c 初) 8号溝状遺構	37-443 420 図 66
19	6BCa	28	II 期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。技法A。瓦当裏面ナデ。側端へラ削り。	8号溝状遺構	37-652 620 図 32
20	7BCa	64-A	II 期	東金子	八坂前VI類。技法B I。瓦当裏面ナデ。	8号溝状遺構	37-652 620 図 33
21	7BCb	61-?			技法A。瓦当裏面接合部分ナデ。	8号溝状遺構	37-652 620 図 30
22				南比企?	瓦当裏面ナデ。白色針状物質含む。酸化焙焼成。	8号溝状遺構	37-652 620 図 34
23	7BCb	61-?			技法A。瓦当裏面接合部分ナデ。	8号溝状遺構	37-652 620 図 31
24	6BCa				技法D I。瓦当裏面・側端指ナデ。接合面に布目痕あり。	21号溝状遺構	37-665 631 図 10
25	6BCa	28	II 期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。技法A。瓦当裏面・側端接合部分ナデ。瓦当面に自然釉多量付着。	21号溝状遺構	37-665 631 図 9
26	7BCa	64-A	II 期	東金子	八坂前VI類。瓦当裏面・同接合部分指ナデ。蓮子は方形状。瓦当表面・男瓦部凸面に自然釉多量付着。	4号不明遺構	37-596 567 図 22
27	6BCa	27	II 期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。技法B I。瓦当裏面・同接合部分・男瓦部凸面指ナデ。側端へラ削り。蓮子は方形状。	4号不明遺構	37-596 567 図 21
28					技法B I。瓦当裏面指ナデ。左側端へラ削り。男瓦部凸面に自然釉多量付着。	4号不明遺構	37-596 567 図 23
29	6BCa	27	II 期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。技法B I。瓦当裏面縄目叩き（L11本）。側端へラ削り。瓦当裏面・接合面ナデ。蓮子は方形状。	87号土坑	37-699 644 図 5
30	6BCa	27	II 期	東金子	新久I = 八坂前IV類・恋ヶ窪廃寺。瓦当裏面・同接合部分指ナデ。瓦当周縁・側端へラ削り。男瓦部凸面ナデ。	遺構外	37-723 687 図 177
31	7BCa	64-A	II 期	東金子	八坂前VI類。技法A。瓦当裏面・同接合部分指ナデ。男瓦部凸面ナデ。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-723 687 図 183
32					瓦当裏面縄目叩きL11本。同周縁・側端へラ削り。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-724 688 図 193
33	15ACa	131			技法B II。瓦当裏面・同側端へラ削り。同接合部分ナデ。	遺構外	37-723 687 図 188
34	6BAB	171			西別府廃寺。技法D I ?。瓦当裏面縄目叩きL9本。同接合部分指ナデ。瓦当接合部分に布目痕あり。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-723 687 図 175
35	8BCa	88?		南比企?	瓦当裏面・同側端ナデ。白色針状物質含む。	遺構外	37-723 687 図 186
36	6BAB	171			西別府廃寺。瓦当裏面・同側端ナデ。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-723 687 図 176

第9表 府中市域出土鏡瓦－武蔵台東遺跡－（3）（第30～32図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
37					瓦当裏面縄目叩き L13 本。同周縁一部・側端へラ削り。	遺構外	37-724 688 図 192
38	6BCa	23-A?			瓦当裏面・同側端ナデ。男瓦部凸面へラ削り。	遺構外	37-723 687 図 178
39	6BCa?	24-?			瓦当裏面接合部分指ナデ。男瓦部凸面へラ削り。	遺構外	37-723 687 図 189
40					瓦当裏面・同接合部分ナデ。	遺構外	37-723 687 図 179
41	6BCa	28	Ⅱ期	東金子	新久Ⅳ類・谷久保窯・霞川遺跡。瓦当裏面縄目叩き L13 本。	遺構外	37-723 687 図 180
42	6BCa	26-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類・恋ヶ窪廃寺。瓦当裏面ナデ。同周縁・側端へラ削り。 花卉に笱キズあり。	遺構外	37-723 687 図 181
43	7BCB	61-?			瓦当裏面ナデ。同周縁・側端へラ削り。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-723 687 図 184
44						遺構外	37-723 687 図 190
45	6BCa?	26-A?	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ-2類? 恋ヶ窪廃寺? 瓦当裏面・同接合部分ナデ。	遺構外	37-723 687 図 185
46	6BCa?					遺構外	37-723 687 図 191
47					瓦当裏面ナデ。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-724 688 図 194
48	8BCb	100-A	I c 期	南比企	広町 B・天沼遺跡・西別府廃寺。平城宮系。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-723 687 図 187
49	6BCa?	24-A?			瓦当裏面・同接合部分・側端ナデ。瓦当面に自然釉付着。	遺構外	37-723 687 図 182

第10表 恋ヶ窪廃寺出土鏡瓦（第32図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
1	7BCa	64-A	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅵ類。青鼠色。硬質。		2-6 四図 1
2	8BCa	99	I b ~ c 期	南比企	石田国分寺瓦窯。青灰色。硬質。		2-6 四図 2
3	6BCa	27?	Ⅱ期	東金子	新久 I = 八坂前Ⅳ類。濃鼠色。硬質。裏面に指紋が残る。		2-6 四図 3
4	8ACB	97-A2	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺。青鼠色。砂含む。軟質。		2-6 四図 4

第11表 府中市域出土鏡瓦－武蔵国分寺関連遺跡南西地区－（1）（第33図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
1					技法 B I。黄灰色。瓦当裏面へラ削り、男瓦部との接合部へラナデ。	SI1(8c-Ⅳ)	39-229 50 図 12
2	8ACb	81?	I b 期	南比企	久保・石田国分寺瓦窯。技法 B I。中房 A1。男瓦部凸面に「榛」? 押印文字（陰・一部欠損）。黄灰色。男瓦部（凸面）との接合部に刻 みを入れる。瓦当裏面指ナデ。	SI1(8c-Ⅳ)	39-229 50 図 11
3	6BCa	27	Ⅱ期	東金子	新久 I 類=八坂前Ⅳ類・恋ヶ窪廃寺。中房 B1。技法 A?。灰色。瓦当裏面、 男瓦部との接合部分指ナデ。	SI6(9c-Ⅲ)	39-270 91 図 20
4	8ACa	85-A2?	I b 期? 期?	南比 企?	勝呂系? 技法 A?。中房 A1。灰黄色。瓦当裏面へラナデ。	SI7(8c 末-9c 初)	39-282 101 図 31
5	5BBc			笠懸 窯?	上野国分寺 B206? 技法 B I。中房 B1。灰黄色。	SI7(8c 末-9c 初)	39-282 101 図 30
6	6BAB	171			西別府廃寺。技法 D1?。中房 B1。灰色。瓦当裏面に縄叩き (L9 本)。 男瓦部との接合部分指ナデ。	SI14(8c 末 -9c 初)	39-325 144 図 29
7	8BCb	100-A?	I c 期	南比企	広町 B・天沼遺跡・西別府廃寺。平城宮系。中房 B1。中房に笱キズ? 灰黄色。白色針状物質を少量含む。	SD31	39-525 336 図 40

第11表 府中市域出土鏡瓦－武蔵国分寺関連遺跡南西地区－（2）（第33図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
8					技法B I。黄灰色。男瓦部との接合部、凹面指ナデ、凸面横方向のケズリ。	SD31	39-525 336 図 41
9	8ACB	97-A2?	I b 期	南比企	泉井・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。中房A1。技法A。瓦当裏面格子目叩き（5×6mm）。男瓦部との接合部残。暗灰黄色。白色針状物質を多量に含む。	SX13・14	39-524 335 図 12
10	6BCa	28	II 期	東金子	新久IV類・谷久保窯・霞川遺跡。中房B1。技法B I。瓦当裏面に縄目叩き（L15本）。男瓦部との接合部指ナデ。暗灰黄色。	SX13・14	39-524 335 図 13
11	6BCa	26-A	II 期	東金子	八坂前Ⅲ-2類・恋ヶ窪廃寺。灰黄色。瓦当面に范キズあり。	SX13・14	39-524 335 図 17
12	7BCB	61-?			暗灰色。	SX13・14	39-524 335 図 18
13					黄灰色。	SX13・14	39-524 335 図 19
14	4BAB?	4			明赤褐色。瓦当裏面、接合部指ナデ。全体に歪む。	SX13・14	39-524 335 図 15
15					暗灰黄色。	SX13・14	39-524 335 図 14
16	7BCB	61-?			暗灰色。瓦当裏面ナデ。	SX13・14	39-524 335 図 16
17	7BCa	63?	II 期	東金子	新久Ⅲ類＝八坂前Ⅶ類？ 中房B1。にぶい褐色。	遺構外	39-539 350 図 40
18	7BCB	61-?			技法A。中房B1。灰黄褐色。瓦当裏面指ナデ。	遺構外	39-538 349 図 37
19	8ACa	85?	I b 期?	南比企?	勝呂系？ 黄灰色。瓦当部厚い。やや軟質。	遺構外	39-538 349 図 39
20	7BCB	61-?			中房B1。褐灰色。瓦当裏面ナデ。	遺構外	39-538 349 図 38
21					技法B I。灰色。男瓦部との接合部指ナデ。	遺構外	39-539 350 図 41

第12表 僧寺金堂跡採集宇瓦（1）（第34図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献－頁 図番号
1	HK	285 新			女影廃寺。技法D。顎C1-c。瓦当凸面ケズリ。灰白（5Y 8/1）。やや軟質。1mm以下の砂粒を微量含む。	金堂址 平塚運一コレ	57-30 22 図 657
2	HK	281-B	II 期	東金子 下落合	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎B2-b。女瓦部技法II 1-A1。女瓦～裏面：縄目L11本（縦）、瓦当凸面：縄目（横）。黄灰（2.5Y4/1）。やや硬質。6mm以下の砂粒を多く含む。	金堂南 平塚運一コレ	57-26 19 図 578
3	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎B2-a。女瓦凸面：縄目L13本（縦）、瓦当凸面：縄目L13本（横）、裏面：ナデ。灰（5Y4/1）。やや硬質。3mm以下の砂粒を多く含む。	金堂 平塚運一コレ	57-24 18 図 582
4	3G			南比企	技法D。顎B1-a。女瓦部技法II 1-B。女瓦凸面：格子目叩き、瓦当凸面：ケズリのちナデ。灰白（2.5Y8/2）。硬質。胎土密。白色針状物質あり、5mm以下の砂粒を少量含む。	金堂南 平塚運一コレ	57-10 8 図 382
5	KK	236	II 期	高岡	勝呂廃寺・山田遺跡。技法C2-c。女瓦凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面縄目L11本（縦・横）、境部ナデ。暗灰（N3/）。硬質。胎土密。1～3mmの砂粒を多く含む。凹面にヘラ書き「大」。瓦当面から凹面に自然釉。	金堂南 平塚運一コレ	57-20 16 図 511
6	HK	285-D			女影廃寺。女瓦部技法II 1-B、凸面ナデ。青黒（5B2/1）。硬質。3mm以下の砂粒を多く含む26mm以下の礫を含む。	金堂 平塚運一コレ	57-30 22 図 654
7	HK	282-A	I b 期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。灰（5Y5/1）。やや硬質。白色針状物質・0.1～2mm程度の白色砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	57-27 20 図 617
8	KK	248-A			高岡窯、勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺 技法D。顎B1-a。女瓦凸面：縄目L13本（縦）、瓦当凸面：縄目L13本（横）、裏面ナデ。オリープ黒（5Y3/1）。硬質。4mm以下の砂粒を多く含む。	金堂 平塚運一コレ	57-24 18 図 574
9	0 特異	368-A			技法D。顎B2-a。女瓦凸面：布目L6本（縦）、瓦当凸面～裏面：縄目L6本（縦）のちケズリ。灰色（N5/1）。硬質。0.1～1.5mm程の白色砂粒を多く含む。	金堂南 平塚運一コレ	57-37 26 図 714
10	HK	285 -D			顎C1-a。女瓦部技法II 1-B。女瓦凸面ナデ、瓦当凸面ケズリ。灰（5Y6/1）。硬質。0.1～2mm程度の白色砂粒を多く含む。3～5mm以上の砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	57-30 22 図 656

第12表 僧寺金堂跡採集宇瓦(2)(第34図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
11	KK	240	Ⅱ期?	高岡 南比企?	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。顎B2-a。女瓦~瓦当凸面:縄目L9本(縦)、裏面:ナデ。灰褐(5YR5/2)。胎土密。軟質。白色針状物質あり、4mm以下の砂粒を少量含む。瓦当面の縄目痕をなで消さずに范型押し。	金堂址 平塚運一コレ	57-22 17図535
12	0 特異	365	I b期	南比企	小谷B・広町B窯。技法D。顎B2-a。女瓦凸面格子目叩き、瓦当凸面ケズリ、境部ナデ。灰オリーブ(5Y6/2)。硬質。白色針状物質・0.1~3.5mm程度の白色砂粒を含む。	金堂 平塚運一コレ	57-36 25図709
13	0 特異	356			顎B1-a。女瓦凸面縄目L7本(縦)、瓦当凸面~裏面ナデ。灰(5Y5/1)。硬質。0.1~3mm程度の白色砂粒を多く含む。	金堂南 平塚運一コレ	57-34 24図683
14	KK	232 -E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎C2-a。女瓦部技法Ⅱ1-B。女瓦~瓦当凸面縄目L8本(縦)、瓦当凸面ケズリのちナデ。暗灰黄(2.5Y4/2)。やや硬質。5mm以下の砂粒を含む。	金堂南 平塚運一コレ	57-14 12図443
15	H	325			中心飾に蓮蕾文。鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 40図7
16	H	322-F			褐色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 52図115
17	竹管文	341-B			鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 51図102
18	HK	285- C or 285-D			女影廃寺? 鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 47図70
19	HK	282-A	I b期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 47図68
20	竹管文	341-B			鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 51図103
21	KK	238			鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 42図14
22	0 特異	356			鼠色。硬質。	金堂東 国分寺蔵	1 56図145
23	0 特異	368-B =374?				金堂址南 宇野信四郎蔵	27-121 54

第13表 僧寺講堂跡採集宇瓦(1)(第35・36図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	3G				技法D。顎B1-a。女瓦~瓦当凸面ケズリのちナデ。灰(5Y5/1)。やや硬質。胎土密。1mm以下の砂粒を多く含む。	講堂 平塚運一コレ	57-11 9図389
2	3G				技法D。顎B1-a。女瓦凸面格子目叩き、瓦当凸面~裏面ナデ。オリーブ黒(10Y3/1)。やや硬質。10mm以下の砂粒を少量含む。	講堂 平塚運一コレ	57-11 9図384
3	HK	282 新2	I b期	南比企	技法D。顎B2-a。女瓦~瓦当凸面ケズリ。黄灰(2.5Y6/1)。硬質。白色針状物質あり、0.5~1.5mm程度の白色粒子を多く含む。3mm程度の砂粒・砂礫を含む。	講堂 平塚運一コレ	57-28 21図639
4	KK	235-B	I b期	南比企	顎B1-a。女瓦部技法Ⅱ1-B。女瓦凸面~瓦当裏面ナデ、瓦当凸面ケズリ。灰白(2.5Y8/1)。やや硬質。胎土密。白色針状物質あり、0.5~5mmの砂粒を多く含む。	講堂址 平塚運一コレ	57-19 15図491
5	KK	235-B	I b期	南比企	技法D。顎B1-a。女瓦部技法Ⅱ1-B。女瓦凸面~瓦当裏面ケズリ・ナデ、瓦当凸面ケズリ。灰(10Y5/1)。やや硬質。胎土密。白色針状物質あり、4mm以下の砂粒を多く含む。	講堂 平塚運一コレ	57-19 15図492
6	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎C1-a。女瓦部技法Ⅱ1-A1。女瓦凸面斜格子目叩き、瓦当凸面ケズリ。灰黄(2.5Y6/2)。やや軟質。2mm以下の砂粒を多く含む。5~10mmの砂粒を少量含む。	講堂 平塚運一コレ	57-12 10図414
7	0 特異	357-B		南比企	顎C2-b。女瓦~瓦当凸面縄目L9本(縦)、境部ナデ。灰(5Y5/1)。硬質。白色針状物質、0.1~2.5mm程度の白色砂粒を多く含む。	講堂 平塚運一コレ	57-34 24図686
8	HK	282-A	I b期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。技法D。顎B2-a。女瓦凸面ケズリのちナデ・縄目L11本(縦)、瓦当凸面ケズリのちナデ?、裏面ナデ。灰色(5Y4/1)。硬質。白色針状物質あり。0.1~2.5mm程度の白色砂粒を多く含む。5mm以上の砂粒を含む。凹面に「入」の押印。	講堂 平塚運一コレ	57-27 20図615
9	0 特異	364?			技法D。顎B2-a。瓦当凸面縄目L11本(縦)、境部ナデ。黄灰(2.5Y5/1)。やや軟質。0.1~2.5mm程度の白色砂粒・5mm以上の白色砂粒を多く含む。范ずれあり。	講堂址 平塚運一コレ	57-36 25図702

第13表 僧寺講堂跡採集宇瓦（2）（第35・36図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献・頁 図番号
10	KK	235-H	I b 期	南比企	新沼ⅡA類・酒井分類C2類。顎B1-a。女瓦部技法Ⅱ1-B。女瓦凸面～瓦当裏面ナデ、瓦当凸面縄目L6本（縦）・ケズリのちナデ。灰（N4/）。硬質。胎土密、白色針状物質あり、1～2mmの砂粒を少量含む。凹面から側面に自然釉。	講堂址 平塚運一コレ	57-19 15 図 496
11	KK	247-A?			顎B2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面ケズリ、裏面ナデ。灰（5Y5/1）。硬質。5mm以下の砂粒を含む。瓦当面にへら書き「大」。	講堂址 平塚運一コレ	57-24 18 図 561
12	H 格子文	321-C			技法D。顎B2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L10本（縦）、瓦当凸面ケズリ、裏面ナデ。灰オリーブ（5Y5/2）。硬質。0.1～2mm程度の白色砂粒を多く含む。瓦当面の縄目痕を完全にまで消さずにへら描き施文。	講堂 平塚運一コレ	57-39 27 図 749
13	H	326		南比企	顎C2-b。女瓦部技法Ⅱ1-A1。女瓦～瓦当凸面縄目L12本（縦）、境部ナデ。黄灰（2.5Y5/1）。硬質。白色針状物質・0.1～2mm程度の白色砂粒を含む。0.1～0.5mm程度の砂粒を多く含む。	講堂 平塚運一コレ	57-39 27 図 773
14	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡（25号住居）。顎B1-a。女瓦凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面縄目L11本（横のち縦）、裏面ナデ。暗灰黄（2.5Y5/2）。やや硬質。5mm以下の砂礫を多く含む。瓦当面の縄目痕をまで消さずに范型押し。	講堂 平塚運一コレ	57-22 17 図 542
15	KK	237	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅳ類・女影廃寺。顎C1-c。瓦当凸面縄目L10本（縦）・ケズリ。灰（5Y5/1）。やや軟質。2mm以下の砂粒を少量含む。丹付着。	武蔵講堂 平塚運一コレ	57-20 16 図 520
16	0 特異	368-A			顎C2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L6本（縦）、瓦当凸面ケズリ。灰（7.5Y6/1）。硬質。胎土密。2mm以下の砂粒を多く含む。	講堂址 平塚運一コレ	57-37 26 図 717
17	H 連弧文	323-A?			技法D。顎B2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面一部にケズリ。灰オリーブ（5Y5/2）。やや硬質。0.1～2mm程度の白色砂粒を含む。へら描の圏線内部に連続重弧文を施す。圏線は上外区で2重、下外区で3重になっている。	講堂 平塚運一コレ	57-39 27 図 770
18	0 特異	370		南比企	顎B2-c。女瓦部技法Ⅱ1-A1。女瓦～瓦当凸面縄目L11本（縦）、裏面ナデ。灰（5Y5/1）。硬質。白色針状物質あり、0.1～2.5mm程度の砂粒を多く含む。	武蔵講堂 平塚運一コレ	57-37 26 図 727
19	KK	244			技法D。顎B2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面ケズリ、境部ナデ。黒色（2.5Y2/1）。硬質。2mm以下の砂礫を多く含む。	講堂址 平塚運一コレ	57-22 17 図 556
20	KK	247?			顎B2-a。女瓦凸面縄目L11本（縦）、瓦当凸面縄目L11本（横）・ケズリ、裏面ナデ。暗緑灰（10GY3/1）。硬質。4mm以下の砂粒を含む。	講堂西 平塚運一コレ	57-24 18 図 573
21	HK	282-B	I b 期	南比企		講堂址 宇野信四郎蔵	27-123 88
22	3G					講堂址 宇野信四郎蔵	27-124 99
23	HK	294-B?	I b 期?	南比企?	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯?	講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-123 86
24	HK	282-B	I b 期	南比企		講堂址 宇野信四郎蔵	27-123 89
25	HK		Ⅱ期	東金子?	新久Ⅰ類 = 八坂前Ⅰ-1類?	講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-122 75
26	KK	247-A				講堂址 宇野信四郎蔵	27-120 48
27	H 鋸歯文	322-B				講堂東 宇野信四郎蔵	27-121 65
28	0 特異	365	I b 期	南比企	小谷B・広町B窯。	講堂址東北 宇野信四郎蔵	27-119 37
29	M?	355?				講堂址 宇野信四郎蔵	27-122 70
30	KK	238				講堂址東部 宇野信四郎蔵	27-119 38
31	M	355				講堂 宇野信四郎蔵	27-124 104
32						講堂址 宇野信四郎蔵	27-120 44
33	H	327-A			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 48 図 73
34	0 特異	358			黒色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 52 図 113
35	HK	285-B			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 49 図 82
36	HK	288	Ⅱ期	東金子	谷津池2号窯跡焼成部。黒色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 46 図 52

第13表 僧寺講堂跡採集宇瓦（3）（第35・36図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
37	KK	236	II期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 40 図 1
38	H 鋸齒文	322-B			鼠色。硬質。	講堂東 宇野信四郎蔵	1 53 図 123
39	H 連弧文	323-A?			鼠色。硬質。	講堂東 国分寺蔵	1 46 図 55
40	KK	231	I c 期	南比企	平城宮系。有吉 1982 分類 K1-A 型式。鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 44 図 37
41	H 格子文	321-C			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 55 図 134
42	HK	285?			灰色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 49 図 84
43	KK	239			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 49 図 89
44	KK	232-E	II期	東金子	谷津池窯。鼠色。硬質。	講堂 国分寺蔵	1 44 図 36
45	K	346			鼠色。焼成並。	講堂北 国分寺蔵	1 55 図 136
46	H 格子文	321-B			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 55 図 135
47	H 格子文	321-C			鼠色。硬質。	講堂北 国分寺蔵	1 55 図 133
48	KK	291 =360			黒色。硬質。	講堂北 平塚運一蔵	1 56 図 146
49	O 特異	365	I b 期	南比企	小谷 B・広町 B 窯。鼠色。硬質。「父」文字。	講堂東 国分寺蔵	1 47 図 71

第14表 僧寺塔跡採集宇瓦（1）（第37図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
1	HK	281-B	II期	東金子	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎A-a。女瓦～瓦当凸面縄目 L9 本（縦）、瓦当凸面ケズリ。灰 (5Y6/1)。硬質。胎土密。1mm 以下の砂粒を多く含む。	塔址 平塚運一コレ	57-26 19 図 608
2	HK	281-B	II期	東金子	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎A-a。女瓦～瓦当凸面縄目 L9 本（縦）、瓦当凸面ケズリ。灰 (5Y6/1)。軟質。2mm 以下の砂粒を少量含む。	塔址 平塚運一コレ	57-26 19 図 606
3	KK	232?			女瓦部技法 II 1-B。灰 (7.5Y5/1)。硬質。砂粒はほとんどなし。	塔址 平塚運一コレ	57-14 12 図 450
4	HK	281-B	II期	東金子	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎C1-D。女瓦凸面縄目のちケズリのちナデ。瓦当凸面ケズリのちナデ。灰黄 (2.5Y6/2)。やや硬質。胎土砂粒をほとんど含まない。	塔址 平塚運一コレ	57-26 19 図 579
5	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。顎B2-a。女瓦部技法 II 1-A1。女瓦～瓦当凸面縄目 L11 本（縦）、瓦当凸面ケズリ、裏面ナデ。灰オリブ (7.5Y6/2)。やや硬質。1～5mm 程度の砂礫を多く含む。	塔址 平塚運一コレ	57-22 17 図 537
6	H 格子文	321-D			顎B。女瓦部技法 II 1-A1。女瓦凸面縄目 L9 本（縦）、裏面ナデ。灰 (5Y5/1)。硬質。胎土緻密。0.1～0.5mm 程度の白色砂粒を少量含む。丹付着？	塔址 平塚運一コレ	57-39 27 図 747
7	4G				技法D。顎B1-a。瓦当凸面～裏面ナデ。灰黄 (2.5Y7/2)。やや硬質。0.5～3mm の砂粒を多く含む。	塔址 平塚運一コレ	57-11 9 図 397
8	KK	232-D	II期	東金子	新久 I 類 = 八坂前 I -1 類・恋ヶ窪廃寺。顎C1-a。女瓦部技法 II 1-a。女瓦凸面縄目 L9 本（縦）、瓦当凸面ケズリのちナデ。黄灰 (2.5Y5/1)。硬質。4mm 以下の砂粒を微量含む。	塔址 平塚運一コレ	57-13 11 図 427
9	KK	232-B?		南比企	技法D。顎B2-a。女瓦凸面縄目 L13 本（縦）、瓦当凸面ケズリ、裏面ナデ。灰 (7.5Y6/1)。硬質。白色針状物質・2mm 以下の砂粒を含む。	塔址 平塚運一コレ	57-12 10 図 410
10	HK	281-B	II期	東金子	八坂前V類・下落合瓦窯・女影廃寺。技法D。顎A-c。女瓦～瓦当凸面ケズリ。灰黄褐 (10YR4/2)。軟質。2mm 以下の砂粒をやや多く含む。丹付着。	塔址 平塚運一コレ	57-26 19 図 600
11	O 特異	365	I a～ b 期	南比企	小谷 B・広町 B 窯。技法D。顎B2-a。女瓦部技法 II 1-A1。女瓦部格子目叩き、瓦当凸面～裏面ナデ。黄灰 (2.5Y5/1)。硬質。0.1～2mm 程度の白色砂粒を含む。5mm 以上の白色砂粒を含む。	塔址 平塚運一コレ	57-36 25 図 704

第14表 僧寺塔跡採集宇瓦（2）（第37図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
12	KK	236	II期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B2-a。女瓦～瓦当凸面縄目L12本（縦）、瓦当凸面ケズリ、裏面ナデ。灰(7.5Y6/1)。硬質。胎土密。1～4mmの砂粒を多く含む。瓦当面から凹面に薄く自然釉かかる。	塔址 平塚運一コレ	57-20 16図512
13	KK	252	II期	東金子	八坂前II類。技法D。顎C1-a。女瓦～瓦当凸面縄目L9本（縦）・ナデ。暗灰黄(2.5Y5/2)。軟質。2mm以下の砂粒を少量含む。下外区にヘラ描の沈線を入れて、内区との境をなす界線を作り出している。	塔址 平塚運一コレ	57-24 18図589
14	0 特異	291 =360			技法D。顎B1-a。女瓦～瓦当凸面縄目L10本（縦）、瓦当凸面ケズリ。黄灰(2.5Y6/1)。硬質。0.1～2mm程度の白色砂粒を多く含む。	塔址 平塚運一コレ	57-34 24図696
15	4G					塔南 宇野信四郎蔵	27-124 101
16	0 特異	373				塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-119 36
17	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。	塔南瓦溜 宇野信四郎蔵	27-123 91
18	0 特異	373				塔南 宇野信四郎蔵	27-123 81
19	KK	232-D'				塔址 宇野信四郎蔵	27-122 76
20	H	323-B			鼠色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 57図159
21	H 鋸齒文	322-B			褐色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 53図119
22	H	326			鼠色。硬質。	塔 原田良雄蔵	1 57図151
23	H?	326-B			褐色。脆。	塔 原田良雄蔵	1 57図152
24	KK	242			鼠色。硬質。	塔 太田静六蔵	1 41図10
25	HK	281-B	II期	東金子 南多摩	八坂前V類・下落合瓦窯・女影廃寺。鼠色。硬質。	塔西 国分寺蔵	1 46図59
26	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。灰色。焼成並。	塔西 国分寺蔵	1 49図88

第15表 僧寺僧坊跡採集宇瓦（1）（第38図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	KK	233	II期	東金子	新久II類＝八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。顎B。女瓦凸面縄目L12本?（縦）、裏面ナデ。黄灰(2.5Y4/1)。やや硬質。9mm以下の砂粒を多量に含む。	武蔵僧坊址 平塚運一コレ	57-15 13図457
2	KK	233	II期	東金子	新久II類＝八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。顎C1-a。瓦当凸面縄目L9本（縦）・ケズリ。灰(7.5Y5/1)。硬質。5mm以下の砂粒を多量に含む。	武蔵僧坊址 平塚運一コレ	57-15 13図457
3	HK	282-B	I b期	南比企	瓦当凸面～裏面ナデ。暗青灰(10BG4/1)。やや硬質。白色針状物質あり、2mm以下の砂粒を多量に含む。女瓦部欠損。	僧坊址 平塚運一コレ	57-27 20図625
4	KK	233	II期	東金子	新久II類＝八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。瓦当凸面ケズリ。灰(5Y6/1)。やや軟質。10mm以下の石粒を含む。0.5mm以下の砂粒を少量含む。	僧坊 平塚運一コレ	57-15 13図466
5	H 格子文?	321-C			顎A。瓦当凸面縄目L12本（縦）黄灰(2.5Y5/1)。やや硬質。0.1～1.5mm程度の白色砂粒を含む。丹付着。	僧坊址 平塚運一コレ	57-39 27図751
6	HK	285-D			女影廃寺 技法D。瓦当凸面ケズリ、境部ナデ。灰黄(2.5Y6/2)。やや軟質。6mm以下の石粒を少量含む。丹付着	僧坊 平塚運一コレ	57-30 22図653
7	KK	234-E			技法D。顎B2-a。女瓦部技法II 1-A1。女瓦凸面縄目L10本（縦）、瓦当凸面縄目L10本（横）、裏面ナデ。灰(5Y4/1)。やや硬質。胎土に砂粒ほとんどなし。	僧坊址 平塚運一コレ	57-17 14図486
8	KK	240	II期	高岡	高岡窯。顎B2-a。女瓦縄目L12本（縦）瓦当凸面縄目L13本（横）、裏面ナデ。灰(5Y5/1)。硬質。0.1～2mm程度の白色砂粒を多く含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-22 17図543
9	KK	242-B			技法D。顎C2-c。女瓦凸面～瓦当裏面縄目L11本（縦）、瓦当凸面ケズリ、境部一部ナデ。灰(5Y5/1)。やや軟質。3mm以下の砂粒を多く含む。范ずれあり。	武蔵僧坊 平塚運一コレ	57-22 17図552

第15表 僧寺僧坊跡採集宇瓦(2)(第38図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
10	KK				技法D。顎B1-a。瓦当凸面縄目L11本(横)・ケズリ、境部ナデ。灰(5Y4/1)。やや硬質。白色針状物質あり、3mm以下の砂粒をやや多く含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-24 18図571
11	KK	236	II期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。技法D。顎B2-a。女瓦~瓦当凸面縄目R10本(縦)、裏面ナデ。黒(7.5Y2/1?)。硬質。10mm以下の石粒、砂粒を多量に含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-20 16図510
12	KK	247-A			顎C2-b。女瓦~瓦当凸面縄目L12本(縦)、境部ナデ。灰褐(5YR5/2)。やや硬質。6mm以下の砂粒を多く含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-24 18図563
13	KK	244			顎B2-a。瓦当凸面縄目L11本(横)・ナデ、裏面ケズリ。灰(10Y5/1)。硬質。5mm以下の石粒・砂粒をまばらに含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-22 17図557
14	H 格子文	321-C			顎A。瓦当凸面縄目L9本(縦)。灰黄褐(10YR5/2)。硬質。0.1~1mm程度の白色砂粒を少量含む。	僧坊 平塚運一コレ	57-39 27図750
15	KK	291 =360			顎B1-a。女瓦凸面~瓦当裏面縄目L10本、瓦当凸面ケズリ。暗灰黄(2.5Y5/2)。硬質。0.1~2mm程度の白色砂粒を含む。3mm以上の砂粒を含む。	武蔵僧坊址 平塚運一コレ	57-34 24図695
16	0 特異	369			顎B2-a。女瓦凸面縄目、瓦当凸面縄目L11本(横)、裏面ナデ。灰(5Y4/1)。やや軟質。白色針状物質・3mm以下の砂粒を含む。	講堂僧坊 平塚運一コレ	57-37 26図720
17	0 特異	368-A			顎C2-a。女瓦凸面縄目L9本(縦)、瓦当凸面縄目L9本(縦)のちナデ。灰(5Y4/1)。軟質。2mm以下の砂粒を含む。	僧坊址 平塚運一コレ	57-37 26図715
18	H 鋸歯文	322-B?				僧房付近 平塚運一コレ	1 54図128
19	H	327-A?			鼠色。焼成並。	西室址 平塚運一コレ	1 46図54
20	H 格子文	321-A				僧房址西 宇野信四郎蔵	27-121 60
21	HK	288?	II期?	東金子	谷津池2号窯跡焼成部?	僧房南方 宇野信四郎蔵	27-123 84
22	HK	294-A			勝呂廃寺?「子玉」押印。灰色。硬質。	西室南 国分寺蔵	1 46図56
23	HK	282 新2	I b期	南比企	顎B2-a。女瓦凸面ケズリのちナデ、瓦当凸面~裏面縄目のちケズリ。灰(5Y6/1)。硬質。白色針状物質あり。3mm以下の砂粒を多く含む。5mm程度の礫をまばらに含む。	鐘□ 平塚運一コレ	57-28 21図638
24	HK	295		南比企?	技法D。顎B1-a。女瓦部技法II 1-B。女瓦凸面ケズリ、瓦当凸面格子目叩きのちナデ、裏面ケズリのちナデ。浅黄(2.5Y7/3)。硬質。白色針状物質・0.1~3.5mm程度の白色粒子を含む。	鐘 [撞堂] 平塚運一コレ	57-32 23図672
25	K	346				鐘楼南下 宇野信四郎蔵	27-122 73
26	0 特異	369-A			鼠色。硬質。	鐘楼南 国分寺蔵	1 48図79
27	3G					中門西 宇野信四郎蔵	27-124 100
28	KK	244?				南大門西 宇野信四郎蔵	27-121 55
29	KK	236	II期	高岡	高岡・勝呂廃寺・山田遺跡。	南大門西 宇野信四郎蔵	27-120 49

第16表 僧寺中院・北院跡、薬師堂付近採集宇瓦(1)(第39図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	3G				褐色。焼成並。	中院南 国分寺蔵	1 50図90
2	竹管文	341-A			鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 51図100
3	3G				褐色。焼成並。	中院南 国分寺蔵	1 50図91
4	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 42図16
5	KK	291 =360			鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 57図156
6	KK	235-D			酒井分類A3類。鼠色。硬質。	中院址 国分寺蔵	1 41図11

第16表 僧寺中院・北院跡、薬師堂付近採集宇瓦（2）（第39図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
7	KK	244			鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 43 図 29
8	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 42 図 17
9	H 格子文	321-C			鼠色。硬質。	中院南 国分寺蔵	1 55 図 138
10	O 特異	365	I b 期	南比企	小谷 B・広町 B 窯。	薬師堂東方畑 宇野信四郎蔵	27-120 46
11	H?	327-A				薬師堂北東 宇野信四郎蔵	27-121 59
12	KK	235-C?			瓦谷戸窯 V 類?・酒井分類 A2 類。鼠色。硬質。	北院西 織戸市郎蔵	1 42 図 23
13	H?	327-A			鼠色。硬質。	北院東 宇野信四郎蔵	1 57 図 153
14	H	322-C			鼠色。硬質。	北院東 石村喜英蔵	1 52 図 108

第17表 恋ヶ窪廃寺跡出土宇瓦（第39図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
1	KK	234-E?	Ⅱ期	東金子	鼠色。文様面には光沢あり。		2-6 四図 5
2	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20 遺跡・高岡廃寺。濃鼠色。文様面灰釉かかる。顎は漆黑。硬質緻。		2-6 四図 6
3	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺。濃鼠色。光沢あり。顎には段がある。		2-6 四図 7
4	KK				淡褐灰色。硬質。		2-6 四図 8
5	KK				蕨手文。青鼠色。硬質緻。		2-6 四図 9
6	KK	234-E?			青鼠色。軟質。		2-6 四図 10
7	M				鼠色。硬質。		2-6 四図 11
8	KK	232-B			鼠色。硬質。		2-6 四図 12

第18表 尼寺跡採集・出土宇瓦（1）（第40～43図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
1					灰色。硬質。	尼寺 国分寺蔵	1 48 図 76
2	K	346				西院 宇野信四郎蔵	27-124 102
3	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。	西院址住宅 宇野信四郎蔵	27-120 43
4	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。鼠色を呈し、胎土細かく焼成は硬質。裏面は顎部まで縄目文施し、断面は傾斜をもった段状。	寺址南側土塁 中 滝口宏調査	3-34 11 図下 22
5	K	346				金堂土壇上 滝口宏調査	3-34 11 図上 3
6	J	351?			鼠色。硬質。顎部は三カ所指先で押し、前方より見ると高句麗の宇瓦にみられるような波状を呈する。	寺址 滝口宏調査	3-35 12 図 23
7	HK	292?			鼠色。硬質。自然釉付着。段顎。	寺址南側土塁 中 滝口宏調査	3-35 12 図 27
8	H 鋸歯文	322-B?			鼠色。硬質。顎は斬減形。	金堂址東方 滝口宏調査	3-35 12 図 5

第18表 尼寺跡採集・出土宇瓦(2)(第40～43図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
9	KK	234-A?	II期	東金子	新久III類・武蔵国府? 鼠色。硬質。段顎で縄目文を施す。	寺址南側土塁 中 滝口宏調査	3-40 14図26
10					濃鼠色。硬質。	寺址 滝口宏調査	3-40 14図29
11	HK	285-D?			女影麿寺? 濃鼠色。	寺址南側土塁 中 滝口宏調査	3-40 14図25
12	HK				淡褐色。小石混入。硬質。段顎。上面布目に横状線付着。	寺址Aトレン チ 滝口宏調査	3-40 14図28
13	HK	294-A?			勝呂麿寺? 顎B。白色砂粒を多く含む。濃灰色。	373次調査 SX94	20-30 21図4
14	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡麿寺・恋ヶ窪麿寺。顎C。白色の砂粒を多く含む。濃灰色。	373次調査 SX96	20-30 21図5
15	HK	293-A?		南比企	顎B。白色針状物質を多量に含む。青灰色。文様不鮮明。	373次調査 SA18	20-30 21図6
16	H 格子文	321-A?			顎C2、同凸面に斜位の縄目叩き。ガラガラと砂っぽく5mmほどの砂粒を少量含む。灰白色。	373次調査 表土	20-30 21図8
17	KK	233	II期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。	373次調査 SK1342	20-30 21図7
18	KK				凹線と凸線の組み合わせで唐草文を表現する。	373次調査 表土	20-30 21図9
19						373次調査 表土	20-30 21図10
20	HK	295		南比企 ?	文様左端に「父」の文字。左から3個目と4個目の唐草の中央と右隅珠文の位置の3か所に范傷あり。素材粘土板。顎B1-a。凸面全面の丁寧なナデ調整により叩き痕跡残存せず。微砂粒と白色針状物質を多く含む。明灰色。焼成良好、硬質。	373次調査 SX102	20-33 20図1
21	HK	296	I b期	南比企	久保1号窯。瓦当面右隅に范割れ、接合紐による修復痕跡あり。素材粘土紐。顎B1-a。瓦当凸面から女瓦部凸面にかけて部分的に朱が付着。瓦当・女瓦部の凸面に瓦范叩き。粗砂粒を少量含む。灰色。	373次調査 SX102	20-32 22図2
22	HK	294-B	I b期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯?	373次調査 SX102	20-32 22図1
23	HK	295			素材粘土板。顎B1-a。凸面全面の丁寧なヘラケズリにより叩き痕跡残存せず。微砂粒と白色の砂粒を多く含む。表面黒色、内部灰色。焼成良好、やや硬質。	373次調査 SX102	20-33 20図2
24	H	322-A?				383次調査 中門地区 SD264	28-16 13図1
25	KK	232-E	II期	東金子	谷津池窯。	383次調査 中門地区 SD264	28-16 13図2
26	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図3
27	KK	234-C			勝呂麿寺。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図4
28	HK	281-B	II期	東金子	八坂前V類・下落合瓦窯・女影麿寺。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図5
29	KK	238			瓦当左端部范割れ?	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図6
30	HK	289		南比企	白色針状物質が顕著。	383次調査 中樞部区画 SD267	28-16 13図11
31	HK	292?				383次調査 SX110	28-16 13図12
32	KK	236	II期	高岡	高岡窯・勝呂麿寺・山田遺跡。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図8

第18表 尼寺跡採集・出土宇瓦（3）（第40～43図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
33	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図10
34	KK	238			瓦当左端部筈割れ？	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図7
35	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	383次調査 中門地区 SD266	28-16 13図9
36	KK	234-E				400次調査 表土	31-20 13図9
37						400次調査 表土	31-20 13図8
38	HK	281-C	I b 期？	南多摩	谷野窯。	400次調査 中枢部区画 SD267	31-20 13図5
39	KK	232-B				400次調査 中枢部区画 SD267	31-20 13図6
40	HK	282-B		南比企		400次調査 表土	31-20 13図10
41	KK	234-E				400次調査 表土	31-20 13図11
42	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。	400次調査 中枢部区画 SD267	31-20 13図7
43	K	346				400次調査 表土	31-20 13図13
44	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No. 15・谷久保窯。	400次調査 表土	31-20 13図14
45	KK	247-?				400次調査 表土	31-20 13図15
46	HK	282-B	I b期	南比企	白色針状物質を多く含み、表面黒色。	413次調査 北方地区 AM138	32-19 11図8
47	KK	247-A?				400次調査 表土	31-20 13図12
48	KK	232-F	Ⅱ期		232-Fの筈傷拡大か？	413次調査 表土	32-19 11図10
49	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No. 20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。	413次調査 表土	32-19 11図9
50	HK	295		南比 企？	白色針状物質を多く含み、表面黒色。	413次調査 講堂地区 SX142	32-19 11図7

第19表 市内遺跡出土宇瓦（1）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	HK	281-B	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅴ類・下落合瓦窯・女影廃寺。蹄顎形式、凸面本体と接合部分にまたがって縄目叩き後、顎部及び側端をへら削り。胎土粗、小石等を多く含む。青灰色。焼土化した粘土付着、カマドに転用。	3次調査 SI35(10c中)	5-41 18図1
2	H 格子文	321-C ?			段顎部に縄叩き痕残す。	5次調査 表土	5-70 32図4
3	3G				顎B1-b。顎B1-b。文様は筈型+ナデ。布目21×21。	28次調査 SB39(8c後)	10- 図面6 5
4	0 特異	365	I b期	南比企	小谷B・広町B窯。文様左隅に「父」「瓦」？の文字。黒色スコリア状物質・白色針状物質含む。一部自然釉付着。布目18×12。	28次調査 SB39(8c後)	10- 図面6 6
5	HK	290	I b期	南比企	小谷B・広町B・新沼窯I D類。顎C2-a。白色針状物質・黒色スコリア状物質含む。凹凸両面に「豊」の押印（凹：有吉分類「豊島5」→新沼）布目18×18。	28次調査 SB39(8c後)	10- 図面7 1
6	HK	289		南比企	顎C1-a。白色針状物質含む。一部自然釉付着。布目19×20。	28次調査 SB39(8c後)	10- 図面7 2

第19表 市内遺跡出土宇瓦（2）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
7	HK	282-D1	I b 期	南比企	広町B。顎C2-a。白色針状物質・黒色スコリア状物質含む。女瓦凸面格子目叩き。布目19×22。	28次調査SD23	10- 図面14 4
8	HK	284	II 期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C1-a。瓦当右端に笥キズ。凹面に「比企」のヘラ書き。女瓦部凸面格子目叩き。布目16×16。	28次調査SD23	10- 図面15 11
9	3G			南比企	顎B2-b。文様笥型+ナデ。白色針状物質含む。瓦当凸面格子目叩き。	28次調査表土	10- 図面20 4
10	KK				顎C1-b。女瓦部凸面縄目叩き。少量の黒色スコリア状物質含む。布目21×21。	28次調査表土	10- 図面20 5
11	KK	232-E	II 期	東金子	谷津池窯。顎B2-a。瓦当左端笥割れ。女瓦部凸面縄目叩き。布目24×19。	28次調査表土	10- 図面20 6
12	HK	282-B	I b 期	南比企	顎B1-a。女瓦部凸面格子目叩き。自然釉付着。布目21×18。	28次調査表土	10- 図面20 7
13	HK	285-D			女影廃寺？ 顎形態不明。黒色スコリア状物質含む。	28次調査II A 層	10- 図面27 10
14	3G			南比企	顎B1-a。笥型+ナデ。少量の白色針状物質含む。布目21×18。	28次調査III A・IV A 層	10- 図面38 7
15	HK	284	II 期		東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C1-a。瓦当右端に笥キズ。凹面に「三」のヘラ書き。狭端面にワラ状圧痕。布目14×19。	28次調査II A 層	10- 図面27 10
16	HK	284	II 期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎部分欠失。自然釉付着。凹面中央に「玉尔太」のヘラ書き。布目21×17。	28次調査III A・IV A 層	10- 図面38 8
17	KK	248-A	II 期		高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎B2-b。瓦当凸面縄目叩きL17本。少量の黒色スコリア状物質含む。布目30×30。	29次調査SD23	10- 図面41 8
18	0 特異	370			顎B2-c。瓦当および凸面縄目叩き。白色針状物質・黒色スコリア状物質含む。布目18×24。	29次調査SD23	10- 図面41 10
19	KK	234-A	II 期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎B2-a。瓦当凸面縄目叩きL9本。瓦当裏面指ナデ。瓦当面にワラ状圧痕。一部自然釉付着。布目24×25。	29次調査SD23	10- 図面41 10
20	H	322-C			顎B2-b。瓦当凸面縄目叩きL11本。瓦当裏面女瓦部側端面指ナデ。全体に自然釉付着。布目33×27。	29次調査SD23	10- 図面41 11
21	H	322-A			顎B2-c。瓦当凸面縄目叩きL11本。瓦当裏面指ナデ。白色針状物質・黒色スコリア状物質含む。布目31×33。	29次調査SD23	10- 図面42 1
22	H	322-A		南比企	顎B2-a。瓦当凸面縄目叩きL10本。瓦当裏面指ナデ。白色針状物質・黒色スコリア状物質含む。布目17×21。	29次調査SD23	10- 図面42 2
23	KK	231-A	I c 期	南比企	新沼Ⅱb類？ 平城宮系。顎C2-b。瓦当凸面縄目叩きL10本。布目42×39。	29次調査SD23	10- 図面42 3
24	KK	232-E	II 期	東金子	谷津池窯。顎C1-c。唐草文左2～3単位目に笥キズ。瓦当凸面縄目叩きL10本。瓦当面に自然釉付着。布目32×24。	29次調査SD23	10- 図面42 4
25	KK	232-E	II 期	東金子	谷津池窯。顎C1-c。唐草文左2～3単位目に笥キズ。凹面布継ぎ目。瓦当凸面縄目叩きL11本。布目20×20。	29次調査SD23	10- 図面42 5
26	KK	248-A'			顎B1-c。瓦当裏面指ナデ。瓦当凸面縄目叩きL18本。笥で押圧後、文様をヘラで書きなぞる。全面に自然釉付着。	29次調査SD23	10- 図面48 10
27	KK	232-C	II 期	東金子？	顎C2-a。顎部分のみ残存。瓦当凸面縄目叩き。少量の黒色スコリア状物質含む。	29次調査表土	10- 図面51 10
28	KK	232-E'	II 期	東金子	谷津池窯。顎B2-b。瓦当左端笥割れ進行のため界線をヘラ書き。女瓦部凸面縄目叩きL10本。少量の黒色スコリア状物質含む。一部自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面51 10
29	HK	294-B	I b 期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯？ 顎B2-a。白色針状物質含む。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面51 11
30	KK	244			顎B2-a。瓦当凸面縄目叩き。黒色スコリア状物質含む。	29次調査表土	10- 図面51 12
31	KK				顎欠失。凸面に丹付着。	29次調査表土	10- 図面51 8
32	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B1-c。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面51 13
33	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B2-a。瓦当凸面縄目叩き、棒状圧痕。	29次調査表土	10- 図面51 14
34	KK	247-B?				29次調査表土	10- 図面52 2
35	KK	247-A			顎B2-c。瓦当凸面縄目叩きL8本。女瓦部側端面指ナデ。黒色スコリア状物質含む。	29次調査表土	10- 図面52 1
36	H	327-C			顎B2-a。凹面棒状圧痕。黒色スコリア状物質含む。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面52 4

第19表 市内遺跡出土宇瓦（3）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
37	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 B2-a。瓦当凸面縄目叩き。黒色スコリア状物質含む。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面 52 3
38	H	322-A		南比企	顎 B2-a。瓦当凸面縄目叩き。女瓦部側端面指ナデ。白色針状物質含む。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面 52 6
39	H 格子文	321-C			顎 B1-a。瓦当凸面縄目叩き。黒色スコリア状物質含む。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面 52 7
40	KK	250		南比企	顎 B1-c。瓦当凸面縄目叩き。白色針状物質・赤色スコリア状物質含む。	29次調査表土	10- 図面 52 8
41					顎 B2-c。瓦当および凸面縄目叩き。女瓦部側端面ナデ。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面 52 10
42	0 特異	369-A		南比企	顎 B2-c。瓦当凸面縄目叩き。女瓦部側端面ナデ。白色針状物質含む。	29次調査表土	10- 図面 52 10
43	0 特異	372			瓦当凸面縄目叩き。自然釉付着。	29次調査表土	10- 図面 52 11
44					顎 C2-b。少量の白色針状物質含む。	29次調査表土	10- 図面 52 5
45	HK	282- D2?	I b 期	南比企	新沼 I B 類? 顎 C2-a。	42次調査 SI136(9c 後)	9- 図面 19 1
46						44次調査 SD17	9- 図面 26 14
47	HK	284	II 期	東金子	東金子No.20 遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 C2-c。	44次調査 P15	9- 図面 26 10
48	M					44次調査 SD46	9- 図面 26 9
49					顎 C2-a。	48次調査 表土	9- 図面 25 2
50	(3)G				二次焼成。	33次調査 A 地区表土	9- 図面 27 3
51	(3)G				赤色スコリア状物質を含む。	33次調査 A 地区表土	9- 図面 27 4
52	KK	240?	II 期	高岡?	高岡窯・山田遺跡(25号住居)?	33次調査 A 地区表土	9- 図面 27 5
53	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。段顎、女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。凹面は瓦当面近くを横ナデ。凸面は顎部まで縄目叩き、接合部分は横ナデを施す。	2次調査 SI21	4-31 5
54	HK	281-B	II 期	東金子 下落合	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎は外側にやや膨らむ曲線顎で、へら削りを施す。凹面瓦当面近くに布の末端あり。凸面縄目叩き痕。	2次調査 SI33(9c 後)	4-68 1
55	3G				段顎。女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。瓦当面の横ナデ後、凹面の瓦当面付近をへら削り。凸面は小格子叩き痕あり。	2次調査 SI33(9c 後)	4-68 2
56	KK	232-B?			外側にやや膨らみを持つ曲線顎で、指ナデを施す。女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。凹面は瓦当面近くをへら削りした後、指ナデ。瓦当面に自然釉あり。	2次調査 SD5	4-72 3
57	KK	232-E		東金子	谷津池窯。段顎、段の部分を含め縦方向の縄目叩き。焼成良好だが磨滅著しい。青灰色。	2次調査 SD8	4-72 4
58	K	346			低い段顎。顎および凸面ナデ。女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。	2次調査 SD8	4-72 5
59	KK	234-C			勝呂廃寺。段顎。女瓦に粘土をはりつけ瓦当面を作る。顎の瓦当面近くを横方向、その他の部分を縦方向の縄目叩き。	2次調査 SD8	4-72 6
60	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。	2次調査 SD13	4-79 1
61	KK	234-E?			曲線顎。女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。顎面縦方向の縄叩き(瓦当面近くはへら削り)。焼成良好。灰色。瓦当内区左端の唐草から外区にかけて箔キズあり。	2次調査 表土	4-80 4
62	H				瓦当面へら書。直線波状文。	2次調査 SI23(9c 前)	4-45 6
63	HK				曲線顎。女瓦に粘土を貼り付け瓦当面を形成。凹面糸切り痕、瓦当面近くはへら削り。凸面は顎も含め縦方向のナデ、瓦当面近くをへら削り。側面は2面にへら削り。焼成良好。黒灰色。	2次調査 表土	4-81 3
64	KK	234-A	II 期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎 B2-c。女瓦部凹面に「大」の模骨文字。右側端面に「井」のへら書き文字。凸面縄目叩き。	1次調査 SI1(9c 後)	6-91 21-1
65	KK	234-C			勝呂廃寺。顎 B2-c。凸面縄目叩き。カマドの支脚として再利用。	1次調査 SI1(9c 後)	6-91 21-2

第19表 市内遺跡出土宇瓦（4）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
66	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎 B2-d。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SB55	6-89 19-8
67	KK	234-C			勝呂廃寺。顎 B2-c。	1次調査 SI1(9c 後)	6-91 21-3
68	KK	238			顎 C2-b。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SI3(9c 末)	6-94 24-1
69	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎 B2-b。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SI3(9c 末)	6-94 24-3
70	H 連弧文	323-A			顎 B2。	1次調査 SI3(9c 末)	6-94 24-2
71	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	1次調査 SI4(9c 後)	6-97 27-1
72	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。范ずれ。	1次調査 SI4(9c 後)	6-97 27-2
73	KK	238			顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。自然釉付着。	1次調査 SI9(9c 後)	6-118 48-2
74	HK	288	Ⅱ期	東金子	谷津池2号窯跡焼成部。顎 B2-c。女瓦部凸面縄叩き。文様が不鮮明。	1次調査 SI9(9c 後)	6-118 48-3
75	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎 B2。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SI4 カマド(9c 後)	6-97 27-3
76	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 B2-d。自然釉付着。文様面縄叩き。	1次調査 SI4 カマド(9c 後)	6-97 27-4
77	KK	232-D	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類 = 八坂前Ⅰ-1類・恋ヶ窪廃寺。顎 C2-c。	1次調査 SI7(9c 末～ 10c 初)	6-100 30-7
78	KK	246			顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	1次調査 SI10(10c 前)	6-120 50-11
79	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-d。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SI9(9c 後)	6-118 48-4
80	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎 B2-c。顎部斜方向縄叩き。	1次調査 SI12(9c 中～ 後)	6-123 53-10
81	KK	238			顎 B2-c。女瓦部凸面縄叩き。素材粘土紐。	1次調査 SI13(9c 後)	6-124 54-5
82	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 B2-d。全面に自然釉付着。	1次調査 SI15(9c 中)	6-131 61-2
83	竹管文	341-B			顎 B2-c。内区界線ヘラ書き。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 SI14(9c 後)	6-128 58-1
84	HK	282-A	I b 期	南比企	新沼ⅠC類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。顎 B2-a。顎部ヘラ削り。白色針状物質を多く含む。	1次調査 SI15(9c 中)	6-131 61-1
85	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。右側端「サ」のヘラ書き文字。	1次調査 SI16(9c 後)	6-138 68-1
86	KK	236	Ⅱ期	高岡	勝呂廃寺・山田遺跡。B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	1次調査 SI12(9c 中～ 後)	6-123 53-11
87	KK	245			顎 C2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	1次調査 SI16(9c 後)	6-138 68-2
88	HK	282-D1?	I b 期	南比企	新沼窯。顎 B2(顎部剥落)、顎の一部に朱彩色。女瓦部凹面に「幡」(有吉分類「幡羅2」→新沼窯跡?)。白色針状物質多く含む。	1次調査 SI18(9c 中～ 後)	6-143 73-4
89	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎 B2-a。瓦当部左側端面「井」のヘラ書き文字。	1次調査 SK8	6-152 82-3
90	KK	238			顎 B2-a。女瓦部凸面縄目叩き。	1次調査 P50	6-152 82-6
91	H	322-C			顎 B2-c。	1次調査 SK8	6-152 82-4
92	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎 C2-a。女瓦部凸面縄目叩き。全面自然釉付着。	1次調査 P50	6-152 82-7
93	KK	248-A?			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺? 顎 B2-c。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 P50	6-152 82-8

第19表 市内遺跡出土宇瓦（5）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
94	H 格子文	321-C			顎 B2-a。女瓦部凸面縄叩き。	1次調査 P50	6-152 82-9
95	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎 C2-c。女瓦部凸面縄叩き。瓦当面全体に自然釉付着。	1次調査 P50	6-152 82-10
96	H	327-B			顎 B2-a。	1次調査 P50	6-152 82-11
97	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎 G2-a。瓦当面に自然釉付着。	1次調査 表土	6-157 87-7
98	KK	232-D	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類=八坂前Ⅰ-1類・恋ヶ窪廃寺。顎 B2。赤色スコリア状物質を含む。	1次調査 表土	6-157 87-8
99	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。	1次調査 P50	6-152 82-12
100	KK	232-D	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類=八坂前Ⅰ-1類・恋ヶ窪廃寺。顎 B2。黒色スコリア状物質を含む。	1次調査 表土	6-157 87-9
101	KK	232-D	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ類=八坂前Ⅰ-1類・恋ヶ窪廃寺。顎 C2-a。瓦当面中心部范ずれ。	1次調査 表土	6-157 87-10
102	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎 C2-a。	1次調査 表土	6-157 87-11
103	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B1-d。全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-157 87-12
104	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-a。全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-157 87-13
105	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。全体に自然釉付着。顎部に棒状圧痕。	1次調査 表土	6-157 87-14
106	J	351			顎 C2-c。	1次調査 表土	6-158 88-13
107	KK	246			顎 B2-c。	1次調査 表土	6-158 88-2
108	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類=八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎 B2-a。	1次調査 表土	6-158 88-3
109	HK	288	Ⅱ期	東金子	谷津池2号窯跡焼成部。顎 B2-a。	1次調査 表土	6-158 88-7
110	0 特異	368-B =374?			顎 B2-c。	1次調査 表土	6-158 88-9
111	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。	1次調査 表土	6-158 88-6
112	KK	240	Ⅱ期		高岡窯・山田遺跡(25号住居)。顎 B2-c。全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-158 88-4
113	H 格子文	321-A			顎 B2-c。	1次調査 表土	6-158 88-11
114	KK	235-I		南比企	顎 B2-c。白色針状物質を含む。	1次調査 表土	6-158 88-5
115	KK	238			顎 B2-c。	1次調査 表土	6-158 88-1
116	竹管文	341-D			全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-158 88-14
117	H	327-F			顎 B2-c。	1次調査 表土	6-158 88-10
118	H 鋸齒文	322-B			顎 B2-c。全体に自然釉付着。	1次調査 表土	6-158 88-12
119	HK	282-B	I b 期	南比企	白色針状物質を含む。	1次調査 表土	6-158 88-8
120	H				顎 A-c。	37次調査 7人孔 SD73	7-55 第27図-1
121	3G				顎 B1-a。	37次調査 2人孔表土	7-45 第17図4
122	HK	281-A			神明上遺跡群(7号住居跡)。顎 C2-a。瓦当面および女瓦部凸面一部朱付着、女瓦部凸面縦位縄目叩き。黒色スコリア含む。	37次調査 4人孔表土	7-46 第18図2
123	3G			南比企	顎 B1-a。女瓦部凹凸両面縦ナデ、白色針状物質を含む。	37次調査 4人孔表土	7-46 第18図3

第19表 市内遺跡出土宇瓦（6）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
124	3G				顎A-a。文様筒型横ナデによる施文。女瓦部凹面糸切り痕。凸面不整形。	37次調査 6人孔表土	7-48 第20図3
125	HK	289		南比企	顎B2-a。白色針状物質を含む。	37次調査 6人孔表土	7-49 第21図1
126	HK	281-B	Ⅱ期	東金子 下落合	八坂前V・下落合瓦窯・女影廃寺。顎C1。女瓦部凸面縄目叩き。	37次調査 6人孔表土	7-48 第20図4
127	HK	282-B	I b期	南比企	顎B2-a。白色針状物質を含む。	37次調査 8人孔表土	7-62 第34図2
128	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。顎B2-c。女瓦部凸面縦位縄目叩き(L15本)。瓦当部左側端面に「玉」のヘラ書き文字。黒色スコリア含む。	37次調査 8人孔表土	7-62 第34図1
129	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎C3-b。凹面広端、側端ヘラ削り。凸面縄目叩き。右側端部ヘラ削り。砂粒を含む。青灰色。	107次調査 SI230(9c後～ 10c初)	8-図面15 8
130	0 特異	366			顎C3-b。凹面広端ヘラ削り。凸面縄目叩き。淡灰褐色。図左側端部摩耗。瓦当部縄目叩き痕残る。外区ヘラ削り。	107次調査 P29	8-図面24 4
131	KK	232-E' ?			顎C1-a。素材粘土紐。布目19×25。凹面広端ヘラ削り。側端ナデ。端面ヘラ削り。ナデ。縄目L8本。青灰色。	51次調査 P863	12-図面74 7
132	H 連弧文	323-A?			顎B-b。布目12×28。縄目L12本。側端ナデ+ヘラ削り。	51次調査 遺構外	12-図面75 6
133	KK	231-A	I c期	南比企	新沼ⅡB類? 平城宮系。顎B2-b。布目25×19。縄目L8本。	51次調査 遺構外	12-図面75 7
134	KK	235-H?	I b 期?		新沼ⅡA類・酒井分類C2類。顎B-a。布目21×21。叩き不明、凹面広端幅広く側端若干ヘラ削り。端面はヘラ削り、後ナデ。	51次調査 遺構外	12-図面75 8
135	KK	234-E			顎不明。布目17×19。縄目L9本。	51次調査 遺構外	12-図面75 9
136	0 特異	358			顎A-b。布目24×18。縄目L12本。瓦当部も縄目叩き。端能不整形。端面ナデ。布継ぎ目1列あり。	51次調査 遺構外	12-図面75 10
137	HK	281-B?	Ⅱ期	東金子 下落合?	八坂前V類・下落合瓦窯・女影廃寺? 曲線顎C2-a。暗灰色、砂粒多い。布目21×19。叩き縄目L9本。	201次調査 SI327(10c中)	13-図面20 1
138					曲線顎C1-b。赤褐色。白色砂粒少量入る。布目26×24、叩き縄目L7本。端面ヘラ削り。	201次調査 SI327(10c中)	13-図面20 2
139	KK	232-?	Ⅱ期?		顎部粘土接合部より剥離し、瓦当下半欠す。暗灰色。白色細砂粒多い。素材粘土板。布目21×19。凹面広端総ヘラ削り。	51次調査 遺構外	13-図面22 7
140	H 連弧文	323-A?			段顎B2-c。暗赤褐色。砂粒少量入る。布目21×19。凹凸面広端総ヘラ削り。叩き縄目L9本。端面ナデ。	51次調査 遺構外	13-図面22 8
141					顎下。顎部欠損。自然釉かかる。凸面縄目。	12次調査 SD23覆土	14-図面18 2
142	3G				顎下。瓦当右半分欠損、凸面格子目叩き(ナデによりわずかに残る)。三重弧文(范)。	12次調査 SD23覆土	14-図面18 1
143	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。	20次調査 No.1立坑表土	14-図面24 9
144	G					20次調査 No.3立坑表土	14-図面24 10
145	KK	237	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅳ類・女影廃寺。	20次調査 表土	14-図面24 2
146	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	20次調査 砂利穴	14-図面24 14
147	K	346				20次調査 砂利穴	14-図面24 18
148	KK	292				35次調査 表土	14-図面36 12
149	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	20次調査 No.3立坑表土	14-図面24 11
150	KK	232-?				35次調査 表土	14-図面36 13
151	K	346		南比企	顎C2-c。布目23×21。黄味灰色。白色針状物質含む。硬質。	84次調査 SK427	15-図面24 148
152	K	346		南比企	顎C1-c。技法D。布目24×24。黒味灰色～灰色。白色針状物質多く含む。硬質。	84次調査 表土	15-図面24 149

第19表 市内遺跡出土宇瓦（7）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
153	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B1-a。凸面縄目L10本。布目24×24。灰褐色～暗青灰色（瓦当面自然釉付着、同裏面朱彩色）。硬質。瓦当面棒状圧痕。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 24 151
154	KK	238			顎C1-c。凸面縄目L10本。布目24×24。暗赤灰色～灰褐色。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 24 152
155	KK	234-E			顎C1-a。凸面縄目L12本。布目18×21。黄味灰色。硬質。	84次調査 表土	15- 図面 24 154
156	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B2-a。凸面縄目L15本。布目40×34。青灰色～黄味灰色。硬質。瓦当左側面に「玉」のヘラ書文字あり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 24 150
157	KK	233			顎C2-a。技法D?。凸面縄目L13本。布目14×18。薄灰色。やや硬質（表面少しざらつく）。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 24 155
158	KK	234-C?			勝呂廃寺? 顎B2-a。技法D?。凸面縄目L10本。布目36×33。灰褐色。表面は脆く、やや硬質。	84次調査 SD88	15- 図面 24 156
159	KK	251			顎C2-a。技法D?。凸面縄目L13本。布目21×26。黄味灰色。硬質。外区（外縁）ヘラ削り。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 24 153
160	KK	232-D			新久I類=八坂前I-1類・恋ヶ窪廃寺。顎C2-a。布目16×19。薄黄褐色。やや軟質で脆い。瓦当左脇区より内区にかけて、横方向に范キズあり。	84次調査 SK431	15- 図面 24 157
161	KK	232-B			顎B2-c。技法D?。凸面縄目L10本。布目24×33。黄褐色（内部薄赤褐色）。やや硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 24 158
162	KK	232-E		東金子	谷津池窯。顎C2-a。凸面縄目L10本。布目17×17。灰色。硬質。	84次調査 表土	15- 図面 24 159
163	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎C2-a。凸面縄目L11本。布目23×19。暗青灰色。硬質。文様面木目痕顕著。	84次調査 表土	15- 図面 25 161
164	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎C2-a。凸面縄目L8本。布目24×24。黄褐色。やや硬質。瓦当面より范がややみ出る。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 24 150
165	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎B2-a。凸面縄目L12本。布目30×33。青灰色～黒灰色（一部自然釉付着）。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 162
166	KK	249	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ類。顎C1-a。凸面縄目L13本。布目15×18。薄青灰色。硬質。文様面に范の木目痕顕著。女瓦部素材粘土板。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 163
167	KK	235-B (=G?)	I b期	南比企	顎B1-a。技法D?。布目21×21。明灰色。白色針状物質多く含む。硬質。瓦当・女瓦部凸面に丹付着。女瓦部素材粘土紐。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 164
168	KK	235-B (=G?)	I b期	南比企	顎B2-a。技法D?。外部は暗赤褐色～赤褐色、内部は灰褐色。白色針状物質多く含む。硬質。内区に先葉にかかる范キズあり。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 165
169	HK?				顎C1-d。凸面縄目布目L7本。布目18×18。灰褐色。やや軟質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 168
170	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡、高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C2-a。技法D?。布目18×15。黒灰色～黄味灰色（一部自然釉付着）。硬質。文様面左隅より斜めに范キズあり。	84次調査 SK395	15- 図面 25 167
171	KK	235-F (=B?)			薄灰褐色。硬質。	84次調査 SK434	15- 図面 25 168
172	HK	294-B	I b期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯? 顎B1-a。技法D?。布目((24×24))。灰色～灰白色。白色針状物質多く含む。やや硬質。	84次調査 SK395	15- 図面 25
173	HK	294-B	I b期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯? 顎B2-a。技法D?。薄青灰色。硬質。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 25 170
174	HK	289		南比企	顎B2-a。布目17×19。黄味灰色（女瓦部凸面一部朱彩色）。白色針状物質多く含む。硬質（須恵質）。外区上面ヘラ削り?。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 171
175	HK	295		南比企?	顎B2-a。技法D?。布目18×18。黒灰色（内部明黄褐色）。白色針状物質含む。やや硬質。文様面左隅に「父」の文字あり。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 25 172
176	HK	295		南比企?	顎B2-a。布目17×22。黒色（内部明黄褐色）。白色針状物質含む。やや緻密。やや硬質。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 25 173
177	HK	295		南比企?	顎B2-?。技法D。布目21×24。明黄褐色（一部黒褐色）。白色針状物質含む。軟質で二次火熱あり。	84次調査 瓦溜めC（10c前）	15- 図面 25 174
178	HK	282-C		南比企?	顎C1-a。技法D?。灰白色～薄灰色。硬質。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 175
179	HK				顎C? 技法D?。黒灰色～灰褐色。瓦当面自然釉付着。硬質。范ずれ?。	84次調査 SX53(10c前)	15- 図面 25 176

第19表 市内遺跡出土宇瓦（8）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
180	HK	282-E?		南比企?	顎 B2-a。技法 D。布目 27 × 33。黒灰色～黄味灰色。自然釉付着。硬質。女瓦部凸面格子目叩き、指頭痕あり。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 25 177
181	0 特異	359		南多摩	セイカチクボ窯。顎 B2-B。技法 D?。布目 16 × 21。暗赤褐色。硬質。	84 次調査 SK427	15- 図面 26 179
182	HK	282-B		南比企?	薄青灰色～黒灰色。瓦当凸面自然釉付着。硬質。	84 次調査 SX53	15- 図面 25 178
183	KK?				布目 21 × 27。薄橙褐色。軟質。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 180
184	4G			南比企	顎 B2-a。技法 D。布目 21 × 21。暗灰色。白色針状物質多く含む。硬質。	84 次調査 表土	15- 図面 26 181
185	0 特異	371		南比企	顎 C1-d。布目 13 × 19。青灰色。白色針状物質多く含む。硬質。女瓦凸面格子目叩きあり。女瓦部素材粘土板。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 183
186	0 特異	374 (=368- B?)			顎 B1?-a。凸面縄目 L10 本。布目 21 × 27。黒灰色～灰褐色。自然釉付着。硬質。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 185
187	0 特異	356			顎 C2-a。凸面縄目 L8 本。布目 21 × 17。黄味灰色。硬質。外区（下外区）ヘラ削り。	84 次調査 表土	15- 図面 26 184
188	3G				顎 B2-d。技法 D。布目 33 × 24。暗青灰色。硬質。文様の施文 范型 + ナデ。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 182
189	0 特異	370			顎 B2-b。凸面縄目 L12 本。布目 21 × 17。薄青灰色。白色針状物質多く含む。硬質。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 186
190	H	329			顎 B2-a。布目 19 × 14。黒灰色～黄味灰色。硬質。文様面全面ヘラ削り?	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 187
191	竹管文	341-A			顎 B2-? 技法 D? 凸面縄目 L5 本。布目 16 × 14。外部は黄味灰色、内部は薄赤褐色。硬質。文様面全面ヘラナデ。	84 次調査 SK427	15- 図面 26 187
192	H	321-E		南比企	技法 D?。布目 33 × 24。灰褐色。白色針状物質混入。硬質。女瓦部凸面格子目叩き後ナデ。女瓦部素材粘土板。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 189
193	H				顎 C2-a。技法 D。布目 24 × 21。薄青灰色。硬質。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 190
194		323-A?			技法 D?。布目 11 × 8。灰褐色。やや軟質。瓦当凸面格子目叩き後ナデ。女瓦部素材粘土紐?。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 192
195	H 格子文	321-C			顎 B2-a。凸面縄目 L9 本。布目 10 × 20。灰褐色。文様面・瓦当凸面に自然釉付着。硬質。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 191
196	H	322-A			顎 B2-d。技法 D?。凸面縄目 L12 本。布目 24 × 32。黒灰色～灰色。文様面自然釉付着。硬質。瓦当凸面に棒状圧痕あり。	84 次調査 表土	15- 図面 26 193
197	H				顎 C1-a。布目 17 × 28。黄味灰色。硬質。文様面ヘラ削り後、ヘラで施文。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 194
198	H	328			顎 C1-a。技法 D?。布目 21 × 27。薄青灰色～黒灰色。硬質。文様面全面ヘラ削り。	84 次調査 SX53(10c 前)	15- 図面 26 195
199	M	355			顎 A-c?。技法 D?。布目 24 × 24。灰褐色。硬質。文様面ヘラ削り。女瓦部素材粘土板。	84 次調査 瓦溜め C (10c 前)	15- 図面 26 196
200	KK	232-D			新久 I 類 = 八坂前 I -1 類・恋ヶ窪廃寺。顎 C1-a。灰色～暗灰色。硬質。	62 次調査 SI166(10c 前 ～中)	15- 図面 43 36
201	0 特異	368-A			顎 C1-a。凸面縄目 L8 本。布目 14 × 18。黒灰色～黄味灰色。文様面自然釉付着。硬質。	47 次調査 表土	15- 図面 45 1
202				南比企	顎 B1-a。技法 D。女瓦部素材粘土板。青灰色。白色針状物質僅かに含む。硬質。	47 次調査 表土	15- 図面 45 2
203					技法 D?。凸面縄目 L12 本。薄灰色。硬質。外区右下に范キズあり。外区外縁ヘラ削り。剥離面に糸切り痕跡。	97 次調査 SD71	15- 図面 47 29
204	KK	232-C	Ⅱ期	東金子?	顎 B2-a。凸面縄目 L13 本。布目 30 × 36。薄赤灰色～緑黒灰色。文様面、凸面自然釉付着。硬質。	97 次調査 SD100	15- 図面 47 28
205	KK	234-G			顎 B1-c。技法 D?。女瓦部素材粘土紐?。凸面縄目 L9 本。布目 17 × 19。灰褐色。硬質。	97 次調査 表土	15- 図面 47 30
206	KK	232-E?	Ⅱ期	東金子	谷津池窯? 顎 C1-c。技法 D。凸面縄目 L9 本。布目 24 × 22。黄褐色～灰褐色。硬質。文様面外区ヘラ削り。女瓦部素材粘土板。	60 次調査 SD34	15- 図面 53 22

第19表 市内遺跡出土宇瓦（9）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
207	HK	281-C	I b 期	南多摩	谷野窯。黄味灰色。硬質。文様面左隅に「多」の文字あり。	60次調査 SD34	15- 図面 53 23
208	KK	232-D		東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺。顎C1-a。凸面縄目L10本。黄味灰色。硬質。左脇区より内区にかけて横方向に笥キズあり、瓦当面縄目残存。瓦当面左側笥ずれ。	45次調査 SX5	15- 図面 50 10
209	KK	233	II期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。顎C2-c。技法D?。凸面縄目L11本。布目20×16。暗灰色～暗黄褐色。硬質。女瓦部凹面に不明朱墨あり。	45次調査 SD34	15- 図面 50 11
210					顎B1-a。技法D?。凸面縄目L8本。布目27×33。薄黄灰色、丹付着。白色針状物質含む。やや硬質。女瓦部素材粘土板。	45次調査 表土	15- 図面 50 12
211	HK	282-B?		南比企	顎B2-a?。技法D?。薄青灰色。硬質。	111次調査 SX54	15- 図面 48 20
212	KK	232-D	II期	東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺。顎C2-a。外面は薄灰褐色。内面は薄褐色。硬質。布合わせ目S字あり。文様左隅に笥キズあり。	83次調査 SI208(9c末)	15- 図面 59 80
213	H	322-C			顎B2-a。凸面縄目L12本。暗黄灰色。硬質。文様面ヘラナゲ後ヘラで施文。	83次調査 SK459(中世)	15- 図面 59 82
214	KK	291 =360			顎B2-a。技法D。凸面縄目L12本。布目23×21。黒灰色～灰褐色。自然釉付着。硬質。文様面施文後?ヘラ削り。	83次調査 SK459(中世)	15- 図面 59 81
215	K	346		南比企	顎C2。布目25×27。暗灰色～黄味灰色。白色針状物質多く含む。硬質。	83次調査 SK459(中世)	15- 図面 59 84
216	0 特異	375			顎C1-a?。凸面縄目L10本。薄灰褐色。やや硬質。凸面縄目叩きと格子目叩きあり。	83次調査 SI208(9c末)	15- 図面 59 85
217	KK	236	II期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B2-c。凸面縄目L15本。布目32×36。薄青灰色。硬質。瓦当凹面に「大」のヘラ書文字あり。	83次調査 SK459	15- 図面 59 83
218	KK	233	II期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15遺跡。技法D?。凸面縄目L12本。布目28×36。灰褐色。硬質。外区外縁ヘラ削り。	135次調査 SF2	15- 図面 65 47
219	KK	234-C			勝呂廃寺。顎B2-a。凸面縄目L12本。布目16×21。暗赤褐色～黒灰色。一部自然釉付着。硬質。	135次調査 SF2	15- 図面 65 48
220	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法D。黒灰色～薄灰色。一部自然釉付着。硬質。文様面外区ヘラ削り。	135次調査 SF2	15- 図面 65 46
221	H	322-A?			顎B2-a。凸面縄目L12本。布目17×21。黒灰色～薄青灰色。硬質。文様面下外区ヘラ削り。	135次調査 表土	15- 図面 65 53
222					顎C2-c。技法D?。凸面縄目L8本。布目20×17。黒灰色～灰褐色。瓦当に自然釉付着。硬質。	135次調査 SF2	15- 図面 65 49
223	KK	232-E'	II期	東金子	谷津池窯。顎C2-a。凸面縄目L8本。布目18×24。薄青灰色。瓦当部と女瓦部の境薄く朱彩色。硬質。左脇区より内区にかけて笥キズあり。脇区ヘラ削り。	135次調査 SF2	15- 図面 65 50
224	0 特異	365	I b 期	南比企	小谷B・広町B窯。顎B-a。技法D。薄青灰色。硬質。文王面左隅に「父瓦印」の文字あり。女瓦部凸面格子目叩きあり。	135次調査 SF2	15- 図面 65 54
225	KK	232-E?			顎C2-a。技法D?。凸面縄目L9本。黒灰色～黄味灰色。全体的に自然釉付着。硬質。上外区外縁ヘラ削り。	135次調査 SX26	15- 図面 65 51
226	0 特異	358?			顎A-c。凸面縄目L11本。布目14×16。灰褐色。硬質。内区に笥キズあり。瓦当部と女瓦部の境指?ナゲ。外区ナゲ。	135次調査 SF2	15- 図面 65 52
227	KK	247-A				36次調査 SI183(9c末)	16- 図面 24 7
228	KK	238			凹面を除く全面自然釉が厚く付着。瓦当凸面、女瓦部凸面縦位縄目叩き。	36次調査 SB101(8c中～後)	16- 図面 29 5
229	J	351			顎C2-c。狭端部に文様面あり。女瓦部II 1A1技法。灰白色。微砂粒を混入するが緻密。焼成やや軟質。	79次調査 SI223(10c中～後)	18- 図面 19 12
230	KK	238			顎B2-a。文様部と女瓦部の接合D技法。女瓦部II 1A1技法。赤味青灰色～青灰色。微砂粒を多く混入。緻密。焼成硬質。	79次調査 遺構外	18- 図面 25 2
231	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。	8次調査 A地区 SB15	21- 図面 102 32
232	KK	238				17次調査 B地区 SB7	21- 図面 102 31
233	4G					17次調査 B地区 SB37	21- 図面 102 34

第19表 市内遺跡出土宇瓦（10）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
234	KK	232-E	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。	8次調査 C地区SB24	21- 図面 102 33
235	H	327-A?				17次調査 B地区SB37	21- 図面 102 35
236	KK	232-D'?				38次調査 B地区SB41	21- 図面 102 36
237	KK	241				38次調査 B地区SB41	21- 図面 102 37
238	KK	234-C			勝呂廃寺。	8次調査 A地区SI45	21- 図面 103 38
239	H	322-F				8次調査 A地区SI45	21- 図面 103 39
240	H	327-E?				8次調査 B地区SI50(9c 中)	21- 図面 103 41
241	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。	8次調査 B地区SI50(9c 中)	21- 図面 103 40
242	HK	281-A?		南多摩	大丸・瓦谷戸窯・神明上遺跡群(7号住居跡)。凸面に押印「多」あり。	8次調査 C地区SI57(8c 後)	21- 図面 103 42
243	HK	282-B		南比企		267次調査 C地区SI57(8c 後)	21- 図面 103 43
244	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類=八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。	8次調査 C地区SI67(9c 中)	21- 図面 104 44
245						8次調査 C地区SI67(9c 中)	21- 図面 104 45
246	M	355				8次調査 C地区SI67(9c 中)	21- 図面 104 47
247	H	323-C?				8次調査 C地区SI71	21- 図面 104 48
248	H 格子文	321-C				8次調査 C地区SI67(9c 中)	21- 図面 104 46
249	KK	291 =360				8次調査 C地区SI75(9c 後)	21- 図面 104 49
250	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。	8次調査 C地区SI85	21- 図面 104 50
251	0 特異	368-A				8次調査 C地区 SI100(8c後)	21- 図面 105 52
252	H 連弧文	323-A?				17次調査 B地区 SI103(10c中)	21- 図面 105 53
253	H	321-D?				8次調査 C地区 SI89(10c中)	21- 図面 105 51
254	HK	282-A	I b期	南比企	新沼窯I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。	38次調査 B地区SI138	21- 図面 105 54
255	HK	292				38次調査 B地区 SI142(9c中～ 後)	21- 図面 105 55

第 19 表 市内遺跡出土土宇瓦 (11) (第 44 ~ 74 図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
256	0 特異	357-B				38 次調査 B 地区 SI142(9c 中～ 後)	21- 図面 105 56
257	HK	288	II 期	東金子	谷津池 2 号窯跡焼成部。	8 次調査 A 地区 SK34	21- 図面 106 57
258	0 特異	356				8 次調査 A 地区 SK34	21- 図面 106 58
259						8 次調査 B 地区 SK58	21- 図面 106 59
260	H	327-C?				8 次調査 B 地区 SK58	21- 図面 106 60
261	KK	234-A	II 期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。	8 次調査 A 地区 Pit33	21- 図面 106 61
262	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	8 次調査 A 地区 Pit43	21- 図面 106 62
263	H 格子文	321-C				17 次調査 B 地区黒褐色 土	21- 図面 106 63
264	M?	355?				38 次調査 B 地区黒褐色 土	21- 図面 106 64
265	KK	249	II 期	東金子	八坂前Ⅲ類。	17 次調査 B 地区表土	21- 図面 106 65
266	KK	232-C	II 期	東金 子?		38 次調査 B 地区表土	21- 図面 106 66
267	KK	231-B	I c 期	南比 企?	平城宮系。	38 次調査 B 地区表土	21- 図面 106 67
268	KK	246				38 次調査 B 地区表土	21- 図面 106 68
269	KK	247-?				38 次調査 B 地区表土	21- 図面 106 69
270	KK	239				8 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 70
271	KK	239-B ?				8 次調査 A 地区表土	21- 図面 107 71
272	0 特異	366?				8 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 72
273	KK	235-?				38 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 73
274	0 特異	364				38 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 74
275	HK	281-B	II 期	東金子 下落合	八坂前Ⅴ類・下落合瓦窯・女影廃寺。	267 次調査 C 地区表土	21- 図面 107 75
276	HK	296				38 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 76
277	0 特異	374 (=368- B?)				17 次調査 B 地区表土	21- 図面 107 77

第19表 市内遺跡出土宇瓦(12)(第44～74図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
278	竹管文	341-F				38次調査 B地区表土	21- 図面 107 78
279	H	322-C				8次調査 B地区表土	21- 図面 107 79
280	H 鋸歯文	322-B?				8次調査 A地区表土	21- 図面 107 80
281	H	322-A				38次調査 B地区表土	21- 図面 107 81
282	H	323-A?				8次調査 C地区表土	21- 図面 107 82
283						8次調査 B地区表土	21- 図面 107 83
284	竹管文	341-A?				8次調査 C地区表土	21- 図面 107 84
285	H	327-E?				8次調査 A地区表土	21- 図面 107 85
286	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。左端部分范割れ有。顎B2-a。接合方法D。女瓦部II 1-A1技法。	370次調査 S1459	24- 図面 27 12
287	HK	281-C?	I b期	南多摩	谷野窯? 黒灰色。粗砂粒を非常に多く混じる(白色微粒めだつ)。硬質(須恵質)。	87次調査 SB87	25- 図面 39 1
288	KK	232-D		東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺。薄青灰色。微砂粒を多く含む。硬質。D技法。顎C2-c。女瓦部凸面縄叩き。	87次調査 SD23	25- 図面 50 9
289	KK	234-B	II期	東金子	新久IV類。黄味灰色。微砂粒を多く混じる。やや軟質。顎B3-c。接合方法D(瓦当側面縄叩き後指ナゲ、瓦当面縄叩き残存)。	87次調査 S1250(9c中)	25- 図面 45 12
290	HK	282-B		南比企	黒灰色。微砂粒を含む。やや軟質。顎・段顎(B1-a)。接合方法D。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 17
291	KK	253			青灰色。二次火熱。微砂粒を混じる。硬質。顎B3-c(瓦当凸面および瓦当面縄叩き残存)。接合方法D。女瓦部II 1-A1(側端面指ナゲ)。	87次調査 S1259	25- 図面 46 4
292	HK	281-A			神明上遺跡群(7号住居跡)。暗灰褐色。粗砂粒を含む。硬質。顎C2-a。接合方法D。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 16
293	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。青灰色。粗砂粒、黒色スコリア状物質を多く混じる。硬質。顎B2-c。接合方法D。	87次調査 遺構外	25- 図面 70 15
294					黄褐色。褐色スコリア混入。やや軟質。顎B2-c。技法C。	114次調査 遺構外	30- 図面 27 4
295	KK	232-C	II期	東金子?	青灰色～暗青灰色。断面褐色。長石含み粗い。硬質。顎B2-b。	143次調査 SD34	30- 図面 31 1
296	KK	232-E?	II期	東金子	谷津池窯? 緑灰色。断面赤褐色。褐色スコリア含み、やや軟質。顎B2-b。	143次調査 SD101	30- 図面 31 7
297					緑灰色。断面暗赤褐色。黒色スコリア含み、硬質。顎B2-c?	143次調査 SD226(中世)	30- 図面 32 6
298	KK	235-I			暗緑灰色。自然釉付着。断面灰色。黒色スコリア含む。硬質。顎B2-c。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 9
299					オリーブ灰色。小石混入。硬質。最大長9.6cm。最大幅9.0cm。厚さ3.7cm。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 12
300	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。青灰色～灰黄色。褐色スコリア状物質混入。やや軟質。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 11
301					青黒色。顎B1-c。	143次調査 遺構外	30- 図面 37 10
302	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C1-c。技法D。布目18×18。明灰色。硬質。女瓦部素材粘土板。	37次調査 SK764	33- 図面 31 11
303	HK	282-B	I b期	南比企	顎B1-a。布目22×18。灰白色。硬質。凸面格子叩き。	37次調査 2硬質面	33- 図面 31 12
304	KK	232-D'			顎C1-d。布目16×13。青灰色。硬質。凸面縄目L12本。	37次調査 4硬質面	33- 図面 32 1

第19表 市内遺跡出土宇瓦 (13) (第44～74図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
305	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類=八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎B c -c。技法D。灰色。硬質。	357次調査 SI472	33- 図面 37 3
306	KK	248-A	I b 期		高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C2-b。技法D?。灰色、断面紫灰～青灰色。長石目立つ。	357次調査 SI486(9c中～ 後)	33- 図面 37 4
307	H 格子文	321-C			技法D?。布目38×45。明灰色。硬質。胎土緻密。	357次調査 SI514(9c前～ 中)	33- 図面 37 5
308	HK	282-B		南比企	顎B1-?。技法D。凸面格子叩き。布目14×23。長石目立つ、白色針状物質混入。	357次調査 SD255	33- 図面 37 7
309	3G				顎B1-a。青灰色。硬質。	357次調査 SD255	33- 図面 37 6
310	HK	295			顎B1-a?。明灰色。長石粒目立つ。硬質。	357次調査 SD255	33- 図面 37 8
311	3G			南比企	顎B1-a。技法D?。灰色。白色針状物質混入。硬質。	357次調査 No.3地区硬質 面中	33- 図面 37 9
312	KK	234-E			顎C1-b。布目19×21。暗灰色。硬質。	357次調査 SF11硬質面下	33- 図面 37 10
313	H	322-A			顎C1-c。縄目L15本。布目28×26。長石目立つ。暗灰色。硬質。	357次調査 表土	33- 図面 37 11
314	HK	293-A?		南比企	顎C2-c。縄目L13本。布目19×19。明灰色。白色針状物質混入。硬質。	357次調査 表土	33- 図面 37 12
315	KK	249	Ⅱ期	東金子	八坂前Ⅲ類。顎?。凸面縄目R。凹面布目。やや軟質。釉浅黄色～黒色、胎土灰白色～橙色。ほぼ全面に自然釉付着。	401次調査 SF5	34- 図面 44 13
316	KK	233?	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類=八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎C2-c。技法D。凸面縄目R7本。凹面布目19×17。やや軟質。釉浅黄色～オリーブ褐色～黒色、胎土黄褐色。瓦当面及び凹凸面の一部に自然釉付着。段顎に近い曲線顎。	401次調査 攪乱	34- 図面 48 4
317	0 特異	374 (=368- B?)	Ⅱ期		技法D?。凸面縄目L9本。凹面布目25×20。細砂粒多量に含み軟質。黄褐色。	401次調査 SF5	34- 図面 44 12
318	H	327-A?	Ⅱ期		技法D。凸面縄目。凹面布目17×20。軟質。釉黒色、胎土黄褐色。凹面の一部に自然釉付着。凸面縄目叩き後ナデ。文様ヘラ書き及び竹管文。	401次調査 SF5	34- 図面 44 14
319	J	351			顎C1-c? 凸面縄目L16本。明灰色。	429次調査 SX148(9c中)	35- 図面 31 6
320	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎B2-b。技法D。瓦当面縄叩き残す。暗灰色～灰色。硬質。砂粒目立つ。	122次調査 表土	41- 図 6 6
321	KK	232-B			顎C1-c。技法B?。女瓦部側端面ヘラ削り。明灰色。硬質。小石目立つ。	122次調査 表土	41- 図 6 5
322	H	322-F			顎B3-b。技法D。女瓦部Ⅱ?-A1。凹面布目23×20。側端面一面ヘラ削り。凸面縄叩きL10本。灰～暗灰色。硬質。緻密。	175次調査 SD72覆土上層 (9c前)	41- 図 25 5
323	0 特異	369-C?		南比企	顎B2-c。女瓦部凹面布目16×22。明灰色、断面淡赤褐色。やや軟質。白色針状物質混入。	175次調査 SD173覆土上層	41- 図 25 6
324					顎B?。技法D。女瓦部一枚作り。凹面布目17×20。端縁ヘラ削り。凸面縄叩きL10本。暗灰色。硬質。	175次調査 表土	41- 図 25 7
325	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類=八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯。顎C1-a。技法D。女瓦部凹面布目14×17。狭端縁ヘラ削り。凸面縄叩きL7本。灰色。硬質。砂粒目立つ。	202次調査 SD23	41- 図 30 5
326	HK	282-A	I b 期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。青灰色。硬質。緻密。白色針状物質混入。	202次調査 SD23	41- 図 30 6
327						428次調査 遺構外	42- 図面 14 3
328	H 格子文	321-A			顎B-b。	431次調査 SI544カマド (9c末)	42- 図面 19 3
329	3G				顎B2。技法D。	431次調査 SI545カマド (10c前)	42- 図面 21 13

第19表 市内遺跡出土宇瓦(14)(第44～74図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
330						431次調査 SI545(10c前)	42- 図面 21 14
331	KK	234-E			顎B3。技法D。	431次調査 SI547(10c中 ～後)	42- 図面 25 1
332	KK	232-E	II期	東金子	谷津池窯。顎B。	460次調査 SI586(10c後)	42- 図面 53 11
333	KK	234-A	II期	東金子	新久III類・武蔵国府。顎B2-c。技法D。	460次調査 SI586(10c後)	42- 図面 53 12
334	KK	247-A			顎B2-c。	446次調査 P147	42- 図面 83 17
335						444次調査 SI565(9c末～ 10c初)	42- 図面 157 5
336					技法D。	444次調査 SI571(9c末～ 10c初)	42- 図面 164 15
337					技法D。	444次調査 SI572カマド (10c前)	42- 図面 166 9
338						444次調査遺 構外	42- 図面 173 13
339					顎B2-c。技法D。	437次調査 遺構外	42- 図面 134 12
340	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。断面灰色、内面黒色、外面淡灰色。粗砂粒と小礫を多く含む。	68次調査 SD70 A期埋土Aa層 (10c中)	43- 図面 10 7
341	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。灰色。粗砂粒と小礫(直径1～5mm)を含む。高温焼成。段顎。	68次調査 SD70 上面硬質土層 Aa層 (10c中)	43- 図面 10 8
342	0 特異	374 (=368- B?)			段顎。灰色で、粗砂粒を多く含む。	68次調査 SD71埋土	43- 図面 16 5
343	KK	233	II期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。灰色。粗砂粒と小礫を多く含む。	68次調査 SD70 A期埋 土(10c中)	43- 図面 13 7
344	KK	232-E?	II期	東金子	谷津池窯? 凸面縄叩きL8本。	68次調査 遺構外	43- 図面 21 8
345	0 特異	374 (=368- B?)			左側端ヘラ削り。凸面縄叩きL9本。縄目叩きは側端に平行。	68次調査 遺構外	43- 図面 21 9
346	KK	232-D	II期	東金子	新久I類=八坂前I-1類・恋ヶ窪廃寺。顎C2-b。技法D?。布目23×22。縄目L9本。硬質。小石混入。灰色5Y6/1。	475次調査 遺構外	45- 図面 5 5
347	KK	232- D'?			布目20×19。縄目L12本。硬質。粗砂粒多量に混入。左脇区に筈キズ。褐灰色7.5YR6/1・断面:にぶい橙色7.5YR6/4。	476次調査 SI663	45- 図面 17 11
348	3G			南比企	顎B1-a。技法D。布目23×26。硬質。白色針状物質混入。女瓦部の素材粘土横紐。にぶい黄褐色10YR5/3。	476次調査 SI663	45- 図面 17 9
349	KK	233	II期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。顎B2-c。技法D。布目25×26。縄目L13本。硬質。女瓦部の素材粘土横紐。褐灰色10YR4/1。	476次調査 SI663	45- 図面 17 10
350	HK	284	II期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C1-a。技法D。布目14×20。縄叩きの上を横方向にヘラなで。硬質。長石粒、小石目立つ。女瓦部素材粘土板。灰色5Y6/1。	476次調査 SI669	45- 図面 33 8
351	KK	234-A	II期	東金子	新久III類・武蔵国府。顎B1-a、布目18×27。縄目L9本。硬質。粗砂粒混入。灰色N5/O1(B)、断面:赤灰色7.5R5/1。	481次調査 SI614	45- 図面 84 7
352				南比企	硬質。白色針状物質混入。黄灰色2.5Y5/1。	500次調査 SI678	45- 図面 94 7
353	KK	240	II期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。顎B2-s。布目36×36。硬質。粗砂粒多量混入。女瓦部素材粘土横紐。暗青灰色5PB4/1。	506次調査 SK2335	45- 図面 125 2

第19表 市内遺跡出土宇瓦 (15) (第44～74図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
354	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎C2-c?。布目13×18。硬質。灰色5Y5/1。	500次調査 遺構外	45- 図面 130 17
355	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎B2?-c。技法D?。縄目L10本。硬質。灰色7.5Y5/1。	501次調査 SI702	45- 図面 167 5
356	KK	291 =360			顎C2-a。技法D。布目30×23。縄目L11本。硬質。女瓦部素材粘土横紐。灰色5Y5/1。	506次調査 SI686	45- 図面 112 12
357	KK	247-A			顎B2-c。技法D。布目25×24。縄目R8本。硬質。小石混入。灰色7.5Y6/1。	501次調査 SI701	45- 図面 165 10
358	HK	282-D?	I b期	南比企	新沼I B類。顎B2-a。硬質。白色針状物質混入。表面黒色N2/0(B)・断面灰色N4.5/0(B)。凹面へラ書。	501次調査 SD358	45- 図面 167 14
359	KK	234-A	Ⅱ期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。顎B2-c。技法D。布目20×18。縄目L8本。硬質。灰色5Y5/1。	482次調査 遺構外	45- 図面 157 3
360	G					563次調査 SI740	46- 図面 128 7
361	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。	563次調査 SI765	46- 図面 147 10
362	KK	234-C?			勝呂廃寺? 顎B1-c。1/16残存。技法D。焼成良好。暗灰色。小礫を含む。顎凸面縄目L9本。	590次調査 遺構外	47- 図面 6 13
363	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。技法C。段顎B2-b。顎面横位縄叩きL13本。女瓦部縦位縄叩き。硬質。粗砂粒多い。灰色～暗灰色。自然釉付着。布目27×30。	569次調査 SD390(中世)	48-149 63図9
364					鏡瓦男瓦部。技法B(男瓦部凹面広端縁面取り)。硬質。粗砂粒微量含む。灰色。	569次調査 SD390(中世)	48-149 63図8
365	HK	281-B	Ⅱ期	東金子 下落合	八坂前V類・下落合瓦・女影廃寺。技法D。顎C1-c? 顎面縦位縄叩きL11本。灰黄白色。やや軟質。砂粒少量混入。	19次調査 SD27	51- 図面 33 5
366	HK	281-C	I b期	南多摩	谷野窯。顎面・女瓦凸面斜格子叩き。灰色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。	19次調査 SX1	51- 図面 33 6
367	HK	282-A?	I b期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。技法B。顎C1-a。顎面・女瓦凸面縦位縄叩きL7本。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。	19次調査 遺構外	51- 図面 34 1
368	KK	232-D'			技法D? 顎面へラ削り。灰黄白色。硬質。砂粒少量混入。	19次調査 遺構外	51- 図面 34 2
369	HK	288	Ⅱ期	東金子	谷津池2号窯跡焼成部。技法D。顎B2-a。顎面横位縄叩き。灰色。硬質。胎土緻密。布目27×28。	19次調査 SK130	51- 図面 33 7
370	HK	292?			技法D。顎B2-a。顎面・瓦当裏面へラ削り。灰色。やや硬質。胎土緻密。布目23×24。	213次調査 SI335(9c中)	51- 図面 34
371	KK	234-E			技法D。顎C1-c。顎面縦位縄叩きL10本。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒やや多量混入。	213次調査 SI330(9c前)	51- 図面 34 3
372	3G				技法D。顎B1-A。灰色。硬質。砂粒少量混入。	281次調査 遺構外	51- 図面 34 5
373	0 特異	357-A			技法D。顎B1-a。顎面・女瓦部縦位縄叩きL9本。暗灰色。硬質。砂粒少量混入。布目23×28。	263次調査 遺構外	51- 図面 34 6
374	HK	282-B	I b期	南比企	技法B? 顎B2-a。顎面へラ削り。やや軟質。黄褐色～薄赤褐色。砂粒少量混入。布目23×20。	303次調査 SI392	51- 図面 34 7
375	HK	282-A	I b期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺 技法B。顎B2-a。灰色。硬質。砂粒やや多量混入。	303次調査 SI396(9c中)	51- 図面 34 8
376	HK	289		南比企	技法B? 女瓦凹面へラ削り。灰色。硬質。白色針状物質やや多量混入。	303次調査 SD23(～9c後)	51- 図面 34 9
377	HK	285-D?			女影廃寺? 硬質。灰白色。粗砂粒少量混入。	303次調査 SD23(～9c後)	51- 図面 34 10
378	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法D? 硬質。暗灰色～灰色。粗砂粒多量混入。	303次調査 遺構外	51- 図面 35 3
379					技法D? 顎B3-a? 顎面縦位縄叩きR11本。硬質。暗灰色。粗砂粒やや多量混入。布目23×25。	303次調査 遺構外	51- 図面 35 4

第19表 市内遺跡出土宇瓦（16）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
380	KK	232-D'			技法B。顎C1-a。黄灰白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。女瓦部縦位縄叩きL7本。	303次調査遺構外	51- 図面 35 2
381	HK	282-C?		南比企	技法D? 明黄褐色～薄暗褐色。軟質。胎土緻密。布目25×25。	303次調査遺構外	51- 図面 35 6
382	KK	234-C			勝呂廃寺。技法D。顎B3-b。顎面・女瓦部縦位縄叩きR10本。硬質。暗灰色～暗赤褐色。粗砂粒やや多量混入。布目29×30。	303次調査遺構外	51- 図面 35 5
383	KK	235-?	I b 期		技法B? 顎B2。灰白色。硬質。砂粒多量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 35 7
384	KK	235-H	I b 期	南比企	酒井分類C1。技法D。顎B3-a。顎面へラ削り。硬質。暗灰色。自然釉付着。粗砂粒・白色針状物質少量混入。布目23×25。	303次調査遺構外	51- 図面 36 2
385	HK	282-B?	I b 期	南比企	技法D? 硬質。暗灰色。粗砂粒多量混入。白色針状物質少量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 3
386	HK	290	I b 期	南比企	小谷B・広町B・新沼I D類。技法C。顎C1-a。顎面・女瓦凸面縄叩き後へラ削り。硬質。灰色～灰白色。自然釉付着。砂粒・白色針状物質少量混入。布目25×30。	303次調査遺構外	51- 図面 36 4
387	HK	284	II 期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法B? 顎C1-a。灰色～灰白色。硬質。砂粒少量混入。女瓦部凹面へラ書き文字「都」あり。	303次調査SX58	51- 図面 35 1
388	HK	282-A?	I b 期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。技法B? 顎B2-a。顎面・女瓦へラ削り。硬質。灰色。砂粒・白色針状物質少量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 1
389	HK	282-B?	I b 期	南比企	技法D? 顎B2-a。顎面・瓦当裏面ナデ調整。女瓦部斜格子叩き。硬質。暗灰色～暗黄灰色。粗砂粒・白色針状物質やや多量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 5
390	HK	287-A?			技法D。顎B2-a。顎面・女瓦接合面へラ削り。女瓦部縦位縄叩きL6本。硬質。明灰色。砂粒少量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 6
391	HK	282-B?	I b 期	南比企	技法D。顎B2-a。顎面へラ削り。女瓦部斜格子叩き。硬質。明灰色。粗砂粒少量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 7
392	KK	235-I			技法D? 顎B2-a? 顎面斜位縄叩きL11本。灰色。硬質。砂粒少量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 8
393	HK	294-B	I b 期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯? 技法D。顎B-a。顎面・瓦当裏面へラ削り。灰色。硬質。砂粒・白色針状物質やや多量混入。	303次調査遺構外	51- 図面 36 9
394	KK	233	II 期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。技法D。顎B2-a。顎面横位縄叩き、女瓦部縦位縄叩きL10本。灰色。硬質。砂粒少量混入。布目21×16。	317次調査遺構外	51- 図面 36 10
395	KK	239			技法D。顎B2-a? 顎側端面・瓦当裏面へラ削り。女瓦部縦位縄叩きL7本。灰色。硬質。粗砂粒多量混入。布目28×27。	374次調査遺構外	51- 図面 36 11
396					製作技法D。顎C1a。顎部正格子タタキ。青灰色。灰褐色粒・砂粒を多く含む。	226次調査SD194土坑状落ち込み	52- 図面 57 2
397	HK	285-D?			女影廃寺? 製作技法D。顎C1。灰白色。細砂粒を含む。	226次調査SD194土坑状落ち込み	52- 図面 57 3
398	KK	232-E	II 期	東金子	東金子谷津池窯。製作技法D。顎C1a。凸面縄タタキ、凹面布目下に糸切り痕。灰褐色。粗砂粒を含む。	226次調査SD194 C-1期(10c中)	52- 図面 59 12
399	HK	290	I b 期	南比企	小谷B・広町B・新沼I D類。製作技法D?。顎C1?。凸面ケズリ整形、凹面布目下に糸切り痕。暗褐色。灰褐色粒・白色針状物質を含む。	226次調査SD194 C-1期(10c中)	52- 図面 59 11
400	0 特異	365	I b 期	南比企	小谷B・広町B窯。製作技法D。顎B2。女瓦部凸面格子タタキ、「父」押型あり。青灰色。粗砂粒・白色針状物質を含む。	226次調査SD194 C-1期(10c中)	52- 図面 59 14
401	KK	233	II 期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。製作技法D。顎B。凸面縄タタキ。青灰色。細砂粒を含む。	226次調査SD194 C-1期(10c中)	52- 図面 59 13
402	HK	282-E	I b 期	南比企	282-E 范傷進行前か? 製作技法D?。顎C。顎部ケズリ整形。明褐色。砂粒・白色針状物質を含む。	226次調査SD194 C-1期(10c中)	52- 図面 59 15
403	HK	282-A?	I b 期	南比企	新沼I C類・石田国分寺瓦窯・勝呂廃寺。製作技法A?。顎C1a。灰褐色。白色針状物質を含む。	226次調査SD194 C-2期(10c後)	52- 図面 69 13
404	HK	285-B?			製作技法D。顎B1a。灰褐色。砂粒を含む。	226次調査SD194 C-2期(10c後)	52- 図面 69 16
405	HK	281-C	I b 期	南多摩	谷野窯。製作技法D。顎C2。顎部・女瓦部凸面斜格子タタキ。灰色。砂粒を含む。	226次調査SD194 C-2期(10c後)	52- 図面 69 15

第19表 市内遺跡出土宇瓦(17)(第44~74図)

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
406	0 特異	359		南多摩	セイカチクボ窯。製作技法D。顎C1a。凸面正格子タタキ。暗茶褐色。粗砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 12
407	HK	281-?		南比企	製作技法D。顎B1b。女瓦部凸面にへらによる格子状沈線あり。灰褐色。白色針状物質を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 69 14
408	HK	283	I b 期	南多摩	谷野窯。製作技法不明。顎C2。顎部斜格子タタキ。青灰色。灰白色粒・砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 2
409	KK	232-C	II 期	東金子?	製作技法D。顎B1a。顎部・女瓦部凸面縄タタキ。青灰色。細砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 1
410	H 格子文	321-C			製作技法D。顎B1a。顎部縄タタキ。青灰色。細砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 3
411	KK	232-D'			製作技法不明。顎C1c。顎部ケズリ整形、女瓦部凸面縄タタキ。褐色。砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 5
412	H 格子文	321-C?			製作技法D。顎B3。顎部縄タタキ・瓦当裏面横ナデ。暗青灰色。灰白色粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 6
413	0 特異	375			製作技法不明。顎C1a。橙灰褐色。粗砂粒を含む。	226次調査 SD194 C-2期 (10c後)	52- 図面 70 4
414	0 特異	358			製作技法不明。顎C2。顎部縄タタキ。灰褐色。灰白色粒・軟質赤褐色粒を含む。	226次調査 SK873	52- 図面 97 7
415	KK	250		南比企?	製作技法D。顎不明。青灰色。細砂粒・白色針状物質を含む。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 12
416	3G			南比企	製作技法B。顎B1a。青灰色。灰白色粒・白色針状物質・小石を含む。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 13
417	HK	281-D	I b 期	南多摩	TNTN944 遺跡。製作技法・顎不明。顎部凸面斜格子タタキ、凹面ケズリ整形。青灰色。灰白色粒を少量含む。	226次調査 遺構外	52- 図面 98 14
418	KK	232-C	II 期	東金子?	製作技法D。顎B1a。顎部・女瓦部凸面縄タタキ。灰褐色。細砂粒を含む。	226次調査 遺構外	52- 図面 99 1
419	HK	281-C	I b 期	南多摩	谷野窯。技法A。顎A-a。暗灰色。硬質。白色粒やや多量混入。	295次調査 SI383	52- 図面 100 3
420	HK	285-D			女影廂寺。技法D。顎C1-c。顎面へら削り。暗灰色~暗褐色。硬質。粗砂粒・小石多量混入。	295次調査 P-10	52- 図面 101 6
421	3G				技法B? 顎B1-A。灰色。硬質。白色粒子多量混入。	360次調査 SI447	52- 図面 103 6
422	3G			南比企?	技法D。顎B1-b。灰色。硬質。白色針状物質やや多量混入。顎面横位・女瓦凸面縦位へら削り。	360次調査 SI383(10c前)	52- 図面 102 1
423	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廂寺・山田遺跡。技法D。顎B1-A。灰色。硬質。粗砂粒多量混入。顎面横位・女瓦部凸面縦位縄叩き。	360次調査 SX86	52- 図面 105 7
424	KK	234-A	II 期	東金子	新久Ⅲ類・武蔵国府。技法B。顎B1-A。灰色。硬質。砂粒微量混入。顎面へら削り。女瓦部縦位縄叩き。	360次調査 SD23(10c前)	52- 図面 104 1
425	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廂寺・山田遺跡。技法D。顎C1-C。灰色~灰赤褐色。硬質。粗砂粒多量混入。顎面・女瓦部縦位縄叩き。	360次調査 SD23(10c前)	52- 図面 103 9
426	HK	285-D			女影廂寺。技法D。顎C1-C。灰色。硬質。砂粒やや多量混入。顎面横位へら削り。	360次調査 SX86	52- 図面 105 6
427	J	351			技法D。顎C2-C。灰色。硬質。砂粒微量混入。顎面横位・女瓦部凸面縦位縄叩き。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 10
428	M?	355?			技法D。顎B1-A。灰色~灰赤褐色。硬質。砂粒やや多量混入。顎面横位へら削り。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 11

第19表 市内遺跡出土宇瓦（18）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
429	H	322-A?			技法B。顎C1-B。灰色。顎面横位縄叩き。硬質。砂粒やや多量混入。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 12
430	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。技法D。顎B1-a。灰色。硬質。白色粒・粗砂粒多量混入。顎面横位縄叩き。	360次調査 遺構外	52- 図面 108 13
431	HK	294-A?			勝呂廃寺? 技法D。顎B1-a。灰色。硬質。白色粒・多量混入。顎面・女瓦凸面正格子叩き。	360次調査 遺構外	52- 図面 109 1
432	HK	287-B?			技法B。顎B2-B。灰黄白色。硬質。砂粒少量混入。顎面横位へら削り。	360次調査 遺構外	52- 図面 109 2
433	HK	288?	Ⅱ期	東金子	谷津池2号窯跡焼成部? 技法C。顎C1-c。灰色～灰赤褐色。硬質。砂粒少量混入。	360次調査 遺構外	52- 図面 109 3
434	0 特異	368-A			技法D。顎B2。灰色。硬質。砂粒微量混入。顎面横位縄叩き。	360次調査 遺構外	52- 図面 109 4
435	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法D。顎形態C1-c。黄灰色～暗灰黄色。砂粒・粗砂粒多量含む。凹面ナデ・広端縁へら削り。凸面布目22×15。広端縁へら削り、側端縁へら削り及び面取り、糸切り痕。瓦当面隅落し。	616次調査 SI807竈内 (10c中)	53- 図面 79 2
436	KK	231-B			製作技法D。顎B1-C。灰褐色～暗灰褐色。硬質。小石・砂粒やや多量混入。	26次調査 SI114	56- 図面 28 9
437	H 鋸齒文	322-B			製作技法D。顎B1-C。灰褐色～暗灰褐色。硬質。小石・砂粒多量混入。	55次調査 遺構外	56- 図面 30 3
438	HK	284	Ⅱ期	東金子	東金子No.20遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。	102次調査 遺構外	56- 図面 44 5
439	G				製作技法D。顎B1?-C。灰褐色。硬質。砂粒微量混入。	97次調査 遺構外	56- 図面 43 4
440	H	323-B?		南比企	製作技法B。顎B1。灰褐色。砂粒・白色針状物質やや多量混入。	97次調査 SD49	56- 図面 43 1
441	KK	248-A?			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法D?。緩い段顎。顎部面～女瓦部凸面縄目、凹面布目。角礫を多く含む。	167次調査 SD166	58- 図面 27 4
442	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。技法D。段顎B2。顎部面縄目。女瓦部凹面布目、凸面縄目。角礫多く含む粗い胎土。	167次調査 SK736	58- 図面 28 2
443	KK	232-D?	Ⅱ期	東金子	新久I類=八坂前I-1類・恋ヶ窪廃寺? 曲線顎C2。瓦当面に縄目あり。女瓦部凹面布目、凸面縄目。	167次調査 SK736	58- 図面 28 3
444	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。技法D。段顎B1。瓦当面に縄目あり。顎部面縄目。女瓦部凹面布目、凸面縄目。角礫含み、やや粗い。	167次調査 SK736	58- 図面 28 4
445	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久II類=八坂前VI類・東金子No.15・谷久保窯。渦巻状均整唐草文。曲線顎C1-b。顎部面～女瓦部凸面縄目、凹面布目。砂粒少なく緻密。	167次調査 SK736	58- 図面 28 5
446	3G				技法D。段顎B1。顎部面へラケズリ。女瓦部凸面縄目。角礫含み粗い。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 4
447	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。技法D。段顎B1。顎部面～女瓦部凸面縄目。砂粒・角礫を多く含む。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 5
448	KK	247-?			渦巻状均整唐草文。技法D。段顎。顎部面縄目。砂粒少なく緻密。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 6
449	0 特異	359?		南多 摩?	セイカチクボ窯? 灰褐色。砂粒を多く含み、粗い。	167次調査 攪乱	58- 図面 29 10
450	0 特異	356			技法C。段顎。女瓦部凹面布目、凸面縄目。灰褐色。緻密な胎土。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 7
451	HK	282-D?	I b期	南比企	新沼窯? 技法A?。段顎B2。女瓦部凹面布目。軟質。砂粒・白色針状物質含む。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 8
452	KK	238			技法D。緩い段顎。顎部面縄目。女瓦部凹面布目、凸面縄目。灰色。砂粒を含む。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 9
453	G				技法D。段顎。顎部面格子目。灰褐色で緻密な胎土。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 11
454	KK	235-I			技法D。段顎。顎部面格子目。女瓦部凹面布目→ナデ。砂粒を少量含む。	167次調査 遺構外	58- 図面 29 12
455	KK		Ⅱ期?	東金子?	平城宮系。曲線顎。灰褐色。砂粒少量含む。女瓦部凹面へラケズリ、凹面格子目。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 2

第19表 市内遺跡出土宇瓦（19）（第44～74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
456	KK	235-B?	I b 期	南比企	石田国分寺瓦窯? 技法A。段顎B1。砂礫含み、粗い。二次焼成痕あり。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 3
457	J	351			曲線顎。灰褐色。砂粒含み、粗い。顎部面～女瓦部凸面縄目、凹面布目。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 5
458	KK	232-E?	II 期	東金子	谷津池窯? 技法A。曲線顎。灰褐色。砂粒少量含み、緻密。顎部面～女瓦部凸面ヘラケズリ、凹面布目。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 4
459	HK	281-B	II 期	東金子 下落合	八坂前V類・下落合瓦窯・女影廃寺。技法D。曲線顎。灰褐色。砂粒・石英含む。女瓦部凹面布目、凸面縄目。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 6
460	HK	282-E?		南比企	曲線顎。灰褐色。砂粒・白色粒少量含む。やや硬質。顎部面横ナデ。	204次調査 遺構外	58- 図面 39 7
461	HK	294-B	I b 期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯? 偏行唐草文。段顎。砂粒・白色針状物質含む。	216次調査 SI331(9c末)	58- 図面 43 1
462	HK	282-B		南比企	技法D。段顎。砂粒含み緻密。白色針状物質含む。	216次調査 SI331(9c末)	58- 図面 43 2
463	KK	240	II 期	高岡	高岡窯・山田遺跡(25号住居)。顎B1-b。灰褐色。硬質。白色粒子多量混入。	637次調査 遺構外	54-32
464	KK					SD33	40-514 326 図 20
465	3G				凹面布目、凸面ヘラ削り。段顎。焼成良好。橙褐色。赤スコリア・砂粒を多く含み、粗い。	695次調査 攪乱	60-46 50 図 38
466	H				灰色。やや軟質。砂粒多く、やや緻密。	551次調査 北東地域	50-12 図 1-7 5
467	0 特異	341-B		南比企	竹管文。灰色。硬質。胎土やや粗雑で、白色針状物質含む。	551次調査 北東地域	50-12 図 1-7 6

第20表 府中市域（南方地区・栄町地区）出土宇瓦（第74図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	KK	232-D?	II 期	東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺?	B91 遺構外	55-298 313 図 3215
2	H 格子文	321-C?			円形の刺突痕2個。段顎。縄目叩き。瓦当裏面ナデ。	E 地区表採	11 34 図 13
3					宇瓦瓦当脇区、文様不明。曲線顎。女瓦部分広端・右側端をヘラ削り。凸面縄目叩き。	SX7	11 34 図 8
4	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。段顎。暗灰色・灰オリーブ色・灰色。凸面縄目叩き。凹面布目、一部ナデ。側面ナデ。砂礫を大量に含む胎土。瓦当面・瓦当下も縄目。	栄町三丁目 5AP 地区 SK39	38- 図面 116 113

第21表 府中市域（武蔵台東遺跡）出土宇瓦（1）（第75～80図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
1	KK	232-D	II 期	東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺。	10号住居跡 (9c- II)	37-70 62 図 52
2	KK	232- D'?			技法A。顎C2-b。顎部凸面・側端ヘラ削り。女瓦部凸面斜格子目叩き。同凹面に1条の棒状圧痕あり。	10号住居跡カ マド (9c- II)	37-70 62 図 51
3	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。技法D。顎B2-c。顎部凸面・女瓦部凸面縄目叩きL12本。側端ナデ。瓦当裏面指ナデ。凹面に模骨文字?。	10号住居跡 (9c- II)	37-71 63 図 53
4	KK	247-?			技法D?。顎部欠失。凹面に1条の棒状圧痕あり。酸化焰焼成。	10号住居跡 (9c- II)	37-71 63 図 54
5	HK	292			技法A。顎B2-a。顎部凸面・側端ヘラ削り。瓦当裏面指ナデ。女瓦部凸面縄目叩きL12本。凹面に模骨文字?。	10号住居跡カ マド・ 貯蔵穴(9c- II)	37-71 63 図 55
6	KK	232-D	II 期	東金子	新久I類=八坂前I -1類・恋ヶ窪廃寺。技法A。顎C1-b。凸面・瓦当裏面格子目叩き。顎部凹面・女瓦部凹面粘土紐接合部分指ナデ。側端ナデ。	12号住居跡 (9c末-10c 初)	37-108 100 図 40

第 21 表 府中市域（武蔵台東遺跡）出土宇瓦（2）（第 75～80 図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献-頁 図番号
7	HK	288?	II 期	東金子	谷津池 2 号窯跡焼成部? 技法 D。顎 B1-c。顎部凸面縄目叩き L11 本。瓦当裏面指ナデ。側端ナデ。	12 号住居跡 (9c 末-10c 初)	37-108 100 図 41
8					技法 A?。顎部凹面粘土紐接合部分・瓦当裏面指ナデ。女瓦部凸面縄目叩き L。	12 号住居跡 (9c 末-10c 初)	37-108 100 図 42
9	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L12 本。側端・瓦当裏面ナデ。凹面にヘラ書き・朱書き。「上」の左文或いは「下」の模骨文字。瓦当中央に指、同左側にヘラによる縦線が各一条。瓦当面左側から中央に向い范キズ?	12 号住居跡 B カマド (9c 末-10c 初)	37-108・ 109 100・101 図 39
10					技法 D。顎 C。顎部凸面ヘラ削り。	14 号住居跡 (9c- II)	37-137 128 図 55
11	KK?			南比企	技法 D。顎 B2-c。凸面縄目叩き L13 本。側端ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。白色針状物質含む。	27 号住居跡	37-187 188 図 36
12	HK		I b 期	南比企	凹面に押印「荏」→雷遺跡と同印? 技法 D。顎 B1-a。顎部凸面・側端ヘラ削り。女瓦部凸面縄目叩き L8 本。凹面に「荏」の押印「陽」。白色針状物質含む。	48 号住居跡 (9c 末-10c 初)	37-318 304 図 19
13	HK	282-D	I b 期	南比企	新沼 I B 類。技法 B。顎 B2-b。顎部凸面ヘラ削り。白色針状物質含む。	35 号住居跡 (9c- III)	37-241 229 図 12
14	HK	292?			技法 D。顎 B2-a。顎部凹凸面・側端ヘラ削り。瓦当裏面・女瓦部凹面粘土紐接合部分指ナデ。	22 号住居跡 ・17 土坑 (10c- III)	37-181 169 図 6
15	3G				技法 D。顎 B1-a。瓦当凸面・側端ヘラ削り。女瓦部凸面斜格子目叩き。	49 号住居跡 A カマド (8c- III)	37-327 313 図 16
16	HK	282-C?		南比企	技法 D。顎 B1-a。顎部凹面指ナデ、同凸面・瓦当裏面ナデ。白色針状物質含む。	68 号住居跡 (8c 末-9c 初)	37-470 443 図 44
17	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。顎 B。顎部凹面端縁ヘラ削り。瓦当裏面縄目叩き後指ナデ。女瓦部凸面縄目叩き L10 本。	TK-3 B・C 地区	37-592 563 図 95
18	KK	232-D'?			技法 D。顎 C1-a。顎部凸面ヘラ削り。女瓦部凸面格子目叩き。	69 号住居跡 (9c- III)	37-481 454 図 42
19	KK	234-A	II 期	東金子	新久 III 類・武蔵国府。技法 D。顎部凸面縄目叩き L9 本。側端ヘラナデ。	54 号住居跡 (9c- III)	37-364 350 図 20
20	HK				技法 D。顎部欠失。顎部凹面ヘラ削り。女瓦部凸面ナデ。女瓦部凸面にヘラ書き。	77 号住居跡 (9c- III)	37-548 521 図 8
21	KK	232-D	II 期	東金子	新久 I 類 = 八坂前 I -1 類・恋ヶ窪廃寺。技法 D。顎 C1-a。凸面縄目叩き L12 本。顎部凸面・凹面側端縁・側端ヘラ削り。	69 号住居跡 (9c- III)	37-482 455 図 43
22	KK	248-A?			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺? 技法 D。顎 B1-a。顎部凸面縄目叩き後ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。女瓦部凹面一部ナデ、同凸面縄目叩き L13 本、同側端ナデ。	78 号住居跡 (9c- III)	37-554 527 図 12
23	3G				技法 D。顎 B1-c。凸面格子目叩き（小）。顎部凹面端縁幅広くヘラ削り。側端・瓦当裏面ナデ。酸化焰焼成。	8 号溝状遺構 75 土坑	37-653 621 図 35
24	KK	234-D	II 期	東金子	谷津池窯。技法 B。顎 B2-c。凸面縄目叩き L9 本。顎部凸面粘土紐接合部分・瓦当裏面指ナデ。右側端ナデ。	8 号溝状遺構	37-652 620 図 39
25	HK	284	II 期	東金子	東金子 No. 20 遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法 A?。顎 C1-a。顎部凸面・側端ヘラ削り。顎部凹面側端縁ナデ。女瓦部凸面縄目叩き（L）後ヘラ削り。	8 号溝状遺構	37-653 621 図 43
26	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。技法 A。顎 B2-d。凸面・瓦当裏面縄目 L6 本。側端ヘラ削り。割れ目に加工痕或いは使用痕あり。	8 号溝状遺構	37-52 620 図 38
27	KK	236	II 期	高岡	高岡窯。技法 B。顎 B2-d。顎部凸面・瓦当裏面縄目叩き L12 本。顎部凸面粘土紐接合部分指ナデ。瓦当裏面に朱付着。	8 号溝状遺構	37-652 620 図 40
28	KK	232-?			技法 A。顎 C1-c。顎部凸面縄目叩き L8 本。	8 号溝状遺構	37-652 620 図 37
29	HK	293-A		南比企	技法 D。顎 B1-c。顎部凸面縄目叩き L11 本。瓦当裏面指ナデ。顎部凸面に 1 条の棒状圧痕あり。白色針状物質含む。	8 号溝状遺構	37-653 621 図 41
30	KK	240	II 期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L14 本。側端・瓦当裏面指ナデ。	8 号溝状遺構	37-653 621 図 42
31	H 格子文	321-C			技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L10 本。側端・瓦当裏面指ナデ。側面に「毛」のヘラ書き。	8 号溝状遺構	37-653 621 図 44

第 21 表 府中市域（武蔵台東遺跡）出土宇瓦（3）（第 75～80 図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
32	HK	293-A		南比企	技法 A。顎 B1-c。凸面斜格子目叩き顎部凹面粘土紐接合部分指ナデ。側端・瓦当裏面ナデ。白色針状物質含む。	8号溝状遺構	37-654 622 図 36
33	0 特異	357-A			技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L9 本。側端ヘラ削り。瓦当裏面指ナデ。	8号溝状遺構	37-654 622 図 46
34	0 特異	358			技法 A。顎 C2-b。顎部凸面縄目叩き L12 本。顎部凸面粘土紐接合部分・側端指ナデ。赤褐色。	8号溝状遺構	37-654 622 図 47
35	J	351			技法 A。顎 C1-c。凸面縄目叩き R8 本。	8号溝状遺構	37-654 622 図 45
36	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。技法 D?。顎 B1-c。凸面縄目叩き L10 本。顎部側端ナデ、同凹面に棒状圧痕あり。瓦当裏面指ナデ。	21号溝状遺構	37-665 631 図 11
37					技法 D。顎 B1-c。顎部凸面縄目叩き L9 本。同端縁ヘラ削り。瓦当一部縄目叩き。同裏面指ナデ。	8号溝状遺構	37-654 622 図 48
38	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。技法 D?。顎 B2-a。凸面縄目叩き L10 本。顎部凹凸面・女瓦部側端縁ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-724 688 図 202
39					技法 D?。顎 B2-c。顎部凸面縄目叩き L10 本。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-724 688 図 203
40	KK	232-E ?	II 期	東金子	谷津池窯? 技法 D。顎 B2-b。顎部凸面・側端ヘラ削り。瓦当裏面縄目叩き L10 本。瓦当面縄目叩き後施文。	遺構外	37-724 688 図 199
41	KK	247-?			技法 D?。顎部凸面縄目叩き L9 本。	遺構外	37-725 689 図 206
42	KK	232-D ?	II 期	東金子	新久 I 類 = 八坂前 I -1 類・恋ヶ窪廃寺? 技法 D?。顎 C1-a。顎部凹凸面・側端ヘラ削り。	遺構外	37-724 688 図 198
43	H 格子文	321-C		南比企	技法 D。顎 C1-a。顎部凸面ヘラ削り。白色針状物質含む。	遺構外	37-725 689 図 215
44	H 格子文	321-A ?			技法 D。顎 B1-c。顎部凸面縄目叩き L9 本。瓦当裏面ナデ。顎部凸面に 1 条の棒状圧痕あり。	遺構外	37-725 689 図 214
45	3G				技法 D?。顎 B1-a。顎部凸面・側端・瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-724 688 図 195
46	KK	240	II 期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L12 本。瓦当面・同裏面ナデ。顎部凸面に 1 本の棒状圧痕あり。	遺構外	37-725 689 図 207
47	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺・技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L12 本。顎部凹面ヘラ削り。瓦当裏面指ナデ。	遺構外	37-725 689 図 210
48	KK	240	II 期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。技法 D?。顎 B1-c。凸面縄目叩き L12 本。瓦当面・同裏面・側端ナデ。	遺構外	37-725 689 図 208
49	HK	284	II 期	東金子	東金子 No. 20 遺跡・高岡廃寺・恋ヶ窪廃寺。技法 D。顎 C1-a。凸面縄目叩き L7 本。顎部凹凸面ヘラ削り。瓦当面縄目叩き後施文。	遺構外	37-725 689 図 209
50	KK	232-D' ?			技法 D?。顎 C1-a。凸面縄目叩き L7 本。顎部凹凸面・側端ヘラ削り。	遺構外	37-724 688 図 197
51	HK	288?	II 期	東金子	谷津池 2 号窯跡焼成部? 技法 D。顎 B2-c。凸面縄目叩き L9 本。顎部凹面・側端ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-725 689 図 212
52	H 格子文	321-C			技法 D。顎 B1-c。凸面縄目叩き L10 本。顎部凹面ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-725 689 図 213
53	KK	232-D' ?			技法 D?。顎 C1-a。凸面縄目叩き L8 本。顎部凹凸面・側端ヘラ削り。瓦当面縄目叩き後施文。	遺構外	37-724 688 図 196
54	KK	238			技法 D。顎 B2-a。凸面縄目叩き L9 本。顎部凸面ヘラ削り。瓦当裏面指ナデ。	遺構外	37-724 688 図 204
55					凹面に転用痕	遺構外	37-724 688 図 200
56	KK	233	II 期	東金子	新久 II 類 = 八坂前 VI 類・東金子 No. 15・谷久保窯。技法 D?。顎 B3-c。凸面縄目叩き L10 本。瓦当裏面ナデ。	遺構外	37-724 688 図 201
57	K	346			顎 C1-a。顎部凸面ナデ。同凹面ヘラ削り。瓦当面・顎部凹面に自然釉付着。	遺構外	37-725 689 図 216
58	HK	281-C	I b 期	南多摩	谷野窯。技法 D。顎 B1-a。顎部凸面・瓦当裏面・凹面ナデ。女瓦部凸面斜格子目叩き。	遺構外	37-725 689 図 211
59	KK	236	II 期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B。顎部凸面縄目叩き L11 本。側端ヘラ削り。	遺構外	37-725 689 図 205

第 22 表 府中市域（武蔵台遺跡）出土宇瓦（第 80 ～ 83 図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
1	HK	289			顎 B2-a。顎部へラ削り。カマド構築材に転用。	30 号住居跡 カマド (9c-I)	26-628 365 図 10
2	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。顎部、女瓦部縄目叩き。	43 号住居跡 (10c 前)	26-661 398 図 20
3	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。	35 号住居跡 カマド (10c 前)	26-642 379 図 9
4	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	67 号住居跡 (10c 後)	29-142 99 図 17
5	H 格子文	321-C ?			顎 B2-a。女瓦部凸面縄目叩き。	54 号住居跡 (10c 前)	29-69 50 図 22
6	竹管文	341-A			顎 B2-c。狭端面に瓦当部を接合。女瓦部凸面縄目叩き。	54 号住居跡 カマド (10c 前)	29-68 49 図 21
7	HK	282-C ?		南比企	顎 Aa。凸面叩き目を工具でナゲ消している。	73 号住居跡 (9c 末) 72 号住居跡カ マド	22-170 116 図 20
8	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。顎 B2-a。女瓦部凸面縄目叩き。	遺構外	22-216 162 図 17
9	KK	235-I			顎 B2-c。顎部縄目叩き。	79 号住居跡 (10c 前)	23-27 13 図 13
10					顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	11 号道状遺構	36-536 378 図 6
11	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。カマド構築材に転用。	74 号住居跡 カマド (10c 前)	22-178 124 図 13
12	0 特異	357-B			顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	11 号道状遺構	36-537 379 図 7
13	KK	240	Ⅱ期	高岡	高岡窯・山田遺跡 (25 号住居)。顎 B2-c。瓦当面に縄目が残る。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	11 号道状遺構	36-537 379 図 8
14	KK	232-C ?	Ⅱ期	東金子 ?	顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	91 号住居跡 (10c 前)	36-504 347 図 17
15	H 格子文	321-A ?			顎 B2-c。	91 号住居跡 (10c 前)	36-504 347 図 16
16	KK	232-C ?	Ⅱ期	東金子 ?	顎 B2-c。女瓦部凸面縄目叩き。	93 号住居跡 (10c 前)	36-517 360 図 9
17	KK	233	Ⅱ期	東金子	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子 No. 15・谷久保窯。顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	遺構外	36-549 390 図 11
18	KK	234-D	Ⅱ期	東金子	谷津池窯。顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	遺構外	36-549 390 図 10
19	KK	248-A			高岡窯・勝呂廃寺・恋ヶ窪廃寺。顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	遺構外	36-549 390 図 8
20	竹管文	341-A			顎 B2-c。顎・女瓦部凸面縄目叩き。	遺構外	36-549 390 図 9

第 23 表 府中市域（南西地区）出土宇瓦（第 84 図）

No.	文様	型式	時期	産地	特徴等	備考	文献 - 頁 図番号
1	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B1-c。瓦当面中心部范ずれる。瓦当部女瓦狭端に付く。女瓦部の技法Ⅱ 1-A1、凹面に棒状圧痕あり。黒褐～灰黄色。	SI2 カマド (9c-Ⅲ)	39-239 60 図 38
2	0 特異	371			顎 C1。瓦当面范ややずれる。女瓦部の技法Ⅱ 1-B。凹面に押印文字、凸面全面に縦ナデ。灰色。白色針状物質を多量含む。	SI2 カマド (9c-Ⅲ)	39-239 60 図 37
3					顎 B2-c。灰色。瓦当凸面に縄目叩き L10 本。	遺構外	39-539 350 図 44
4	HK	294-B	I b 期	南比企	石田国分寺瓦窯・久保瓦窯？ 顎 B2-a。技法 B。瓦当凸面に押印文字「加」？(陰・一部欠損)。灰色。白色針状物質を少量含む。	SX13・14	39-524 335 図 21
5	H	327-B ?			顎 B1-c。灰色。瓦当凸面に縄目叩き R15 本。やや軟質で摩耗する。	SX13・14	39-524 335 図 22
6	KK	247-?			顎 B1-c。黒褐色。瓦当裏面縄目叩き L9 本。文様の深さは非常に浅い。	遺構外	39-539 350 図 42
7	KK	236	Ⅱ期	高岡	高岡窯・勝呂廃寺・山田遺跡。顎 B1-c。暗灰黄色。瓦当凸面～裏面に縄叩き (L14 本) が残る。瓦当凸面に棒状圧痕あり。	遺構外	39-539 350 図 43
8					灰色。瓦当面下半部～顎部欠損。	SX13・14	39-524 335 図 26
9	竹管文	341-B			顎 B2-c。灰色。瓦当面縄目叩き後、竹管文を施す。自然釉付着。	SX13・14	39-524 335 図 23
10	KK	233	Ⅱ期	東金子 ?	新久Ⅱ類 = 八坂前Ⅵ類・東金子No.15・谷久保窯 顎 B2-c。灰色。瓦当凸面に縄目叩き L12 本。	SX13・14	39-524 335 図 24
11	KK	232-D ?	Ⅱ期	東金子	新久Ⅰ = 八坂前Ⅰ -1 類・恋ヶ窪廃寺？ 灰色。やや軟質で摩耗する。	SX13・14	39-524 335 図 25
12	HK	285-D			女影廃寺。褐灰色。凹・瓦当凸面ナデ。	SX29	39-531 342 図 80
13	HK	281-A		南比企	神明上遺跡群 (7 号住居跡)。顎 C2。瓦当凸面～女瓦部凸面へラ削り。灰白～灰黄色。白色針状物質を少量含む。	SX13・14	39-524 335 図 20
14				南比企	白色針状物質を少量含む。	SK66	39-522 333 図 14
15				南比企	顎 B1-a。技法 C。灰色。白色針状物質を微量含む。	SI14 (8c 末 -9c 初)	39-325 144 図 30

【挿表・挿図の文献No.】

- (1) 石村喜英 1960『武蔵国分寺の研究』明善堂書店
- (2) 滝口 宏他 1972『恋ヶ窪堂址調査報告』東京都国分寺市・泉町廃寺址遺跡調査会
- (3) 滝口 宏 1974『武蔵国分尼寺』早稲田大学考古学研究室報告第12冊
- (4) 有吉重蔵他 1977『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報Ⅲ—都道17・145号線における水道管理設工事に伴う発掘調査—』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (5) 雪田 孝他 1979『武蔵国分寺遺跡調査会年報1974—武蔵国分寺跡—』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (6) 有吉重蔵他 1981『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報Ⅴ—市立第四中学校建設に伴う第1次調査—』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (7) 上村昌男他 1982『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報Ⅵ—市公共下水道南部地区15号工事に伴う調査—』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (8) 福田信夫他 1982『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報Ⅶ—佐藤国分寺共同住宅建設に伴う調査—』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (9) 平田貞正他 1982『武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ—昭和51～53年度 寺地・僧寺々域確認調査—第2分冊』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (10) 有吉重蔵他 1984『武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ—昭和51～53年度 寺地・僧寺々域確認調査—第1分冊』武蔵国分寺遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (11) 岡崎完樹他 1985『武蔵国分寺跡発掘調査報告—南方地区・府中都市計画道路(1・2・1号線の2)建設に伴う調査—』東京都建設局・武蔵国分寺関連遺跡調査会
- (12) 福田信夫他 1985『武蔵国分寺遺跡発掘調査概報Ⅷ—北方地区・国際電信電話株式会社国分寺寮建設に伴う調査—』武蔵国分寺遺跡調査会
- (13) 福田信夫他 1987『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅠ—北方地区・佐藤国分寺共同住宅増築工事に伴う調査—』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (14) 上村昌男他 1988『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅡ—昭和50～53年度 公共下水道面整備に伴う調査—』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (15) 有吉重蔵他 1989『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅣ—昭和52～57年度 尼寺々域確認調査—』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (16) 上村昌男他 1989『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅤ—昭和53年度 国分寺市公共下水道面整備西元町地区3号工事に伴う工事—』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (17) 河内公夫他 1989『武蔵台遺跡Ⅱ—資料編1—』都立府中病院内遺跡調査会
- (18) 上村昌男他 1990『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅥ—国分寺市公共下水道面整備南部地区18号工事に伴う調査—』国分寺市遺跡調査会
- (19) 上敷領久他 1991『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅦ—東京警察病院多摩分院内下水道管理設に伴う事前調査—』国分寺市遺跡調査会
- (20) 福田信夫他 1992『武蔵国分尼寺Ⅰ—平成4年度 発掘調査概報—』国分寺市教育委員会
- (21) 国分寺市遺跡調査団 1992『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅧ—市立第四中学校建設に伴う第2～5次調査—〈図面・図版編〉』国分寺市遺跡調査会
- (22) 河内公夫他 1992『武蔵台遺跡Ⅱ—資料編4—』都立府中病院内遺跡調査会
- (23) 河内公夫他 1993『武蔵台遺跡Ⅱ—資料編5—』都立府中病院内遺跡調査会
- (24) 上敷領久他 1994『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅨ—北方地区・リオン株式会社新3号館建設に伴う調査—』国分寺市遺跡調査会
- (25) 上敷領久他 1994『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅩ—国分寺市公共下水道面整備南部地区19号工事に伴う調査—』国分寺市遺跡調査会
- (26) 河内公夫他 1994『武蔵台遺跡Ⅱ—資料編2—』都立府中病院内遺跡調査会
- (27) 田熊信之・天野 茂編 1994『宇野信四郎蒐集古瓦集成』東京堂出版
- (28) 福田信夫他 1995『武蔵国分尼寺Ⅱ—平成5年度 発掘調査概報—』国分寺市教育委員会
- (29) 河内公夫他 1995『武蔵台遺跡Ⅱ—資料編3—』都立府中病院内遺跡調査会
- (30) 上敷領久他 1996『武蔵国分寺跡発掘調査概報ⅩⅩⅠ—国分寺市公共下水道面整備西元地区5・6号工事に伴う尼寺西・南方地区他の調査—』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (31) 福田信夫他 1996『武蔵国分尼寺Ⅲ—平成6年度 発掘調査概報—』国分寺市教育委員会
- (32) 福田信夫他 1997『武蔵国分尼寺Ⅳ—平成7年度 発掘調査概報—』国分寺市教育委員会

- (33) 上敷領久他 1998『武蔵国分寺跡発掘調査概報 X X II - 国分寺市公共下水道面整備南部 15 号工事に伴う調査-』
国分寺市遺跡調査会
- (34) 上敷領久他 1999『武蔵国分寺跡発掘調査概報 X X III - 都営住宅西元町団地建設工事に伴う尼寺南西地区の調査-』
国分寺市遺跡調査会
- (35) 木下さおり他 1999『武蔵国分寺跡発掘調査概報 X X IV - 北方地区・三菱地所(株)共同住宅建設工事に伴う発掘調査-』
国分寺市遺跡調査会
- (36) 河内公夫他 1999『武蔵台遺跡IV』都立府中病院内遺跡調査会
- (37) 西野善勝他 1999『武蔵台東遺跡 I - (2)』都営川越道住宅遺跡調査会
- (38) 塚原二郎他 1999『武蔵国分寺跡調査報告 2 - 南方地域の調査 2 -』府中市教育委員会・府中市遺跡調査会
- (39) 小川将之他 1999『武蔵国分寺南西地区発掘調査報告 - 府中都市計画道路 3・2・2 の 2 号線建設に伴う調査-』武蔵国分寺関連
遺跡調査会・東京都北多摩南部建設事務所
- (40) 板野晋鏡他 1999『武蔵国分寺跡北方地区 日影山遺跡・東山道武蔵路』西国分寺地区遺跡調査会
- (41) 上敷領久他 2001『武蔵国分寺跡発掘調査概報 25 - 昭和 55 ~ 59 年度 僧寺寺域内等の調査-』国分寺市遺跡調査会
- (42) 上村昌男他 2002『武蔵国分寺跡発掘調査概報 26 - 北方地区・平成 8 ~ 10 年度 西国分寺地区土地区画整理事業及び泉町公園事
業に伴う調査-』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (43) 渡辺克彦他 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報 27 - 僧尼寺中間地点・(株)日東建設所有地に伴う調査-』国分寺市遺跡調査会
- (44) 福田信夫他 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報 28 - 国分寺アパート建設に伴う調査他-』国分寺市遺跡調査会
- (45) 上村昌男他 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報 29 - 北方地区・平成 11 ~ 13 年度 西国分寺地区土地区画整理事業及び泉町公園
事業に伴う調査-』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (46) 合田芳正他 2005『武蔵国分寺跡発掘調査概報 30 - 北方地区・(仮称)国分寺プロジェクト計画工事に伴う調査-』国分寺遺跡
調査会
- (47) 上敷領久他 2006『武蔵国分寺跡発掘調査概報 31 - 市立第四中学校建設に伴う第 6 次調査-』国分寺市遺跡調査会
- (48) 板倉敏之他 2006『武蔵国分寺跡発掘調査概報 33 - 北方地区・西国分寺駅東地区第一種市街地再開発事業に伴う調査-』国分寺
市遺跡調査会
- (49) 平石 充他 2008『平塚運一古代瓦コレクション資料集(1) - 武蔵国分寺関連資料・鍔瓦編-』島根県古代文化センター調査研
究報告書 39
- (50) 上敷領久他 2008「第 551 次調査 僧寺伽藍地(寺院地)区画北辺地区確認調査」『史跡武蔵国分寺跡(僧寺北東地域)保存整備
事業報告書』国分寺市教育委員会
- (51) 小野本敦他 2009『武蔵国分寺跡発掘調査概報 34 - 東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査-』国分寺市遺跡調査会・国分
寺市教育委員会
- (52) 小野本敦他 2010『武蔵国分寺跡発掘調査概報 35 - 僧寺伽藍地の確認調査-』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (53) 小野本敦他 2010『武蔵国分寺跡発掘調査概報 36 - 北方地区・(仮称)「旧国分寺市立第四小学校跡地土地利用計画」に伴う調査-』
国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会
- (54) 立川明子 2010『平成 20 年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報』国分寺市教育委員会
- (55) 伊藤 健他 2010『武蔵国分寺跡関連遺跡・武蔵台遺跡 - 多摩総合医療センター(仮称)等建築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査-』
東京都埋蔵文化財センター調査報告
- (56) 小野本敦他 2011『武蔵国分寺跡発掘調査概報 37 - 昭和 50 ~ 55 年度 僧寺寺院地内等の調査-』国分寺市遺跡調査会・国分
寺市教育委員会
- (57) 東山信治他 2011『平塚運一古代瓦コレクション資料集(2) - 武蔵国分寺関連宇瓦・鍔瓦補遺 平塚運一コレクション資料目録』
島根県古代文化センター調査研究報告書 44
- (58) 上敷領久他 2013『武蔵国分寺跡発掘調査概報 38 - 昭和 54 ~ 60 年度 僧寺寺院地内等の調査-』国分寺市教育委員会・国分
寺市遺跡調査会
- (59) 中西 充他 2014『府中市 武蔵国分寺跡関連遺跡 - 都立武蔵台学園増築及び改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査-』東京都埋蔵
文化財センター調査報告第 295 集
- (60) 依田亮一他 2015『平成 25 年度 国分寺市埋蔵文化財調査年報』国分寺市教育委員会
- (61) 増井有真他 2016『東山道武蔵路跡 II - 保存管理計画に基づく学術調査-』国分寺市遺跡調査会・国分寺市教育委員会

武蔵国分寺跡出土基礎資料集成 1
武蔵国分寺跡出土瓦集成
— 鑑瓦・宇瓦 —

発行日	平成 31 (2019) 年 3 月 31 日
編 集	国分寺市遺跡調査会
発 行	国分寺市遺跡調査会 〒 185-0023 東京都国分寺市西元町 1-13- 6 (武蔵国分寺跡資料館付属棟内)
印 刷	株式会社菰田印刷

©Kokubunji City Board of Education 2019. Printed in Japan

令和 3 年 (2021) 9 月 8 日 デジタル版作成

